

新 宿 区
障害者生活実態調査報告書

令和5年3月
新 宿 区

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的と方法	3
2 調査結果の概要	5
第2章 調査結果の詳細	17
I 在宅の方を対象とした調査	17
1 ご本人について	20
2 障害や健康の状況について	25
3 相談や福祉の情報について	49
4 日中活動や仕事について	64
5 外出やバリアフリーについて	79
6 福祉サービスについて	86
7 災害対策について	112
8 新型コロナウイルス感染症の影響について	117
9 権利擁護について	123
10 将来について	138
11 自由意見	143
II 施設に入所している方を対象とした調査	151
1 ご本人について	154
2 施設入所について	158
3 施設での生活について	162
4 相談や福祉の情報について	173
5 権利擁護について	177
6 新型コロナウイルス感染症の影響について	180
7 今後の暮らし方について	181
8 自由意見	186
III 児童（18歳未満）の保護者の方を対象とした調査	189
1 お子さんについて	192
2 障害や健康の状況について	195
3 相談や福祉の情報について	210
4 教育・保育について	220
5 外出やバリアフリーについて	239
6 福祉サービスについて	243
7 災害対策について	261

8	新型コロナウイルス感染症の影響について	265
9	権利擁護について	270
10	将来について	280
11	自由意見	284
12	医療的ケア児の保護者に対するヒアリング	292
IV	サービス事業者を対象とした調査	295
1	事業運営について	297
2	職員について	307
3	サービス提供について	313
4	自由意見	334
	資料（調査票）	337

第1章 調査の概要

1 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

令和5年度に策定する「第3期新宿区障害児福祉計画及び第7期新宿区障害福祉計画（令和6年度から令和8年度まで）」（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス、相談支援、地域生活支援事業の提供体制の確保に関する計画）の策定及び障害者計画の見直しを行うために実施しました。

(2) 調査の対象と調査方法

調査の種類	調査の対象	調査方法
I 在宅の方を対象とした調査	新宿区内在住の18歳以上で、身体障害者手帳または愛の手帳をお持ちの方、自立支援医療（精神通院医療）の給付を受けている方（精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方を含む）、手帳をお持ちではなく障害福祉サービスなどを利用している方、難病医療の給付を受けている方	配布は郵送方式、回答収集は郵送方式またはWeb回答方式
II 施設に入所している方を対象とした調査	新宿区内外の施設に入所している方で身体障害者手帳、愛の手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方	
III 児童（18歳未満）の保護者の方を対象とした調査	新宿区内在住の18歳未満で、身体障害者手帳または愛の手帳をお持ちの方、自立支援医療（精神通院医療）の給付を受けている方（精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方を含む）、手帳をお持ちではなく障害福祉サービスなどを利用している方、難病医療の給付を受けている方	
IV サービス事業者を対象とした調査	新宿区内にある障害福祉サービス等を提供している事業者	

(3) 調査期間

令和4年11月16日（水）～12月9日（金）の期間に実施しました。

(4) 配付・回収状況

調査票の種類	配付数	回収数	うち WEB 回答	有効回収数に 占めるWEB回答 の割合	白票 無効票	有効 回収数	有効 回収率
I 在宅の方 を対象とした 調査	4,962	2,413	354	14.8%	16	2,397	48.3%
II 施設に入 所している方 を対象とした 調査	213	130	11	8.5%	0	130	61.0%
III 児童（18 歳未満）の保 護者の方を対 象とした調査	1,107	627	199	32.2%	9	618	55.8%
IV サービス 事業者を対 象とした調査	201	156	57	37.7%	5	151	75.1%
全体	6,483	3,326	621	18.8%	30	3,296	50.8%

※ 配付後、宛先不明等の理由で返送された場合は、配付数から除いてあります。

◆ 調査結果の見方について

- ① 集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、100%にならない場合があります。
- ② 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を越えます。
- ③ 回答結果を見やすくするため、調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢などを一部簡略化している場合があります。
- ④ 障害別の集計では、2つ以上の障害がある方は、それぞれの障害の集計結果に含まれています。このため、障害別の集計を合計したのべ人数は、全体の人数よりも多くなります。
- ⑤ 前回調査比較は、令和元年度に実施した調査と比較をしています。
- ⑥ 障害別の集計表では、属性別で最も多くあげられた選択肢の数値に網掛けを入れています。
- ⑦ 属性別のサンプル数が少なく（30以下など）、標本誤差が大きいと考えられる場合は、結果は参考までの掲載とし、基本的に本文中では触れていません。

2 調査結果の概要

(1) 在宅の方を対象とした調査

●年齢（問3）

- ・全体では、「70代以上」が33.1%と最も多く、次いで「50代」が20.2%、60代が15.1%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害、難病・特定疾患では「70代以上」、知的障害では「20代以下」、精神障害では「50代」が多くなっています。

●手帳や医療券の種類（問5）

- ・「身体障害者手帳」が56.0%と最も多く、次いで「自立支援医療（精神通院医療）の給付」が18.6%、「愛の手帳」が15.4%などとなっています。
- ・主たる障害以外との重複について、身体障害では6.3%が難病医療の給付を受けています。知的障害では15.9%、精神障害では10.0%、高次脳機能障害では64.7%、難病・特定疾患では34.3%がそれぞれ身体障害者手帳を所持しています。

●医療的ケアの必要性（問8）

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は16.2%となっています。
- ・障害別では、全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

●主な介助者（問11）

- ・全体では、「配偶者・パートナー」が24.4%と最も多く、次いで「母親」が21.9%、「ホームヘルパー」が12.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害、難病・特定疾患では「配偶者・パートナー」、知的障害、精神障害では「母親」が多くなっています。

●主な介助者の年齢（問12）

- ・全体では、「75歳以上」が24.8%と最も多く、次いで「65～74歳」が23.9%、「50～59歳」が22.4%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害では「75歳以上」、知的障害と難病・特定疾患では「65～74歳」、精神障害では「50～59歳」が多くなっています。

●介助や支援をできなくなった場合（問14）

- ・全体では、「ホームヘルパー（居宅介護等）を利用する」が19.8%と最も多く、次いで「施設に入所する」が17.5%、「一緒に住んでいる家族に頼む」が16.5%などとなっています。「まだわからない」は24.0%です。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「ホームヘルパー（居宅介護等）を利用する」、知的障害は「グループホーム、福祉ホームに入居する」、精神障害は「まだわからない」が多くなっています。

●日常生活で困っていること（問 15）

- ・全体では、「将来に不安を感じている」が41.9%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」「災害時の避難に不安がある」が32.1%、「緊急時の対応に不安がある」が30.5%などとなっています。
- ・障害別では、「将来に不安を感じている」以外では、身体障害では「災害時の避難に不安がある」、知的障害では「役所などの手続きが難しい」、精神障害では「経済的に不安がある」、難病・特定疾患では「健康状態に不安がある」が多くなっています。

●気軽に相談するために必要なこと（問 17）

- ・「どんな相談にも対応できる総合窓口」が34.6%と最も多く、次いで「電話やFAXでの相談」が26.7%、「プライバシーの遵守」が24.3%などとなっています。

●過去1年間に利用した通信機器の機能・サービス（問 19）

- ・全体では、「電子メールの送受信」が46.1%と最も多く、次いで「ホームページやブログ、動画の閲覧」が44.4%、「SNSの利用（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）」が36.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患は「電子メールの送受信」、知的障害と精神障害は「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。

●日中の過ごし方（問 20）

- ・全体では、「特になにもしていない」が22.2%と最も多く、次いで「正社員・正職員として働いている（テレワークを含む）」が14.2%、「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」が11.5%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と精神障害は「特になにもしていない」、知的障害は「就労継続支援事業所（A型・B型）、福祉作業所などで働いている」、難病・特定疾患は「正社員・正職員として働いている（テレワークを含む）」が多くなっています。

●仕事上の困りごと（問 22）

- ・「収入が少ない」が34.9%と最も多く、次いで「体力的につらい」が20.4%、「精神的につらい」が14.6%などとなっています。「特にない」は27.8%です。

●就労のために必要な支援等（問 24）

- ・全体では、「自分に合った仕事を見つける支援」が23.4%と最も多く、次いで「職場の障害理解の促進」が20.8%、「就労に向けての相談支援」が20.6%などとなっています。「特にない」は14.5%です。
- ・障害別では、難病・特定疾患では「職場の障害理解の促進」が多くなっています。

●外出に関して困っていること（問 25）

- ・全体では、「建物の段差や階段があると移動が困難」が19.8%と最も多く、次いで「疲れたときの休憩場所がない」が19.7%、「歩道の段差や傾斜があると移動が困難」が18.8%などとなっています。「特にない」は31.0%です。
- ・障害別では、身体障害では「建物の段差や階段があると移動が困難」、知的障害では「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

●過去1年間の趣味や学習活動、スポーツなどの活動（問26）

- ・全体では、「スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング、ウォーキング、体操等を含む）」が31.6%と最も多く、次いで「コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動」が28.1%、「趣味のサークル活動などの学習活動」が10.7%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害、知的障害、精神障害は「スポーツ・軽度な身体活動」、難病・特定疾患は「コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動」が多くなっています。

●福祉サービスの利用状況、利用意向（問28）

- ・「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』は、「タクシー利用券」が29.8%、「居宅介護（ホームヘルプ）」が18.5%、「自立支援医療」が17.5%などとなっています。

	福祉サービス等	現在利用している	2～3年以内に利用したい	サービスの需要
1	タクシー利用券	20.7%	9.1%	29.8%
2	居宅介護（ホームヘルプ）	11.2%	7.3%	18.5%
3	自立支援医療	13.6%	3.9%	17.5%
4	補装具費の支給等	10.0%	5.9%	15.9%
5	相談支援事業	7.0%	7.6%	14.6%
6	日常生活用具給付事業	7.8%	6.5%	14.3%
7	短期入所（ショートステイ）	5.7%	8.0%	13.7%
8	移動支援事業	7.1%	5.0%	12.1%
9	共同生活援助（グループホーム）	4.8%	5.8%	10.6%
10	生活介護	5.8%	4.3%	10.1%

●サービス利用に関して困っていること（問29）

- ・「サービスに関する情報が少ない」が22.7%と最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が19.1%、「利用者負担（自己負担）が大きい」が8.3%などとなっています。「特になし」は36.5%です。

●災害が発生したときに困ること（問33）

- ・全体では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が41.6%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が31.9%、「一人では避難できない」が30.0%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害では「一人では避難できない」が最も多く、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」も多くなっています。身体障害、精神障害、難病・特定疾患では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が多くなっています。

●新型コロナウイルス感染症の影響（問35）

- ・全体では、「人との交流や外出の機会が減った」が57.4%と最も多く、次いで「運動不足により体力が落ちた」が35.4%、「精神的なストレスが増した」が30.8%などとなっています。「特になし」は15.6%です。

- ・障害別では、精神障害では「精神的なストレスが増した」が比較的多くなっています。

●新型コロナウイルス感染症に感染して困ったこと（問 36）

- ・「食料調達や薬の確保が困難」「外出制限、自宅待機で心身ともにストレス」「福祉サービスの利用が困難」「医療機関の受診が困難」「家事や介助が困難」「仕事に支障が出た」などの回答が多くあげられています。

●差別と感じる取扱いを受けた経験（問 37）

- ・全体では、「職場で」が4.3%と最も多く、次いで「公共交通、公共施設などで」が3.7%、「病院・診療所などで」が2.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患では「公共交通、公共施設などで」、知的障害と精神障害では「職場で」が多くなっています。

●障害者差別の解消のために力を入れるべきこと（問 39）

- ・全体では、「障害者の一般就労の促進」が25.7%と最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が22.9%、「障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信」が22.4%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害で「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が多くなっています。

●成年後見制度の利用意向（問 40）

- ・全体では、「利用は考えていない」が38.4%と最も多く、次いで「わからない」が35.2%、「今後利用したい」が8.9%、「現在、利用している」が1.9%となっています。
- ・障害別では、知的障害では「現在、利用している」「今後利用したい」が多くなっています。

●今後の生活の希望（問 42）

- ・全体では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が48.1%と最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が6.7%、「高齢者の入所施設に入所する」が4.9%などとなっています。「わからない」は21.9%です。
- ・障害別では、知的障害で「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。

●地域で安心して暮らすために重要な施策（問 43）

- ・全体では、「経済的支援の充実」が20.7%と最も多く、次いで「相談支援体制の充実」が19.3%、「医療に関するサービスの充実」が17.6%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と難病・特定疾患では「医療に関するサービスの充実」、知的障害では「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害では「経済的支援の充実」が多くなっています。

(2) 施設に入所している方を対象とした調査

●年齢（問3）

- ・全体では、「50代」が28.5%と最も多く、次いで「60代」が22.3%、「40代」が20.8%などとなっています。
- ・身体障害では「60代」、知的障害では「50代」が多くなっています。

●手帳の種類（問4）

- ・全体では、「愛の手帳」が67.7%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が42.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が2.3%、「これらの手帳は持っていない」が2.3%となっています。
- ・身体障害の方のうち、43.6%が愛の手帳を所持しており、知的障害のある方のうち、27.3%が身体障害者手帳を所持しています。

●施設のある地域（問5）

- ・全体では、「関東甲信越（東京都を除く）」が31.5%で最も多く、次いで「東京都（23区内を除く）」が20.8%、「新宿区内」が19.2%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害では「23区内」が比較的多くなっています。

●入所期間（問6）

- ・全体では、「20年以上」が33.8%で最も多く、次いで「5年以上～10年未満」が26.9%、「10年以上～20年未満」が16.9%などとなっています。
- ・障害別では、知的障害で「20年以上」が多くなっています。

●施設に入所した理由（問7）

- ・「家族による介助が難しくなったため」が55.4%で最も多く、次いで「常時介助が必要のため」が34.6%、「生活が保障され安心感があるため」が21.5%などとなっています。

●施設生活で困っていること（問10）

- ・全体では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が47.7%で最も多く、次いで「外出の機会が少ない」が36.9%、「家族とあまり会えない」が33.1%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害で「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。知的障害では「身の回りのことが自分では十分にできない」に次いで「家族とあまり会えない」が多くなっています。

●施設への要望（問11）

- ・全体では、「外出機会の増加」が43.8%で最も多く、次いで「日中活動の充実」が25.4%、「余暇活動の充実」が25.4%などとなっています。「特になし」は30.0%です。
- ・障害別では、身体障害で「外出機会の増加」が多く、「介護・看護の質の向上」「健康への配慮」なども多くなっています。

●医療的ケアの必要性（問 12）

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は 33.8%となっています。
- ・障害別では、身体障害で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

●成年後見制度の利用意向（問 18）

- ・全体では、「現在、利用している」が 20.8%、「今後利用したい」が 13.1%、「利用は考えていない」が 20.8%、「わからない」は 42.3%となっています。
- ・障害別では、「わからない」以外では、身体障害では「利用は考えていない」が、知的障害では「現在、利用している」が多くなっています。

●新型コロナウイルス感染症の影響（問 20）

- ・全体では、「人との交流や外出の機会が減った」が 66.9%で最も多く、次いで「家族の面会が制限された」が 59.2%、「精神的なストレスが増した」が 29.2%などとなっています。
- ・障害別では、「人との交流や外出の機会が減った」「家族の面会が制限された」以外では、身体障害では「精神的なストレスが増した」、知的障害では「感染した際、施設内で療養を行った」が多くなっています。

●今後の生活の希望（問 21）

- ・「現在の施設で生活したい」が 63.8%で最も多く、次いで「別の施設で暮らしたい」が 3.8%、「施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい」「施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい」が 2.3%となっています。「わからない」は 23.8%です。

●地域で安心して暮らすために重要な施策（問 22）

- ・全体では、「入所施設の整備・充実」が 30.8%で最も多く、次いで「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が 26.2%、「医療に関するサービスの充実」が 18.5%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害では「入所施設の整備・充実」、知的障害では「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

（3）児童（18歳未満）の保護者の方を対象とした調査

●年齢（問 3）

- ・全体では、「3～5歳」が 31.4%で最も多く、次いで「6～8歳」が 21.0%、「9～11歳」が 16.3%などとなっています。
- ・障害別では、精神障害で「15～17歳」、手帳・診断なしで「3～5歳」が多くなっています。

●手帳や医療券の種類（問5）

- ・全体では、「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が35.6%で最も多く、次いで「愛の手帳」が32.8%、「発達障害」が26.4%、「身体障害者手帳」が13.4%などとなっています。
- ・身体障害のある方のうち、42.2%が愛の手帳を所持しています。また、医療的ケア児のうち、60.3%が身体障害者手帳、38.2%が愛の手帳を所持しています。

●障害等に気づいたきっかけ（問8）

- ・全体では、「家族や周りの人が気づいた」が29.1%で最も多く、次いで「生まれてまもなく知らされた」が14.2%、「保育園、子ども園、幼稚園の先生が気づいた」が12.9%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と医療的ケア児で「生まれてまもなく知らされた」が多くなっています。

●医療的ケアの必要性（問9）

- ・全体では、回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は11.0%となっています。
- ・障害別では、身体障害、難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

●介助や支援についての悩み（問13）

- ・全体では、「精神的な負担が大きい」が45.4%で最も多く、次いで「子どもの特性による育てにくさを感じる」が45.1%、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が32.8%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と医療的ケア児では「何かあった時に介助を頼める人がいない」、発達障害と手帳・診断なしで「子どもの特性による育てにくさを感じる」が多くなっています。

●きょうだい児に関する悩み（問14）

- ・全体では、「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%で最も多く、次いで「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が60.6%、「きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない」が38.5%などとなっています。
- ・障害別では、医療的ケア児で「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が多くなっています。

●日常生活で困っていること（お子さんが困っていること）（問15）

- ・全体では、「将来に不安を感じる」が46.6%で最も多く、次いで「障害のため、身の回りのことが十分できない」が25.7%、「緊急時の対応に不安がある」が25.1%などとなっています。「特にない」は20.1%です。
- ・障害別では、身体障害と医療的ケア児で「障害のため、身の回りのことが十分できない」が多くなっています。

●気軽に相談するために必要なこと（問 17）

- ・全体では、「専門性の高い相談」が44.3%で最も多く、次いで「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が39.0%、「プライバシーの遵守」が26.4%などとなっています。
- ・障害別では、「専門性の高い相談」を除くと、精神障害と、手帳・診断なしで「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。

●通園・通学先（問 19）

- ・全体では、「小中学校等に在学中」が46.3%で最も多く、次いで「小学校入学前」が41.4%、「高等学校等に在学中」が11.7%などとなっています。
- ・障害別では、手帳・診断なしでは「小学校入学前」、精神障害では「高等学校等に在学中」が多くなっています。

【小学校入学前】

- ・「保育園」が37.9%で最も多く、次いで「幼稚園」が26.6%、「子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関」が23.4%などとなっています。

【小中学校等に在学中】

- ・全体では、「小学校の通常の学級」が26.6%で最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」が21.0%、「小学校の通常のまなびの教室（特別支援教室）」が17.5%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と医療的ケア児では「特別支援学校の小学部」、知的障害では「小学校の特別支援学級」が多くなっています。

【高等学校等に在学中】

- ・「特別支援学校の高等部」が51.4%で最も多く、次いで「高等学校（定時制・通信制を含む）」が45.8%、「その他の学校」が1.4%となっています。

●通園生活等で困っていること（問 20）

- ・全体では、「本人の成長が心配」が53.1%で最も多く、次いで「子どもの将来に不安がある」が48.8%、「周囲の子どもとの関係が心配」が47.7%などとなっています。
- ・障害別では、精神障害と手帳・診断なしで「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

●通学生活等で困っていること（問 22）

- ・全体では、「子どもの将来に不安がある」が64.0%で最も多く、次いで「本人の成長が心配」が45.9%、「今後の進路について迷っている」が43.6%などとなっています。
- ・障害別では、手帳・診断なしで「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

●高等学校（高等部）卒業後の進路（お子さんの希望）（問 26）

- ・全体では、「大学や短期大学へ通う」が43.1%で最も多く、次いで「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が23.6%、「専門学校や専修学校へ通う」が19.4%などとなっています。

- ・障害別では、知的障害で「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が多くなっています。

●外出に関して困っていること（問 28）

- ・全体では、「外出するのに支援が必要である」が 22.5%で最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が 19.4%、「駅構内の移動や乗り換えが困難」が 11.5%などとなっています。「特にない」は 42.7%です。
- ・障害別では、身体障害、知的障害、医療的ケア児で「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

●過去1年間の趣味や学習、スポーツなどの活動（問 29）

- ・「スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング、ウォーキング、体操等を含む）」が 58.1%で最も多く、次いで「コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動」が 36.7%、「趣味のサークル活動などの学習活動」が 13.4%などとなっています。

●福祉サービスの利用状況、利用意向（問 30）

- ・「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』は、「放課後等デイサービス」が 50.0%、「児童発達支援」が 41.7%、「移動支援事業」が 21.2%などとなっています。

	福祉サービス等	現在利用している	2～3年以内に利用したい	サービスの需要
1	放課後等デイサービス	30.6%	19.4%	50.0%
2	児童発達支援	38.0%	3.7%	41.7%
3	移動支援事業	11.8%	9.4%	21.2%
4	日中一時支援事業（障害児等タイムケア）	3.9%	14.2%	18.1%
5	短期入所（ショートステイ）	2.6%	11.5%	14.1%
6	相談支援事業	3.1%	9.5%	12.6%
7	自立支援医療	4.7%	7.4%	12.1%
8	タクシー利用券	9.4%	1.6%	11.0%
9	補装具費の支給等	8.9%	1.5%	10.4%
10	日中一時支援事業（日中ショート）	1.6%	8.1%	9.7%

●サービス利用に関して困っていること（問 31）

- ・全体では、「サービスに関する情報が少ない」が 39.3%で最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が 22.7%、「利用できる回数や日数が少ない」が 21.2%などとなっています。「特にない」は 29.1%です。
- ・障害別では、医療的ケア児で「事業者との利用日等の調整が大変」が多くなっています。

●災害が発生したときに困ること（問 34）

- ・全体では、「一人では避難できない」が 40.5%で最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が 35.0%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が 30.9%などとなっています。「特にない」は 23.0%です。

- ・障害別では、精神障害で「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が多くなっています。また、医療的ケア児では「一人では避難できない」に次いで「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が多くなっています。

●新型コロナウイルス感染症の影響（問 36）

- ・「人との交流や外出の機会が減った」が63.6%で最も多く、次いで「精神的なストレスが増した」が32.7%、「運動不足により体力が落ちた」が29.4%などとなっています。

●新型コロナウイルス感染症に感染して困ったこと（問 37）

- ・「外出制限、自宅待機で心身ともにストレス」「家庭内隔離が困難」「家事や介助が困難」「食料調達、日用品の確保が困難」「福祉サービスの利用が困難」「医療機関の受診が困難」「入院関連」「仕事に支障が出た」などの回答が多くあげられています。

●差別と感じる取扱いを受けた経験（問 38）

- ・「学校、教育の場面で」が7.9%で最も多く、次いで「公共交通、公共施設などで」「保育園、子ども園、幼稚園などで」が6.0%、「近隣、地域で」が5.3%などとなっています。「特になし」は64.7%です。

●障害者差別の解消のために力を入れるべきこと（問 40）

- ・「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が48.2%で最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が40.5%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が35.9%などとなっています。

●将来の生活の希望（問 43）

- ・全体では、「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が34.3%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が6.1%、「障害者の入所施設に入所する」が2.8%となっています。「わからない」は44.3%です。
- ・障害別では、身体障害と知的障害で「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が最も多く、知的障害では「グループホーム、福祉ホームで生活する」も多くなっています。

●地域で安心して暮らすために重要な施策（問 44）

- ・全体では、「教育・療育の充実」が36.9%で最も多く、次いで「雇用・就労支援の充実」が29.8%、「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が29.6%などとなっています。
- ・障害別では、身体障害と知的障害で「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害で「雇用・就労支援の充実」、医療的ケア児で「医療的ケアの必要な障害児に対する支援の充実」が多くなっています。

(4) サービス事業者を対象とした調査

●経営主体（問1）

- ・「株式会社・有限会社」が52.3%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が17.9%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が13.2%などとなっています。

●提供しているサービス（問3）

- ・「居宅介護」が34.4%で最も多く、次いで「重度訪問介護」が25.8%、「移動支援事業」が21.2%などとなっています。

●事業収支（問6）

- ・「黒字だった」が26.5%で最も多く、次いで「ほぼ収支が均衡した」が20.5%、「やや赤字だった」「大幅な赤字だった」が17.2%、「わからない」が15.9%となっています。

●経営上の課題（問7）

- ・「職員の確保が難しい」が71.5%で最も多く、次いで「事務作業量が多い」が45.7%、「収益の確保が困難」が43.0%などとなっています。

●職員の充足状況（問9）

- ・「やや不足している」が54.3%で最も多く、次いで「非常に不足している」が23.2%、「十分である」が19.2%、「わからない」が2.0%などとなっています。

●職員が困っていること（問12）

- ・「収入が少ない」が44.4%で最も多く、次いで「必要な事務作業が多い」が41.7%、「精神的にきつい」が33.8%などとなっています。

●サービス提供の課題（問13）

- ・「量的に、利用者の希望通り提供できていない」が38.4%で最も多く、次いで「困難事例への対応が難しい」が34.4%、「休日や夜間の対応が難しい」「変更やキャンセルが多い」が30.5%などとなっています。

●新規参入の予定（問16）

- ・「放課後等デイサービス」が7.3%と最も多く、次いで「就労継続支援（B型）」が6.0%、「居宅介護」「共同生活援助（グループホーム）」「児童発達支援」が4.6%などとなっています。

●新規参入にあたっての課題（問17）

- ・「福祉人材の確保」が64.5%で最も多く、次いで「利益（採算）の見込み」が56.5%、「土地（賃貸借物件を含む）の確保」が33.9%などとなっています。

●障害者が暮らしやすい地域づくりのために力を入れるべきこと（問24）

- ・「関係機関の連携強化」が72.8%で最も多く、次いで「相談支援事業者への助言・指導、人材育成」が50.3%、「地域住民への普及啓発」が37.7%などとなっています。

●新型コロナウイルス感染症の影響（問25）

- ・「職員の勤務調整に困難が生じた」が58.3%で最も多く、次いで「通所控えにより給付費が減少した」が42.4%、「感染対策に必要な物資の調達に困難が生じた」が26.5%などとなっています。

●障害者施策に期待すること（問26）

- ・「事務手続きの簡素化」が62.3%で最も多く、次いで「福祉人材の確保のための方策」が57.6%、「地域生活基盤の充実のための方策」が31.1%などとなっています。

第2章 調査結果の詳細

I 在宅の方を対象とした調査

<調査票の回答者>

◆「あて名ご本人」が77.0%

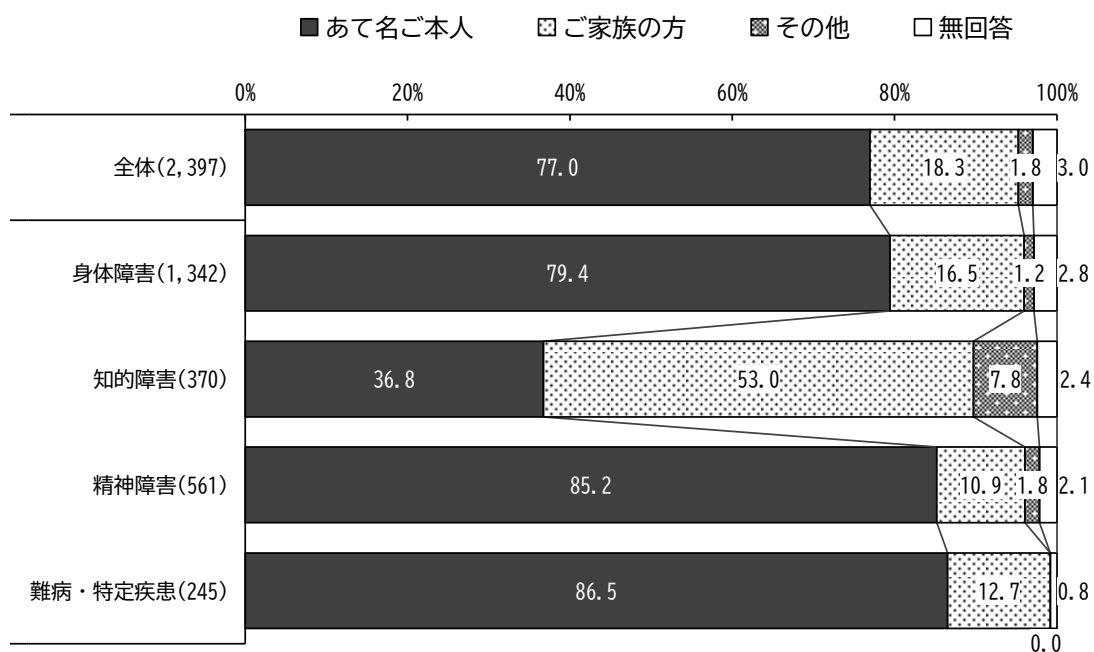
【全体】

・「あて名ご本人」が77.0%、「ご家族の方」が18.3%となっています。

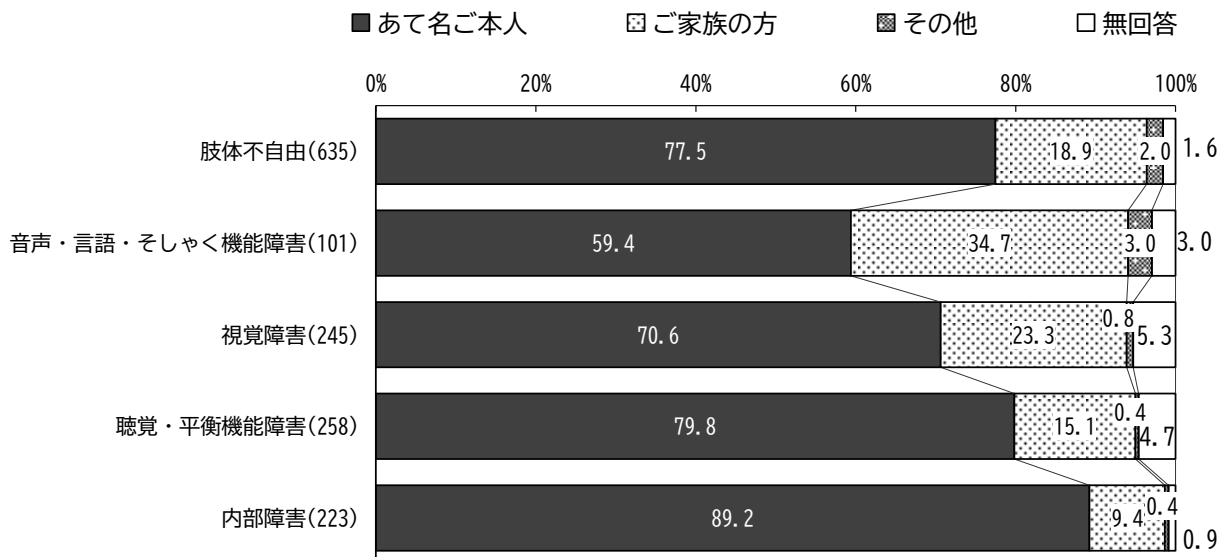
【障害別】

・知的障害では「ご家族の方」が多くなっています。

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)



【身体障害の種類別】



1 ご本人について

(1) 性別

◆「男性」が51.3%、「女性」が46.9%

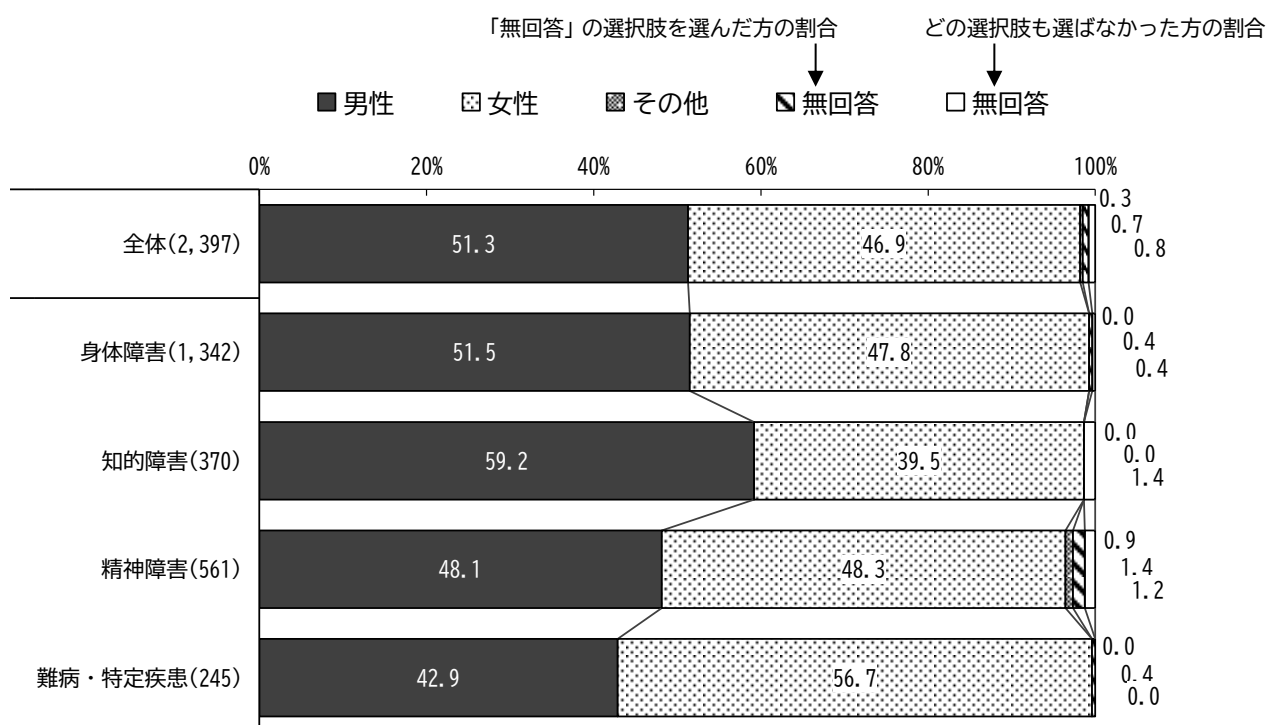
【全体】

・「男性」が51.3%、「女性」が46.9%、「その他」が0.3%となっています。

【障害別】

・知的障害で「男性」、難病・特定疾患で「女性」が多くなっています。

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)



※この質問は選択肢を4つ設定「1 男性」「2 女性」「3 その他」「4 無回答」

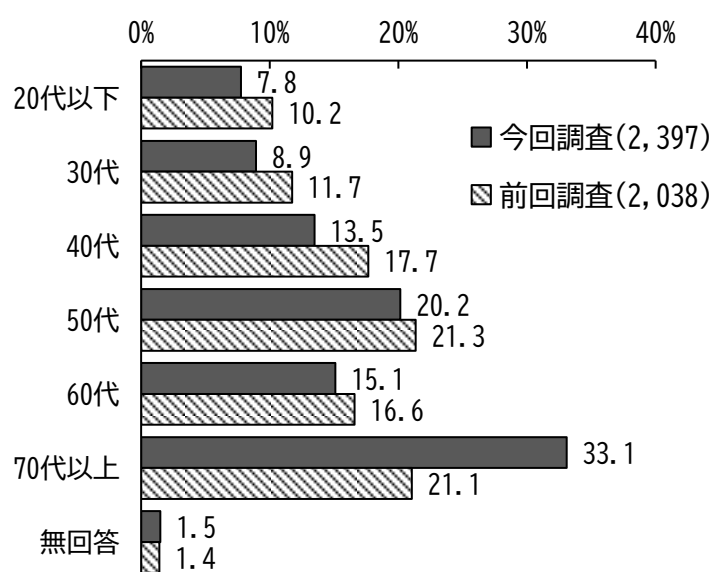
(2) 年齢

◆ 「70代以上」が33.1%

【全体】

- ・「70代以上」が33.1%と最も多く、次いで「50代」が20.2%、60代が15.1%などとなっています。

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和4年11月1日現在の満年齢をお書きください。



【障害別】

- ・身体障害、難病・特定疾患では「70代以上」、知的障害では「20代以下」、精神障害では「50代」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
20代以下	3.2	29.2	10.9	4.1
30代	4.6	22.2	13.5	8.2
40代	9.8	18.9	20.0	15.9
50代	20.3	15.1	24.6	23.7
60代	15.9	9.2	16.9	17.6
70代以上	45.4	3.5	11.6	30.6
無回答	0.7	1.9	2.5	0.0

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・言語機能	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
20代以下	5.8	3.0	1.6	2.3	0.9
30代	4.9	5.9	2.4	5.4	5.4
40代	12.8	10.9	6.9	5.4	9.0
50代	27.6	24.8	14.3	8.5	18.8
60代	19.7	15.8	11.8	11.6	13.5
70代以上	29.0	39.6	62.0	65.1	52.0
無回答	0.3	0.0	0.8	1.6	0.4

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
20代以下	1.5	9.4	11.1	32.1	11.8	0.0
30代	11.3	13.4	7.7	21.1	11.8	7.7
40代	18.8	21.3	24.8	23.9	35.3	3.8
50代	29.3	25.2	26.5	15.6	23.5	23.1
60代	24.8	18.9	15.4	3.7	0.0	34.6
70代以上	9.8	9.8	13.7	0.9	11.8	26.9
無回答	4.5	2.0	0.9	2.8	5.9	3.8

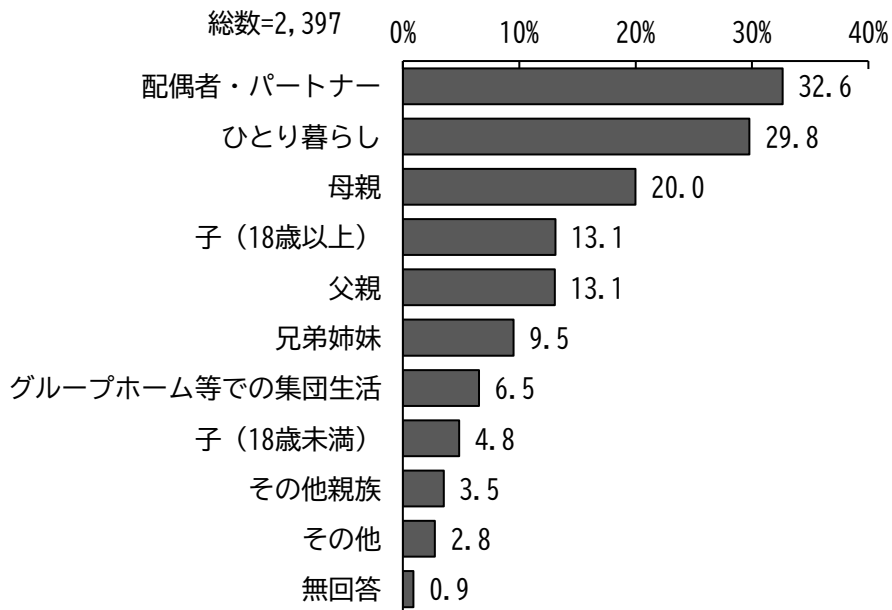
(3) 同居家族

◆「配偶者・パートナー」が32.6%、「ひとり暮らし」が29.8%

【全体】

・「配偶者・パートナー」が32.6%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が29.8%、「母親」が20.0%などとなっています。

問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)



【障害別】

・身体障害、難病・特定疾患では「配偶者・パートナー」、知的障害では「母親」、精神障害では「ひとり暮らし」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難特定病・疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
父親	7.7	47.0	12.3	5.3
母親	12.7	63.0	22.6	9.8
配偶者・パートナー	40.8	1.1	23.4	47.3
子 (18歳未満)	4.5	0.8	6.1	7.8
子 (18歳以上)	17.4	0.3	6.6	15.5
兄弟姉妹	6.3	27.6	10.3	4.1
その他親族	3.7	4.1	3.0	3.3
ひとり暮らし	30.5	8.6	38.9	29.8
グループホーム等での集団生活	3.7	23.8	7.1	1.6
その他	2.8	1.9	2.7	3.7
無回答	0.6	0.5	1.1	0.8

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・ 言語機能	視覚障害	聴覚・ 平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
父親	12.4	9.9	4.1	5.4	4.0
母親	19.1	18.8	8.2	7.0	6.7
配偶者・パートナー	38.1	44.6	44.9	44.6	40.8
子(18歳未満)	5.5	4.0	3.7	3.5	2.2
子(18歳以上)	15.7	17.8	14.3	19.8	18.4
兄弟姉妹	7.7	6.9	6.1	4.3	4.9
その他親族	3.9	5.0	2.4	3.9	4.0
ひとり暮らし	28.7	19.8	34.3	26.4	35.9
グループホーム等での集団生活	4.7	6.9	2.4	3.5	2.2
その他	3.0	6.9	2.9	2.3	2.7
無回答	0.2	0.0	0.8	1.2	0.4

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
父親	13.5	7.9	12.0	23.9	17.6	3.8
母親	21.8	17.3	23.1	42.2	29.4	3.8
配偶者・パートナー	14.3	28.7	20.5	12.8	29.4	23.1
子(18歳未満)	4.5	7.5	6.8	4.6	0.0	3.8
子(18歳以上)	5.3	7.5	6.8	2.8	5.9	7.7
兄弟姉妹	11.3	8.3	12.8	18.3	5.9	0.0
その他親族	1.5	3.5	0.9	5.5	0.0	3.8
ひとり暮らし	39.1	43.3	46.2	33.0	17.6	46.2
グループホーム等での集団生活	12.0	3.9	0.9	6.4	5.9	11.5
その他	1.5	1.6	1.7	6.4	5.9	0.0
無回答	2.3	0.8	0.9	0.0	5.9	3.8

2 障害や健康の状況について

(1) 手帳や医療券の種類

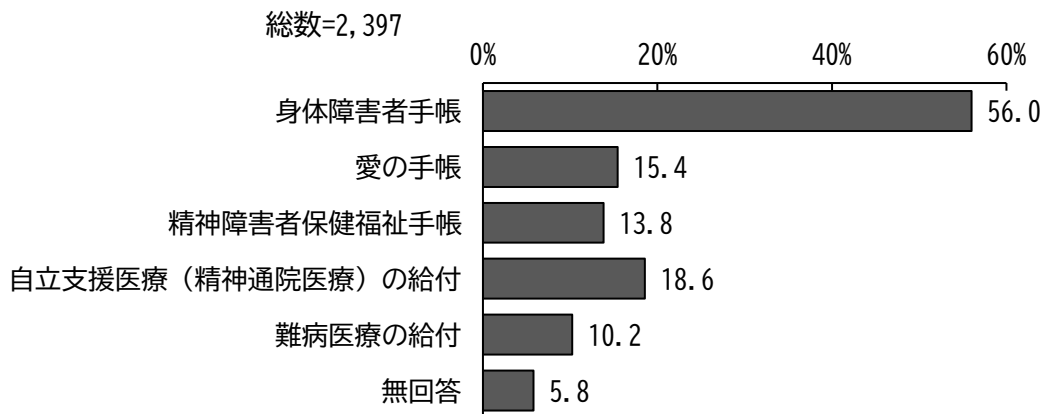
◆「身体障害者手帳」が56.0%

①手帳や医療券の種類

【全体】

- ・「身体障害者手帳」が56.0%と最も多く、次いで「自立支援医療（精神通院医療）の給付」が18.6%、「愛の手帳」が15.4%などとなっています。

問5 あなたが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度も選択してください。(〇はいくつでも)



【重複障害の状況】

- ・主たる障害以外との重複について、身体障害では6.3%が難病医療の給付を受けています。知的障害では15.9%、精神障害では10.0%、高次脳機能障害では64.7%、難病・特定疾患では34.3%がそれぞれ身体障害者手帳を所持しています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	難病・特定疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(17)	(245)
身体障害者手帳	100.0	15.9	10.0	64.7	34.3
愛の手帳	4.4	100.0	9.8	5.9	1.6
精神障害者保健福祉手帳	2.4	7.0	59.0	76.5	2.9
自立支援医療（精神通院医療）の給付	3.1	11.6	79.3	64.7	4.1
難病医療の給付	6.3	1.1	2.0	5.9	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

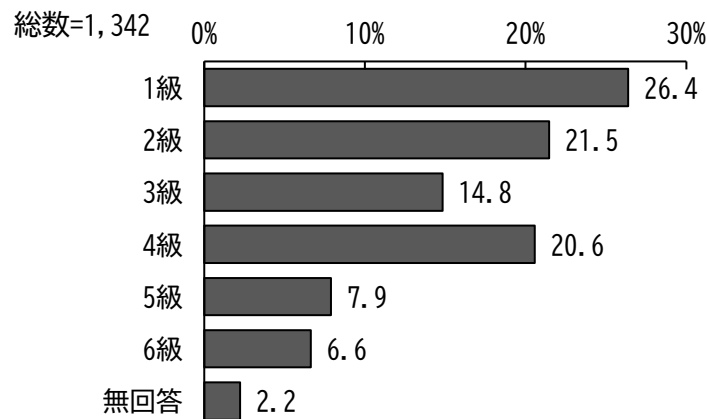
【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ 音 し や く 機 能 ・ 言 語 能 ・	視覚障害	平聴 衡覚 機・ 能 障 害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
身体障害者手帳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
愛の手帳	7.1	6.9	2.9	2.3	1.8
精神障害者保健福祉手帳	2.8	5.9	0.8	1.9	1.3
自立支援医療（精神通院医療）の給付	2.7	6.9	1.2	0.8	5.8
難病医療の給付	7.7	3.0	6.5	3.5	7.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②身体障害者手帳の等級

・「1級」が26.4%と最も多く、次いで「2級」が21.5%、「4級」が20.6%などとなっています。



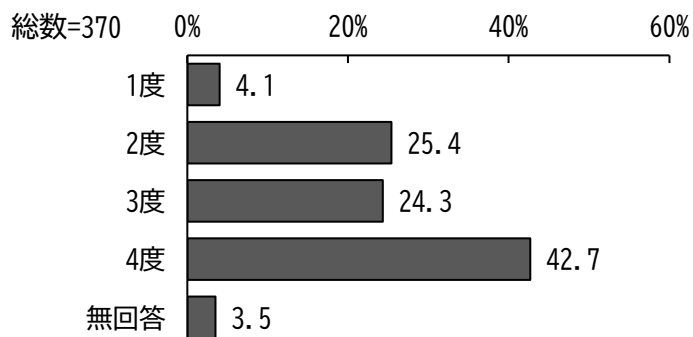
【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ 音 し や く 機 能 ・ 言 語 能 ・	視覚障害	平聴 衡覚 機・ 能 障 害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
1級	24.3	30.7	33.5	12.0	53.4
2級	21.1	21.8	27.3	27.5	10.3
3級	18.1	23.8	7.3	8.5	12.6
4級	20.3	13.9	8.6	29.1	17.0
5級	9.3	4.0	18.0	1.2	2.2
6級	5.2	5.0	2.4	19.0	1.3
無回答	1.7	1.0	2.9	2.7	3.1

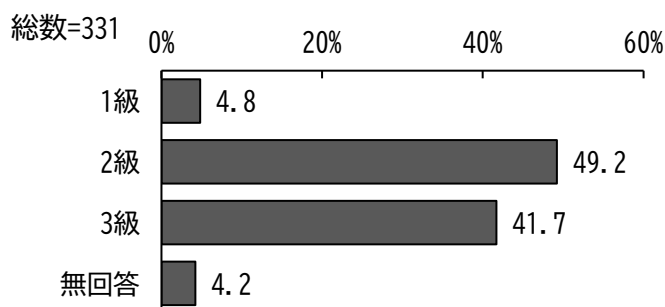
③愛の手帳の程度

・「4度」が42.7%と最も多く、次いで「2度」が25.4%、「3度」が24.3%などとなっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

・「2級」が49.2%と最も多く、次いで「3級」が41.7%、「1級」が4.8%となっています。



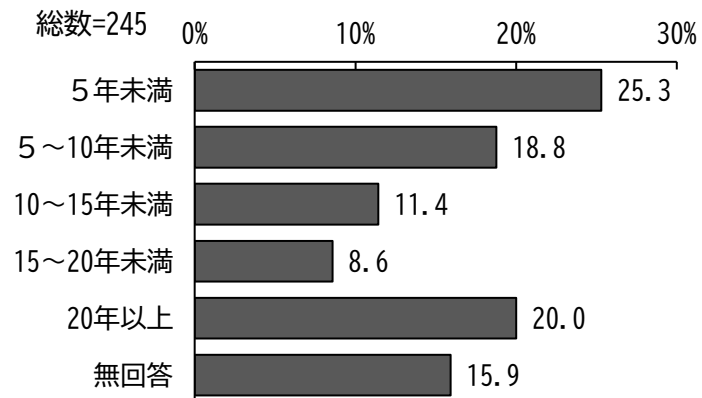
【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害高次脳機能	依存症
総数	(101)	(149)	(69)	(77)	(13)	(7)
1級	3.0	2.7	4.3	3.9	7.7	14.3
2級	77.2	43.6	50.7	37.7	38.5	28.6
3級	15.8	51.7	44.9	51.9	46.2	42.9
無回答	4.0	2.0	0.0	6.5	7.7	14.3

⑤難病の診断を受けてからの期間

・「5年未満」が25.3%と最も多く、次いで「20年以上」が20.0%、「5～10年未満」が18.8%などとなっています。

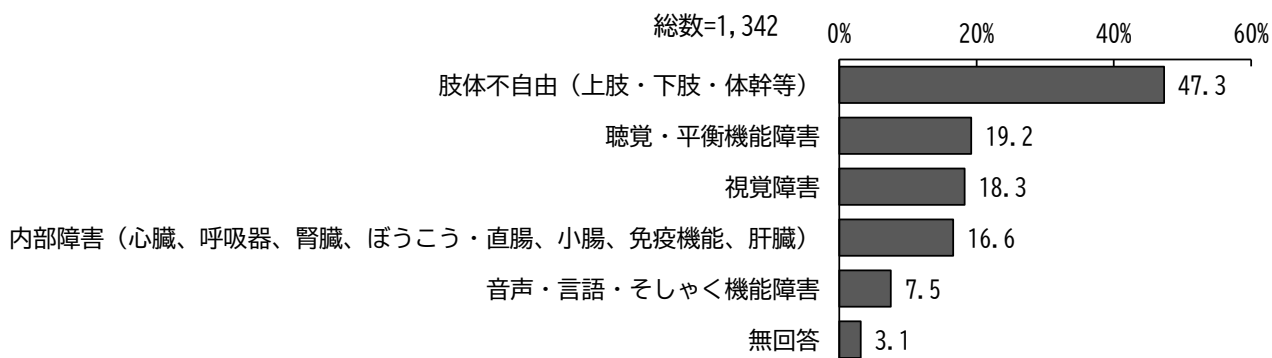


(2) 身体障害の種類

◆「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が47.3%

・「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が47.3%と最も多く、次いで「聴覚・平衡機能障害」が19.2%、「視覚障害」が18.3%などとなっています。

問6 【問5で「身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。】どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)



(3) 精神障害の種類

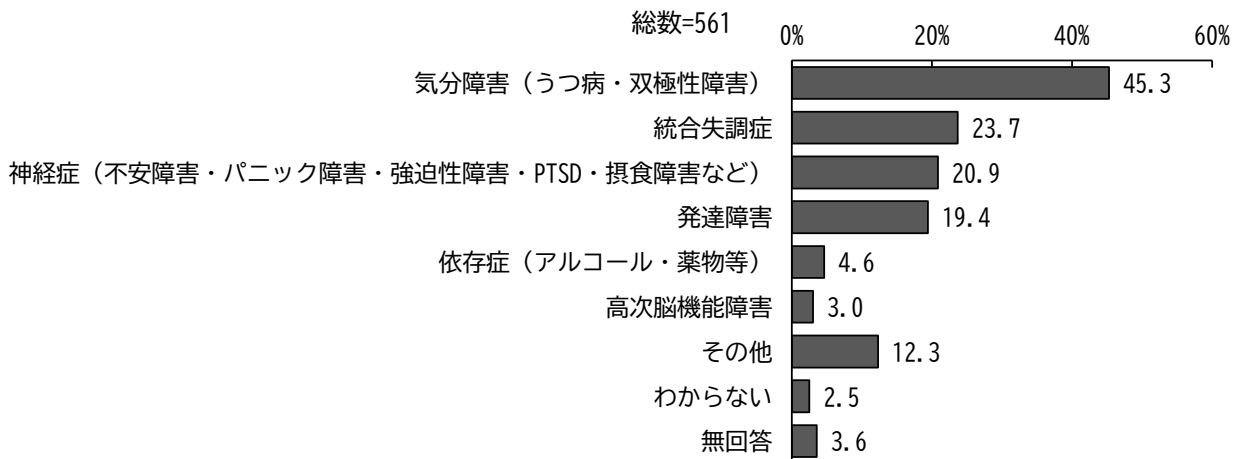
◆「気分障害（うつ病・双極性障害）」が45.3%

①精神障害の種類

【全体】

・「気分障害（うつ病・双極性障害）」が45.3%と最も多く、次いで「統合失調症」が23.7%、「神経症（不安障害・パニック障害・強迫性障害・PTSD・摂食障害など）」が20.9%などとなっています。

問7 【問5で「精神障害者保健福祉手帳」または「自立支援医療（精神通院医療）の給付」、もしくは両方を回答された方にお聞きます。】どのような障害がありますか。（○はいくつでも）



【精神障害の種類別】

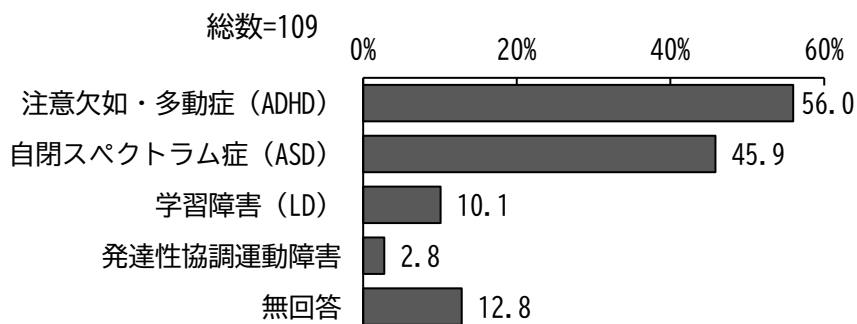
単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
統合失調症	100.0	9.1	18.8	11.9	5.9	15.4
気分障害	17.3	100.0	58.1	35.8	17.6	50.0
神経症	16.5	26.8	100.0	21.1	17.6	23.1
発達障害	9.8	15.4	19.7	100.0	11.8	11.5
高次脳機能障害	0.8	1.2	2.6	1.8	100.0	3.8
依存症	3.0	5.1	5.1	2.8	5.9	100.0

②発達障害の診断名

【全体】

- ・「注意欠如・多動症（ADHD）」が56.0%と最も多く、次いで「自閉スペクトラム症（ASD）」が45.9%、「学習障害（LD）」が10.1%などとなっています。



【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害高次脳機能	依存症
総数	(13)	(39)	(23)	(109)	(2)	(3)
自閉スペクトラム症 (ASD)	15.4	33.3	34.8	45.9	50.0	33.3
注意欠如・多動症 (ADHD)	53.8	69.2	52.2	56.0	100.0	66.7
学習障害 (LD)	15.4	17.9	13.0	10.1	0.0	66.7
発達性協調運動障害	0.0	0.0	4.3	2.8	50.0	0.0
無回答	15.4	10.3	21.7	12.8	0.0	0.0

(4) 医療的ケアの必要性

◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が16.2%

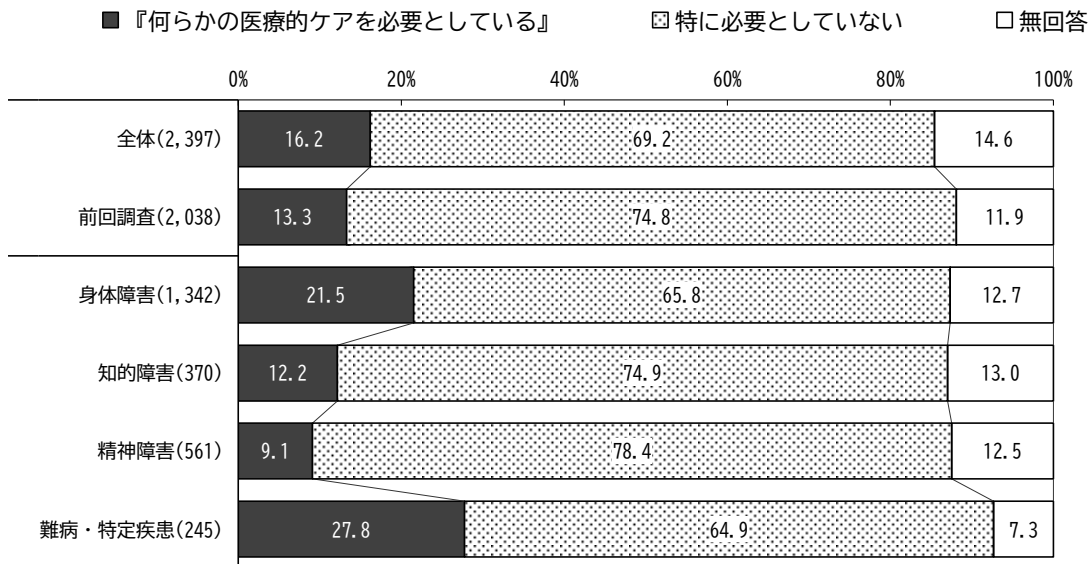
【全体】

- ・回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は16.2%となっています。

【障害別】

- ・全体と比較して、身体障害と難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

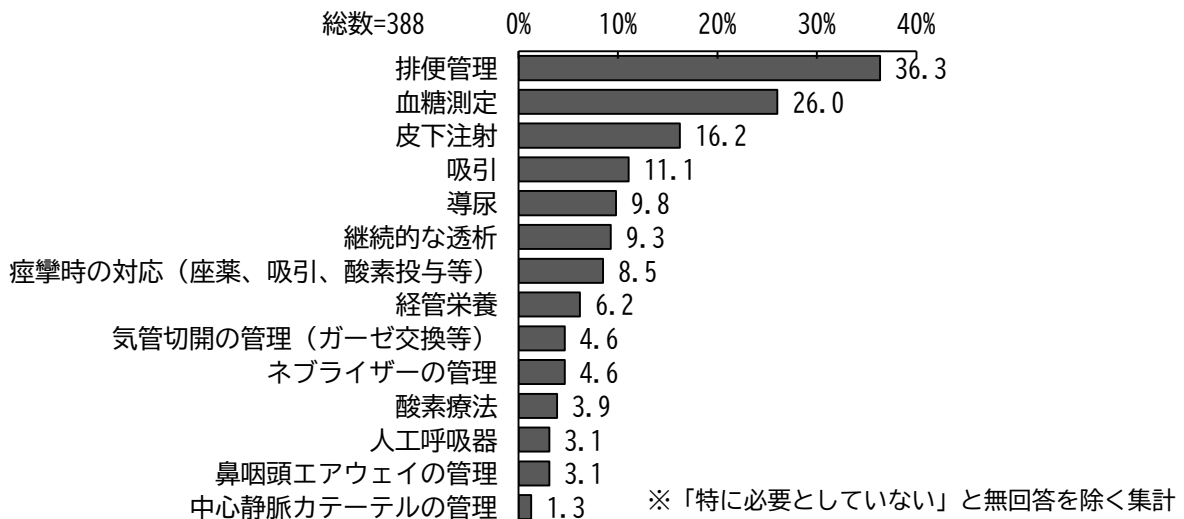
問8 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。(〇はいくつでも)



※前回は「はい」「いいえ」の択一形式の質問

【何らかの医療的ケアが必要と回答した方のみの集計】

- ・「排便管理」が36.3%と最も多く、次いで「血糖測定」が26.0%、「皮下注射」が16.2%などとなっています。



【障害別】

- ・知的障害で「排便管理」が多くなっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(289)	(45)	(51)	(68)
人工呼吸器	3.8	4.4	2.0	5.9
気管切開の管理（ガーゼ交換等）	6.2	6.7	0.0	2.9
鼻咽頭エアウェイの管理	3.8	2.2	2.0	1.5
酸素療法	4.5	6.7	2.0	5.9
吸引	13.1	17.8	9.8	11.8
ネブライザーの管理	5.5	8.9	3.9	2.9
経管栄養	7.6	13.3	2.0	5.9
中心静脈カテーテルの管理	1.7	0.0	0.0	0.0
皮下注射	11.8	2.2	21.6	32.4
血糖測定	26.3	8.9	27.5	22.1
継続的な透析	12.1	0.0	2.0	4.4
導尿	11.8	8.9	0.0	5.9
排便管理	37.7	51.1	27.5	30.9
痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）	7.6	33.3	19.6	4.4

※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

【身体障害の種類別】

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	肢体 不 自 由	障 そ 音 害 し 声 や ・ 言 機 語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 衡 覚 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(147)	(42)	(34)	(35)	(95)
人工呼吸器	7.5	7.1	2.9	0.0	2.1
気管切開の管理（ガーゼ交換等）	6.8	26.2	0.0	5.7	3.2
鼻咽頭エアウェイの管理	2.7	11.9	2.9	5.7	4.2
酸素療法	5.4	2.4	8.8	5.7	5.3
吸引	17.7	31.0	5.9	20.0	9.5
ネブライザーの管理	6.8	14.3	5.9	8.6	4.2
経管栄養	14.3	16.7	2.9	8.6	3.2
中心静脈カテーテルの管理	0.0	0.0	2.9	0.0	4.2
皮下注射	12.9	7.1	14.7	8.6	13.7
血糖測定	19.7	11.9	58.8	42.9	23.2
継続的な透析	3.4	0.0	5.9	0.0	33.7
導尿	14.3	9.5	0.0	17.1	11.6
排便管理	51.0	54.8	11.8	34.3	31.6
痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）	13.6	11.9	8.8	2.9	1.1

※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

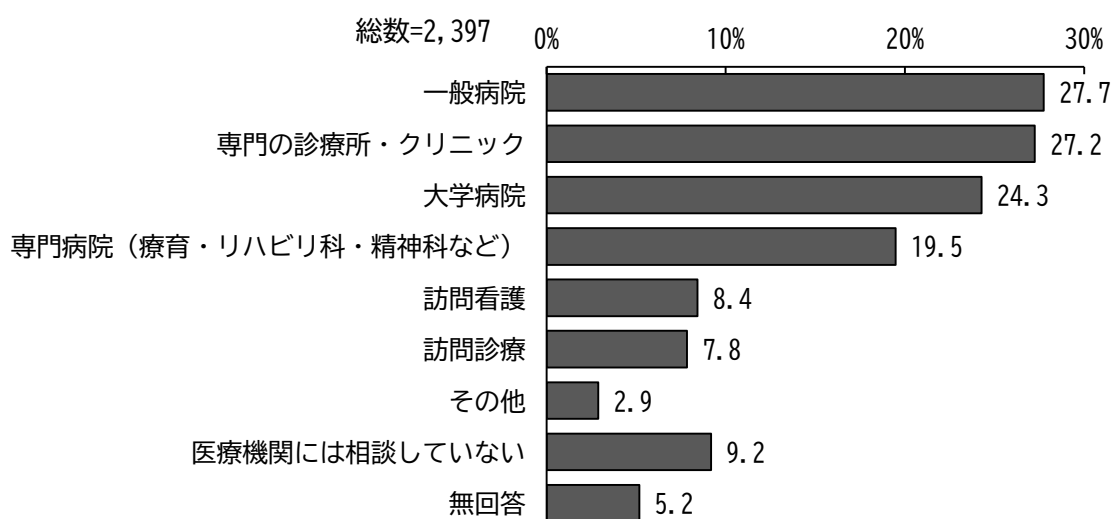
(5) 治療や相談をしている医療機関

◆「一般病院」が27.7%、次いで「専門の診療所・クリニック」が27.2%

【全体】

・「一般病院」が27.7%と最も多く、次いで「専門の診療所・クリニック」が27.2%、「大学病院」が24.3%などとなっています。

問9 あなたは、障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。
(〇はいくつでも)



【障害別】

・身体障害では「一般病院」、知的障害は「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」、精神障害では「専門の診療所・クリニック」、難病・特定疾患では「大学病院」が多くなっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）	14.0	25.7	40.6	8.2
専門の診療所・クリニック	22.1	24.1	46.9	15.1
一般病院	33.0	24.3	14.4	34.7
大学病院	27.9	17.8	15.2	45.7
訪問診療	10.5	8.1	3.2	10.2
訪問看護	9.6	7.6	9.3	11.0
その他	3.4	2.4	3.4	2.4
医療機関には相談していない	11.0	15.1	0.9	3.7
無回答	5.0	6.2	2.1	2.0

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	音声・言語・聴覚・聴覚機能障害	視覚障害	平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）	20.6	31.7	8.6	8.5	13.0
専門の診療所・クリニック	19.4	17.8	29.4	22.9	28.3
一般病院	32.6	27.7	33.1	30.6	35.0
大学病院	28.0	23.8	29.4	21.7	36.8
訪問診療	16.7	26.7	8.6	8.1	7.6
訪問看護	14.3	13.9	6.9	7.8	9.9
その他	4.4	4.0	2.9	3.5	2.7
医療機関には相談していない	10.9	9.9	8.2	19.4	0.0
無回答	3.3	3.0	5.3	7.0	1.3

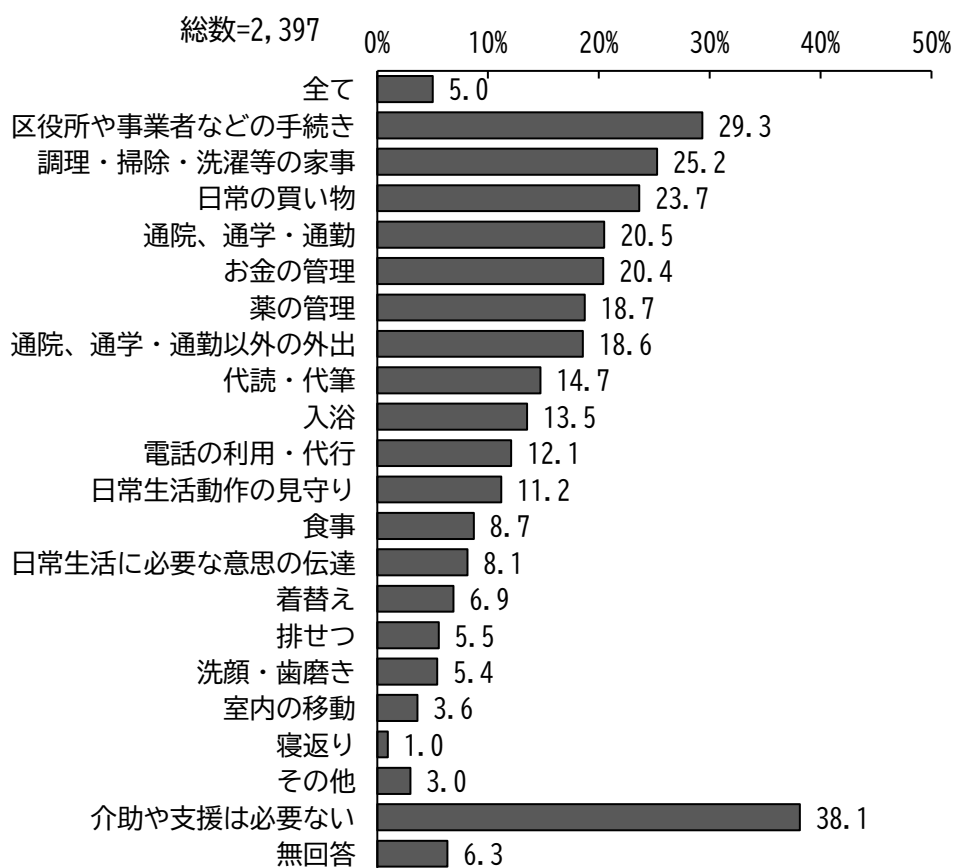
(6) 介助や支援が必要な場面

◆「区役所や事業者などの手続き」が29.3%

【全体】

- ・「区役所や事業者などの手続き」が29.3%と最も多く、次いで「調理・掃除・洗濯等の家事」が25.2%、「日常の買い物」が23.7%などとなっています。「全て」は5.0%、「介助や支援は必要ない」は38.1%となっています。

問10 あなたは、毎日の生活の中のどのような場面で、介助や支援が必要ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

・知的障害で「区役所や事業者などの手続き」、「お金の管理」などが多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
全て	6.3	12.4	2.9	3.3
食事	9.1	15.9	6.4	5.7
排せつ	5.9	11.6	2.0	6.1
入浴	15.9	18.6	6.2	13.5
寝返り	1.3	0.5	0.2	1.6
着替え	8.3	13.5	2.3	7.8
調理・掃除・洗濯等の家事	24.9	47.6	22.6	18.4
室内の移動	5.4	2.4	1.1	4.5
洗顔・歯磨き	4.9	15.9	2.9	3.3
代読・代筆	15.1	36.8	6.2	9.4
電話の利用・代行	12.5	28.9	4.3	5.3
お金の管理	12.9	63.5	19.6	8.6
日常の買い物	24.9	41.1	16.8	19.2
通院、通学・通勤	22.4	38.1	13.7	13.9
通院、通学・通勤以外の外出	19.7	38.1	10.7	12.7
日常生活に必要な意思の伝達	5.8	28.4	6.8	2.0
日常生活動作の見守り	10.4	25.1	8.4	8.2
薬の管理	14.3	47.0	18.4	12.7
区役所や事業者などの手続き	27.0	64.6	22.8	16.3
その他	3.2	1.9	3.9	1.2
介助や支援は必要ない	35.9	8.6	44.4	61.2
無回答	6.7	2.7	5.0	4.1

【年齢別】

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	18~39歳	40~64歳	65歳以上
総数	(400)	(1,018)	(943)
全て	9.0	3.4	5.0
食事	10.3	8.3	8.5
排せつ	7.3	5.1	5.4
入浴	12.3	12.5	15.3
寝返り	1.0	0.7	1.3
着替え	7.3	7.3	6.5
調理・掃除・洗濯等の家事	33.5	23.1	24.1
室内の移動	3.3	2.9	4.7
洗顔・歯磨き	9.3	5.2	4.0
代読・代筆	19.5	12.3	15.5
電話の利用・代行	17.0	9.6	12.8
お金の管理	39.3	18.4	14.8
日常の買い物	27.3	19.7	26.6
通院、通学・通勤	24.8	18.1	21.7
通院、通学・通勤以外の外出	24.5	16.5	18.5
日常生活に必要な意思の伝達	15.3	8.5	4.8
日常生活動作の見守り	16.5	9.2	11.3
薬の管理	29.0	15.5	17.7
区役所や事業者などの手続き	41.8	25.0	28.6
その他	2.0	3.1	3.4
介助や支援は必要ない	32.3	45.8	33.3
無回答	2.5	4.6	9.2

【身体障害の種類別】

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害しや・音声・言語機能	視覚障害	平衡機能・聴覚障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
全て	11.5	13.9	4.9	3.5	3.1
食事	11.5	17.8	10.2	8.5	6.7
排せつ	9.4	10.9	2.9	4.3	4.9
入浴	22.7	28.7	12.7	13.2	10.3
寝返り	2.4	3.0	0.4	0.8	0.9
着替え	13.4	16.8	6.1	5.8	4.9
調理・掃除・洗濯等の家事	30.6	33.7	30.6	23.3	17.9
室内の移動	7.7	10.9	6.1	4.7	4.9
洗顔・歯磨き	7.4	11.9	2.4	4.7	1.8
代読・代筆	10.4	24.8	43.3	9.3	6.3
電話の利用・代行	7.7	27.7	9.8	34.1	7.2
お金の管理	13.7	24.8	17.1	12.8	8.1
日常の買い物	26.0	27.7	39.2	21.7	16.1
通院、通学・通勤	23.1	28.7	35.9	20.9	12.1
通院、通学・通勤以外の外出	20.3	25.7	36.3	14.0	12.1
日常生活に必要な意思の伝達	5.4	21.8	2.0	13.6	2.7
日常生活動作の見守り	11.3	21.8	11.8	12.0	8.1
薬の管理	13.9	27.7	20.4	16.7	14.3
区役所や事業者などの手続き	24.9	45.5	44.9	27.1	15.7
その他	3.0	2.0	2.9	2.7	2.7
介助や支援は必要ない	36.5	19.8	18.8	31.0	51.6
無回答	3.9	2.0	6.5	9.7	6.7

(7) 主な介助者、その他の介助者

◆「配偶者・パートナー」が24.4%、次いで「母親」が21.9%

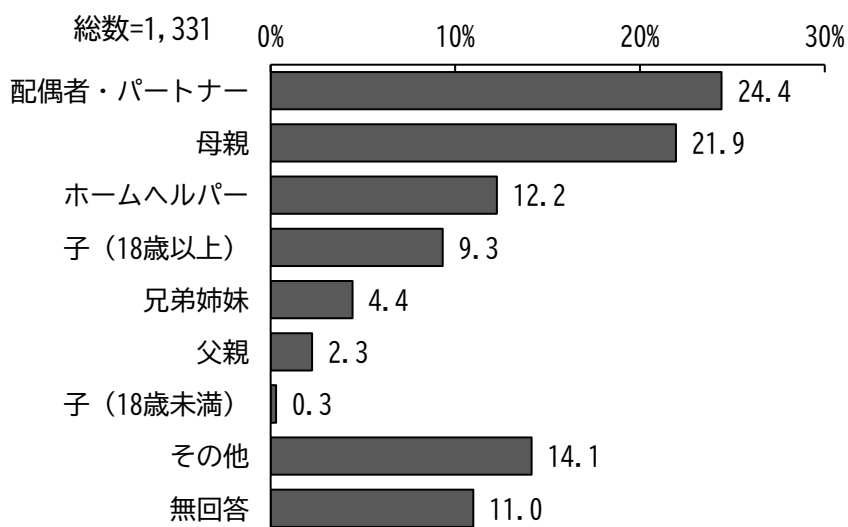
①主な介助者

【全体】

- ・「配偶者・パートナー」が24.4%と最も多く、次いで「母親」が21.9%、「ホームヘルパー」が12.2%などとなっています。

問11 【毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きます。】あなたを介助・支援している人はどなたですか。【主な介助者】と【その他の介助者】についてお答えください。

【主な介助者】(○はひとつ)



【障害別】

- ・身体障害、難病・特定疾患では「配偶者・パートナー」、知的障害、精神障害では「母親」が多くなっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(770)	(328)	(284)	(85)
父親	1.3	5.5	1.1	0.0
母親	12.5	54.6	26.4	11.8
配偶者・パートナー	32.1	1.2	20.4	43.5
子 (18歳未満)	0.4	0.0	0.0	0.0
子 (18歳以上)	13.0	0.0	3.9	14.1
兄弟姉妹	3.8	6.1	3.9	4.7
ホームヘルパー	16.4	7.0	8.1	9.4
その他	11.4	14.6	21.8	10.6
無回答	9.2	11.0	14.4	5.9

【本人の年齢別】

- ・18～39歳は「母親」、40～64歳と65歳以上は「配偶者・パートナー」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(261)	(505)	(542)
父親	4.2	3.6	0.0
母親	64.0	22.0	0.7
配偶者・パートナー	3.8	26.7	32.8
子(18歳未満)	0.0	0.0	0.7
子(18歳以上)	0.0	2.4	20.7
兄弟姉妹	1.5	4.2	6.3
ホームヘルパー	5.4	12.1	15.9
その他	12.6	18.4	11.1
無回答	8.4	10.7	11.8

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

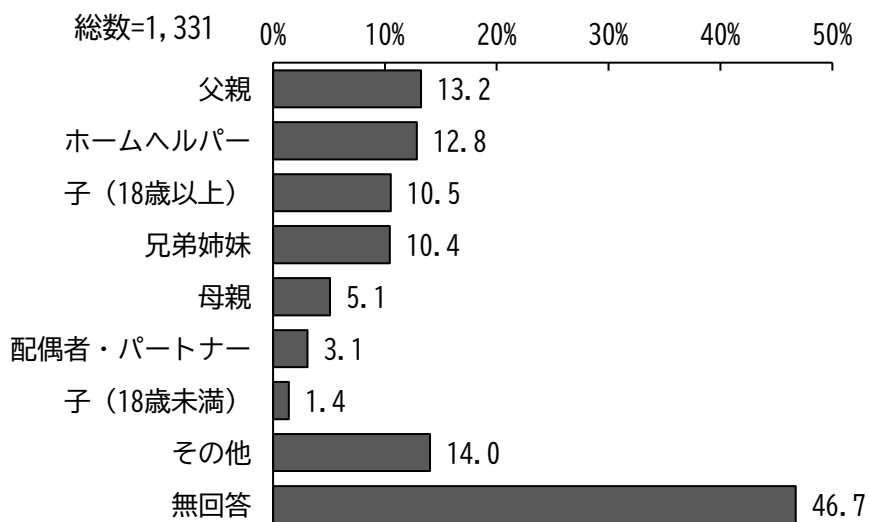
選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声 や・ 言語 機能・	視覚 障害	平聴 覚機 能障 害	内部 障害
総数	(378)	(79)	(183)	(153)	(93)
父親	2.4	1.3	0.0	0.7	0.0
母親	18.0	15.2	7.7	9.2	7.5
配偶者・パートナー	32.8	31.6	36.6	28.1	36.6
子(18歳未満)	0.8	1.3	0.5	0.7	1.1
子(18歳以上)	8.5	6.3	10.9	20.9	16.1
兄弟姉妹	2.1	3.8	6.0	5.2	3.2
ホームヘルパー	20.4	16.5	20.2	7.2	11.8
その他	9.0	15.2	10.9	16.3	10.8
無回答	6.1	8.9	7.1	11.8	12.9

②その他の介助者

【全体】

- ・「父親」が13.2%と最も多く、次いで「ホームヘルパー」が12.8%、「子（18歳以上）」が10.5%などとなっています。

【その他の介助者】（○はいくつでも）



【障害別】

- ・身体障害では「子（18歳以上）」、知的障害では「父親」、精神障害では「その他」、難病・特定疾患では「ホームヘルパー」が多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(770)	(328)	(284)	(85)
父親	9.0	32.9	13.0	5.9
母親	5.6	9.5	2.1	4.7
配偶者・パートナー	4.5	0.3	1.8	4.7
子 (18歳未満)	2.3	0.0	0.4	2.4
子 (18歳以上)	14.4	0.6	5.3	15.3
兄弟姉妹	7.4	20.4	8.8	3.5
ホームヘルパー	13.8	14.3	8.1	25.9
その他	12.5	16.5	14.4	16.5
無回答	46.8	36.9	55.6	37.6

【本人の年齢別】

- ・18～39歳は「父親」、40～64歳は「その他」、65歳以上は「子（18歳以上）」が多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(261)	(505)	(542)
父親	45.6	10.3	0.0
母親	11.9	6.7	0.6
配偶者・パートナー	0.4	2.6	5.0
子（18歳未満）	0.0	3.0	0.7
子（18歳以上）	0.8	6.5	19.4
兄弟姉妹	18.0	10.9	6.5
ホームヘルパー	16.1	10.5	14.0
その他	14.9	15.2	12.9
無回答	28.0	49.7	52.0

【身体障害の種類別】

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声 しゃ く 機 語 能 能	視覚 障害	平聴 平衡 覚 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(378)	(79)	(183)	(153)	(93)
父親	14.0	8.9	4.4	7.2	5.4
母親	9.0	5.1	3.3	3.9	1.1
配偶者・パートナー	5.0	7.6	3.8	3.9	5.4
子（18歳未満）	1.9	0.0	3.3	2.0	2.2
子（18歳以上）	16.1	10.1	14.2	11.1	17.2
兄弟姉妹	6.9	5.1	9.8	9.2	4.3
ホームヘルパー	19.3	19.0	8.7	11.1	15.1
その他	12.7	8.9	14.8	11.8	5.4
無回答	37.0	49.4	49.7	54.2	51.6

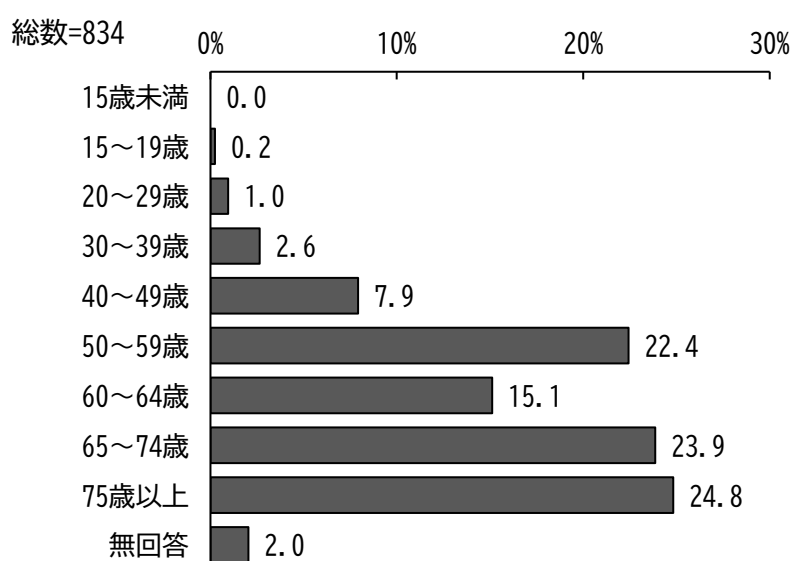
(8) 主な介助者の年齢

◆ 「75歳以上」が24.8%、次いで「65～74歳」が23.9%

【全体】

- ・「75歳以上」が24.8%と最も多く、次いで「65～74歳」が23.9%、「50～59歳」が22.4%などとなっています。

問12 【問11の【主な介助者】で「父親」「母親」「配偶者・パートナー」「子（18歳未満）」「子（18歳以上）」「兄弟姉妹」のいずれかを回答された方にお聞きします。】あなたを主に介助・支援している人は何歳ですか。（○はひとつ）



【障害別】

- ・身体障害では「75歳以上」、知的障害と難病・特定疾患では「65～74歳」、精神障害では「50～59歳」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難特定病・疾患
総数	(485)	(221)	(158)	(63)
15歳未満	0.0	0.0	0.0	0.0
15～19歳	0.4	0.0	0.0	0.0
20～29歳	0.6	0.0	3.2	1.6
30～39歳	2.7	1.8	3.2	3.2
40～49歳	9.1	4.5	10.1	11.1
50～59歳	22.7	24.0	30.4	19.0
60～64歳	14.2	19.9	12.7	9.5
65～74歳	21.0	27.6	22.8	28.6
75歳以上	27.2	19.5	16.5	27.0
無回答	2.1	2.7	1.3	0.0

【本人の年齢別】

- ・ 介助者の年齢が 75 歳以上という回答は、本人の年齢が 65 歳以上では 36.4% となっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(192)	(297)	(332)
15歳未満	0.0	0.0	0.0
15～19歳	0.0	0.7	0.0
20～29歳	2.1	1.3	0.0
30～39歳	3.6	2.7	2.1
40～49歳	8.3	9.4	6.6
50～59歳	31.3	25.9	14.5
60～64歳	25.0	11.4	12.7
65～74歳	25.0	21.2	25.0
75歳以上	3.1	25.6	36.4
無回答	1.6	1.7	2.7

【身体障害の種類別】

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害し音そ や・声 <言語 機能・	視覚障害	平衡・聴覚 機能障害	内部障害
総数	(244)	(47)	(113)	(99)	(60)
15歳未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15～19歳	0.4	0.0	0.0	1.0	0.0
20～29歳	0.8	0.0	0.0	0.0	1.7
30～39歳	1.6	0.0	2.7	3.0	5.0
40～49歳	9.0	6.4	8.8	5.1	10.0
50～59歳	26.2	23.4	16.8	21.2	20.0
60～64歳	16.8	6.4	10.6	12.1	10.0
65～74歳	20.1	34.0	21.2	25.3	16.7
75歳以上	23.8	29.8	36.3	29.3	33.3
無回答	1.2	0.0	3.5	3.0	3.3

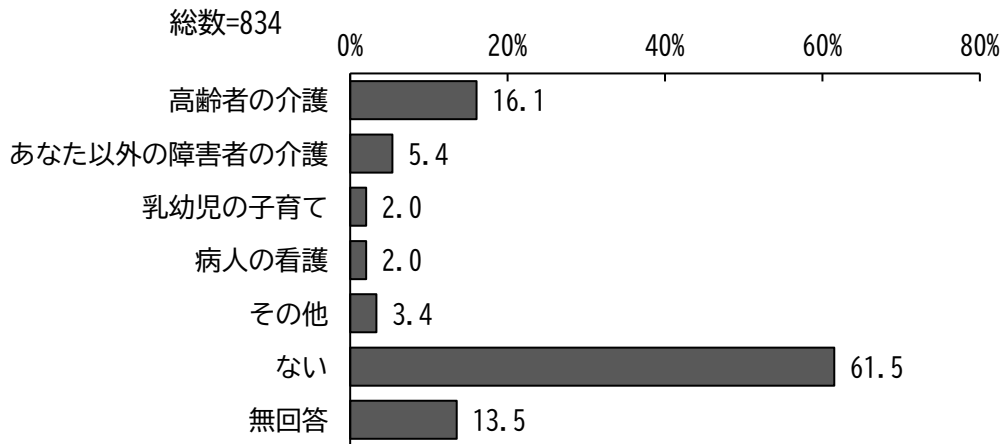
(9) 本人以外への介助・支援

◆ 「高齢者の介護」が16.1%

【全体】

・「高齢者の介護」が16.1%と最も多く、次いで「あなた以外の障害者の介護」が5.4%、「その他」が3.4%、「乳幼児の子育て」「病人の看護」が2.0%となっています。「ない」は61.5%です。

問13 【問11の【主な介助者】で「父親」「母親」「配偶者・パートナー」「子(18歳未満)」「子(18歳以上)」「兄弟姉妹」のいずれかを回答された方にお聞きます。】あなたを主に介助・支援している人は、あなた以外の人を介助・支援することがありますか。それはどのような場合ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(485)	(221)	(158)	(63)
高齢者の介護	15.9	20.8	17.7	17.5
乳幼児の子育て	2.9	0.9	1.3	3.2
病人の看護	1.9	1.8	1.3	3.2
あなた以外の障害者の介護	4.1	7.7	8.2	4.8
その他	3.7	3.2	2.5	6.3
ない	61.6	57.5	60.1	55.6
無回答	13.4	13.1	12.7	17.5

【本人の年齢別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(192)	(297)	(332)
高齢者の介護	24.0	18.9	9.6
乳幼児の子育て	1.6	1.7	2.7
病人の看護	1.6	3.0	0.9
あなた以外の障害者の介護	7.3	6.4	3.6
その他	3.1	2.4	4.5
ない	58.3	60.3	64.8
無回答	8.3	12.1	17.2

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害しそ音 や・く 機語 能・	視覚障害	平衡 機・ 能 障害	内部障害
総数	(244)	(47)	(113)	(99)	(60)
高齢者の介護	19.3	14.9	15.0	13.1	20.0
乳幼児の子育て	4.1	6.4	0.9	3.0	1.7
病人の看護	2.5	6.4	1.8	1.0	5.0
あなた以外の障害者の介護	4.9	4.3	3.5	3.0	6.7
その他	4.5	4.3	2.7	1.0	8.3
ない	59.8	63.8	61.9	62.6	56.7
無回答	9.4	10.6	15.9	19.2	13.3

(10) 介助や支援ができなくなった場合

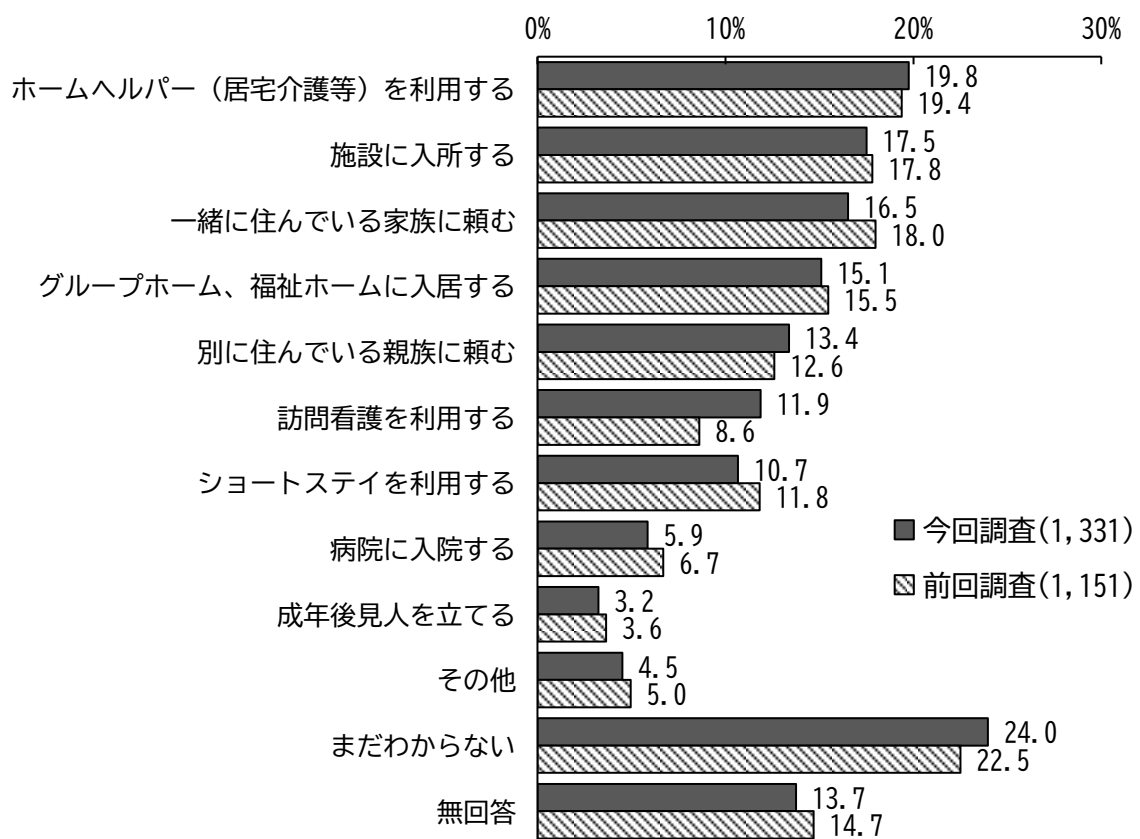
◆「ホームヘルパー（居宅介護等）を利用する」が19.8%

【全体】

- ・「ホームヘルパー（居宅介護等）を利用する」が19.8%と最も多く、次いで「施設に入所する」が17.5%、「一緒に住んでいる家族に頼む」が16.5%などとなっています。「まだわからない」は24.0%です。

問14 【毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。】

主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。（○はいくつでも）



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「ホームヘルパー（居宅介護等）を利用する」、知的障害は「グループホーム、福祉ホームに入居する」、精神障害は「まだわからない」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病・疾患
総数	(770)	(328)	(284)	(85)
一緒に住んでいる家族に頼む	15.3	26.5	13.0	15.3
別に住んでいる親族に頼む	14.4	11.9	10.9	14.1
ホームヘルパー（居宅介護等）を利用する	24.8	11.3	14.1	25.9
訪問看護を利用する	14.5	3.7	10.9	21.2
ショートステイを利用する	11.0	17.4	6.7	5.9
施設に入所する	17.3	25.0	11.3	18.8
グループホーム、福祉ホームに入居する	9.5	34.1	14.8	16.5
病院に入院する	6.6	2.4	7.4	16.5
成年後見人を立てる	2.1	8.5	3.5	2.4
その他	3.9	4.6	6.7	3.5
まだわからない	24.4	16.5	29.2	18.8
無回答	13.1	11.6	15.1	10.6

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ 音 し や く 機 能 ・ 言語 能	視覚障害	平衡 覚 機 能 障 害	内部障害
総数	(378)	(79)	(183)	(153)	(93)
一緒に住んでいる家族に頼む	16.9	13.9	12.6	14.4	12.9
別に住んでいる親族に頼む	13.8	15.2	16.4	13.7	21.5
ホームヘルパー（居宅介護等）を利用する	28.6	19.0	31.1	11.8	31.2
訪問看護を利用する	15.3	17.7	15.3	11.1	25.8
ショートステイを利用する	14.6	12.7	9.8	8.5	14.0
施設に入所する	18.3	16.5	18.6	12.4	18.3
グループホーム、福祉ホームに入居する	10.3	8.9	11.5	4.6	5.4
病院に入院する	6.1	11.4	7.1	6.5	8.6
成年後見人を立てる	1.9	3.8	2.7	1.3	2.2
その他	2.6	2.5	3.8	8.5	0.0
まだわからない	23.8	25.3	20.8	27.5	18.3
無回答	11.1	10.1	12.6	19.0	12.9

3 相談や福祉の情報について

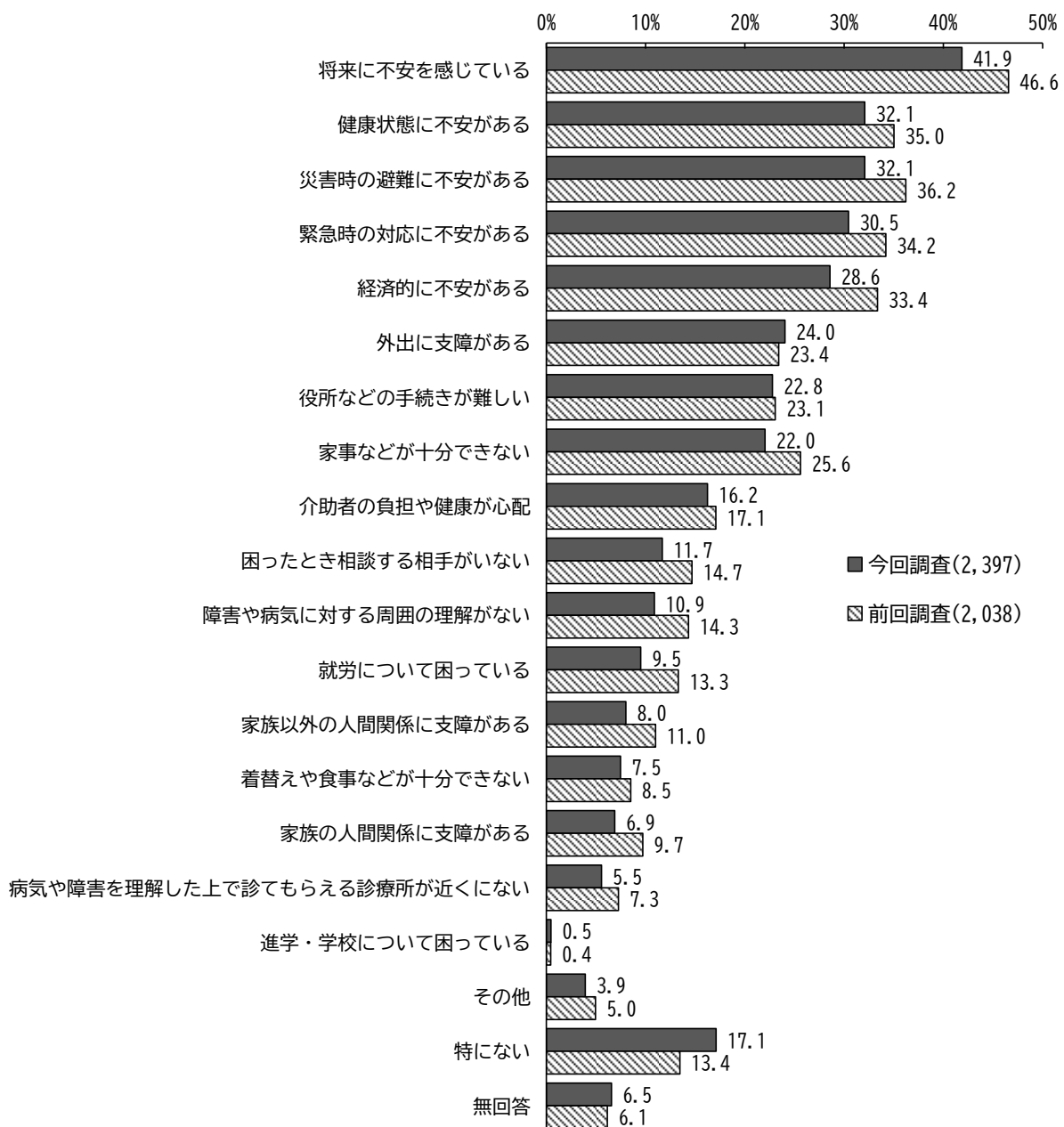
(1) 日常生活で困っていること

◆「将来に不安を感じている」が41.9%

【全体】

- ・「将来に不安を感じている」が41.9%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」「災害時の避難に不安がある」が32.1%、「緊急時の対応に不安がある」が30.5%などとなっています。

問15 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・「将来に不安を感じている」以外では、身体障害では「災害時の避難に不安がある」、知的障害では「役所などの手続きが難しい」、精神障害では「経済的に不安がある」、難病・特定疾患では「健康状態に不安がある」が多くなっています。

単位：％、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
健康状態に不安がある	31.6	21.6	38.5	41.2
着替えや食事などが十分できない	8.4	9.5	6.1	7.8
家事などが十分できない	20.3	31.4	27.3	18.4
介助者の負担や健康が心配	18.0	24.6	13.2	11.0
外出に支障がある	28.8	20.8	20.3	23.7
進学・学校について困っている	0.7	0.3	0.2	0.4
就労について困っている	6.3	7.6	20.9	8.2
緊急時の対応に不安がある	33.3	42.4	24.8	24.5
災害時の避難に不安がある	37.3	41.9	21.9	26.1
家族の人間関係に支障がある	4.8	7.8	14.3	4.1
家族以外の人間関係に支障がある	4.6	10.8	16.2	4.5
障害や病気に対する周囲の理解がない	8.6	10.8	18.5	9.0
困ったとき相談する相手がいない	9.6	14.1	19.6	7.3
役所などの手続きが難しい	19.4	43.8	23.4	18.4
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	5.9	11.6	4.8	2.0
経済的に不安がある	24.3	22.2	43.3	29.8
将来に不安を感じている	38.4	43.2	53.5	45.3
その他	4.0	3.8	3.6	6.1
特にない	16.8	13.5	16.6	18.4
無回答	6.5	7.6	3.6	6.1

【性別、年齢別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	男性	女性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
	(1,229)	(1,125)	(400)	(1,018)	(943)
健康状態に不安がある	30.7	33.3	26.0	35.0	31.5
着替えや食事などが十分できない	7.6	7.6	9.0	6.7	7.8
家事などが十分できない	19.0	25.6	29.0	21.9	19.3
介助者の負担や健康が心配	15.5	17.7	18.8	15.3	16.3
外出に支障がある	21.8	26.8	21.3	21.2	28.6
進学・学校について困っている	0.3	0.6	2.0	0.2	0.1
就労について困っている	10.1	8.3	18.0	13.6	1.4
緊急時の対応に不安がある	29.3	31.8	36.5	28.8	29.7
災害時の避難に不安がある	29.4	35.3	33.8	31.5	31.9
家族の人間関係に支障がある	5.8	7.6	11.3	7.7	4.0
家族以外の人間関係に支障がある	8.4	7.4	14.0	9.9	3.3
障害や病気に対する周囲の理解がない	10.7	10.8	15.3	14.7	4.7
困ったとき相談する相手がいない	12.6	10.5	14.0	13.9	8.1
役所などの手続きが難しい	23.3	22.6	33.3	19.3	22.0
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	6.3	4.8	8.5	5.7	4.1
経済的に不安がある	28.1	28.7	33.5	34.2	20.5
将来に不安を感じている	41.3	42.7	50.0	50.4	30.1
その他	3.7	4.3	3.5	2.8	5.4
特になし	17.8	16.5	15.0	15.8	19.6
無回答	6.4	6.0	3.8	5.4	8.6

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害し 音 声 や 機 語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 機 能 障 害	内 部 障 害
	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
健康状態に不安がある	33.5	31.7	31.4	25.2	46.2
着替えや食事などが十分できない	13.7	14.9	7.8	5.4	6.7
家事などが十分できない	26.0	24.8	25.3	13.6	16.6
介助者の負担や健康が心配	22.2	24.8	23.3	13.2	14.3
外出に支障がある	32.0	25.7	49.8	18.6	19.7
進学・学校について困っている	1.1	1.0	0.8	0.8	0.4
就労について困っている	8.0	10.9	6.9	2.3	7.2
緊急時の対応に不安がある	34.8	37.6	40.0	35.3	25.6
災害時の避難に不安がある	42.8	39.6	47.8	34.9	24.2
家族の人間関係に支障がある	5.0	6.9	3.3	4.7	6.3
家族以外の人間関係に支障がある	4.4	5.9	5.7	6.2	4.0
障害や病気に対する周囲の理解がない	8.5	9.9	9.0	8.9	9.4
困ったとき相談する相手がいない	10.6	9.9	10.2	7.4	9.0
役所などの手続きが難しい	17.8	20.8	33.9	20.9	17.9
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	7.9	12.9	3.3	6.2	4.9
経済的に不安がある	28.5	26.7	22.0	17.4	30.9
将来に不安を感じている	43.8	38.6	38.0	29.8	42.2
その他	3.6	2.0	5.3	2.7	4.0
特になし	14.3	12.9	11.0	22.1	14.8
無回答	5.5	6.9	5.7	7.4	8.1

【精神障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害高次脳機能	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
健康状態に不安がある	41.4	48.0	54.7	31.2	29.4	42.3
着替えや食事などが十分できない	7.5	4.3	6.8	7.3	0.0	3.8
家事などが十分できない	28.6	28.7	29.9	36.7	35.3	19.2
介助者の負担や健康が心配	12.8	11.4	13.7	13.8	29.4	7.7
外出に支障がある	23.3	22.8	31.6	16.5	29.4	19.2
進学・学校について困っている	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
就労について困っている	15.8	27.6	28.2	30.3	35.3	23.1
緊急時の対応に不安がある	21.1	24.0	30.8	28.4	35.3	19.2
災害時の避難に不安がある	21.1	20.9	29.1	22.9	29.4	23.1
家族の人間関係に支障がある	14.3	16.5	17.9	15.6	17.6	11.5
家族以外の人間関係に支障がある	16.5	19.7	19.7	22.9	11.8	26.9
障害や病気に対する周囲の理解がない	19.5	20.1	27.4	26.6	17.6	19.2
困ったとき相談する相手がいない	14.3	23.2	29.9	20.2	23.5	30.8
役所などの手続きが難しい	24.8	17.3	18.8	33.0	29.4	26.9
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	3.0	3.9	7.7	5.5	23.5	3.8
経済的に不安がある	35.3	52.4	51.3	47.7	47.1	38.5
将来に不安を感じている	48.1	61.8	61.5	58.7	58.8	46.2
その他	2.3	3.1	3.4	2.8	0.0	0.0
特にない	18.0	12.2	8.5	9.2	29.4	23.1
無回答	2.3	2.8	2.6	3.7	0.0	0.0

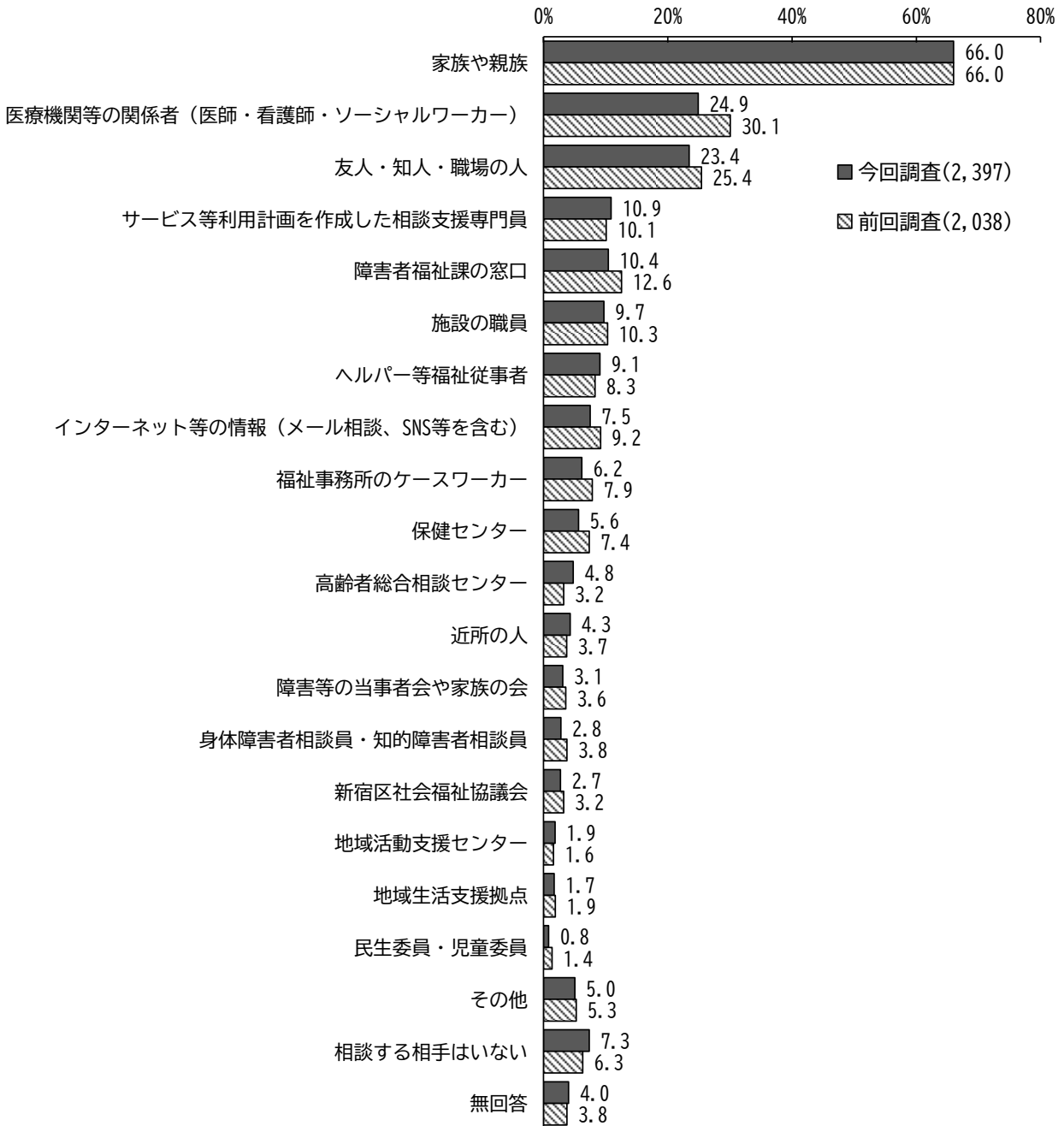
(2) 困った時に相談する相手

◆「家族や親族」が66.0%

【全体】

- ・「家族や親族」が66.0%と最も多く、次いで「医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が24.9%、「友人・知人・職場の人」が23.4%などとなっています。

問16 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・「家族や親族」以外では、身体障害では「友人・知人・職場の人」、知的障害では「施設の職員」、精神障害と難病・特定疾患では「医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病・疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
家族や親族	68.1	72.4	54.7	76.7
近所の人	4.8	3.5	3.7	4.5
友人・知人・職場の人	22.4	18.6	26.4	32.2
民生委員・児童委員	1.2	0.0	0.0	0.8
障害等の当事者会や家族の会	2.5	7.8	2.5	1.6
身体障害者相談員・知的障害者相談員	2.3	9.7	1.6	0.4
サービス等利用計画を作成した相談支援専門員	10.6	25.1	11.1	6.9
ヘルパー等福祉従事者	10.5	15.1	5.0	9.0
施設の職員	6.1	36.8	10.7	1.6
医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）	22.0	17.8	34.0	36.3
障害者福祉課の窓口	12.8	18.4	7.5	6.5
保健センター	2.5	3.5	15.5	7.3
地域生活支援拠点	1.6	2.4	2.5	0.4
福祉事務所のケースワーカー	5.0	4.6	11.6	3.7
新宿区社会福祉協議会	2.8	4.6	2.0	1.2
地域活動支援センター	1.3	2.7	2.9	1.6
高齢者総合相談センター	6.6	1.6	1.6	5.3
インターネット等の情報（メール相談、SNS等を含む）	7.7	4.1	8.7	12.2
その他	3.8	7.8	8.0	2.4
相談する相手はいない	7.2	2.7	10.3	3.7
無回答	3.8	3.0	3.0	4.9

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	音声・言語機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
家族や親族	69.8	74.3	70.6	68.6	60.5
近所の人	4.4	2.0	6.9	4.3	6.3
友人・知人・職場の人	22.8	17.8	22.4	21.3	24.2
民生委員・児童委員	0.8	0.0	1.6	1.9	2.2
障害等の当事者会や家族の会	3.1	5.9	2.9	3.1	0.9
身体障害者相談員・知的障害者相談員	3.5	3.0	1.6	0.0	3.1
サービス等利用計画を作成した相談支援専門員	13.4	20.8	15.1	7.4	8.1
ヘルパー等福祉従事者	12.9	17.8	17.1	7.4	5.4
施設の職員	8.7	17.8	4.5	7.0	1.8
医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）	21.4	23.8	26.1	15.9	36.3
障害者福祉課の窓口	13.5	9.9	17.6	10.5	10.3
保健センター	1.9	2.0	4.5	3.1	3.1
地域生活支援拠点	1.9	4.0	2.4	1.6	0.4
福祉事務所のケースワーカー	5.0	4.0	4.5	4.3	5.8
新宿区社会福祉協議会	2.5	4.0	5.3	4.3	1.8
地域活動支援センター	0.8	0.0	2.0	3.1	0.4
高齢者総合相談センター	4.9	5.0	9.8	10.9	4.5
インターネット等の情報（メール相談、SNS等を含む）	9.1	7.9	2.4	9.3	10.3
その他	3.5	5.0	2.9	4.3	4.0
相談する相手はいない	7.2	3.0	5.3	5.4	10.8
無回答	3.9	3.0	2.4	5.4	3.6

【精神障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害高次脳機能	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
家族や親族	51.1	51.2	52.1	56.9	70.6	42.3
近所の人	2.3	3.5	5.1	3.7	0.0	3.8
友人・知人・職場の人	22.6	29.1	29.9	21.1	23.5	19.2
民生委員・児童委員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害等の当事者会や家族の会	3.8	2.8	5.1	6.4	0.0	3.8
身体障害者相談員・知的障害者相談員	1.5	0.4	3.4	2.8	0.0	0.0
サービス等利用計画を作成した相談支援専門員	14.3	6.3	8.5	13.8	17.6	7.7
ヘルパー等福祉従事者	7.5	2.8	5.1	8.3	5.9	0.0
施設の職員	16.5	6.3	7.7	9.2	23.5	3.8
医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）	36.1	36.2	41.9	36.7	23.5	11.5
障害者福祉課の窓口	11.3	6.3	6.8	11.9	0.0	7.7
保健センター	24.8	16.1	23.9	13.8	23.5	11.5
地域生活支援拠点	3.0	2.4	0.9	1.8	0.0	0.0
福祉事務所のケースワーカー	17.3	15.0	15.4	7.3	5.9	15.4
新宿区社会福祉協議会	2.3	2.8	4.3	1.8	0.0	7.7
地域活動支援センター	6.0	2.8	1.7	1.8	0.0	0.0
高齢者総合相談センター	1.5	1.6	2.6	0.0	0.0	0.0
インターネット等の情報（メール相談、SNS等を含む）	4.5	12.2	8.5	10.1	5.9	7.7
その他	9.0	6.3	4.3	6.4	5.9	3.8
相談する相手はいない	9.0	11.0	11.1	18.3	11.8	11.5
無回答	0.8	3.5	1.7	3.7	0.0	7.7

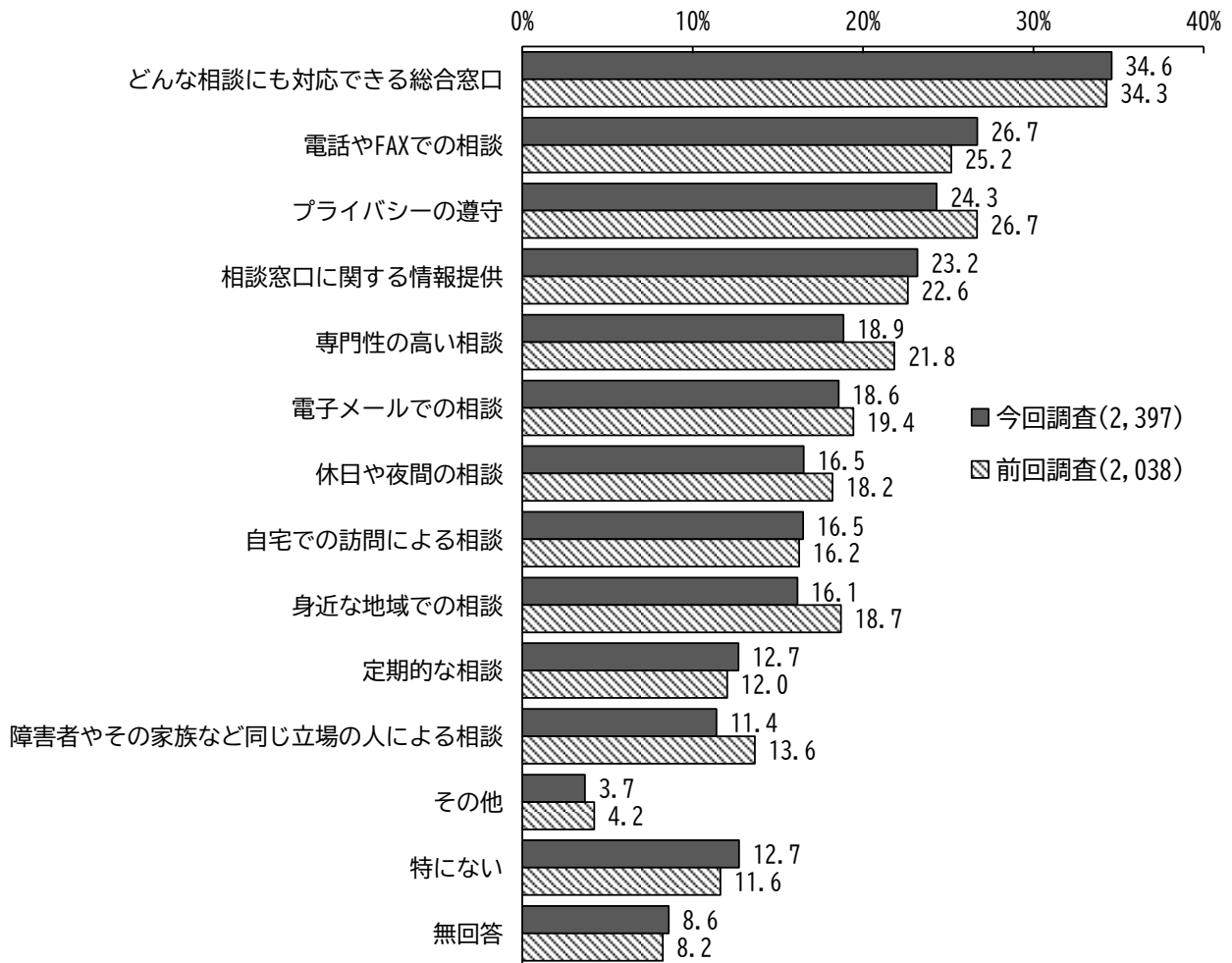
(3) 気軽に相談するために必要なこと

◆「どんな相談にも対応できる総合窓口」が34.6%

【全体】

・「どんな相談にも対応できる総合窓口」が34.6%と最も多く、次いで「電話やFAXでの相談」が26.7%、「プライバシーの遵守」が24.3%などとなっています。

問17 あなたは、区役所や基幹相談支援センターなどに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
電話やFAXでの相談	27.7	21.9	29.8	28.6
電子メールでの相談	18.0	11.9	24.2	25.3
自宅での訪問による相談	18.1	19.7	13.4	13.1
休日や夜間の相談	15.2	11.4	23.0	15.1
専門性の高い相談	17.0	18.1	24.2	28.2
身近な地域での相談	13.6	18.9	20.3	18.8
定期的な相談	9.4	22.2	18.2	12.7
障害者やその家族など同じ立場の人による相談	10.0	19.2	13.5	8.2
どんな相談にも対応できる総合窓口	34.4	40.5	33.7	33.9
相談窓口に関する情報提供	21.9	23.2	26.9	25.7
プライバシーの遵守	22.7	17.3	31.9	26.5
その他	3.3	2.4	5.7	2.9
特にない	12.7	14.3	11.9	7.8
無回答	9.2	8.4	5.5	7.3

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・ 言語能 機	視覚 障害	平聴 衡覚 機能 障害	内部 障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
電話やFAXでの相談	27.9	17.8	40.0	17.8	27.4
電子メールでの相談	20.9	23.8	9.4	17.8	20.2
自宅での訪問による相談	18.7	24.8	24.9	19.4	14.3
休日や夜間の相談	17.0	15.8	15.9	12.0	14.8
専門性の高い相談	20.3	19.8	17.1	12.8	18.8
身近な地域での相談	16.4	14.9	12.2	15.5	9.4
定期的な相談	10.7	9.9	10.2	7.8	8.1
障害者やその家族など同じ立場の人による相談	12.1	14.9	9.4	9.7	8.5
どんな相談にも対応できる総合窓口	37.5	33.7	37.6	32.9	30.5
相談窓口に関する情報提供	24.7	17.8	23.3	18.2	17.0
プライバシーの遵守	25.7	15.8	22.4	17.8	25.1
その他	3.1	4.0	2.9	4.3	2.2
特にない	10.1	16.8	12.7	15.9	12.1
無回答	8.5	8.9	4.9	12.8	9.9

【精神障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害高次脳機能	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
電話やFAXでの相談	39.8	31.9	34.2	21.1	11.8	38.5
電子メールでの相談	20.3	27.6	26.5	29.4	17.6	15.4
自宅での訪問による相談	18.8	13.0	17.1	12.8	17.6	19.2
休日や夜間の相談	16.5	28.3	29.9	22.9	17.6	23.1
専門性の高い相談	18.0	26.0	29.9	25.7	35.3	19.2
身近な地域での相談	18.0	22.8	27.4	22.0	23.5	19.2
定期的な相談	20.3	21.3	21.4	23.9	23.5	19.2
障害者やその家族など同じ立場の人による相談	12.8	13.0	12.0	15.6	11.8	3.8
どんな相談にも対応できる総合窓口	32.3	35.8	41.0	33.9	41.2	26.9
相談窓口に関する情報提供	19.5	31.5	30.8	33.9	35.3	30.8
プライバシーの遵守	33.1	36.2	41.0	34.9	35.3	26.9
その他	2.3	7.9	4.3	12.8	0.0	3.8
特になし	18.8	7.5	7.7	8.3	17.6	19.2
無回答	3.8	5.1	3.4	4.6	5.9	3.8

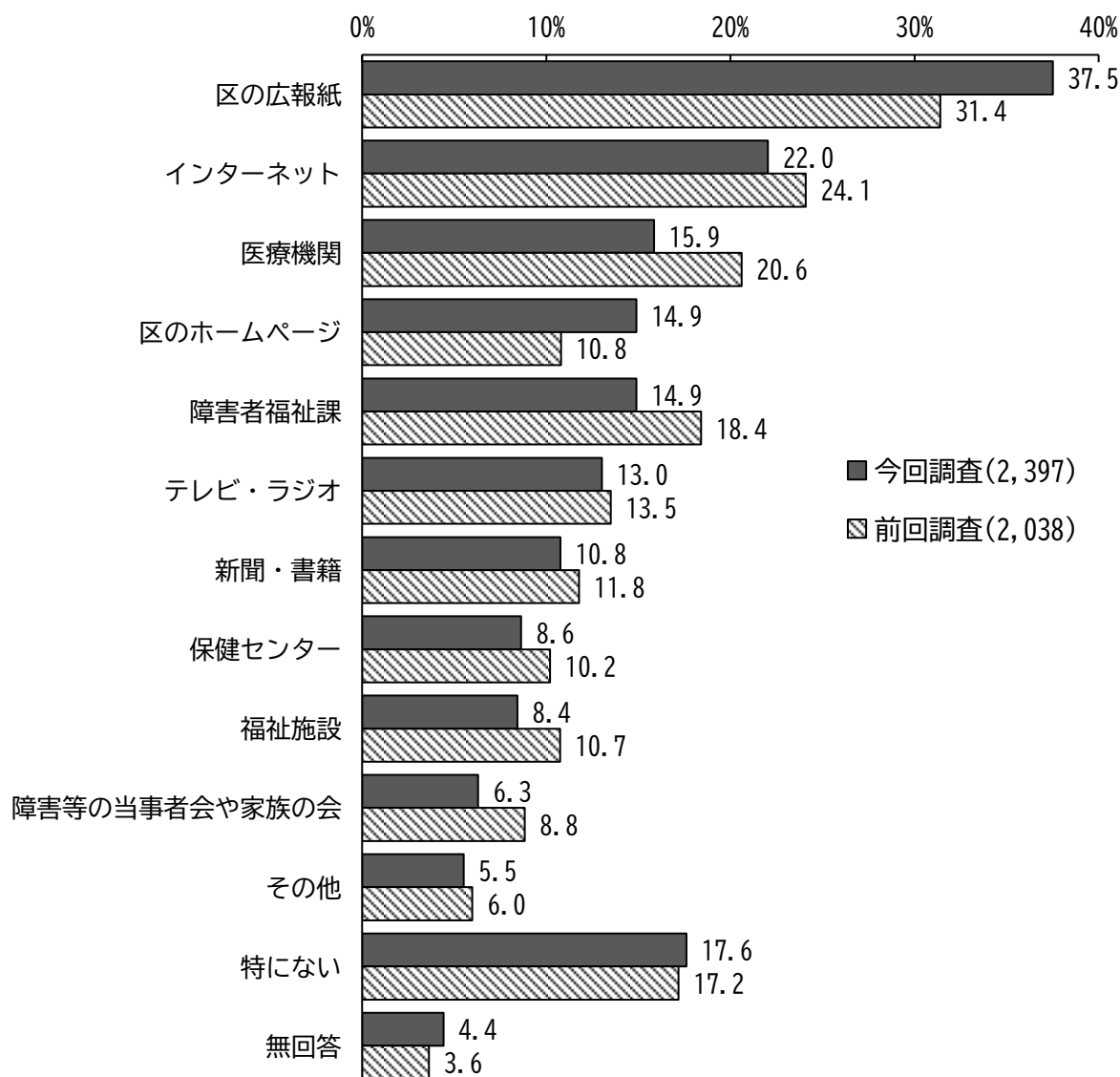
(4) 福祉に関する情報の入手先

◆「区の広報紙」が37.5%、次いで「インターネット」が22.0%

【全体】

・「区の広報紙」が37.5%と最も多く、次いで「インターネット」が22.0%、「医療機関」が15.9%などとなっています。「特にない」は17.6%です。

問18 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害と知的障害、難病・特定疾患では「区の広報紙」、精神障害では「インターネット」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
区の広報紙	42.9	30.5	27.5	36.7
区のホームページ	15.2	10.0	16.9	20.8
障害者福祉課	17.1	29.5	11.9	10.6
保健センター	4.0	3.2	20.9	18.4
福祉施設	6.3	24.1	9.1	2.9
テレビ・ラジオ	15.6	8.1	6.8	14.7
インターネット	20.5	13.2	29.4	27.8
新聞・書籍	13.2	6.2	6.4	9.8
障害等の当事者会や家族の会	5.4	22.4	3.6	2.9
医療機関	13.9	6.5	24.6	24.9
その他	5.6	7.0	7.0	2.0
特にない	16.2	20.5	17.5	15.5
無回答	4.0	3.8	3.6	3.7

【年齢別】

- ・18～39歳は「インターネット」、40～64歳と65歳以上は「区の広報紙」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(400)	(1,018)	(943)
区の広報紙	23.8	31.9	49.9
区のホームページ	19.3	20.6	7.3
障害者福祉課	21.5	16.0	10.6
保健センター	8.0	10.9	6.2
福祉施設	15.3	9.1	4.8
テレビ・ラジオ	4.5	9.6	20.7
インターネット	30.5	31.8	8.3
新聞・書籍	6.5	7.2	16.6
障害等の当事者会や家族の会	16.3	6.5	2.0
医療機関	15.8	17.5	14.1
その他	6.5	4.7	6.0
特にない	21.0	17.9	15.7
無回答	2.0	3.8	5.4

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ 音 し や く 機 能 ・ 言 語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 覚 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
区の広報紙	40.5	40.6	41.2	52.3	41.7
区のホームページ	17.6	10.9	9.0	14.7	17.9
障害者福祉課	19.1	16.8	15.1	15.9	17.5
保健センター	4.6	8.9	3.7	1.9	5.8
福祉施設	7.6	12.9	6.9	5.4	4.5
テレビ・ラジオ	12.9	10.9	27.3	14.0	14.3
インターネット	25.8	14.9	13.1	15.9	22.0
新聞・書籍	12.1	12.9	10.6	20.2	13.0
障害等の当事者会や家族の会	7.7	9.9	6.1	5.0	1.8
医療機関	12.8	14.9	18.4	10.9	20.2
その他	5.7	5.0	6.9	7.4	4.5
特にない	18.0	21.8	12.2	16.3	14.3
無回答	3.1	3.0	4.1	3.9	5.4

【精神障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統 合 失 調 症	気 分 障 害	神 経 症	発 達 障 害	障 害 高 次 脳 機 能	依 存 症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
区の広報紙	25.6	28.3	34.2	24.8	41.2	38.5
区のホームページ	9.0	18.1	16.2	27.5	5.9	7.7
障害者福祉課	12.8	9.1	11.1	22.0	29.4	11.5
保健センター	32.3	20.9	19.7	22.0	35.3	11.5
福祉施設	12.0	6.3	7.7	8.3	23.5	11.5
テレビ・ラジオ	8.3	5.9	6.8	2.8	11.8	3.8
インターネット	21.8	33.5	31.6	43.1	17.6	26.9
新聞・書籍	9.0	6.3	6.0	3.7	5.9	11.5
障害等の当事者会や家族の会	3.8	1.2	3.4	10.1	0.0	3.8
医療機関	21.1	31.1	21.4	26.6	29.4	15.4
その他	7.5	4.7	9.4	6.4	5.9	7.7
特にない	19.5	15.0	14.5	18.3	17.6	11.5
無回答	4.5	2.8	2.6	1.8	0.0	3.8

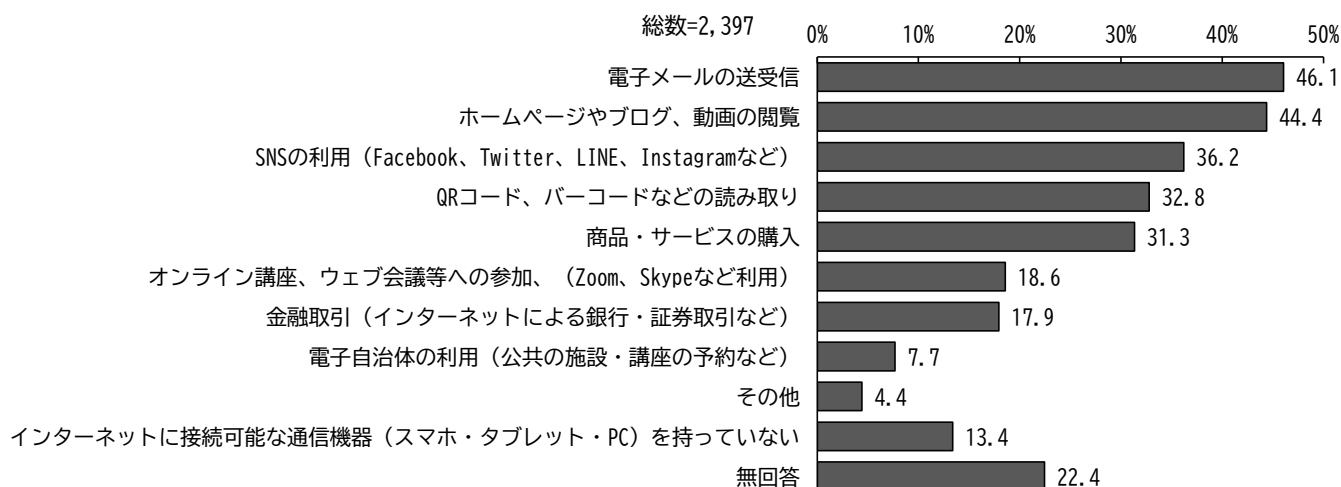
(5) 過去1年間に利用した通信機器の機能・サービス

◆「電子メールの送受信」が46.1%

【全体】

- ・「電子メールの送受信」が46.1%と最も多く、次いで「ホームページやブログ、動画の閲覧」が44.4%、「SNSの利用（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）」が36.2%などとなっています。

問19 あなたが、過去1年間に利用した、通信機器を使った機能・サービスは何ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患は「電子メールの送受信」、知的障害と精神障害は「ホームページやブログ、動画の閲覧」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
電子メールの送受信	45.2	22.2	57.6	61.6
ホームページやブログ、動画の閲覧	40.8	34.1	60.1	57.1
SNSの利用	33.0	23.5	51.9	48.2
QRコード、バーコードなどの読み取り	30.5	13.5	45.6	46.5
オンライン講座、ウェブ会議等への参加	18.0	7.8	23.5	32.7
金融取引	18.5	3.0	22.1	33.1
商品・サービスの購入	30.8	8.1	41.9	47.3
電子自治体の利用	7.9	0.8	10.9	11.8
その他	4.5	5.4	4.5	1.2
インターネットに接続可能な通信機器を持っていない	14.8	18.9	9.1	6.9
無回答	22.6	28.6	14.8	18.0

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・言語機能	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
電子メールの送受信	51.5	41.6	38.0	34.9	45.3
ホームページやブログ、動画の閲覧	50.4	45.5	26.1	30.6	43.9
SNSの利用	42.0	33.7	21.6	25.2	32.7
QRコード、バーコードなどの読み取り	37.3	28.7	19.6	22.9	31.4
オンライン講座、ウェブ会議等への参加	22.4	12.9	14.7	11.2	18.8
金融取引	22.0	15.8	11.4	13.2	22.4
商品・サービスの購入	38.6	30.7	18.4	22.1	33.6
電子自治体の利用	8.2	9.9	6.1	7.4	9.9
その他	3.1	4.0	5.7	9.3	2.2
インターネットに接続可能な通信機器を持っていない	13.4	19.8	19.6	15.1	11.2
無回答	17.5	19.8	26.5	29.8	25.1

4 日中活動や仕事について

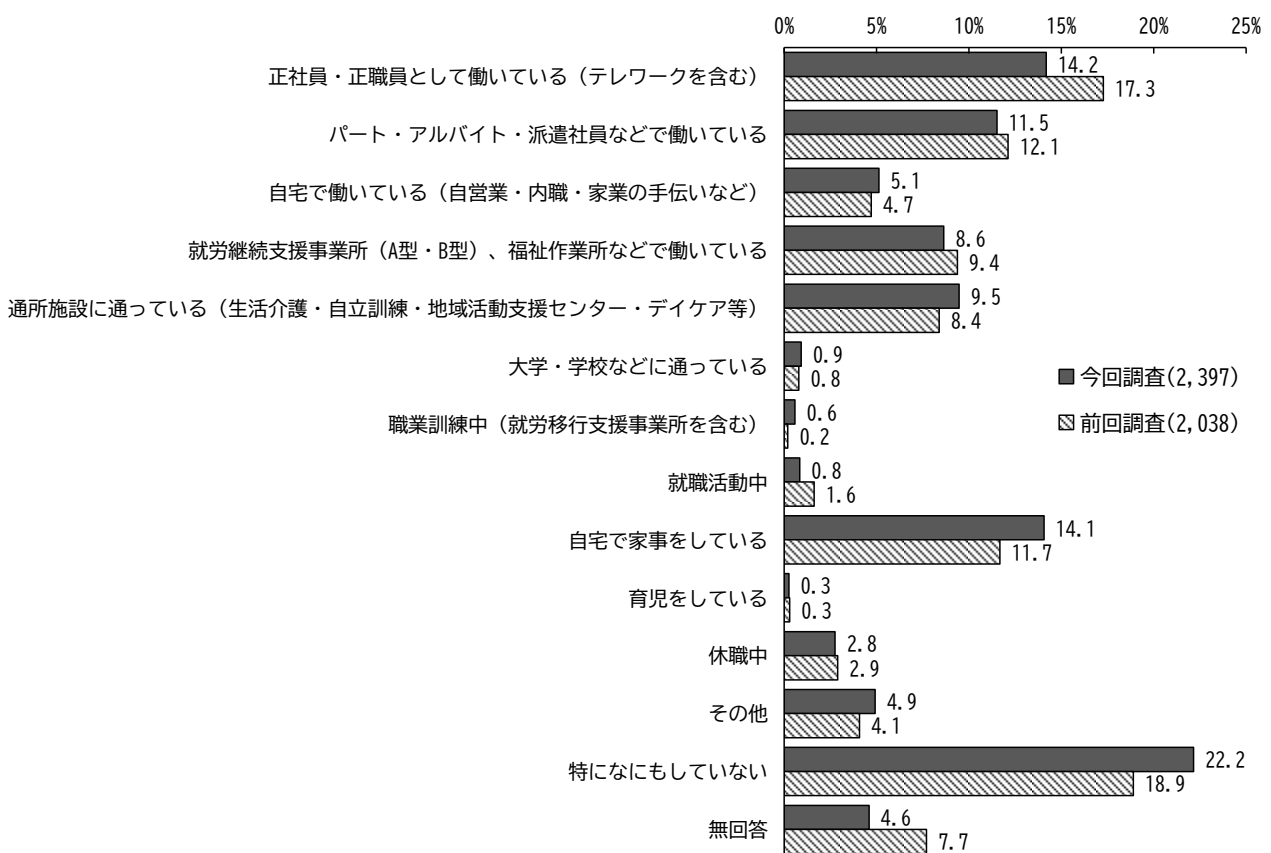
(1) 日中の過ごし方

◆「正社員・正職員として働いている（テレワークを含む）」が14.2%

【全体】

- ・「特になにもしていない」が22.2%と最も多く、次いで「正社員・正職員として働いている（テレワークを含む）」が14.2%、「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」が11.5%などとなっています。

問20 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(〇はひとつ)



※「正社員・正職員として働いている（テレワークを含む）」は、前回「正社員・正職員として働いている」

※「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」は、前回「パート・アルバイトなどで働いている」

※「職業訓練中（就労移行支援事業所を含む）」は、前回「職業訓練中」

【障害別】

- ・身体障害と精神障害は「特に何もしていない」、知的障害は「就労継続支援事業所（A型・B型）、福祉作業所などで働いている」、難病・特定疾患は「正社員・正職員として働いている（テレワークを含む）」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
正社員・正職員として働いている (テレワークを含む)	13.7	10.3	12.3	22.0
パート・アルバイト・派遣社員などで 働いている	9.3	13.8	13.7	10.6
自宅で働いている (自営業・内職・家業の手伝いなど)	6.0	1.4	3.6	9.0
就労継続支援事業所（A型・B型）、 福祉作業所などで働いている	3.6	35.7	10.2	1.2
通所施設に通っている（生活介護・自立訓練・ 地域活動支援センター・デイケア等）	10.4	22.2	8.6	3.7
大学・学校などに通っている	0.7	1.1	1.1	2.4
職業訓練中 (就労移行支援事業所を含む)	0.3	1.6	1.1	0.0
就職活動中	0.5	0.0	2.1	0.8
自宅で家事をしている	16.9	3.2	11.4	15.9
育児をしている	0.2	0.0	0.4	0.4
休職中	2.2	0.5	5.9	4.1
その他	5.8	2.2	4.5	4.9
特になにもしていない	25.2	7.0	22.3	21.6
無回答	5.1	1.1	3.0	3.3

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ 音 し や く 機 能 ・ 言語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 覚 ・ 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
正社員・正職員として働いている (テレワークを含む)	14.0	4.0	12.7	8.9	17.5
パート・アルバイト・派遣社員などで 働いている	9.9	5.9	7.8	8.9	9.9
自宅で働いている (自営業・内職・家業の手伝いなど)	5.8	5.9	4.5	7.0	6.7
就労継続支援事業所（A型・B型）、 福祉作業所などで働いている	5.0	7.9	3.7	3.1	1.8
通所施設に通っている（生活介護・自立訓練・ 地域活動支援センター・デイケア等）	15.3	14.9	9.8	7.0	4.9
大学・学校などに通っている	1.1	0.0	0.4	1.2	0.0
職業訓練中 (就労移行支援事業所を含む)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
就職活動中	0.9	1.0	0.4	0.0	0.4
自宅で家事をしている	15.3	11.9	16.7	19.4	16.1
育児をしている	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0
休職中	2.8	4.0	0.8	0.8	3.6
その他	5.4	6.9	7.3	4.3	5.8
特になにもしていない	19.4	31.7	30.2	32.2	26.5
無回答	4.1	5.9	5.7	7.0	6.7

【精神障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害 高次脳機能	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
正社員・正職員として働いている (テレワークを含む)	4.5	13.4	9.4	16.5	11.8	7.7
パート・アルバイト・派遣社員などで 働いている	8.3	14.6	11.1	19.3	23.5	11.5
自宅で働いている (自営業・内職・家業の手伝いなど)	3.0	3.1	2.6	5.5	0.0	3.8
就労継続支援事業所(A型・B型)、 福祉作業所などで働いている	18.0	5.1	6.0	15.6	17.6	0.0
通所施設に通っている(生活介護・自立訓練・ 地域活動支援センター・デイケア等)	14.3	4.3	4.3	5.5	5.9	26.9
大学・学校などに通っている	0.0	0.4	0.0	2.8	0.0	0.0
職業訓練中 (就労移行支援事業所を含む)	0.8	1.2	0.0	0.9	0.0	0.0
就職活動中	1.5	3.5	4.3	2.8	5.9	7.7
自宅で家事をしている	13.5	11.0	11.1	4.6	5.9	0.0
育児をしている	0.0	0.4	1.7	0.0	0.0	0.0
休職中	3.0	8.7	10.3	8.3	5.9	3.8
その他	4.5	4.3	3.4	3.7	0.0	3.8
特になにもしていない	27.1	26.8	33.3	11.9	17.6	30.8
無回答	1.5	3.1	2.6	2.8	5.9	3.8

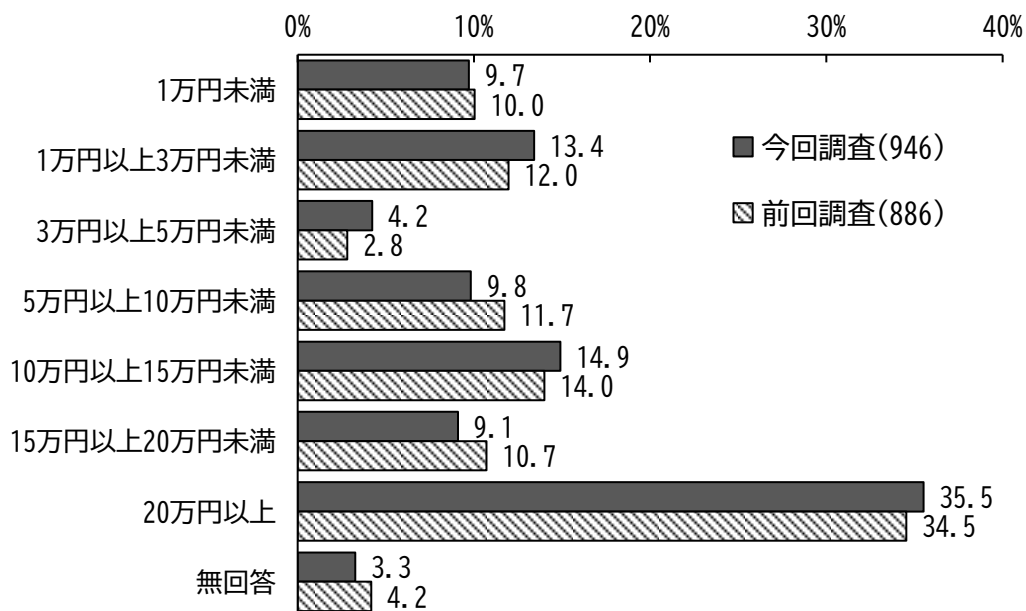
(2) 給与・工賃の額

◆ 「20万円以上」が35.5%、次いで「10万円以上15万円未満」が14.9%

【全体】

・「20万円以上」が35.5%と最も多く、次いで「10万円以上15万円未満」が14.9%、「1万円以上3万円未満」が13.4%などとなっています。

問21【問20で「正社員・正職員として働いている」「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」「自宅で働いている」「就労継続支援事業所（A型・B型）、福祉作業所などで働いている」のうちいずれかを回答された方にお聞きします。】仕事で得ている給与・工賃の金額について、税金を引く前の合計月額はいくらですか。（〇はひとつ）



【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定病・疾患
総数	(438)	(226)	(223)	(105)
1万円未満	6.2	21.2	11.2	1.0
1万円以上3万円未満	8.2	31.9	15.7	2.9
3万円以上5万円未満	3.9	1.3	4.9	7.6
5万円以上10万円未満	9.6	8.8	10.8	5.7
10万円以上15万円未満	12.8	25.2	12.6	9.5
15万円以上20万円未満	8.7	7.1	8.5	13.3
20万円以上	45.9	1.8	34.5	59.0
無回答	4.8	2.7	1.8	1.0

【働き方別】

- ・「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」方は「10万円以上15万円未満」、「就労継続支援事業所（A型・B型）、福祉作業所などで働いている」方は「1万円以上3万円未満」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	正社員・正職員として働く（含む）	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で内職・作業している（含む）	就労継続支援事業所（A型・B型）などで働いている
総数	(340)	(276)	(123)	(207)
1万円未満	0.3	0.7	8.9	37.7
1万円以上3万円未満	0.3	5.1	8.1	49.3
3万円以上5万円未満	0.3	8.3	8.1	2.9
5万円以上10万円未満	1.2	20.7	20.3	3.4
10万円以上15万円未満	8.8	34.1	11.4	1.4
15万円以上20万円未満	9.4	16.3	7.3	0.0
20万円以上	76.8	12.7	27.6	2.9
無回答	2.9	2.2	8.1	2.4

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・ 平衡機能障害	内部障害
総数	(221)	(24)	(70)	(72)	(80)
1万円未満	9.0	8.3	10.0	5.6	2.5
1万円以上3万円未満	8.6	25.0	5.7	9.7	6.3
3万円以上5万円未満	3.2	0.0	2.9	8.3	2.5
5万円以上10万円未満	7.7	0.0	10.0	12.5	11.3
10万円以上15万円未満	15.4	25.0	10.0	13.9	5.0
15万円以上20万円未満	6.8	12.5	11.4	5.6	16.3
20万円以上	44.8	25.0	42.9	41.7	55.0
無回答	4.5	4.2	7.1	2.8	1.3

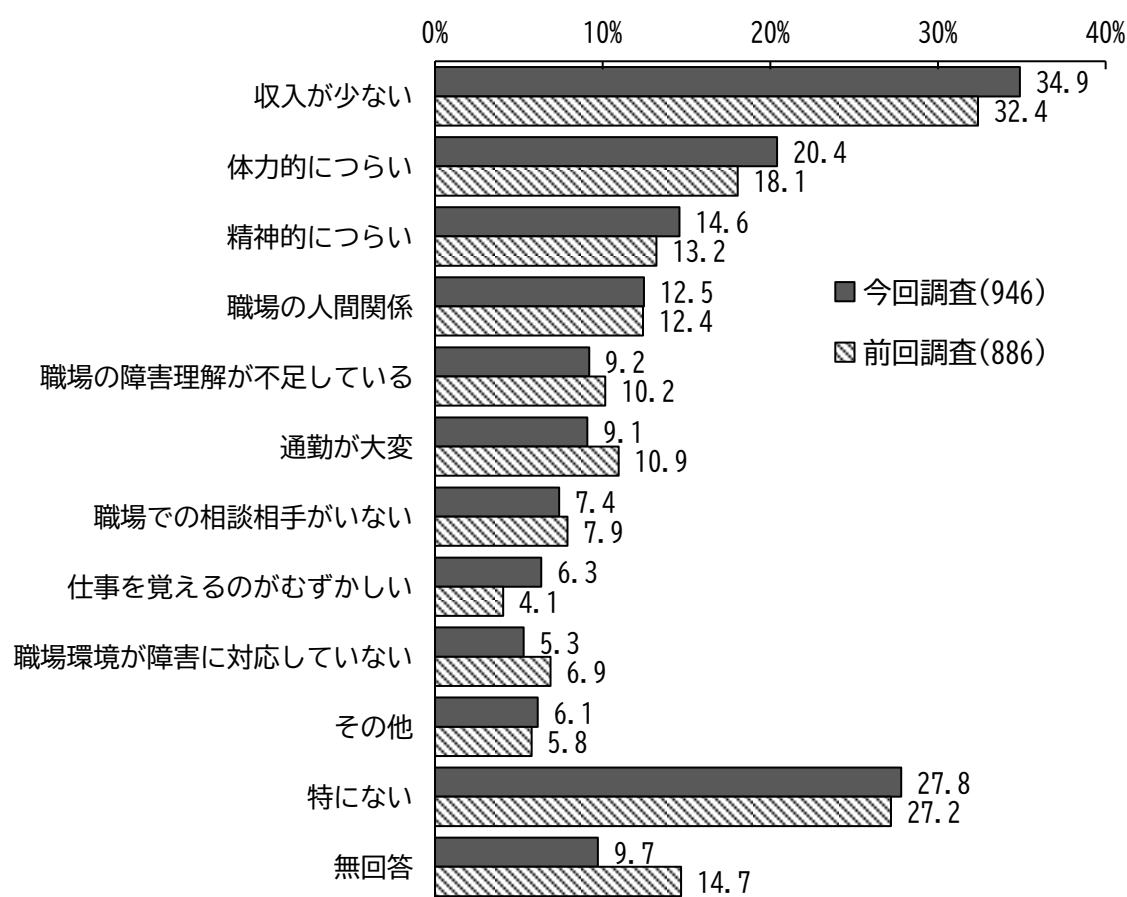
(3) 仕事上の困りごと

◆「収入が少ない」が34.9%、次いで「体力的につらい」が20.4%

【全体】

・「収入が少ない」が34.9%と最も多く、次いで「体力的につらい」が20.4%、「精神的につらい」が14.6%などとなっています。「特にない」は27.8%です。

問22 【問20で「正社員・正職員として働いている」「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」「自宅で働いている」「就労継続支援事業所（A型・B型）、福祉作業所などで働いている」のうちいずれかを回答された方にお聞きします。】仕事をする上で困っていることはありますか。（○はいくつでも）



※「仕事を覚えるのがむずかしい」は、前回「仕事を覚えるのが遅い、覚えられなくて叱られる」

【障害別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特定病・疾患
総数	(438)	(226)	(223)	(105)
収入が少ない	30.6	35.4	43.0	25.7
体力的につらい	21.9	7.1	24.7	29.5
精神的につらい	11.2	4.4	29.6	19.0
通勤が大変	8.4	8.0	10.8	9.5
職場の人間関係	10.3	14.2	17.9	8.6
職場での相談相手がいない	6.2	7.1	13.5	4.8
職場の障害理解が不足している	9.4	5.8	12.1	10.5
職場環境が障害に対応していない	5.5	3.5	7.6	3.8
仕事を覚えるのがむずかしい	2.7	8.8	14.3	3.8
その他	5.5	5.3	5.8	8.6
特にない	29.0	31.4	21.5	39.0
無回答	12.1	8.0	4.9	6.7

【働き方別】

- ・「パート・アルバイト・派遣社員などで働いている」、「就労継続支援事業所（A型・B型）、福祉作業所などで働いている」で「収入が少ない」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	正社員・正職（含む）	パート・アルバイト・派遣社員など	自宅で働いている（営業など）	就労継続支援事業所（A型・B型）で働いている（福祉作業所）
総数	(340)	(276)	(123)	(207)
収入が少ない	23.5	41.7	30.1	47.3
体力的につらい	20.3	27.5	22.8	9.7
精神的につらい	16.5	16.7	15.4	8.2
通勤が大変	13.5	8.3	4.1	5.8
職場の人間関係	16.5	11.6	3.3	12.6
職場での相談相手がいない	8.2	11.6	1.6	3.9
職場の障害理解が不足している	12.9	12.7	2.4	2.4
職場環境が障害に対応していない	7.4	5.4	2.4	3.4
仕事を覚えるのがむずかしい	6.2	5.8	1.6	10.1
その他	5.3	8.7	6.5	3.9
特にない	28.2	24.3	35.8	27.1
無回答	10.3	8.3	13.0	8.7

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	音声・言語・ 聴覚・ 視覚 障害	視覚 障害	聴覚・ 平衡機能 障害	内部 障害
総数	(221)	(24)	(70)	(72)	(80)
収入が少ない	32.6	33.3	30.0	23.6	37.5
体力的につらい	22.6	25.0	21.4	12.5	33.8
精神的につらい	10.9	25.0	10.0	12.5	20.0
通勤が大変	10.0	0.0	7.1	5.6	7.5
職場の人間関係	10.0	0.0	5.7	12.5	15.0
職場での相談相手がない	5.4	12.5	5.7	5.6	12.5
職場の障害理解が不足している	6.8	0.0	10.0	13.9	15.0
職場環境が障害に対応していない	4.5	4.2	8.6	6.9	7.5
仕事を覚えるのがむずかしい	2.3	4.2	4.3	5.6	1.3
その他	4.1	8.3	5.7	8.3	3.8
特になし	27.1	41.7	34.3	33.3	23.8
無回答	13.6	4.2	12.9	9.7	8.8

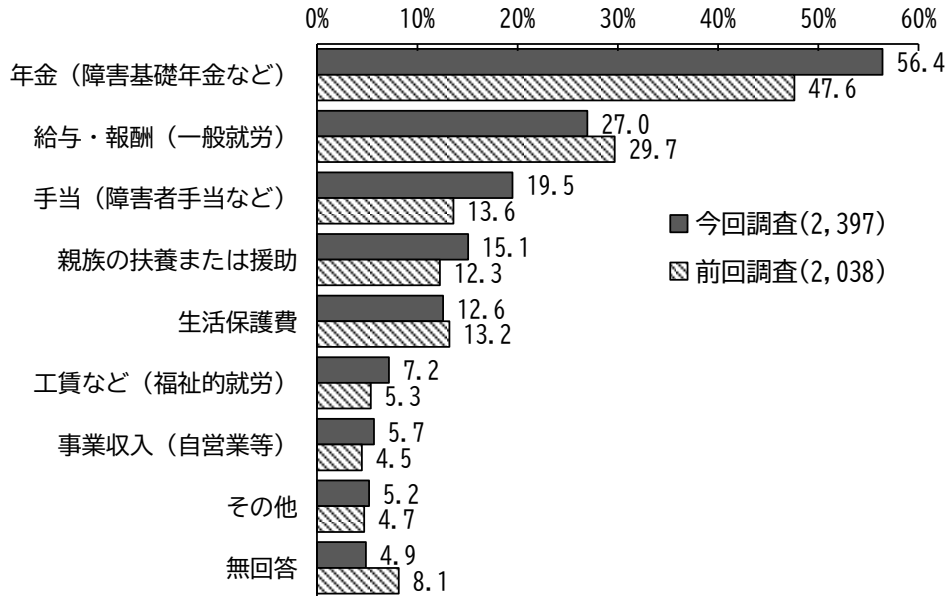
(4) 主な収入の内訳

◆「年金（障害基礎年金など）」が56.4%

【全体】

- ・「年金（障害基礎年金など）」が56.4%と最も多く、次いで「給与・報酬（一般就労）」が27.0%、「手当（障害者手当など）」が19.5%などとなっています。

問23 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きします。(○は3つまで)



※前回は（○は2つまで）

【障害別】

- ・「年金（障害基礎年金など）」以外では、知的障害で「手当（障害者手当など）」「工賃など（福祉的就労）」、身体障害、精神障害、難病・特定疾患で「給与・報酬（一般就労）」が比較的多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病疾・患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
年金（障害基礎年金など）	61.5	75.1	44.7	39.6
給与・報酬（一般就労）	24.8	25.4	27.1	35.5
工賃など（福祉的就労）	3.0	30.5	9.1	0.4
事業収入（自営業等）	7.2	0.5	3.7	9.8
手当（障害者手当など）	21.5	41.1	11.9	15.5
生活保護費	10.2	9.2	23.9	6.9
親族の扶養または援助	13.0	24.9	17.6	18.4
その他	4.9	1.6	7.3	5.7
無回答	4.8	2.2	4.3	4.5

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	音声・言語・ 聴覚・ 聴覚機能障害	視覚障害	聴覚・ 平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
年金（障害基礎年金など）	55.0	68.3	74.7	70.5	57.8
給与・報酬（一般就労）	25.0	14.9	22.9	21.3	28.7
工賃など（福祉的就労）	4.3	4.0	3.3	1.9	0.9
事業収入（自営業等）	6.9	6.9	6.9	7.0	8.5
手当（障害者手当など）	26.9	27.7	19.6	18.2	17.9
生活保護費	11.0	9.9	9.4	9.3	12.1
親族の扶養または援助	18.7	22.8	8.2	9.3	9.9
その他	6.0	5.9	4.5	5.0	3.1
無回答	4.6	2.0	2.0	5.8	4.0

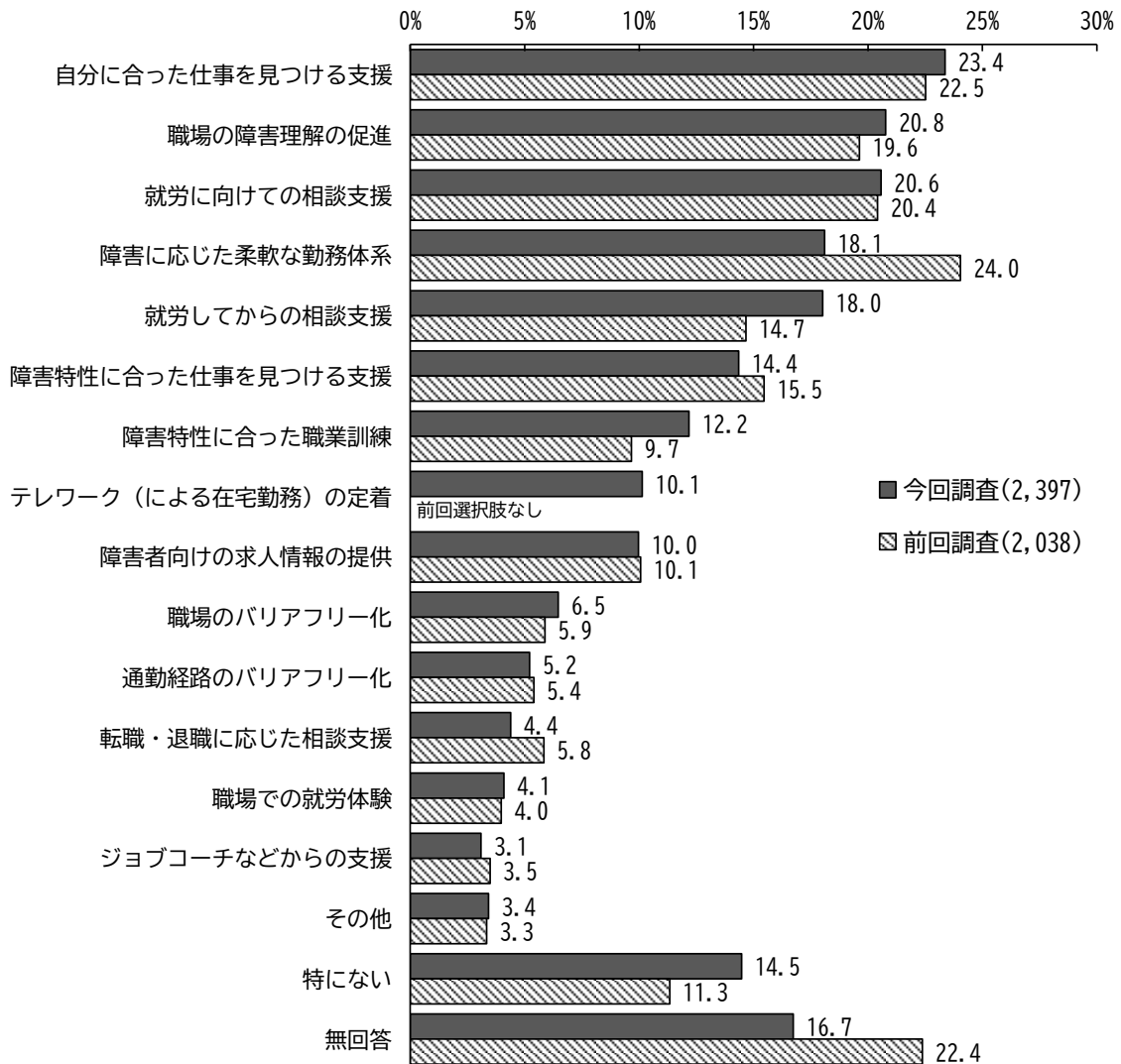
(5) 就労のために必要な支援等

◆「自分に合った仕事を見つける支援」が23.4%

【全体】

- ・「自分に合った仕事を見つける支援」が23.4%と最も多く、次いで「職場の障害理解の促進」が20.8%、「就労に向けての相談支援」が20.6%などとなっています。「特にない」は14.5%です。

問24 障害のある方が企業などで働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



※前回の設問文は「障害者が一般就労するためにはどのようなことが必要だと思いますか」

※前回「テレワーク（による在宅勤務）の定着」の選択肢はなし

【障害別】

・難病・特定疾患では「職場の障害理解の促進」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
就労に向けての相談支援	17.7	21.1	25.3	22.9
就労してからの相談支援	14.0	24.6	26.2	17.6
転職・退職に応じた相談支援	3.8	4.1	6.1	2.9
障害特性に合った職業訓練	11.4	16.5	13.2	11.8
職場での就労体験	2.7	8.1	5.2	4.1
自分に合った仕事を見つける支援	19.9	28.9	30.5	23.7
障害者向けの求人情報の提供	11.2	6.2	10.9	11.4
障害特性に合った仕事を見つける支援	12.9	17.8	15.5	17.1
障害に応じた柔軟な勤務体系	17.1	14.3	23.2	23.3
職場の障害理解の促進	18.9	22.7	23.0	24.1
ジョブコーチなどからの支援	1.2	10.5	4.3	1.2
職場のバリアフリー化	8.7	2.7	2.7	9.8
通勤経路のバリアフリー化	7.7	1.6	1.8	6.1
テレワーク（による在宅勤務）の定着	11.1	1.6	10.3	17.6
その他	3.0	3.0	5.0	4.1
特にない	15.6	15.7	13.0	9.8
無回答	20.0	11.9	8.6	13.1

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・ しゃく 言語 機能	視覚 障害	平衡 聴覚 機能 障害	内部 障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
就労に向けての相談支援	18.7	16.8	17.6	15.5	19.3
就労してからの相談支援	15.0	12.9	10.2	16.7	13.9
転職・退職に応じた相談支援	3.5	3.0	4.9	2.3	5.4
障害特性に合った職業訓練	14.6	16.8	13.5	7.4	7.6
職場での就労体験	3.9	3.0	3.3	0.8	1.3
自分に合った仕事を見つける支援	21.7	19.8	17.1	18.2	20.2
障害者向けの求人情報の提供	12.8	8.9	11.0	5.4	12.6
障害特性に合った仕事を見つける支援	13.9	13.9	13.9	12.8	9.4
障害に応じた柔軟な勤務体系	18.4	15.8	14.7	14.0	17.9
職場の障害理解の促進	16.2	19.8	16.3	23.3	22.0
ジョブコーチなどからの支援	1.7	2.0	0.4	1.2	0.9
職場のバリアフリー化	13.4	4.0	7.3	4.3	4.9
通勤経路のバリアフリー化	11.5	1.0	10.2	0.8	4.0
テレワーク（による在宅勤務）の定着	13.5	9.9	6.5	5.8	14.3
その他	3.5	2.0	4.5	1.6	1.8
特にない	11.7	17.8	16.3	22.1	14.3
無回答	17.3	23.8	21.6	26.0	21.5

【精神障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	高次脳機能障害	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
就労に向けての相談支援	21.1	29.5	24.8	17.4	41.2	30.8
就労してからの相談支援	25.6	29.1	24.8	27.5	17.6	15.4
転職・退職に応じた相談支援	4.5	4.3	3.4	8.3	11.8	3.8
障害特性に合った職業訓練	12.0	10.2	17.1	17.4	11.8	19.2
職場での就労体験	5.3	4.3	8.5	7.3	5.9	3.8
自分に合った仕事を見つける支援	25.6	29.1	33.3	37.6	47.1	23.1
障害者向けの求人情報の提供	11.3	13.8	10.3	11.0	5.9	15.4
障害特性に合った仕事を見つける支援	11.3	15.0	15.4	29.4	23.5	7.7
障害に応じた柔軟な勤務体系	22.6	26.0	27.4	22.9	23.5	11.5
職場の障害理解の促進	18.8	25.6	23.9	29.4	41.2	23.1
ジョブコーチなどからの支援	5.3	3.9	4.3	7.3	5.9	0.0
職場のバリアフリー化	1.5	3.1	0.9	1.8	11.8	3.8
通勤経路のバリアフリー化	2.3	1.2	1.7	0.9	0.0	3.8
テレワーク（による在宅勤務）の定着	9.0	12.2	10.3	10.1	0.0	7.7
その他	4.5	4.7	2.6	9.2	0.0	0.0
特にない	18.8	10.2	11.1	7.3	0.0	15.4
無回答	9.8	7.5	10.3	4.6	5.9	15.4

5 外出やバリアフリーについて

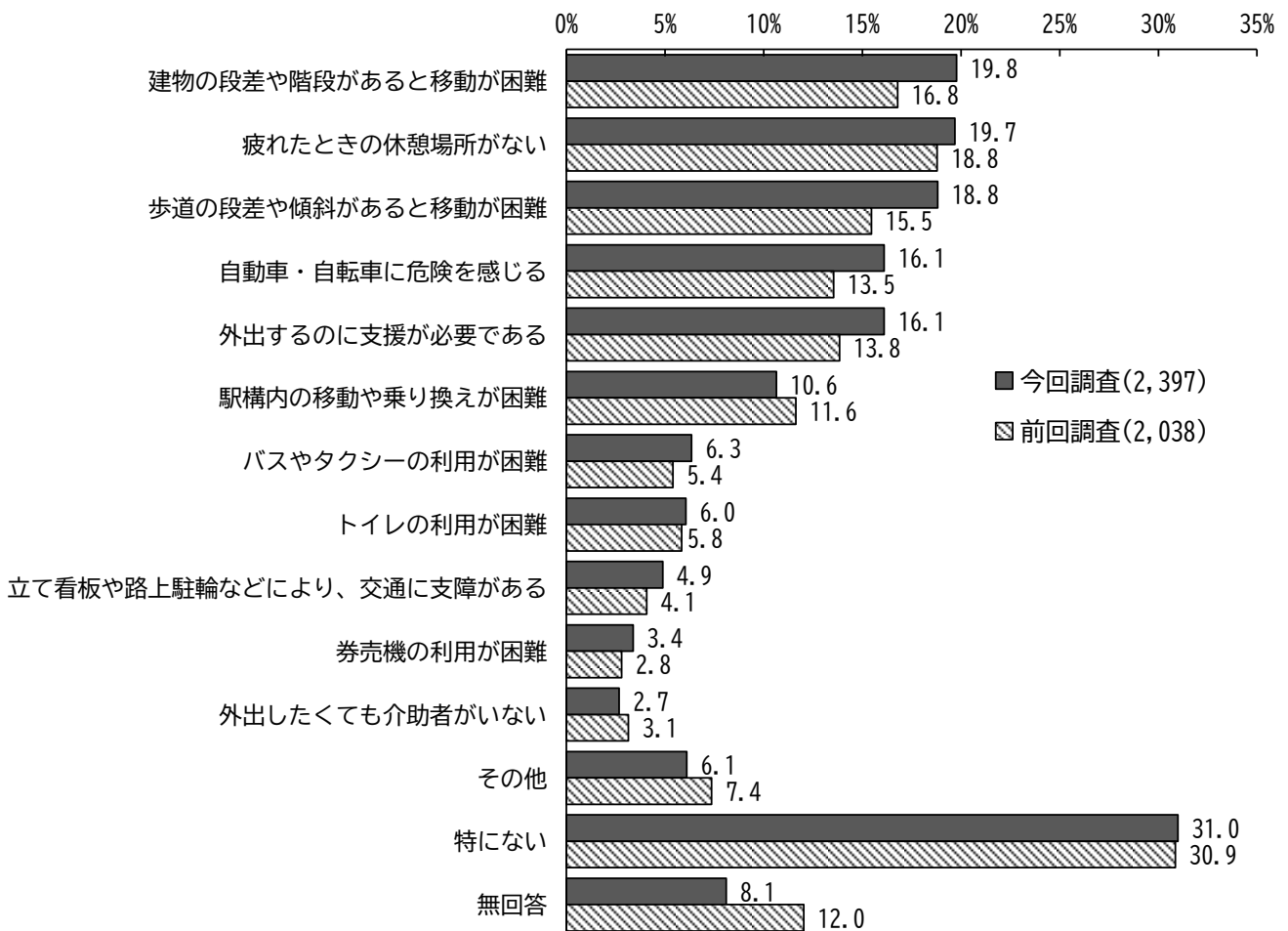
(1) 外出に関して困っていること

◆「建物の段差や階段があると移動が困難」が19.8%

【全体】

- ・「建物の段差や階段があると移動が困難」が19.8%と最も多く、次いで「疲れたときの休憩場所がない」が19.7%、「歩道の段差や傾斜があると移動が困難」が18.8%などとなっています。「特にない」は31.0%です。

問25 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。(〇は3つまで)



【障害別】

- ・身体障害では「建物の段差や階段があると移動が困難」、知的障害では「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	28.2	7.6	7.3	15.1
建物の段差や階段があると移動が困難	29.1	8.9	10.2	20.4
バスやタクシーの利用が困難	7.3	8.6	5.5	3.7
駅構内の移動や乗り換えが困難	12.4	13.2	8.0	6.1
券売機の利用が困難	3.1	8.1	2.0	2.9
トイレの利用が困難	7.7	6.8	3.9	7.3
疲れたときの休憩場所がない	22.5	7.6	23.5	20.4
自動車・自転車に危険を感じる	19.7	8.4	13.9	17.1
立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある	6.6	2.4	3.0	3.7
外出するのに支援が必要である	16.5	35.4	12.1	10.6
外出したくても介助者がいない	2.4	5.4	2.1	2.9
その他	5.9	5.1	7.5	6.1
特にない	22.1	32.7	41.7	37.6
無回答	7.1	7.8	6.8	7.3

【年齢別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	18~39歳	40~64歳	65歳以上
総数	(400)	(1,018)	(943)
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	6.8	16.5	26.7
建物の段差や階段があると移動が困難	10.0	19.6	24.5
バスやタクシーの利用が困難	8.8	5.8	6.0
駅構内の移動や乗り換えが困難	11.3	9.8	11.2
券売機の利用が困難	3.8	3.8	2.7
トイレの利用が困難	7.5	5.7	5.9
疲れたときの休憩場所がない	13.0	18.2	24.3
自動車・自転車に危険を感じる	10.0	15.9	19.0
立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある	2.3	4.8	6.2
外出するのに支援が必要である	25.5	12.8	16.0
外出したくても介助者がいない	5.0	2.3	2.2
その他	8.3	6.2	5.2
特にない	38.8	36.6	21.8
無回答	4.8	6.4	10.7

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体 不 自 由	障 そ 音 し や く 機 能 能 ・ 語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 覚 ・ 衡 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	35.0	25.7	37.1	21.3	22.4
建物の段差や階段があると移動が困難	37.0	29.7	31.8	22.1	24.2
バスやタクシーの利用が困難	10.1	5.0	9.8	3.9	4.9
駅構内の移動や乗り換えが困難	13.2	10.9	19.6	11.6	5.8
券売機の利用が困難	1.6	5.0	10.2	2.3	0.9
トイレの利用が困難	11.0	5.9	8.6	3.5	4.0
疲れたときの休憩場所がない	24.1	21.8	14.3	22.1	24.2
自動車・自転車で危険を感じる	16.4	12.9	31.4	20.5	15.7
立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある	4.6	3.0	20.0	2.3	3.1
外出するのに支援が必要である	19.1	20.8	22.9	12.4	10.8
外出したくても介助者がいない	3.6	3.0	2.9	1.2	2.2
その他	6.3	5.9	7.8	6.2	3.6
特になし	17.5	19.8	8.6	29.5	32.7
無回答	5.8	10.9	5.3	9.7	8.1

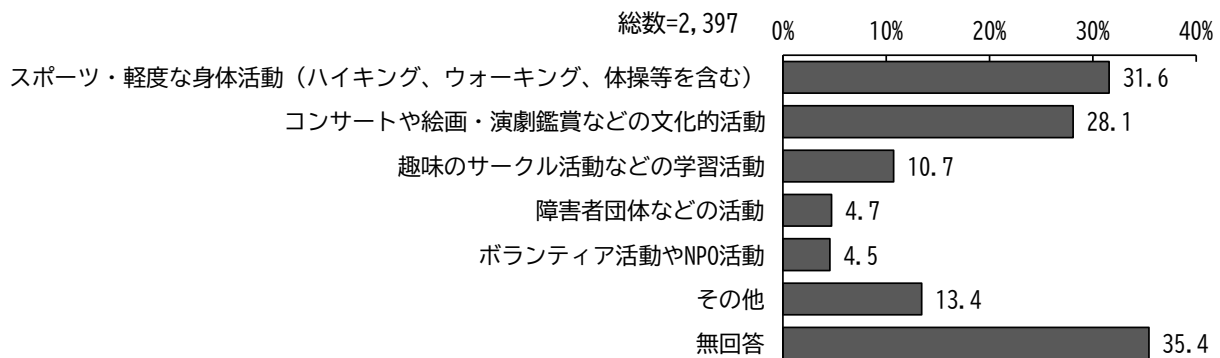
(2) 過去1年間の趣味や学習活動、スポーツなどの活動

◆「スポーツ・軽度な身体活動」が31.6%と最も多い

【全体】

- ・「スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング、ウォーキング、体操等を含む）」が31.6%と最も多く、次いで「コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動」が28.1%、「趣味のサークル活動などの学習活動」が10.7%などとなっています。

問26 過去1年間にあなたは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害、知的障害、精神障害は「スポーツ・軽度な身体活動」、難病・特定疾患は「コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動	26.9	20.0	31.4	39.6
スポーツ・軽度な身体活動	27.6	35.1	34.8	38.4
趣味のサークル活動などの学習活動	11.3	11.1	9.1	14.7
ボランティア活動やNPO活動	4.2	3.5	4.1	9.8
障害者団体などの活動	4.7	11.9	2.7	0.4
その他	12.7	15.7	17.8	10.6
無回答	39.4	31.9	28.3	29.4

【年齢別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
総数	(186)	(214)	(323)	(483)	(362)	(793)
コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動	37.1	36.9	39.6	31.1	31.2	16.6
スポーツ・軽度な身体活動	34.9	48.6	39.0	33.7	28.2	23.7
趣味のサークル活動などの学習活動	14.5	16.8	9.0	7.0	11.3	11.1
ボランティア活動やNPO活動	5.4	5.1	4.3	4.1	5.2	4.3
障害者団体などの活動	6.5	10.3	5.6	6.2	2.8	2.4
その他	11.3	19.6	13.3	11.2	14.4	13.2
無回答	24.7	16.4	25.4	32.9	36.5	47.5

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・ 言語機能	視覚障害	平衡機能障害	聴覚機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)	
コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動	30.2	22.8	26.1	17.1	27.8	
スポーツ・軽度な身体活動	22.8	17.8	29.8	30.2	32.3	
趣味のサークル活動などの学習活動	10.2	13.9	11.4	14.7	11.2	
ボランティア活動やNPO活動	4.4	2.0	4.5	4.7	5.4	
障害者団体などの活動	3.8	9.9	7.3	7.8	1.8	
その他	12.4	8.9	16.7	13.2	11.2	
無回答	40.8	51.5	35.9	42.2	36.8	

【精神障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害 高次脳機能	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動	21.1	36.6	22.2	33.9	41.2	23.1
スポーツ・軽度な身体活動	33.8	34.3	29.1	42.2	29.4	26.9
趣味のサークル活動などの学習活動	6.8	12.6	6.0	8.3	0.0	3.8
ボランティア活動やNPO活動	3.0	5.1	6.0	3.7	0.0	3.8
障害者団体などの活動	3.0	2.0	2.6	4.6	11.8	0.0
その他	17.3	15.4	23.1	13.8	11.8	19.2
無回答	36.1	25.6	29.1	22.9	35.3	42.3

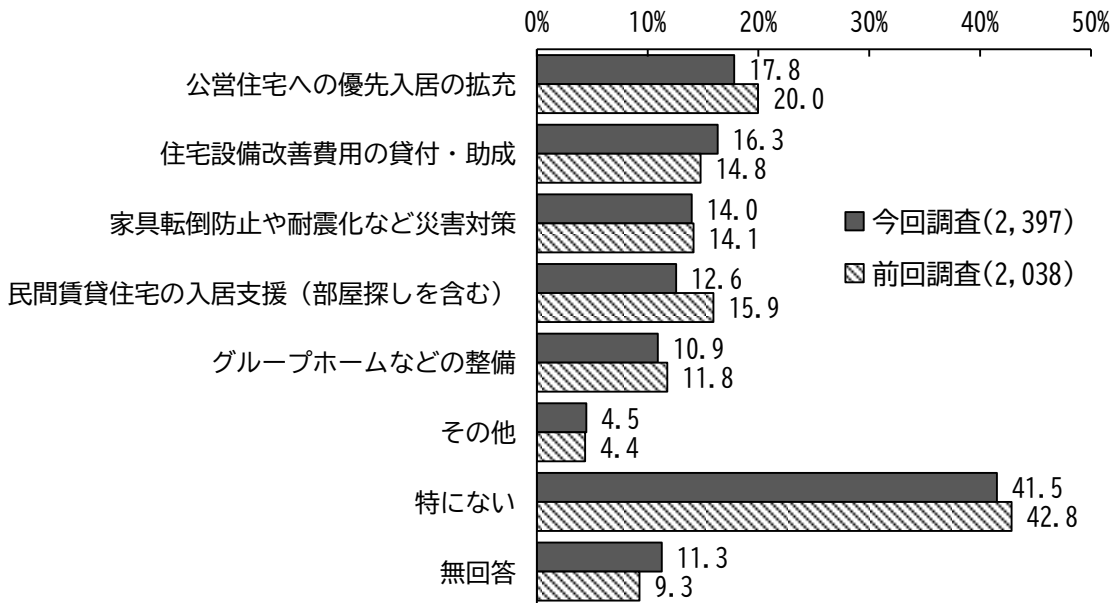
(3) 住まいに関して必要な支援

◆「公営住宅への優先入居の拡充」が17.8%

【全体】

- ・「公営住宅への優先入居の拡充」が17.8%と最も多く、次いで「住宅設備改善費用の貸付・助成」が16.3%、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が14.0%などとなっています。「特にない」は41.5%です。

問27 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患では「住宅設備改善費用の貸付・助成」、知的障害では「グループホームなどの整備」、精神障害では「公営住宅への優先入居の拡充」などが多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
住宅設備改善費用の貸付・助成	19.4	9.7	13.7	19.2
家具転倒防止や耐震化など災害対策	16.5	7.6	12.7	11.4
公営住宅への優先入居の拡充	17.3	14.9	23.9	17.1
民間賃貸住宅の入居支援(部屋探しを含む)	11.5	10.8	20.3	14.7
グループホームなどの整備	8.0	40.8	9.6	5.3
その他	4.3	4.6	5.7	3.3
特にない	39.8	36.2	41.0	49.4
無回答	12.1	8.6	8.9	8.6

【年齢別】

- ・18～39歳では「グループホームなどの整備」、40～64歳では「公営住宅への優先入居の拡充」などが多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	18～39歳	40～64歳	65歳以上
総数	(400)	(1,018)	(943)
住宅設備改善費用の貸付・助成	14.0	18.6	15.0
家具転倒防止や耐震化など災害対策	10.0	13.9	15.7
公営住宅への優先入居の拡充	17.0	23.3	12.4
民間賃貸住宅の入居支援（部屋探しを含む）	17.8	16.0	6.5
グループホームなどの整備	26.3	9.6	5.6
その他	5.5	4.2	4.3
特にない	40.5	41.4	43.2
無回答	5.8	8.3	16.0

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ 音 し や く 機 語 能 能	視覚障害	平聴 衡 機 能 障 害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
住宅設備改善費用の貸付・助成	23.6	17.8	18.4	17.4	20.2
家具転倒防止や耐震化など災害対策	18.1	15.8	15.5	18.6	13.5
公営住宅への優先入居の拡充	18.0	13.9	20.0	12.0	20.2
民間賃貸住宅の入居支援（部屋探しを含む）	13.4	9.9	12.2	7.0	12.6
グループホームなどの整備	10.1	12.9	10.2	6.6	4.0
その他	4.7	3.0	4.9	4.3	2.2
特にない	37.5	44.6	39.6	37.2	39.9
無回答	10.6	14.9	9.8	19.0	12.6

6 福祉サービスについて

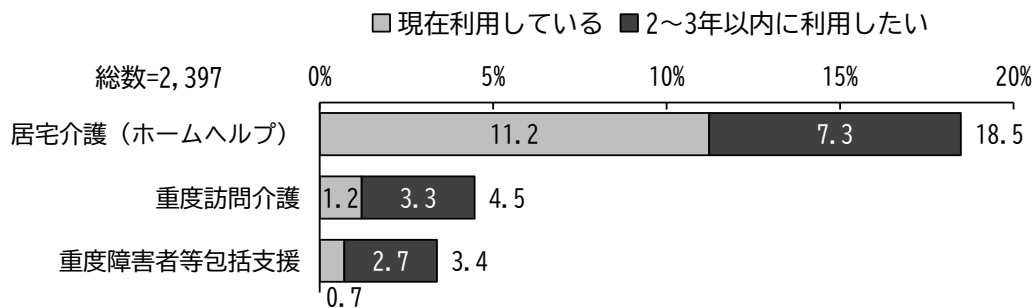
(1) 自宅での生活を支援するサービス

◆「現在利用している」と「2～3年以内に利用したい」を合わせた『サービスの需要』（以下『サービスの需要』と表記）は、「居宅介護」で18.5%

【全体】

- ・「現在利用している」は、居宅介護（ホームヘルプ）が11.2%、重度訪問介護が1.2%、重度障害者等包括支援が0.7%、「2～3年以内に利用したい」は、居宅介護（ホームヘルプ）が7.3%、重度訪問介護が3.3%、重度障害者等包括支援が2.7%となっています。

問28 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いますか。各サービスにつき、現在利用している場合は1に○を、2～3年以内に利用したい場合は2に○をつけてください。どちらも当てはまらない場合は何も書かずに先へお進みください。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)		重度訪問介護		重度障害者等 包括支援	
		現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 して いる	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,397 100.0	269 11.2	174 7.3	29 1.2	78 3.3	17 0.7	64 2.7
身体障害	1,342 100.0	197 14.7	119 8.9	25 1.9	56 4.2	13 1.0	41 3.1
知的障害	370 100.0	53 14.3	25 6.8	3 0.8	14 3.8	2 0.5	15 4.1
精神障害	561 100.0	35 6.2	32 5.7	7 1.2	14 2.5	2 0.4	14 2.5
難病・特定疾患	245 100.0	27 11.0	12 4.9	2 0.8	7 2.9	2 0.8	5 2.0

【身体障害・精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)		重度訪問介護		重度障害者等 包括支援	
		現在 利用 している	利用 したい 2～3 年以 内に	現在 利用 している	利用 したい 2～3 年以 内に	現在 利用 している	利用 したい 2～3 年以 内に
全体	2,397 100.0	269 11.2	174 7.3	29 1.2	78 3.3	17 0.7	64 2.7
肢体不自由	635 100.0	129 20.3	60 9.4	19 3.0	35 5.5	6 0.9	24 3.8
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	23 22.8	9 8.9	5 5.0	9 8.9	1 1.0	8 7.9
視覚障害	245 100.0	47 19.2	28 11.4	2 0.8	10 4.1	1 0.4	7 2.9
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	19 7.4	26 10.1	5 1.9	9 3.5	5 1.9	9 3.5
内部障害	223 100.0	25 11.2	20 9.0	4 1.8	9 4.0	4 1.8	9 4.0

上段：人 下段：%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)	
		現在 利用 している	利用 したい 2～3 年以 内に
全体	2,397 100.0	269 11.2	174 7.3
統合失調症	133 100.0	13 9.8	8 6.0
気分障害	254 100.0	9 3.5	13 5.1
神経症	117 100.0	11 9.4	4 3.4
発達障害	109 100.0	8 7.3	4 3.7
高次脳機能障害	17 100.0	1 5.9	2 11.8
依存症	26 100.0	2 7.7	3 11.5

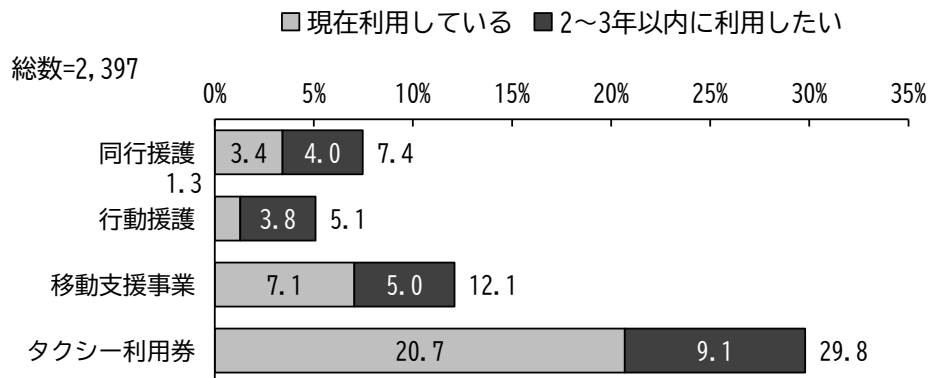
サービス名	サービスの内容
居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。
重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。
重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。

(2) 外出を支援するサービス

◆タクシー利用券のサービスの需要は 29.8%、移動支援事業は 12.1%

【全体】

- ・「現在利用している」は、同行援護が 3.4%、行動援護が 1.3%、移動支援事業が 7.1%、タクシー利用券が 20.7%、「2～3 年以内に利用したい」は、同行援護が 4.0%、行動援護が 3.8%、移動支援事業が 5.0%、タクシー利用券が 9.1%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	同行援護		行動援護		移動支援事業		タクシー利用券	
		現在利用している	利用したい 2～3年以内に	現在利用している	利用したい 2～3年以内に	現在利用している	利用したい 2～3年以内に	現在利用している	利用したい 2～3年以内に
全体	2,397 100.0	82 3.4	97 4.0	31 1.3	91 3.8	169 7.1	121 5.0	496 20.7	218 9.1
身体障害	1,342 100.0	70 5.2	71 5.3	20 1.5	53 3.9	77 5.7	66 4.9	444 33.1	133 9.9
知的障害	370 100.0	10 2.7	14 3.8	11 3.0	19 5.1	110 29.7	38 10.3	69 18.6	18 4.9
精神障害	561 100.0	5 0.9	16 2.9	4 0.7	19 3.4	21 3.7	25 4.5	23 4.1	47 8.4
難病・特定疾患	245 100.0	4 1.6	4 1.6	0 0.0	6 2.4	5 2.0	4 1.6	36 14.7	25 10.2

【身体障害・精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	同行援護		行動援護		移動支援事業		タクシー利用券	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	82 3.4	97 4.0	31 1.3	91 3.8	169 7.1	121 5.0	496 20.7	218 9.1
肢体不自由	635 100.0	10 1.6	27 4.3	11 1.7	33 5.2	51 8.0	44 6.9	274 43.1	79 12.4
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	2 2.0	2 2.0	3 3.0	2 2.0	12 11.9	6 5.9	34 33.7	8 7.9
視覚障害	245 100.0	51 20.8	35 14.3	3 1.2	7 2.9	20 8.2	10 4.1	100 40.8	15 6.1
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	6 2.3	9 3.5	3 1.2	9 3.5	6 2.3	11 4.3	23 8.9	32 12.4
内部障害	223 100.0	7 3.1	8 3.6	3 1.3	9 4.0	6 2.7	9 4.0	88 39.5	14 6.3

上段：人 下段：%	全体	移動支援事業	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	169 7.1	121 5.0
統合失調症	133 100.0	3 2.3	7 5.3
気分障害	254 100.0	2 0.8	9 3.5
神経症	117 100.0	4 3.4	3 2.6
発達障害	109 100.0	9 8.3	4 3.7
高次脳機能障害	17 100.0	3 17.6	0 0.0
依存症	26 100.0	1 3.8	2 7.7

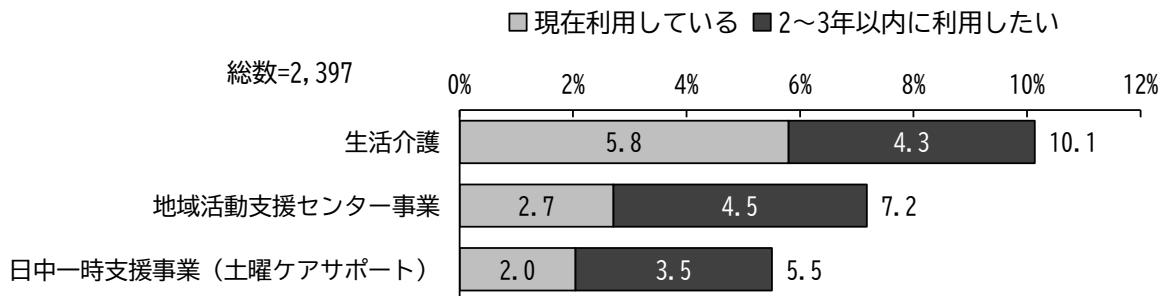
サービス名	サービスの内容
同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。
行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。
移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。
タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。

(3) 日中の活動を支援するサービス

◆生活介護のサービスの需要は10.1%

【全体】

- ・「現在利用している」は、生活介護が5.8%、地域生活支援センター事業が2.7%、日中一時支援事業（土曜ケアサポート）が2.0%、「2～3年以内に利用したい」は、生活介護が4.3%、地域生活支援センター事業が4.5%、日中一時支援事業（土曜ケアサポート）が3.5%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	生活介護		地域活動支援センター事業		日中一時支援事業（土曜ケアサポート）	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	139 5.8	104 4.3	65 2.7	107 4.5	49 2.0	83 3.5
身体障害	1,342 100.0	84 6.3	70 5.2	38 2.8	63 4.7	35 2.6	42 3.1
知的障害	370 100.0	81 21.9	14 3.8	16 4.3	20 5.4	31 8.4	27 7.3
精神障害	561 100.0	16 2.9	17 3.0	21 3.7	22 3.9	6 1.1	15 2.7
難病・特定疾患	245 100.0	5 2.0	8 3.3	3 1.2	5 2.0	3 1.2	4 1.6

【身体障害・精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	生活介護		地域活動支援センター事業		日中一時支援事業 (土曜ケアサポート)	
		現在利用している	2～3年以内 に 利用したい	現在利用している	2～3年以内 に 利用したい	現在利用している	2～3年以内 に 利用したい
全体	2,397 100.0	139 5.8	104 4.3	65 2.7	107 4.5	49 2.0	83 3.5
肢体不自由	635 100.0	70 11.0	38 6.0	24 3.8	33 5.2	27 4.3	26 4.1
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	12 11.9	6 5.9	5 5.0	5 5.0	6 5.9	4 4.0
視覚障害	245 100.0	10 4.1	16 6.5	10 4.1	15 6.1	4 1.6	10 4.1
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	8 3.1	14 5.4	3 1.2	14 5.4	3 1.2	6 2.3
内部障害	223 100.0	7 3.1	11 4.9	2 0.9	7 3.1	3 1.3	5 2.2

上段：人 下段：%	全体	地域活動支援センター事業	
		現在利用している	2～3年以内 に 利用したい
全体	2,397 100.0	65 2.7	107 4.5
統合失調症	133 100.0	10 7.5	4 3.0
気分障害	254 100.0	3 1.2	11 4.3
神経症	117 100.0	2 1.7	1 0.9
発達障害	109 100.0	1 0.9	6 5.5
高次脳機能障害	17 100.0	1 5.9	0 0.0
依存症	26 100.0	2 7.7	2 7.7

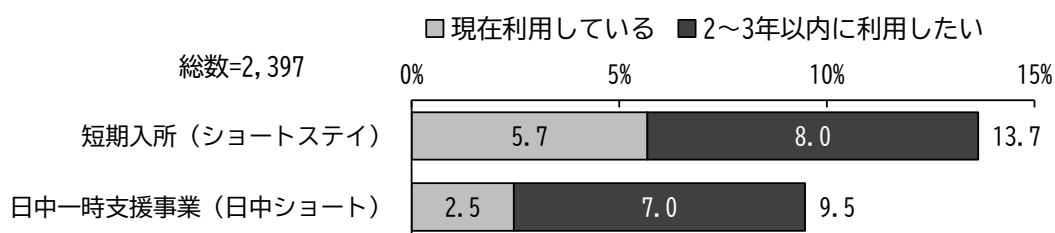
サービス名	サービスの内容
生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。
地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。
日中一時支援事業(土曜ケアサポート)	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。

(4) 一時的な支援を行うサービス

◆短期入所のサービスの需要は13.7%

【全体】

- ・「現在利用している」は、短期入所（ショートステイ）が5.7%、日中一時支援事業（日中ショート）が2.5%、「2～3年以内に利用したい」は、短期入所（ショートステイ）が8.0%、日中一時支援事業（日中ショート）が7.0%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	短期入所 (ショートステイ)		日中一時支援事業 (日中ショート)	
		現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,397 100.0	136 5.7	191 8.0	59 2.5	168 7.0
身体障害	1,342 100.0	73 5.4	121 9.0	36 2.7	110 8.2
知的障害	370 100.0	74 20.0	53 14.3	20 5.4	42 11.4
精神障害	561 100.0	22 3.9	28 5.0	9 1.6	25 4.5
難病・特定疾患	245 100.0	5 2.0	14 5.7	1 0.4	18 7.3

【身体障害・精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	短期入所 (ショートステイ)		日中一時支援事業 (日中ショート)	
		現在 利用 している	2 ～ 3 年 以内 に 利 用 し た い	現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以内 に 利 用 し た い
全体	2,397 100.0	136 5.7	191 8.0	59 2.5	168 7.0
肢体不自由	635 100.0	54 8.5	68 10.7	23 3.6	66 10.4
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	9 8.9	12 11.9	4 4.0	11 10.9
視覚障害	245 100.0	11 4.5	31 12.7	7 2.9	21 8.6
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	9 3.5	30 11.6	4 1.6	22 8.5
内部障害	223 100.0	9 4.0	17 7.6	6 2.7	16 7.2

上段：人 下段：%	全体	短期入所 (ショートステイ)	
		現 在 利 用 し て い る	2 ～ 3 年 以内 に 利 用 し た い
全体	2,397 100.0	136 5.7	191 8.0
統合失調症	133 100.0	4 3.0	6 4.5
気分障害	254 100.0	3 1.2	8 3.1
神経症	117 100.0	2 1.7	4 3.4
発達障害	109 100.0	5 4.6	5 4.6
高次脳機能障害	17 100.0	2 11.8	1 5.9
依存症	26 100.0	0 0.0	4 15.4

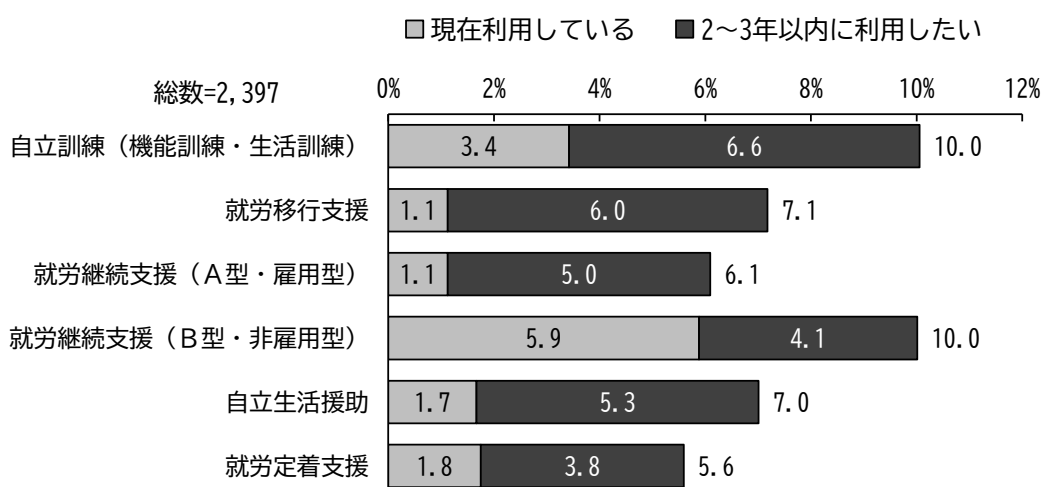
サービス名	サービスの内容
短期入所（ショートステイ）	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。
日中一時支援事業 (日中ショート)	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。

(5) 自立や就労を支援するサービス

◆自立訓練（機能訓練・生活訓練）、就労継続支援（B型・非雇用型）のサービスの需要は10.0%

【全体】

・「現在利用している」は、自立訓練（機能訓練・生活訓練）が3.4%、就労移行支援が1.1%、就労継続支援（A型・雇用型）が1.1%、就労継続支援（B型・非雇用型）が5.9%などとなっています。「2～3年以内に利用したい」は、自立訓練（機能訓練・生活訓練）が6.6%、就労移行支援が6.0%、就労継続支援（A型・雇用型）が5.0%、就労継続支援（B型・非雇用型）が4.1%などとなっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)		就労移行支援		就労継続支援 (A型・雇用型)		就労継続支援 (B型・非雇用型)		自立生活援助		就労定着支援	
		現在 利用 している	2～ 3年 以内に 利用 したい	現在 利用 している	2～ 3年 以内に 利用 したい	現在 利用 している	2～ 3年 以内に 利用 したい	現在 利用 している	2～ 3年 以内に 利用 したい	現在 利用 している	2～ 3年 以内に 利用 したい	現在 利用 している	2～ 3年 以内に 利用 したい
全体	2,397 100.0	82 3.4	159 6.6	27 1.1	145 6.0	27 1.1	119 5.0	141 5.9	99 4.1	40 1.7	128 5.3	42 1.8	92 3.8
身体障害	1,342 100.0	53 3.9	86 6.4	11 0.8	60 4.5	9 0.7	62 4.6	35 2.6	53 3.9	21 1.6	71 5.3	12 0.9	39 2.9
知的障害	370 100.0	20 5.4	31 8.4	10 2.7	24 6.5	13 3.5	15 4.1	77 20.8	15 4.1	5 1.4	22 5.9	22 5.9	18 4.9
精神障害	561 100.0	17 3.0	56 10.0	7 1.2	69 12.3	9 1.6	47 8.4	47 8.4	35 6.2	17 3.0	40 7.1	9 1.6	38 6.8
難病・特定疾患	245 100.0	2 0.8	9 3.7	0 0.0	9 3.7	2 0.8	6 2.4	4 1.6	5 2.0	2 0.8	8 3.3	0 0.0	4 1.6

【身体障害・精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)		就労移行支援		就労継続支援 (A型・雇用型)		就労継続支援 (B型・非雇用型)		自立生活援助		就労定着支援	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	82 3.4	159 6.6	27 1.1	145 6.0	27 1.1	119 5.0	141 5.9	99 4.1	40 1.7	128 5.3	42 1.8	92 3.8
肢体不自由	635 100.0	32 5.0	54 8.5	6 0.9	42 6.6	5 0.8	42 6.6	22 3.5	38 6.0	11 1.7	43 6.8	6 0.9	27 4.3
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	7 6.9	9 8.9	0 0.0	4 4.0	0 0.0	4 4.0	8 7.9	3 3.0	2 2.0	8 7.9	1 1.0	4 4.0
視覚障害	245 100.0	12 4.9	16 6.5	1 0.4	6 2.4	1 0.4	8 3.3	4 1.6	5 2.0	2 0.8	12 4.9	1 0.4	5 2.0
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	8 3.1	13 5.0	1 0.4	7 2.7	0 0.0	7 2.7	7 2.7	7 2.7	3 1.2	17 6.6	0 0.0	7 2.7
内部障害	223 100.0	7 3.1	14 6.3	1 0.4	11 4.9	2 0.9	11 4.9	5 2.2	10 4.5	5 2.2	6 2.7	2 0.9	4 1.8

上段：人 下段：%	全体	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)		就労移行支援		就労継続支援 (A型・雇用型)		就労継続支援 (B型・非雇用型)		自立生活援助		就労定着支援	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	82 3.4	159 6.6	27 1.1	145 6.0	27 1.1	119 5.0	141 5.9	99 4.1	40 1.7	128 5.3	42 1.8	92 3.8
統合失調症	133 100.0	6 4.5	14 10.5	2 1.5	18 13.5	4 3.0	13 9.8	19 14.3	8 6.0	4 3.0	11 8.3	0 0.0	6 4.5
気分障害	254 100.0	2 0.8	25 9.8	2 0.8	33 13.0	0 0.0	24 9.4	11 4.3	17 6.7	7 2.8	20 7.9	5 2.0	23 9.1
神経症	117 100.0	2 1.7	9 7.7	0 0.0	10 8.5	2 1.7	8 6.8	4 3.4	7 6.0	3 2.6	9 7.7	1 0.9	8 6.8
発達障害	109 100.0	2 1.8	14 12.8	2 1.8	13 11.9	4 3.7	10 9.2	10 9.2	8 7.3	3 2.8	8 7.3	4 3.7	8 7.3
高次脳機能障害	17 100.0	1 5.9	3 17.6	0 0.0	4 23.5	1 5.9	0 0.0	2 11.8	0 0.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	1 5.9
依存症	26 100.0	2 7.7	5 19.2	0 0.0	5 19.2	0 0.0	3 11.5	0 0.0	3 11.5	0 0.0	5 19.2	0 0.0	3 11.5

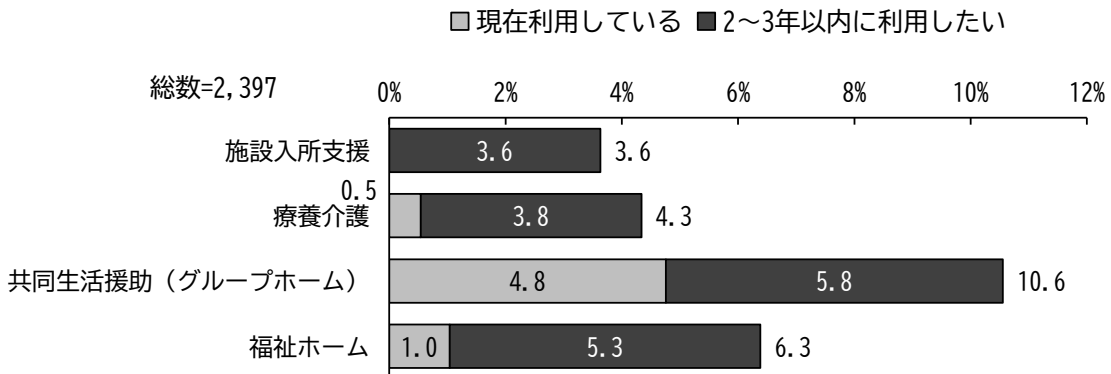
サービス名	サービスの内容
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。
就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。
就労継続支援 (A型・雇用型)	障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。
就労継続支援 (B型・非雇用型)	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。
自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。
就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。

(6) 住まいの場・住まいに関するサービス

◆共同生活援助（グループホーム）のサービスの需要は10.6%

【全体】

・「現在利用している」は、療養介護が0.5%、共同生活援助（グループホーム）が4.8%、福祉ホームが1.0%、「2～3年以内に利用したい」は、施設入所支援が3.6%、療養介護が3.8%、共同生活援助（グループホーム）が5.8%、福祉ホームが5.3%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	施設入所支援		療養介護		共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		2～3年以内に 利用したい	現在利用している	2～3年以内に 利用したい	現在利用している	2～3年以内に 利用したい	現在利用している	2～3年以内に 利用したい	現在利用している
全体	2,397 100.0	87 3.6	13 0.5	91 3.8	114 4.8	139 5.8	25 1.0	128 5.3	
身体障害	1,342 100.0	56 4.2	13 1.0	66 4.9	32 2.4	50 3.7	19 1.4	70 5.2	
知的障害	370 100.0	23 6.2	1 0.3	9 2.4	71 19.2	73 19.7	9 2.4	31 8.4	
精神障害	561 100.0	16 2.9	4 0.7	16 2.9	31 5.5	29 5.2	5 0.9	33 5.9	
難病・特定疾患	245 100.0	3 1.2	0 0.0	13 5.3	2 0.8	7 2.9	2 0.8	9 3.7	

【年齢別】

上段：人 下段：%	全体	施設入所 支援	療養介護		共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		利用 したい 2～3 年以内 に	現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に	現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に	現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に
全体	2,397 100.0	87 3.6	13 0.5	91 3.8	114 4.8	139 5.8	25 1.0	128 5.3
18～39歳	400 100.0	18 4.5	0 0.0	10 2.5	29 7.3	57 14.3	2 0.5	27 6.8
40～64歳	1018 100.0	30 2.9	10 1.0	31 3.0	69 6.8	43 4.2	17 1.7	44 4.3
65歳以上	943 100.0	37 3.9	3 0.3	49 5.2	12 1.3	37 3.9	5 0.5	54 5.7

【身体障害・精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	施設入所 支援	療養介護		共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		利用 したい 2～3 年以内 に	現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に	現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に	現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に
全体	2,397 100.0	87 3.6	13 0.5	91 3.8	114 4.8	139 5.8	25 1.0	128 5.3
肢体不自由	635 100.0	32 5.0	10 1.6	37 5.8	18 2.8	33 5.2	11 1.7	43 6.8
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	6 5.9	1 1.0	7 6.9	5 5.0	2 2.0	1 1.0	5 5.0
視覚障害	245 100.0	16 6.5	1 0.4	9 3.7	5 2.0	8 3.3	3 1.2	10 4.1
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	11 4.3	0 0.0	17 6.6	5 1.9	6 2.3	3 1.2	12 4.7
内部障害	223 100.0	6 2.7	0 0.0	13 5.8	4 1.8	3 1.3	2 0.9	8 3.6

上段：人 下段：%	全体	共同生活援助 (グループホーム)		福祉ホーム	
		現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に	現在 利用 して いる	利用 したい 2～3 年以内 に
全体	2,397 100.0	114 4.8	139 5.8	25 1.0	128 5.3
統合失調症	133 100.0	10 7.5	6 4.5	4 3.0	7 5.3
気分障害	254 100.0	8 3.1	9 3.5	1 0.4	15 5.9
神経症	117 100.0	1 0.9	3 2.6	0 0.0	6 5.1
発達障害	109 100.0	8 7.3	6 5.5	0 0.0	4 3.7
高次脳機能障害	17 100.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9
依存症	26 100.0	2 7.7	3 11.5	0 0.0	5 19.2

サービス名	サービスの内容
施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。
療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。
共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。
福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。

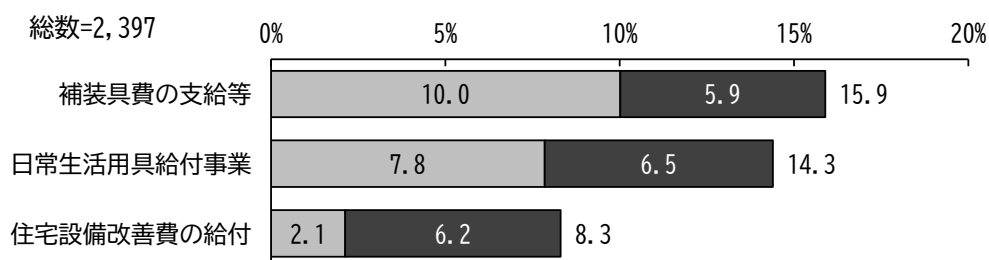
(7) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

◆補装具費の支給等のサービスの需要は 15.9%、日常生活用具給付事業は 14.3%

【全体】

- ・「現在利用している」は、補装具費の支給等が 10.0%、日常生活用具給付事業が 7.8%、住宅設備改善費の給付が 2.1%、「2～3 年以内に利用したい」は、補装具費の支給等が 5.9%、日常生活用具給付事業が 6.5%、住宅設備改善費の給付が 6.2%となっています。

□ 現在利用している ■ 2～3年以内に利用したい



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	補装具費の支給等		日常生活用具 給付事業		住宅設備改善費 の給付	
		現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,397 100.0	240 10.0	141 5.9	188 7.8	157 6.5	51 2.1	148 6.2
身体障害	1,342 100.0	229 17.1	107 8.0	173 12.9	117 8.7	46 3.4	104 7.7
知的障害	370 100.0	24 6.5	16 4.3	23 6.2	13 3.5	5 1.4	17 4.6
精神障害	561 100.0	12 2.1	24 4.3	12 2.1	30 5.3	4 0.7	34 6.1
難病・特定疾患	245 100.0	9 3.7	15 6.1	13 5.3	16 6.5	5 2.0	12 4.9

【身体障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	補装具費の支給等		日常生活用具 給付事業		住宅設備改善費 の給付	
		現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い	現在 利用 している	2 ～ 3 年 以 内 に 利 用 し た い
全体	2,397 100.0	240 10.0	141 5.9	188 7.8	157 6.5	51 2.1	148 6.2
肢体不自由	635 100.0	140 22.0	60 9.4	97 15.3	59 9.3	32 5.0	61 9.6
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	22 21.8	10 9.9	12 11.9	9 8.9	4 4.0	11 10.9
視覚障害	245 100.0	45 18.4	15 6.1	41 16.7	23 9.4	7 2.9	21 8.6
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	40 15.5	29 11.2	25 9.7	27 10.5	3 1.2	19 7.4
内部障害	223 100.0	23 10.3	14 6.3	21 9.4	16 7.2	7 3.1	11 4.9

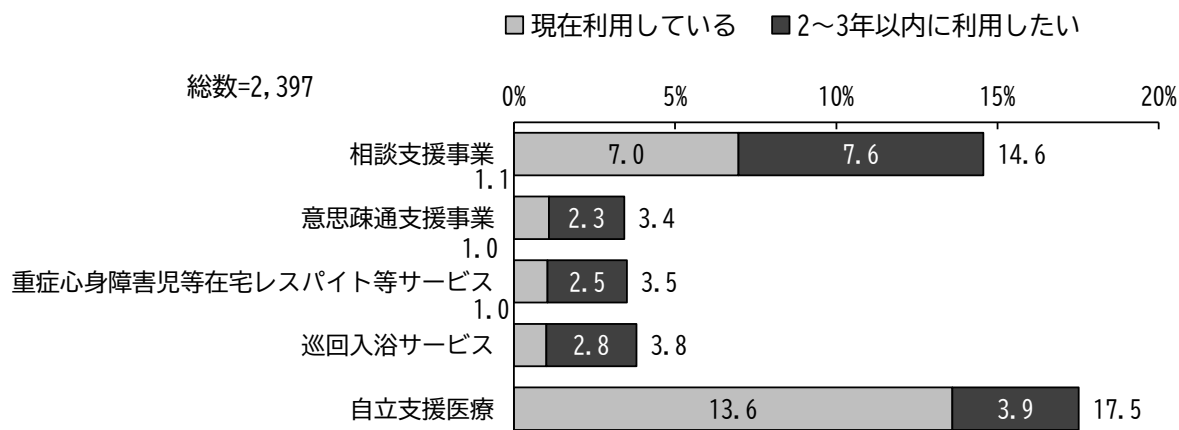
サービス名	サービスの内容
補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。
日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。
住宅設備改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。

(8) 日常生活のサービス

◆自立支援医療のサービスの需要は17.5%

【全体】

- ・「現在利用している」は、相談支援事業が7.0%、自立支援医療が13.6%などとなっています。「2～3年以内に利用したい」は、相談支援事業が7.6%、自立支援医療が3.9%などとなっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	相談支援事業		意思疎通支援事業		重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス		巡回入浴サービス		自立支援医療	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	167 7.0	182 7.6	26 1.1	56 2.3	25 1.0	59 2.5	24 1.0	67 2.8	326 13.6	94 3.9
身体障害	1,342 100.0	76 5.7	101 7.5	25 1.9	38 2.8	18 1.3	42 3.1	22 1.6	43 3.2	57 4.2	62 4.6
知的障害	370 100.0	74 20.0	34 9.2	0 0.0	11 3.0	4 1.1	16 4.3	6 1.6	9 2.4	46 12.4	12 3.2
精神障害	561 100.0	40 7.1	44 7.8	1 0.2	11 2.0	8 1.4	11 2.0	1 0.2	17 3.0	279 49.7	21 3.7
難病・特定疾患	245 100.0	8 3.3	21 8.6	1 0.4	5 2.0	2 0.8	5 2.0	6 2.4	5 2.0	10 4.1	7 2.9

【身体障害・精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	相談支援事業		意思疎通支援事業		重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス		巡回入浴サービス		自立支援医療	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	167 7.0	182 7.6	26 1.1	56 2.3	25 1.0	59 2.5	24 1.0	67 2.8	326 13.6	94 3.9
肢体不自由	635 100.0	53 8.3	53 8.3	1 0.2	18 2.8	14 2.2	30 4.7	19 3.0	28 4.4	26 4.1	42 6.6
音声・言語・そしゃく機能障害	101 100.0	6 5.9	10 9.9	1 1.0	4 4.0	2 2.0	5 5.0	3 3.0	6 5.9	4 4.0	6 5.9
視覚障害	245 100.0	13 5.3	21 8.6	2 0.8	6 2.4	2 0.8	3 1.2	3 1.2	6 2.4	3 1.2	6 2.4
聴覚・平衡機能障害	258 100.0	9 3.5	23 8.9	21 8.1	15 5.8	2 0.8	8 3.1	2 0.8	6 2.3	3 1.2	13 5.0
内部障害	223 100.0	6 2.7	11 4.9	2 0.9	2 0.9	3 1.3	8 3.6	2 0.9	5 2.2	22 9.9	9 4.0

上段：人 下段：%	全体	自立支援医療	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	2,397 100.0	326 13.6	94 3.9
統合失調症	133 100.0	73 54.9	6 4.5
気分障害	254 100.0	126 49.6	10 3.9
神経症	117 100.0	60 51.3	3 2.6
発達障害	109 100.0	67 61.5	3 2.8
高次脳機能障害	17 100.0	8 47.1	0 0.0
依存症	26 100.0	11 42.3	3 11.5

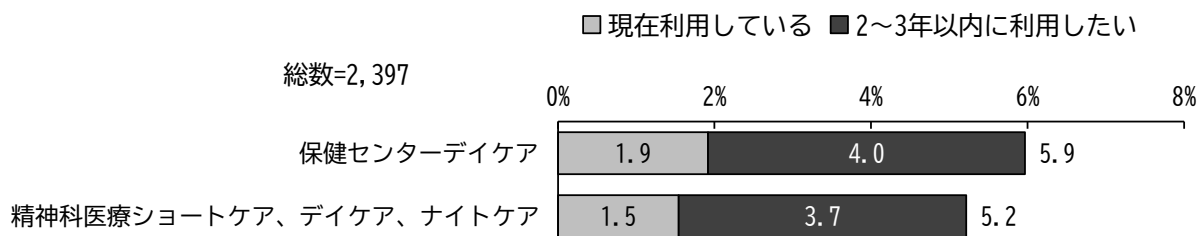
サービス名	サービスの内容
相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。
意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。
重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児（者）の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。
巡回入浴サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。
自立支援医療	障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院）を給付します。

（９）精神障害者を対象としたデイケア

◆保健センターデイケアのサービスの需要は 5.9%

【全体】

- ・「現在利用している」は、保健センターデイケアが 1.9%、精神科医療ショートケア、デイケア、ナイトケアが 1.5%、「2～3 年以内に利用したい」は、保健センターデイケアが 4.0%、精神科医療ショートケア、デイケア、ナイトケアが 3.7%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	保健センターデイケア		精神科医療ショートケア、 デイケア、ナイトケア	
		現在利用している	2～3年以内に 利用したい	現在利用している	2～3年以内に 利用したい
全体	2,397 100.0	46 1.9	97 4.0	37 1.5	88 3.7
精神障害	561 100.0	22 3.9	44 7.8	28 5.0	52 9.3

【精神障害の種類別】

上段：人 下段：%	全体	保健センターデイケア		精神科医療ショートケア、 デイケア、ナイトケア	
		現在利用している	2～3年以内に 利用したい	現在利用している	2～3年以内に 利用したい
全体	2,397 100.0	46 1.9	97 4.0	37 1.5	88 3.7
統合失調症	133 100.0	9 6.8	11 8.3	13 9.8	11 8.3
気分障害	254 100.0	5 2.0	25 9.8	7 2.8	29 11.4
神経症	117 100.0	5 4.3	13 11.1	6 5.1	11 9.4
発達障害	109 100.0	3 2.8	7 6.4	1 0.9	9 8.3
高次脳機能障害	17 100.0	2 11.8	1 5.9	1 5.9	2 11.8
依存症	26 100.0	1 3.8	4 15.4	4 15.4	5 19.2

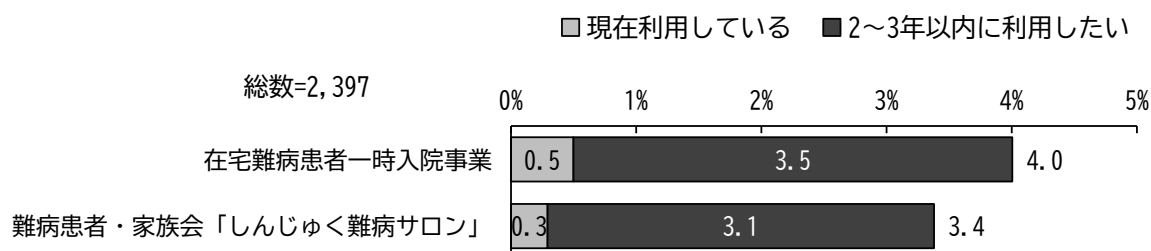
サービス名	サービスの内容
保健センターデイケア	グループでの活動を通じて生活習慣や対人関係を築けるようになるための場の提供を行います。
精神科医療ショートケア、 デイケア、ナイトケア	精神科治療（医療保険）の一環。グループ活動を通して、生活習慣や対人関係の練習など社会復帰の準備を行う場です。

(10) 難病患者に関する支援

◆在宅難病患者一時入院事業のサービスの需要は 4.0%、難病患者・家族会「しんじゅく難病サロン」は 3.4%

【全体】

- ・「現在利用している」は、在宅難病患者一時入院事業が 0.5%、難病患者・家族会「しんじゅく難病サロン」が 0.3%、「2～3年以内に利用したい」は、在宅難病患者一時入院事業が 3.5%、難病患者・家族会「しんじゅく難病サロン」が 3.1%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	在宅難病患者 一時入院事業		難病患者・家族会 「しんじゅく難病サロン」	
		現在 利用 している	2 ～ 3 年 以内 に 利 用 した い	現在 利用 している	2 ～ 3 年 以内 に 利 用 した い
全体	2,397 100.0	12 0.5	84 3.5	7 0.3	74 3.1
難病・特定疾患	245 100.0	4 1.6	27 11.0	2 0.8	29 11.8

サービス名	サービスの内容
在宅難病患者一時入院事業	難病医療の給付を受けている方で、介護者が一時的に介護できなくなった場合、東京都が委託している病院に短期間入院することができます。
難病患者・家族会 「しんじゅく難病サロン」	難病を抱えながらも自分らしく生活するため、療養生活の情報交換や体験を分かち合うことができます。

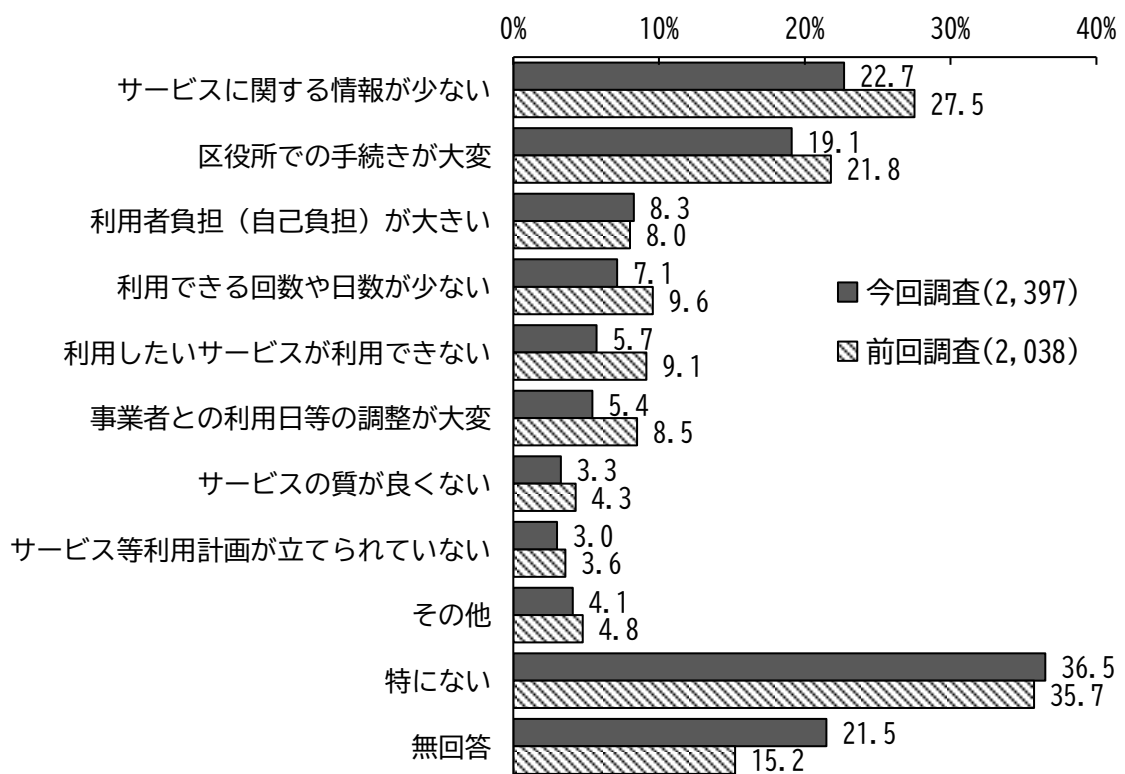
(11) サービス利用に関して困っていること

◆「サービスに関する情報が少ない」が 22.7%、次いで「区役所での手続きが大変」が 19.1%

【全体】

・「サービスに関する情報が少ない」が 22.7%と最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が 19.1%、「利用者負担（自己負担）が大きい」が 8.3%などとなっています。「特にない」は 36.5%です。

問 29 あなたは、サービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
サービスに関する情報が少ない	23.3	17.8	27.6	23.7
区役所での手続きが大変	18.1	18.4	22.8	23.3
利用できる回数や日数が少ない	7.4	13.2	8.4	4.1
事業者との利用日等の調整が大変	5.7	11.4	4.5	2.4
サービスの質が良くない	3.2	4.3	3.7	3.3
利用したいサービスが利用できない	5.4	10.3	5.3	4.5
サービス等利用計画が立てられていない	2.3	5.7	4.3	1.6
利用者負担（自己負担）が大きい	8.9	4.3	8.9	9.4
その他	3.3	5.9	5.7	4.9
特にない	34.9	33.0	39.2	40.8
無回答	23.4	19.2	14.8	17.6

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体 不自由	そ 音 障 し や く 機 能 ・ 言 語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 衡 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
サービスに関する情報が少ない	27.9	27.7	22.4	19.8	22.0
区役所での手続きが大変	19.5	18.8	25.7	15.5	16.6
利用できる回数や日数が少ない	9.1	9.9	9.4	5.0	7.6
事業者との利用日等の調整が大変	7.6	9.9	7.3	4.7	3.1
サービスの質が良くない	4.1	2.0	3.7	4.3	2.2
利用したいサービスが利用できない	7.1	6.9	7.3	3.9	4.9
サービス等利用計画が立てられていない	2.2	3.0	3.7	2.3	1.8
利用者負担（自己負担）が大きい	9.8	11.9	10.6	10.1	8.1
その他	3.3	3.0	2.0	3.1	3.6
特にない	32.9	33.7	29.8	34.5	36.8
無回答	18.9	21.8	25.3	27.9	23.3

(12) サービス等利用計画の現状

◆「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が56.0%

【全体】

- ・「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が56.0%と最も多く、次いで「介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネジャーにケアプランを作成依頼している」が26.0%、「自分及び家族や支援者とセルフプランを作成している」が17.9%となっています。

【障害別】

- ・知的障害と精神障害で「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が多くなっています。

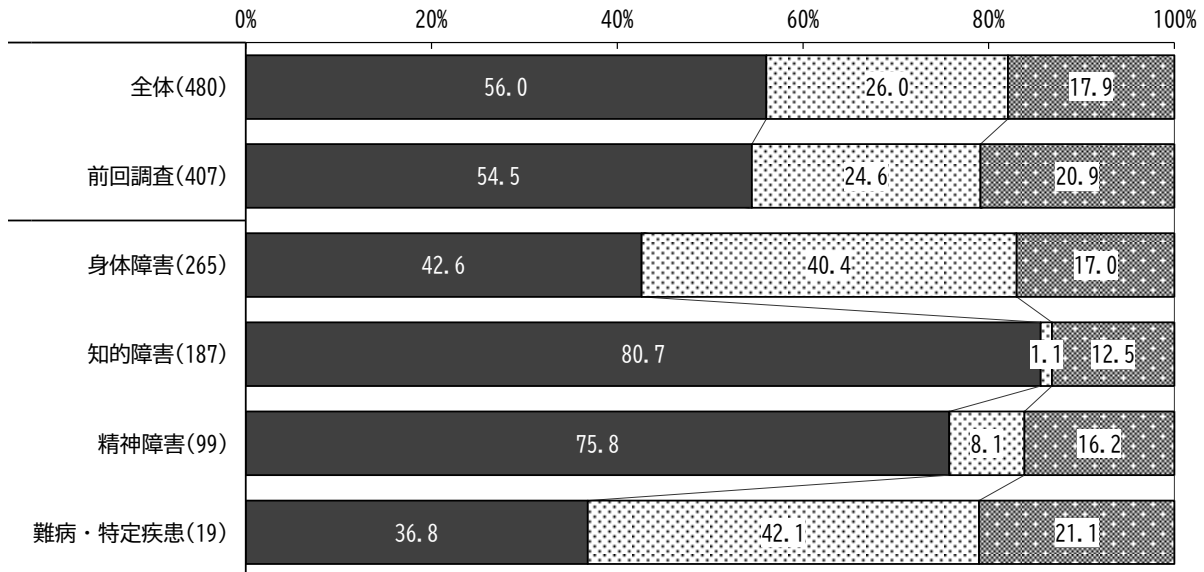
問 30 【障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。】

サービス等利用計画について、現状を教えてください。(〇はひとつ)

■ 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している

▣ 介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネジャーにケアプランを作成依頼している

▤ 自分及び家族や支援者とセルフプランを作成している



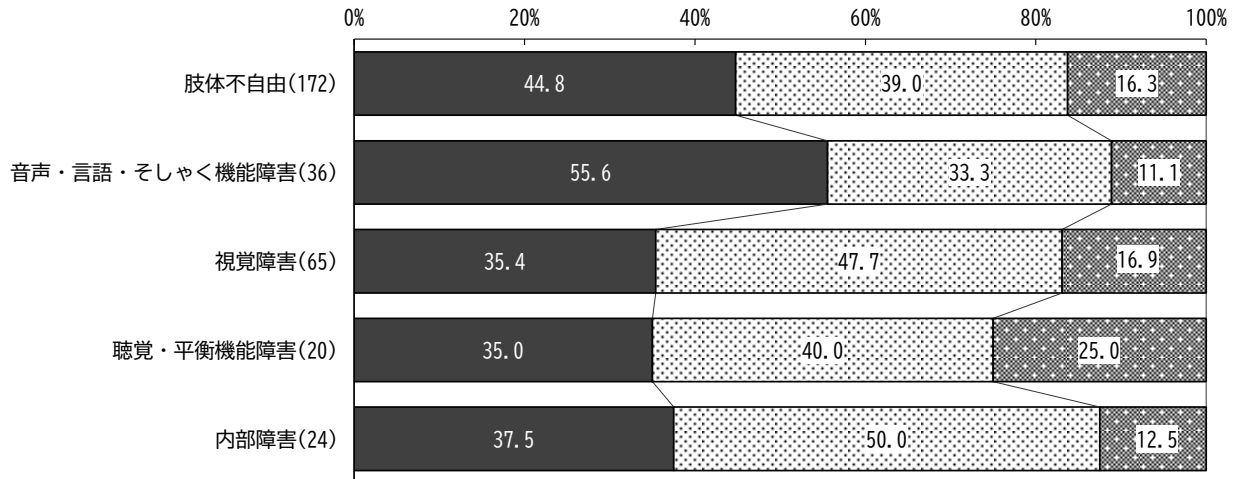
※無回答を除いた集計

【身体障害の種類別】

■ 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している

▨ 介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネジャーにケアプランを作成依頼している

▩ 自分及び家族や支援者とセルフプランを作成している



※無回答を除いた集計

(13) 介護保険サービスの利用状況

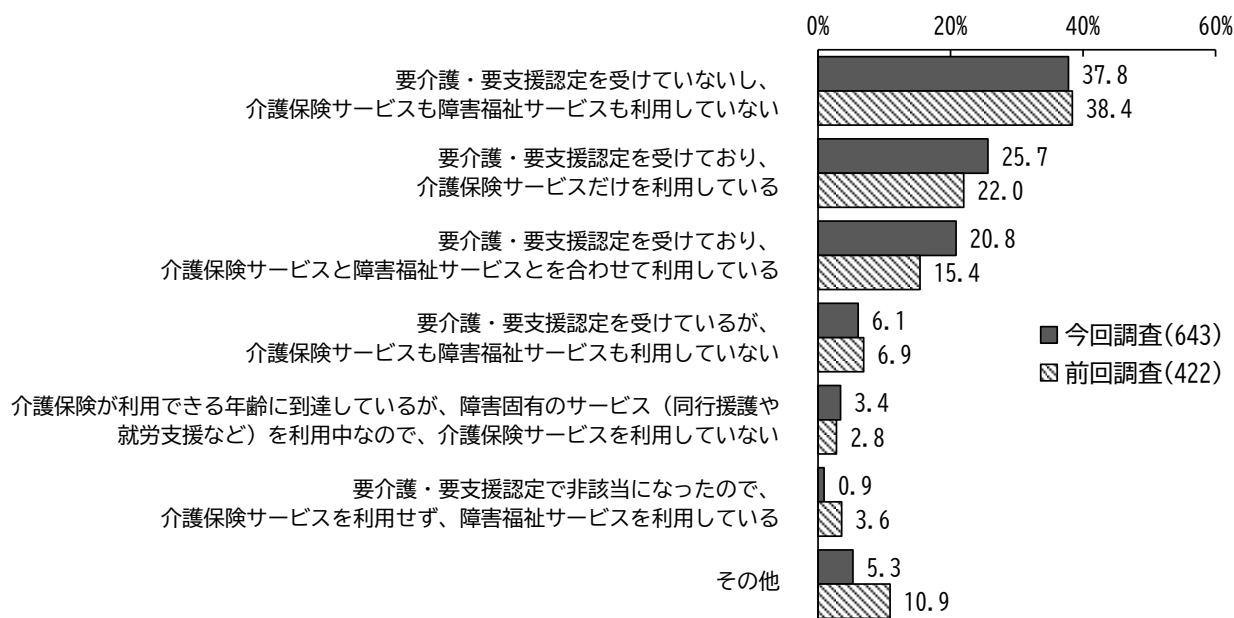
◆「要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない」が37.8%

【全体】

・「要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない」が37.8%と最も多く、次いで「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している」が25.7%、「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している」が20.8%などとなっています。

問31 【65歳以上の方（45～64歳で特定疾病の方を含みます）にお聞きます。】

あなたにあてはまるものはどれですか。（○はひとつ）



【障害別】

- ・身体障害では「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している」が他障害と比較して多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(471)	(19)	(82)	(90)
要介護・要支援認定を受けており、 介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している	26.1	5.3	8.5	11.1
要介護・要支援認定を受けており、 介護保険サービスだけを利用している	24.4	31.6	28.0	23.3
要介護・要支援認定を受けているが、 介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	6.2	10.5	7.3	8.9
要介護・要支援認定を受けていないし、 介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	35.5	26.3	40.2	50.0
介護保険が利用できる年齢に到達しているが、障害固有のサービス（同行援護 や就労支援など）を利用中なので、介護保険サービスを利用していない	3.0	15.8	4.9	0.0
要介護・要支援認定で非該当になったので、 介護保険サービスを利用せず、障害福祉サービスを利用している	0.6	5.3	2.4	0.0
その他	4.2	5.3	8.5	6.7

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ し や く 言 語 機 能	視覚 障害	平 聴 衡 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(261)	(52)	(175)	(188)	(139)
要介護・要支援認定を受けており、 介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している	24.5	23.1	22.3	8.5	16.5
要介護・要支援認定を受けており、 介護保険サービスだけを利用している	23.0	23.1	9.7	14.4	10.1
要介護・要支援認定を受けているが、 介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	2.3	5.8	5.7	4.8	2.9
要介護・要支援認定を受けていないし、 介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない	21.8	11.5	17.7	21.3	23.7
介護保険が利用できる年齢に到達しているが、障害固有のサービス（同行援護や 就労支援など）を利用中なので、介護保険サービスを利用していない	1.1	1.9	5.7	0.5	0.0
要介護・要支援認定で非該当になったので、 介護保険サービスを利用せず、障害福祉サービスを利用している	0.4	0.0	0.6	0.0	0.7
その他	2.3	5.8	1.7	2.7	3.6
無回答	24.5	28.8	36.6	47.9	42.4

(14) 介護保険サービスの利用に関すること

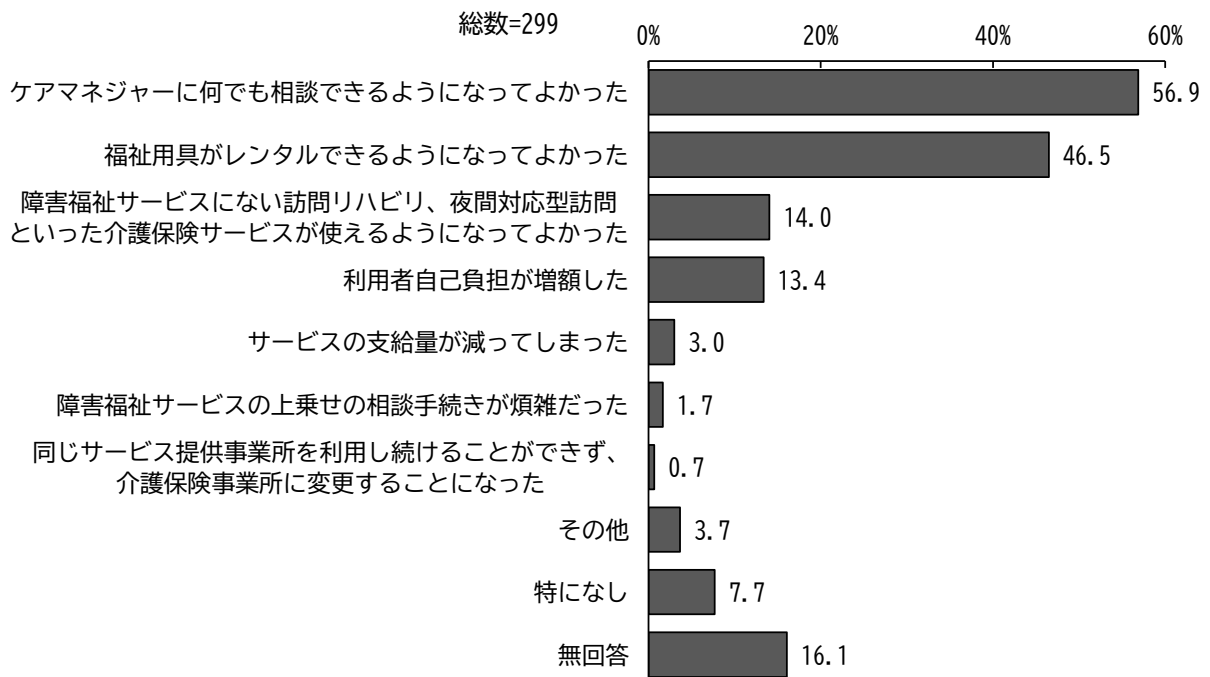
◆「ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった」が56.9%

【全体】

- ・「ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった」が56.9%と最も多く、次いで「福祉用具がレンタルできるようになってよかった」が46.5%、「障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかった」が14.0%などとなっています。

問32 【問31で「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している」「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している」のいずれかを回答し、障害福祉サービスを利用したことがある方にお聞きします。】

介護保険サービスを利用するようになって、どんなことがありましたか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・難病・特定疾患で「福祉用具がレンタルできるようになってよかった」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難病・疾患
総数	(238)	(7)	(30)	(31)
ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった	58.4	57.1	50.0	51.6
福祉用具がレンタルできるようになってよかった	48.3	42.9	36.7	61.3
障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかった	12.6	14.3	20.0	29.0
サービスの支給量が減ってしまった	3.8	0.0	0.0	3.2
同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった	0.8	0.0	0.0	3.2
利用者自己負担が増額した	11.8	14.3	33.3	12.9
障害福祉サービスの上乗せの相談手続きが煩雑だった	1.7	0.0	0.0	0.0
その他	3.8	0.0	3.3	6.5
特になし	8.4	42.9	3.3	0.0
無回答	14.3	0.0	16.7	12.9

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害しや 音声 く 機 語 能 ・	視覚障害	平聴 衡機 ・ 能 障 害	内部障害
総数	(124)	(24)	(56)	(43)	(37)
ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかった	62.1	66.7	55.4	55.8	67.6
福祉用具がレンタルできるようになってよかった	55.6	50.0	44.6	41.9	54.1
障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかった	15.3	20.8	10.7	9.3	18.9
サービスの支給量が減ってしまった	3.2	0.0	7.1	2.3	0.0
同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった	1.6	4.2	0.0	0.0	2.7
利用者自己負担が増額した	12.9	8.3	16.1	23.3	5.4
障害福祉サービスの上乗せの相談手続きが煩雑だった	2.4	8.3	1.8	0.0	2.7
その他	4.8	8.3	3.6	2.3	2.7
特になし	5.6	4.2	12.5	7.0	8.1
無回答	10.5	16.7	8.9	25.6	10.8

7 災害対策について

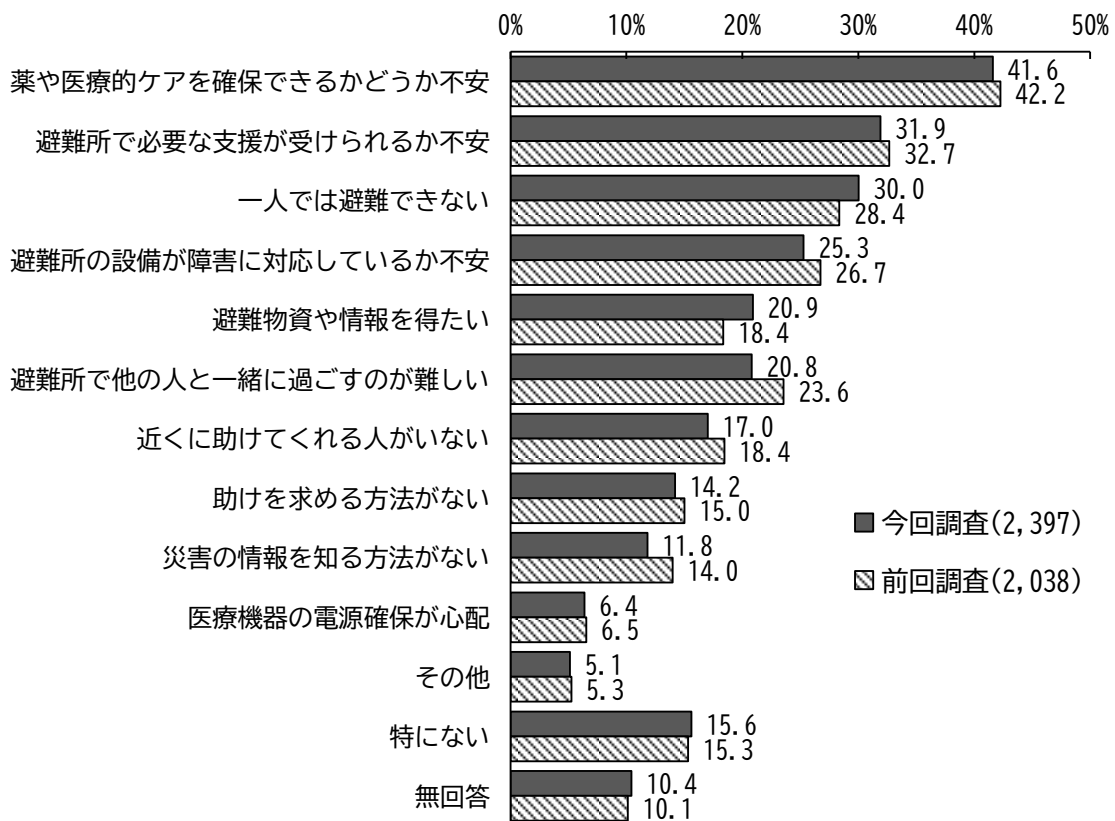
(1) 災害が発生したときに困ること

◆「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が41.6%

【全体】

- ・「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が41.6%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が31.9%、「一人では避難できない」が30.0%などとなっています。

問33 あなたが、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・知的障害では「一人では避難できない」が最も多く、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」も多くなっています。身体障害、精神障害、難病・特定疾患では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が多くなっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
災害の情報をする方法がない	11.8	17.3	10.5	6.1
助けを求める方法がない	14.7	17.3	13.9	10.6
近くに助けてくれる人がいない	17.3	12.2	22.3	13.9
一人では避難できない	35.8	49.7	16.2	19.6
避難所の設備が障害に対応しているか不安	30.4	30.0	17.3	22.0
避難所で必要な支援が受けられるか不安	34.4	41.1	29.4	24.5
避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	17.4	34.1	29.6	11.8
薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	38.4	36.2	53.8	58.4
医療機器の電源確保が心配	6.8	5.9	7.0	6.1
避難物資や情報を得たい	19.9	20.3	24.6	22.0
その他	5.1	4.1	6.1	5.3
特になし	14.8	14.9	17.1	15.9
無回答	10.3	10.0	5.7	7.3

【身体障害の種類別】

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	肢体 不自由	障害 そ音 し声 や・ <言 機能 語能 ・	視 覚 障 害	平聴 衡覚 機・ 能障 害	内 部 障 害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
災害の情報をする方法がない	9.3	13.9	16.7	19.0	7.2
助けを求める方法がない	16.1	20.8	21.2	12.4	6.7
近くに助けてくれる人がいない	20.9	14.9	20.8	13.2	13.0
一人では避難できない	43.8	42.6	50.6	25.6	18.4
避難所の設備が障害に対応しているか不安	40.3	33.7	31.4	17.8	21.5
避難所で必要な支援が受けられるか不安	39.1	38.6	38.8	32.2	28.7
避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	20.5	21.8	22.0	15.5	11.7
薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	40.2	42.6	38.0	29.8	55.2
医療機器の電源確保が心配	7.6	13.9	3.3	6.6	12.6
避難物資や情報を得たい	20.5	18.8	25.7	18.2	12.6
その他	5.5	3.0	5.3	4.3	3.1
特になし	12.3	9.9	12.7	17.1	13.5
無回答	8.3	9.9	8.2	15.9	13.0

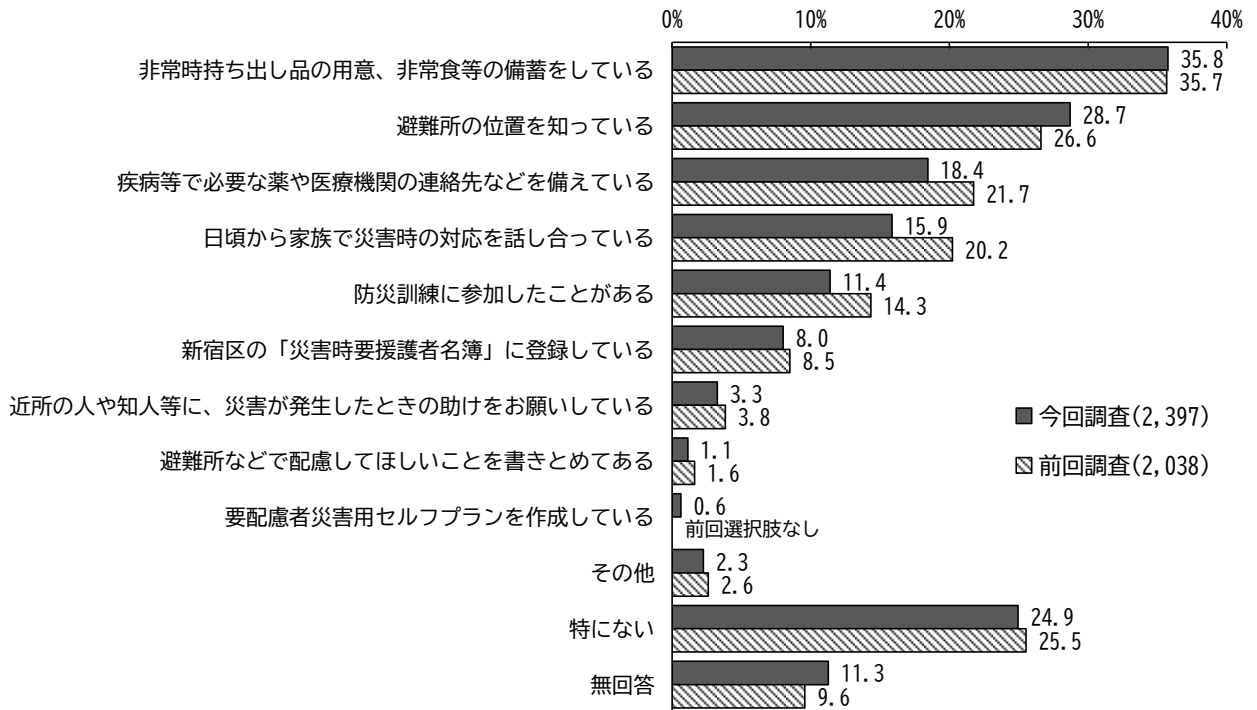
(2) 災害に対して備えていること

◆「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が35.8%

【全体】

- ・「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が35.8%と最も多く、次いで「避難所の位置を知っている」が28.7%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が18.4%などとなっています。「特にない」は24.9%です。

問34 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)



※「要配慮者災害用セルフプランを作成している」は前回選択肢なし

※「避難所の位置を知っている」は、前回「避難所の位置を知っている、行ったことがある」

【障害別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	16.5	20.8	11.2	18.8
非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている	37.3	32.2	33.0	42.0
疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	20.8	15.7	15.7	29.4
近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	3.7	5.7	2.1	2.0
新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している	9.3	20.5	3.0	6.1
避難所の位置を知っている	29.7	21.4	29.1	42.0
避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある	1.2	1.9	0.9	0.8
防災訓練に参加したことがある	11.5	17.6	10.9	9.4
要配慮者災害用セルフプランを作成している	0.8	1.4	0.2	0.8
その他	2.0	1.6	3.7	2.0
特にない	23.1	22.4	31.0	18.4
無回答	11.1	14.1	7.8	4.9

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体 不自由	障 害 そ 音 し や ・ く 言 機 語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 覚 ・ 機 能 障 害	内 部 障 害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	15.4	16.8	18.8	19.4	13.9
非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている	40.2	34.7	35.9	36.0	32.3
疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	21.3	22.8	18.4	16.3	26.9
近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	4.1	5.0	3.3	6.6	0.4
新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している	12.1	13.9	11.8	6.2	5.4
避難所の位置を知っている	30.9	27.7	28.2	29.1	30.9
避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある	1.1	2.0	0.8	1.6	1.3
防災訓練に参加したことがある	11.2	14.9	14.7	12.4	12.6
要配慮者災害用セルフプランを作成している	1.4	1.0	0.8	0.4	0.4
その他	2.2	2.0	2.0	1.9	0.9
特にない	22.5	23.8	24.1	18.6	22.0
無回答	9.9	12.9	12.2	16.7	13.5

【精神障害の種類別】

単位：％、()内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害高次脳機能	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	9.8	9.1	14.5	11.0	35.3	0.0
非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている	33.1	32.3	30.8	34.9	17.6	3.8
疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	18.8	14.6	18.8	13.8	5.9	7.7
近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	2.3	0.8	0.9	2.8	5.9	0.0
新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している	1.5	1.6	2.6	2.8	0.0	3.8
避難所の位置を知っている	29.3	31.5	28.2	25.7	29.4	15.4
避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある	1.5	0.8	0.9	0.9	0.0	0.0
防災訓練に参加したことがある	15.8	7.9	5.1	8.3	11.8	0.0
要配慮者災害用セルフプランを作成している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.5	3.9	6.8	3.7	11.8	0.0
特にない	32.3	31.5	33.3	25.7	35.3	57.7
無回答	6.0	6.7	6.0	10.1	5.9	11.5

8 新型コロナウイルス感染症の影響について

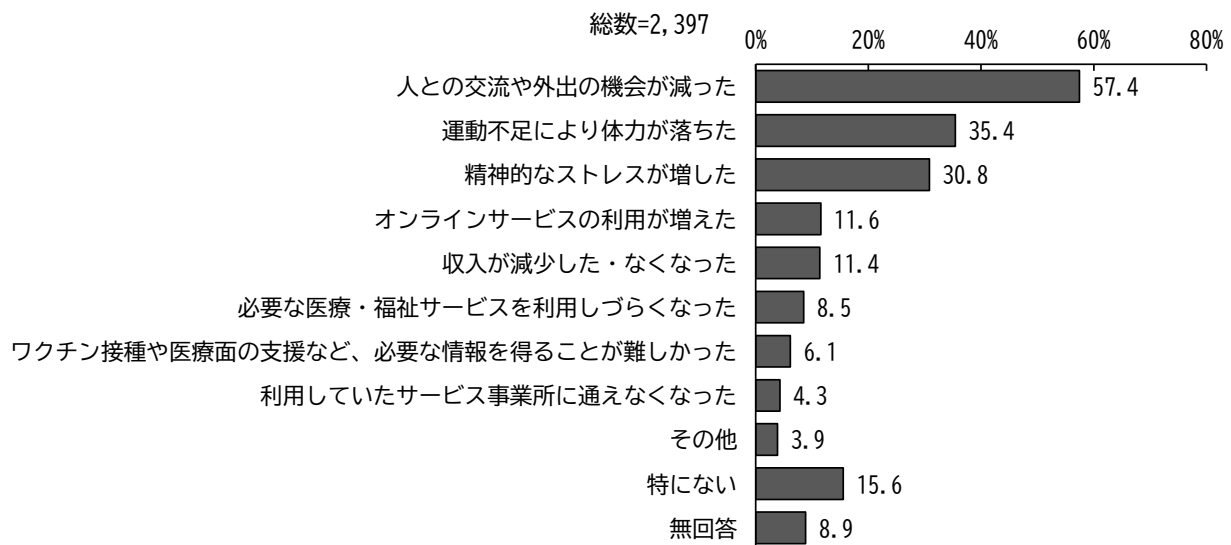
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

◆「人との交流や外出の機会が減った」が57.4%

【全体】

- ・「人との交流や外出の機会が減った」が57.4%と最も多く、次いで「運動不足により体力が落ちた」が35.4%、「精神的なストレスが増した」が30.8%などとなっています。「特にない」は15.6%です。

問35 新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・精神障害では「精神的なストレスが増した」が比較的多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病 疾・ 患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
人との交流や外出の機会が減った	59.3	61.6	52.6	63.7
運動不足により体力が落ちた	36.7	31.6	35.8	34.7
精神的なストレスが増した	27.6	28.4	42.4	30.6
ワクチン接種や医療面の支援など、必要な情報を得ることが難しかった	6.1	5.7	6.4	4.5
必要な医療・福祉サービスを利用しづらくなった	7.7	14.1	9.6	7.3
オンラインサービスの利用が増えた	11.0	4.3	16.2	16.3
収入が減少した・なくなった	10.6	7.8	13.5	14.3
利用していたサービス事業所に通えなくなった	4.1	8.9	3.7	1.6
その他	3.5	5.9	4.5	3.7
特にない	15.1	12.7	18.4	12.2
無回答	8.5	9.2	5.9	5.7

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	音声・言語機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
人との交流や外出の機会が減った	61.3	56.4	61.2	53.5	64.6
運動不足により体力が落ちた	36.9	38.6	40.4	34.5	41.7
精神的なストレスが増した	28.5	25.7	29.4	26.7	28.7
ワクチン接種や医療面の支援など、必要な情報を得ることが難しかった	5.0	5.9	9.4	8.9	4.0
必要な医療・福祉サービスを利用しづらくなった	9.0	8.9	11.0	3.1	5.8
オンラインサービスの利用が増えた	12.9	10.9	7.3	9.3	13.0
収入が減少した・なくなった	10.6	7.9	12.2	8.5	11.7
利用していたサービス事業所に通えなくなった	5.2	5.0	4.1	3.1	2.7
その他	3.8	5.0	3.3	4.7	2.2
特になし	13.7	18.8	13.5	18.6	11.7
無回答	6.6	7.9	8.6	13.2	9.4

(2) 新型コロナウイルス感染症に感染して困ったこと

◆多く寄せられた意見等は「食料調達や薬の確保が困難」「外出制限、自宅待機で心身ともにストレス」「福祉サービスの利用が困難」など

問 36 新型コロナウイルス感染症に自分や家族が感染した方に伺います。どのようなことに困りましたか。

【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

食料調達や薬の確保が困難
まったく外出ができずに不便であった。食料は通販でしたが病人の欲しがる食事を用意出来なかった。品揃えには無理がある。
買い出しができず、食料が不足して大変だった。生活用品もない。
新鮮な野菜・果物・肉魚類の買い物。ゴミを捨てること。洗たくは大変。
ほぼ同時期に家族全員かかったのが、食事の確保が大変でした。食糧の支援は2日後にありましたが、体調が悪い時にはインスタント食品を体が受け付けず、2日程はなんとかしのぎました。体調が回復してからは、支援物資がとても助かりました。
食料や水、マスクなどの入手に時間がかかった。一人暮らしで誰の支援も受けられず感染したが、水がなく薬局に買いに出かけた。2週間の自宅待機だったので本当に大変だった。
食事、相談ができず、ずっと寝ていた。
自宅待機中に、東京都から食べ物や備品等を自宅まで配送くださったが、チャイムに気づかなかったことや配送業者の話が分からないため玄関に出られず、キャンセルされてしまった。
特別な薬が必要なのだが、最初は伝えられず、飲めない期間ができてしまった。
食品・日用品・薬の買い出し。
病院に行けないと薬がもらえないです。

外出制限、自宅待機で心身ともにストレス
濃厚接触者となり、行動制限で自宅待機となり、ストレスが増した。(2週間の自宅制限をうけた。)精神的な気分の低下と運動不足になった。
話相手がいなかった。
外に出る機会が減り、レジャーする機会が減り、体力的に落ちた。
籠りきりの生活で、食品などの物資はありがたかったが、食べ飽きてしまい毎日何も楽しい事がなく、ストレスが増した。
運動不足を解消するためプール利用を続けていたが、利用する事が困難になったため体重が増加し、他の運動をする機会も無かった。
自分がかかりました。家族にうつしたらどうしようとか考えてメンタルやられました。共用部分(トイレ)をつかうタイミングを考えて飲食をうまくとれなくなりました。1週間分の薬のたくわえしかなかったのが、薬がきれちゃう心配が大きかったのと、すいみん薬のんでねてるあいだにタンでのどがつまって死亡したらどうしようとか考えてしまったり、コロナに対する不安よりもメンタルがボロボロになって動きがとれなくなる事に不安がありました。コロナの対応してくださるところにメンタルの相談ができる人がいてくれたらいいのになと思いました。

福祉サービスの利用が困難

介護者が感染。隔離もできず介護せざるを得ないので、娘も感染するのではないかと不安。結局感染者が待機期間終了まで通所施設には通えず在宅で生活しました。

医療的に全くの軽症でも入院せざるを得ず、医療機関に負担をかけてしまった。本当は自宅で療養したかった。入退院の前後の介護事業者との調整が難しかった（ケアマネジャーも同時に感染するという事態だったため）。

ヘルパーさんのサービスがストップしてしまい、通常生活を送れない中での療養生活は大変でした。

本人と家族がかかり、母親が寝込んでしまったので通所もストップ、ヘルパーさんもストップ誰にも助けてもらえず、大変でした。治ったあと知ったのですが、保健所から食料品が届くとか届かないとか……。知っていたら少しは助かったのに……。と思いました。

医療機関の受診が困難

PCR検査をしてくれる医療機関を見つけるのに苦労した。PCR検査（鼻腔）を嫌がり、うまく受けられなかった。（一応結果は出た）

発熱時に医療機関へ受診および検査のために予約を入れるのが大変だった。電話とFAXのみ対応していたのでFAXで問い合わせた。その時は、まだ電話リレーサービスに登録していなかったもので、後で登録を済ませておいた。

「新型コロナウイルス」という診断を受ける為の医療機関が探しにくかった。探せたとしても、予約が取りにくかった。

外出できず、通院のタイミングがずれてしまった。

コロナの疑いがあると通院ができないこと（オンライン診察になる）。

7波のピークだったので保護担当者へ連絡しただけで、自宅で熱が下がるまで耐えていましたが、孤独死するかもしれないと思いました。

コロナになり、体調が悪すぎて病院を検索して電話する事も辛い上に、電話しても断られ続けた点。また、PCR検査に病院へ行くのも辛い。できれば郵送してほしい。

家事や介助が困難

家族で同時に感染したので、家事をするのに身体が不自由で、かなり苦労した。

本人以外の介護者が皆感染し、感染者が必死で介護を続けた。家庭内感染は防げないと覚悟を決めた。避難のためのシステムを考えないといけないと思う。

介助者が倒れ、自分の薬、オムツ交換、食事などでできず放置となった。認知症が重く、日常生活が困難となった。

主に介助している娘が感染してしまい非常に困った。一人では食事も出来ないなので、リフレッシュ券を使ってヘルパーさんの回数を増やしてのりこえた

仕事に支障が出た

仕事が出来なくなり、収入が減り、支払いが困難になった。

仕事に支障が出た
感染したが隠して仕事をしなければいけなかった(収入を減らしたくなかった)。
勤務日数が減り、将来的不安に陥り、辞職することになりました。

後遺症がある
後遺症がひどく現在でも(感染後2ヶ月で発症)治らず、全身倦怠、筋肉関節痛、脱毛等で苦しんでいます。対応できる医療機関がない。鍼灸と漢方で支出が嵩んでいます。年金だけで対応は困難なので、何らかの支援をお願いしたい。私の周りにも後遺症に悩んでいる方が何人もおります。

障害への配慮がない
難病を持っていても、コロナ感染者が健康体であったら、ホテルへの隔離などの対応を優先してもらえない。
グループホームから父のいる家に帰るようにいわれた。父は高齢で80才。

その他
感染時のパーキンソン病在宅治療への影響
透析患者ですが、幸い、かかりつけ医の先生の指示で、日帰りで点滴を受ける事ができ、大事にいらなかった。タクシーでの送迎で(新宿区での受入れがなかったのか)杉並区の病院で受けた。
マスク着用が常態化したことで、相手の声がこもっていたり口の動きが見えなくなってしまう、聴力障害による聞き取りづらさが増しております。
コロナに感染して家族に会えず、認知症のため自分の症状や意思をしっかりと伝えることができない。
自分の病気とワクチンがいいのか悪いのか、分からなかった。受診した時に大丈夫と知り、公のHPで分かればよかったと思いました。同じ症状が、同じ病気の人にでているのか知りたかった。
電話以外の方法で相談ができない。
自分はワクチンを接種していない。常に不安。
HER-SYSの登録が1人ではできない。
金銭的な負担が増えた。
感染した事により、母親が亡くなり大変精神的ダメージを受けました。同時に父親と私が感染し長期間入院をしたため入院費用の負担が重かった。父親はその後特別養護老人ホームに入所する事になり、その利用負担が大きく家計に影響している。
2人とも感染して、生命の危険があった。ペットの犬のことが心配だった。
コロナ禍になり、潔癖症になってしまった。
新型コロナウイルスに障害の50代の子供と母親が一緒にかかりました。ワクチン4回していただいたので、家で一週間過ごしました。

その他

家族が感染した場合について。2022年8月に家族が感染した際に、抗原検査キットを入手するのが難しかった。近くの薬局にあちこちT e lして、在庫がある店に急ぎ出向いた。コロナ禍になり、数年経過しているのに、検査キットの入手がこの様に困難とは、と行政に不満を抱いた。

入院して体力が落ちた。

9 権利擁護について

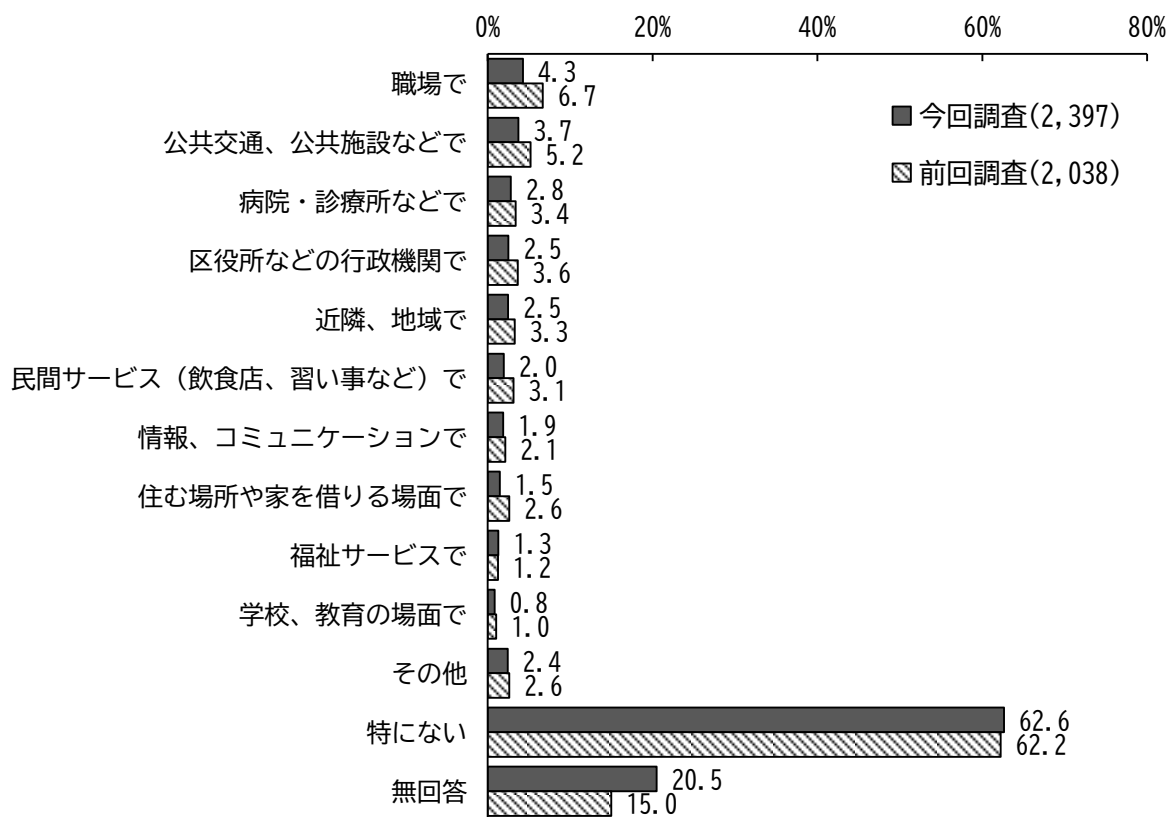
(1) 差別と感ずる取扱いを受けた経験

◆「職場で」が4.3%、次いで「公共交通、公共施設などで」が3.7%

【全体】

- ・「職場で」が4.3%と最も多く、次いで「公共交通、公共施設などで」が3.7%、「病院・診療所などで」が2.8%などとなっています。「特にない」は62.6%です。

問37 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感ずる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号に○をし、具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患では「公共交通、公共施設などで」、知的障害と精神障害では「職場で」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
区役所などの行政機関で	2.6	1.4	4.3	1.6
公共交通、公共施設などで	4.3	3.0	4.3	4.1
職場で	3.3	5.4	7.3	2.9
学校、教育の場面で	0.9	1.4	1.1	0.4
病院・診療所などで	2.5	2.2	5.2	1.2
民間サービス（飲食店、習い事など）で	2.4	1.6	1.8	1.6
福祉サービスで	1.3	0.8	2.1	0.0
住む場所や家を借りる場面で	1.3	0.8	2.9	1.2
情報、コミュニケーションで	2.2	2.4	2.1	0.8
近隣、地域で	2.5	3.8	3.6	0.8
その他	2.5	1.6	3.6	3.3
特にない	64.1	61.9	63.1	64.1
無回答	19.1	21.1	14.1	22.0

【性別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	男性	女性
総数	(1,229)	(1,125)
区役所などの行政機関で	2.4	2.6
公共交通、公共施設などで	3.6	3.7
職場で	4.5	4.0
学校、教育の場面で	0.7	1.0
病院・診療所などで	2.9	2.7
民間サービス（飲食店、習い事など）で	2.0	2.0
福祉サービスで	1.4	1.2
住む場所や家を借りる場面で	1.6	1.2
情報、コミュニケーションで	2.0	1.9
近隣、地域で	2.8	2.2
その他	2.4	2.5
特にない	64.0	62.0
無回答	18.7	21.5

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・言語機能	視覚障害	平衡・聴覚機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
区役所などの行政機関で	2.2	0.0	3.3	4.7	2.2
公共交通、公共施設などで	6.3	5.0	2.4	3.5	2.7
職場で	3.1	5.0	3.7	3.5	2.7
学校、教育の場面で	0.9	3.0	1.2	1.6	0.9
病院・診療所などで	1.7	3.0	2.0	4.3	4.9
民間サービス（飲食店、習い事など）で	2.5	3.0	1.2	5.4	0.4
福祉サービスで	1.6	0.0	2.0	1.2	0.0
住む場所や家を借りる場面で	1.1	1.0	2.0	0.4	1.8
情報、コミュニケーションで	1.3	4.0	2.4	5.0	1.3
近隣、地域で	2.4	3.0	2.9	3.1	1.3
その他	2.8	1.0	2.4	2.7	0.4
特にない	66.8	60.4	60.0	51.6	67.3
無回答	16.2	17.8	24.1	25.2	18.8

【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
知的障害に対する理解が不十分な為、対応などが適切でないことがある。	知的障害	女性・40代・本人
担当医以外の医師に診てもらったら、面倒くさがられたり差別があり、がっかりした。	内部障害	男性・60代・本人
タクシー乗車拒否。飲食店は狭くて車いすはダメと断られた。	肢体不自由	男性・50代・本人
区役所などで、「読めない」ことを理解していない対応をされる。バス運転手に無料パスを提示すると、ぞんざい、乱暴な対応をされることがまれにある。	視覚障害	女性・70代・本人
(病院・診療所などで) 倫理観の低い人に当たると酷い扱いを受ける。人によって態度、対応が違う。	精神障害	女性・30代・本人
歩いていると邪魔扱いされた。	肢体不自由	男性・50代・ご家族
私の病気を知らない人に、突然そんな体で働けるの?と言われ、何も言えず悔しかった。診断書を出したらすぐクビになった。	難病・特定疾患	女性・50代・本人
鞆にヘルプマークを付けていたのに、はっきり見えていなかったのか、優先座席が空いているのに、替わりなさいと言われました。	知的障害	女性・30代・本人
マンションを借りる際、審査で落とされた。	知的障害	男性・20代・ご家族
上司の無理解で、働き方についての前向きな相談が困難。結果的にパワハラ、モラハラで体調が悪化した。	精神障害、難病・特定疾患	男性・30代・本人
就職活動で病気のことを書くと書類が通らない。書くとだめだと気付き、書かずに面接にはすすめたが、病気のことを言うと、それでは結構ですと言われた(10回以上あり)。	難病・特定疾患	女性・40代・本人
飲食店などの物理的な状況で、入店できない店が存在している。車いす向けの通路幅や段差解消、広めのスペース確保をお願いしたい。	肢体不自由	男性・60代・本人
(情報、コミュニケーションで)「ホームページを見て下さい。」と説明があっても当方には難しいと思われる。	視覚障害	男性・70代・本人
娘が駅でパニックになっても駅員さんはどの駅でも助けてくれた事はありません。各鉄道会社さんの身体障害だけではない障がい者の対応を教えていただけると有り難いのですが・・・(せめて「何かお手伝い出来ますか?」のお声掛けとか・・・)	知的障害	女性・30代・ご家族
ネットではよく障害に対する誤った認識や差別的な考えで話している人を見かける。	内部障害	男性・30代・本人
情報。視覚だけでなく音声をふやしてほしい。	視覚障害、難病・特定疾患	男性・60代・ご家族
ADHDのため、こだわりが強く、仕事が遅いときなど注意される。パワハラな感じもある。障害の理解が必要と思う。	知的障害、精神障害	男性・20代・ご家族
民間賃貸住宅では、障害者というだけで入居できないことがほとんどである。	精神障害	男性・50代・本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
電車内（外）での急な放送が流れても分からない。電光板に流してほしい。	聴覚・平衡機能障害	女性・50代・本人
筆談をおねがいしてもすぐに対応してくれなかったこと。	聴覚・平衡機能障害	男性・50代・本人
先入観により適切な医療が受けられなかった。	肢体不自由、知的障害	男性・20代・ご家族
大声を出してしまうので注目されるのは仕方ないのですが、小さなお子様達が顔をのぞきに何度も来たり、後をつけて来たり、すごい顔をしたり、お母様方もどうしようもないのかもしれませんが、時々心が折れそうになります。	知的障害	女性・20代・ご家族
体調が悪いことによって退職せざるをえなくなった。	難病・特定疾患	女性・20代・本人
耳の聞こえが悪いため言っている事がわからず、聞き返したら、げんなりした顔、嫌な顔をされた。	聴覚・平衡機能障害	女性・70代・-
車いすマーク（緑の椅子のような形）のあるタクシーに、車いすでの乗車を求めたら、車いすのままでは載せられないと言われた。	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、聴覚・平衡機能障害	男性・90代・ご家族
建物入口に段差があると車いすお断りと拒絶されていると感じる。	肢体不自由、難病・特定疾患	男性・60代・本人
病気に関して理解のない上司より傷つく発言を受けた。	精神障害	男性・40代・本人

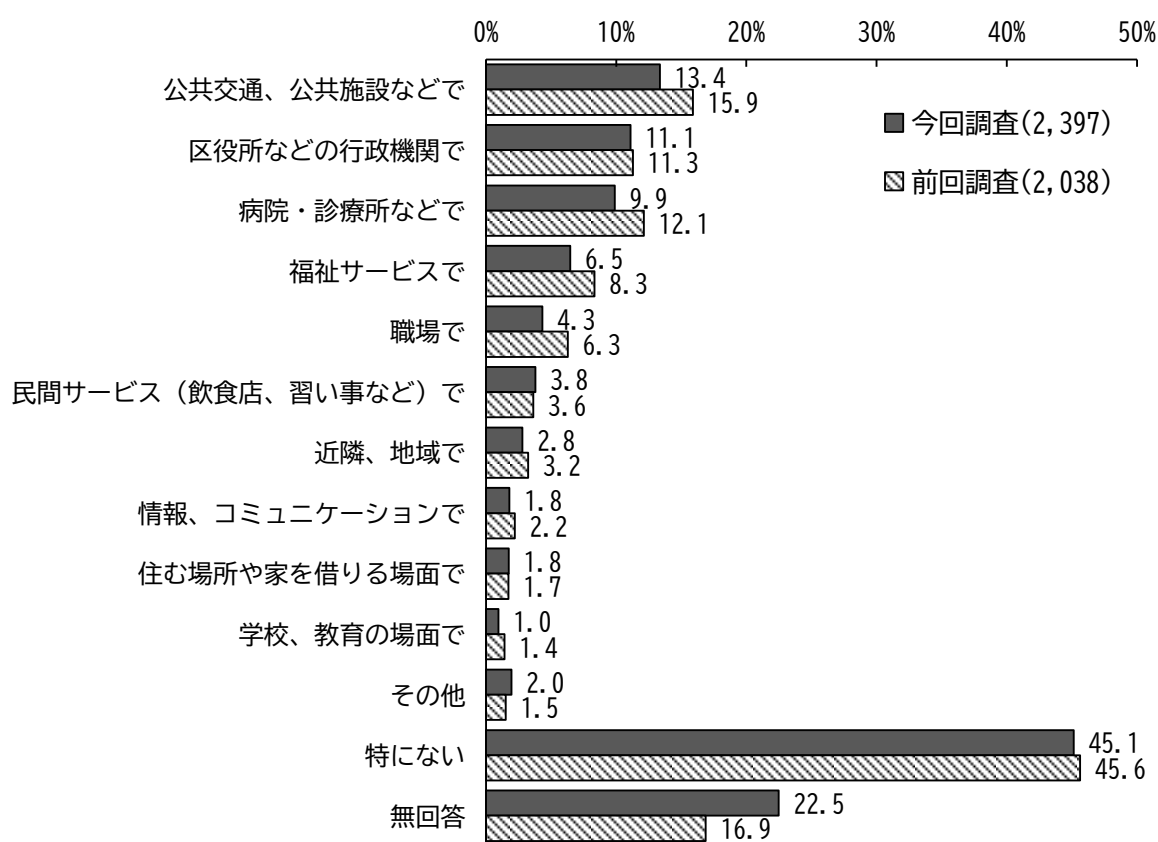
(2) 配慮があってよかったこと

◆「公共交通、公共施設などで」が13.4%

【全体】

・「公共交通、公共施設などで」が13.4%と最も多く、次いで「区役所などの行政機関で」が11.1%、「病院・診療所などで」が9.9%などとなっています。「特にない」は45.1%です。

問 38 あなたが、障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があって助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号に○をし、具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害と精神障害では「公共交通、公共施設などで」、知的障害では「職場で」、難病・特定疾患では「病院・診療所などで」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病・疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
区役所などの行政機関で	13.0	8.1	11.1	9.8
公共交通、公共施設などで	17.1	8.6	11.2	10.2
職場で	3.1	9.7	6.1	2.4
学校、教育の場面で	0.9	0.8	1.6	0.8
病院・診療所などで	10.7	5.4	11.1	13.5
民間サービス（飲食店、習い事など）で	4.7	3.0	3.4	3.3
福祉サービスで	6.0	8.4	9.8	2.0
住む場所や家を借りる場面で	1.5	2.2	3.6	0.8
情報、コミュニケーションで	2.1	1.4	2.0	1.2
近隣、地域で	3.5	2.4	2.3	1.6
その他	1.6	1.4	3.7	2.9
特にない	44.0	45.1	50.6	47.3
無回答	21.7	23.5	14.1	22.0

【身体障害の種類別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害者 音声・ 言語機能・	視覚障害	平衡機能障害	内部障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
区役所などの行政機関で	11.5	6.9	14.3	17.8	12.6
公共交通、公共施設などで	21.7	13.9	18.8	11.6	11.7
職場で	4.1	2.0	3.3	3.5	0.4
学校、教育の場面で	1.3	1.0	1.2	0.4	0.0
病院・診療所などで	10.4	7.9	10.6	11.2	11.2
民間サービス（飲食店、習い事など）で	6.0	3.0	4.5	5.4	1.3
福祉サービスで	6.8	6.9	4.9	6.6	5.4
住む場所や家を借りる場面で	2.4	4.0	1.6	1.2	0.0
情報、コミュニケーションで	2.2	2.0	0.8	4.7	0.0
近隣、地域で	4.4	1.0	5.7	0.4	0.9
その他	1.6	0.0	2.4	1.2	0.9
特にない	43.6	50.5	38.8	35.3	50.2
無回答	18.9	27.7	23.7	30.2	22.9

【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
都バスの無料パス、美術館の無料利用。	肢体不自由	女性・50代・本人
職場の理解やサポートが整っていて、とても助かった。	精神障害	女性・30代・本人
職場が障害者に対する理解と配慮があり、仕事を覚えるのが遅くても温かく見守って頂けた。そのおかげで転職をすることもなく長い間働き続けることができます。	精神障害	男性・30代・本人
乗り物などの対応が、少しずつ配慮されてきていると感じる。	知的障害	女性・40代・ご家族
ご近所にはカミングアウトしているので、皆さま温かく接してくれます。	精神障害	男性・60代・ご家族
段差のある場所にさしかかった時、手を差し伸べてくれる人がいる。	肢体不自由	男性・50代・ご家族
電動カートで公共交通を利用したとき駅員さんが、エレベーターを待っている人に「先に乗せて下さい」と声をかけて下さいました。ワクチン接種会場で並んでいる道を広くして、先に受けさせていただけました。	肢体不自由	女性・30代・本人
電車内の移動（立ちすわり、上、下車）の際に一声かけて手を貸してくれる20代・30代の若者が増えています。日本は捨てたものではない。	肢体不自由	男性・60代・本人
苦手な業務を担当から外して頂いたり、障害特性を理解して対等に接してくれる。体調や気持ちの面など、日頃から相談しやすい（相談できる人・窓口が多い）。ジョブコーチを利用でき安心して働けました。	精神障害、発達障害	女性・30代・本人
バリアフリーの場所が明らかに増えた。	肢体不自由、難病・特定疾患	男性・30代・本人
職員の思いやり。障害を理解して下さり、親切をうけたときには、ほんとうに感謝しました。	知的障害	男性・30代・ご家族
スーパーでは、困難な時は声かけてくださいね、と言われてたり、カゴの商品を運んでくれたりした。職場では、仕事しやすいように、と希望したものを準備してくれた。	肢体不自由	女性・50代・本人
職場に障害者の方が溶け込みやすい雰囲気が出てきていると感じる。	精神障害	男性・40代・本人
車椅子の時は、会計等で時間が掛らないように優先して医療事務者がやってくれます。すばらしい。	難病・特定疾患	男性・60代・本人
手続きを介助してもらえる。	肢体不自由	女性・70代・本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
歩道で青に変わった事を知らせてもらえる。バス停で行き先を知らせてくださる。点字ブロック上に止まった車を避けて誘導してもらえる。	視覚障害	女性・60代・本人
医療的ケア児の通学手段が他の児と同様に確保されたこと。	肢体不自由	女性・10代・ご家族
(公共交通、公共施設などで) バリアフリーが増えた。バスもノンステップの台数が増えた。(職場で) できないことを自然に手助けしてくれる人が増えた。	肢体不自由	女性・50代・本人
足が不自由なため、公共機関で特に親切にしてくれると感じた。	肢体不自由	男性・40代・本人
所属しているところが、安否確認や一日何をするかなど聞いてくださるので、非常に助かっております。困った事や心配事などの話を聞いてくださったり、助言もいただいております。	精神障害	女性・50代・本人
公道において道をたずねたり、信号が見えないので、近くの方にたずねると心よく応対してもらっています。	視覚障害	女性・70代・本人
耳が不自由である事を伝えると、親切にゆっくり、字を書いて指導してもらえた。	聴覚・平衡機能障害	女性・80代・本人
都バスに車いすで乗る際、ドライバーが手伝ってくれる。	知的障害	女性・90代・その他
昔と比較すると、弱者対応を考慮していると感じる。(窓口対応、トイレ、階段、エレベーター設備など)	内部障害、難病・特定疾患	男性・50代・本人

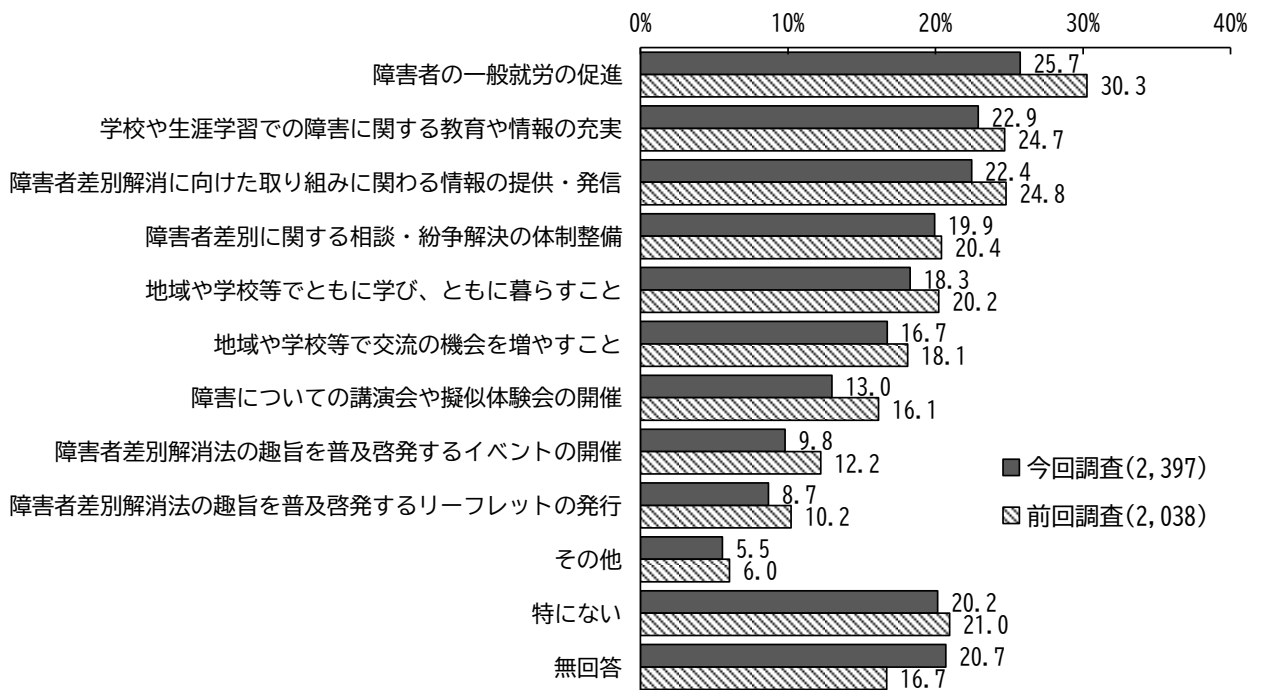
(3) 障害者差別の解消のために力を入れるべきこと

◆「障害者の一般就労の促進」が25.7%

【全体】

- ・「障害者の一般就労の促進」が25.7%と最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が22.9%、「障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信」が22.4%などとなっています。

問39 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

・知的障害で「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病・疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	17.6	21.6	28.0	17.1
障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信	22.1	23.0	25.3	22.9
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	8.3	10.8	11.6	6.5
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	9.8	11.6	12.1	8.6
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	16.0	26.8	15.0	17.6
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	17.0	22.2	20.5	18.4
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	22.1	30.0	24.6	20.0
障害についての講演会や疑似体験会の開催	12.1	16.5	12.8	14.7
障害者の一般就労の促進	23.8	23.2	31.7	28.6
その他	5.1	4.1	8.4	6.1
特にない	20.1	17.8	23.7	18.4
無回答	22.0	17.6	11.9	18.0

【年齢別】

・年齢が若いほど「障害者の一般就労の促進」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	18~39歳	40~64歳	65歳以上
総数	(400)	(1,018)	(943)
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	26.3	23.5	13.7
障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信	29.5	24.9	17.3
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	11.3	10.0	6.3
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	12.5	11.9	6.5
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	26.5	18.1	11.7
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	25.3	21.8	11.7
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	33.0	25.3	16.1
障害についての講演会や疑似体験会の開催	16.8	16.6	8.0
障害者の一般就労の促進	37.0	31.8	14.4
その他	7.3	6.8	3.5
特にない	14.8	19.3	23.8
無回答	8.8	13.4	33.1

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・ 言語 機能	視覚 障害	平衡 機能 障害	内部 障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	18.6	20.8	15.9	15.5	21.1
障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信	22.2	21.8	22.0	20.9	24.2
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	9.0	10.9	9.8	4.7	11.2
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	12.1	8.9	10.6	5.4	10.3
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	19.2	16.8	14.7	15.9	12.1
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	22.7	19.8	15.1	13.2	9.9
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	27.1	22.8	26.1	15.5	16.6
障害についての講演会や疑似体験会の開催	13.9	11.9	16.7	10.1	9.0
障害者の一般就労の促進	28.2	22.8	23.7	18.2	19.7
その他	5.5	5.9	4.1	4.7	4.9
特にない	18.3	14.9	20.4	18.6	22.0
無回答	17.8	25.7	24.5	31.0	25.6

【精神障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	統合失調症	気分障害	神経症	発達障害	障害 高次 脳機能	依存症
総数	(133)	(254)	(117)	(109)	(17)	(26)
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	21.1	31.1	29.9	28.4	29.4	23.1
障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信	22.6	24.8	24.8	31.2	29.4	15.4
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	10.5	9.8	9.4	17.4	0.0	11.5
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	12.0	11.4	12.0	14.7	5.9	7.7
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	12.0	13.4	14.5	17.4	11.8	0.0
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	15.0	23.6	18.8	26.6	17.6	15.4
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実	17.3	26.4	23.1	30.3	23.5	7.7
障害についての講演会や疑似体験会の開催	11.3	13.8	12.8	15.6	11.8	3.8
障害者の一般就労の促進	33.1	33.9	25.6	37.6	23.5	19.2
その他	7.5	7.1	6.0	8.3	11.8	3.8
特にない	27.1	26.0	23.1	14.7	11.8	26.9
無回答	16.5	9.8	15.4	8.3	5.9	34.6

(4) 成年後見制度の利用意向

◆「今後利用したい」が8.9%に対し、「利用は考えていない」は38.4%

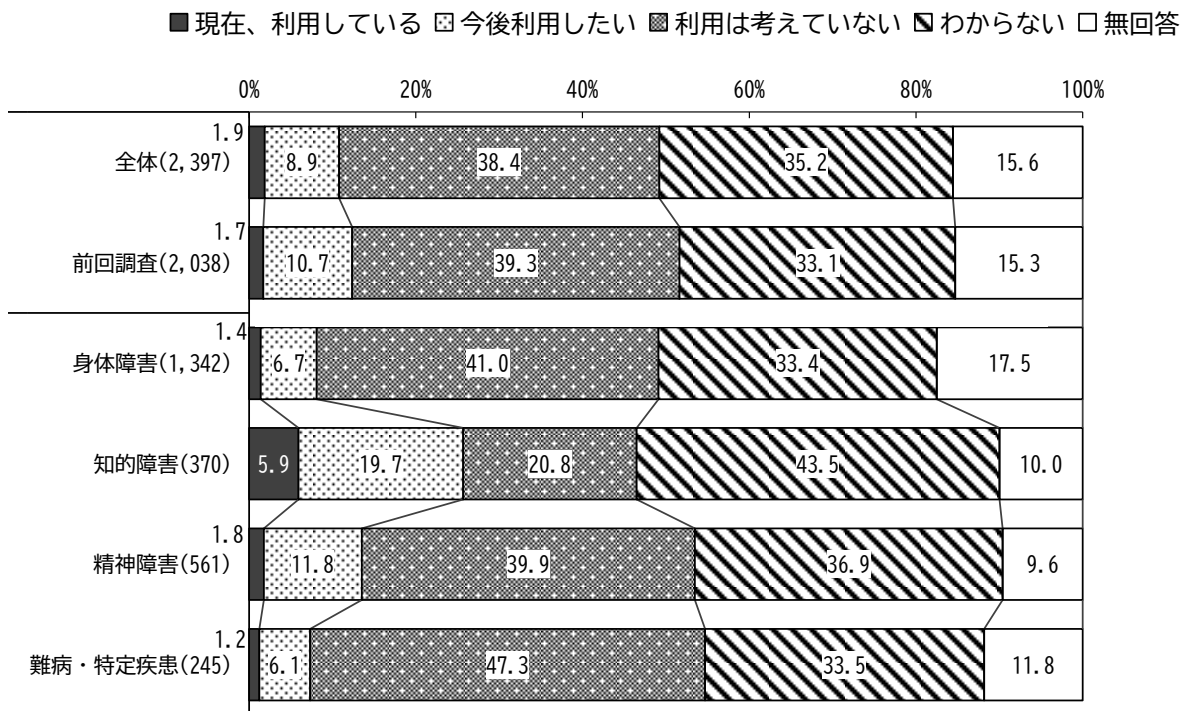
【全体】

・「利用は考えていない」が38.4%と最も多く、次いで「わからない」が35.2%、「今後利用したい」が8.9%、「現在、利用している」が1.9%となっています。

【障害別】

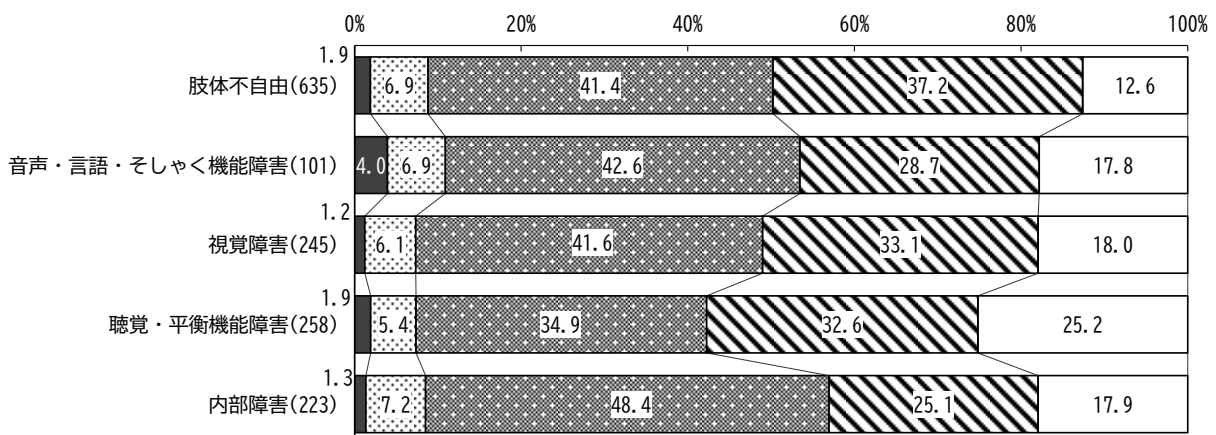
・知的障害では「現在、利用している」「今後利用したい」が多くなっています。

問 40 成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)



【身体障害の種類別】

■ 現在、利用している □ 今後利用したい ■ 利用は考えていない ▨ わからない □ 無回答



(5) 成年後見制度を利用しない理由

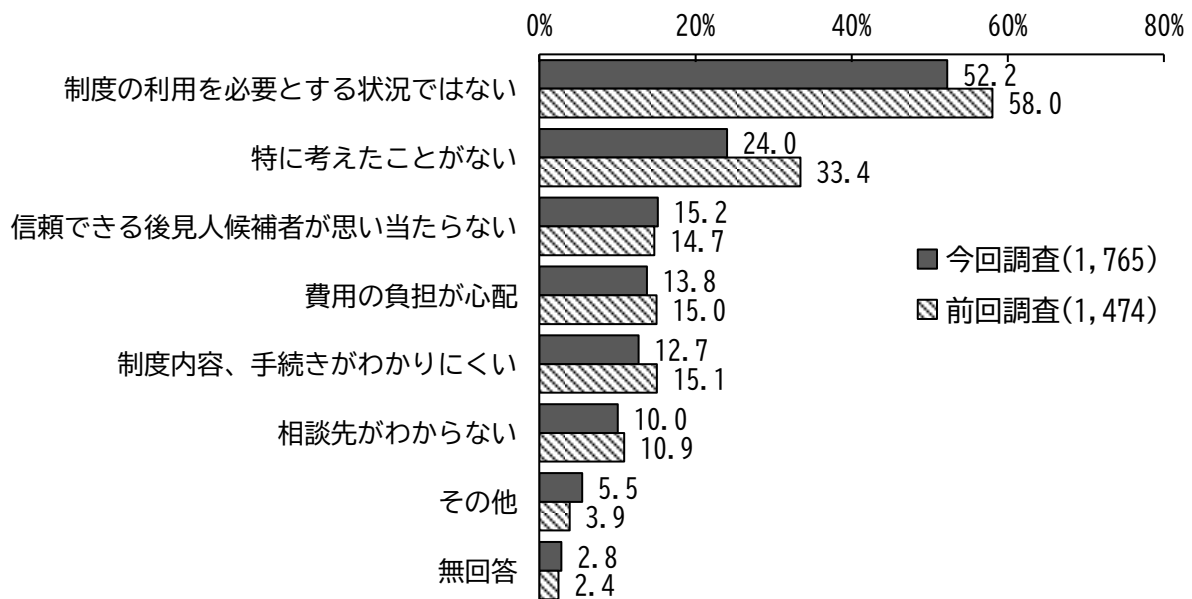
◆「制度の利用を必要とする状況ではない」が52.2%

【全体】

- ・「制度の利用を必要とする状況ではない」が52.2%と最も多く、次いで「特に考えたことがない」が24.0%、「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」が15.2%などとなっています。

問41 【問40で「利用は考えていない」または「わからない」と回答した方にお聞きします。】

その理由はなんですか。(〇はいくつでも)



※「制度の利用を必要とする状況ではない」は、前回「まだ、制度の利用を必要とする状況ではない」

【障害別】

- ・知的障害では、「制度の利用を必要とする状況ではない」に次いで「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病・疾患
総数	(998)	(238)	(431)	(198)
制度の利用を必要とする状況ではない	54.4	39.1	49.7	57.6
制度内容、手続きがわかりにくい	11.2	18.9	15.5	8.1
相談先がわからない	9.3	9.7	12.8	4.5
費用の負担が心配	12.1	19.7	18.3	8.1
信頼できる後見人候補者が思い当たらない	12.8	29.0	18.8	12.1
特に考えたことがない	24.4	21.0	25.5	24.2
その他	5.3	7.6	5.6	5.6
無回答	3.3	4.2	1.6	3.0

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 音声・ しゃく 言語 機能・	視覚 障害	平衡 聴覚 機能 障害	内部 障害
総数	(499)	(72)	(183)	(174)	(164)
制度の利用を必要とする状況ではない	55.3	51.4	55.2	47.7	57.3
制度内容、手続きがわかりにくい	12.2	16.7	14.2	8.0	9.8
相談先がわからない	10.4	9.7	10.9	9.8	6.1
費用の負担が心配	14.4	12.5	14.8	10.9	7.9
信頼できる後見人候補者が思い当たらない	14.8	16.7	14.8	9.8	12.8
特に考えたことがない	22.2	25.0	24.0	29.9	26.8
その他	4.8	9.7	5.5	8.0	2.4
無回答	2.6	1.4	3.3	2.9	5.5

10 将来について

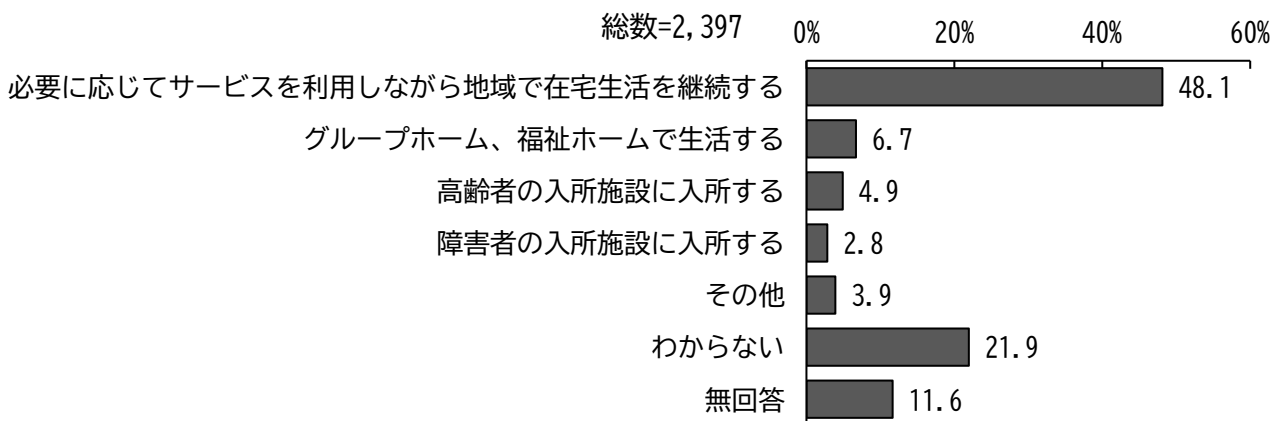
(1) 今後の生活の希望

◆「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が48.1%

【全体】

- ・「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が48.1%と最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が6.7%、「高齢者の入所施設に入所する」が4.9%などとなっています。「わからない」は21.9%です。

問42 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)



【障害別】

- ・知的障害で「グループホーム、福祉ホームで生活する」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難定病・疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する	53.7	26.2	48.5	51.0
グループホーム、福祉ホームで生活する	2.7	30.8	5.0	1.6
障害者の入所施設に入所する	3.1	7.6	2.0	0.4
高齢者の入所施設に入所する	5.1	3.2	4.6	3.7
その他	2.9	5.1	6.1	2.9
わからない	20.9	17.6	24.6	26.5
無回答	11.6	9.5	9.3	13.9

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体 不自由	音声・言語・ 聴覚・ 聴覚機能 障害	視覚 障害	平衡・ 聴覚機能 障害	内部 障害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する	55.3	52.5	55.1	48.1	55.2
グループホーム、福祉ホームで生活する	3.9	4.0	2.4	2.3	2.2
障害者の入所施設に入所する	3.0	5.0	4.9	3.1	4.0
高齢者の入所施設に入所する	3.6	5.0	3.3	9.7	6.3
その他	3.5	3.0	2.9	0.8	2.7
わからない	21.6	18.8	18.4	19.8	17.0
無回答	9.1	11.9	13.1	16.3	12.6

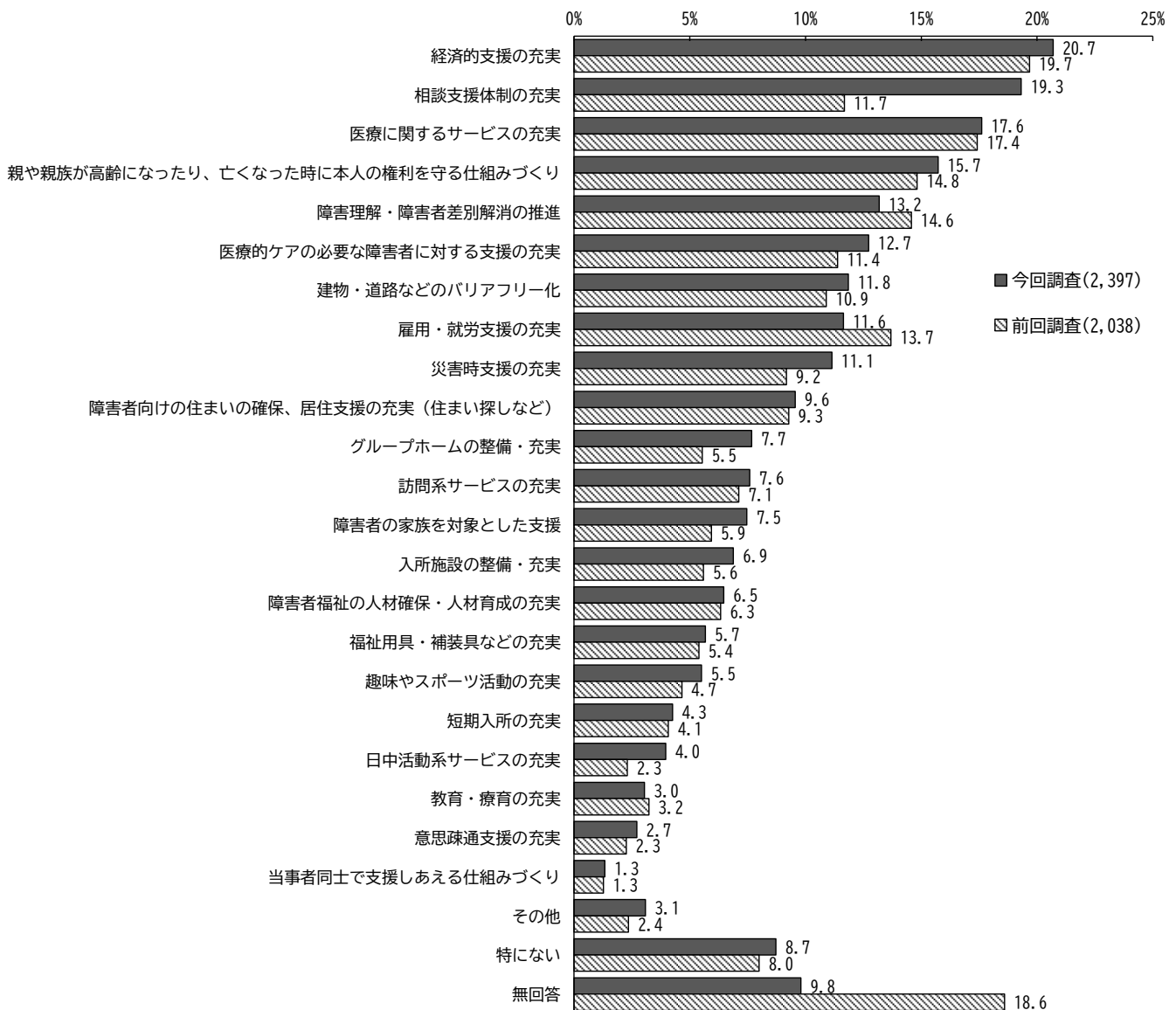
(2) 地域で安心して暮らすために重要な施策

◆「経済的支援の充実」が20.7%、次いで「相談支援体制の充実」が19.3%

【全体】

- ・「経済的支援の充実」が20.7%と最も多く、次いで「相談支援体制の充実」が19.3%、「医療に関するサービスの充実」が17.6%などとなっています。

問43 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(○は3つまで)



【障害別】

- ・身体障害と難病・特定疾患では「医療に関するサービスの充実」、知的障害では「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害では「経済的支援の充実」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	特難 定病・ 疾患
総数	(1,342)	(370)	(561)	(245)
障害理解・障害者差別解消の推進	13.2	13.0	15.7	11.8
相談支援体制の充実	17.5	20.3	23.4	20.0
医療に関するサービスの充実	18.0	5.4	17.3	28.2
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	15.4	8.1	9.6	16.3
教育・療育の充実	2.8	1.9	3.7	4.1
雇用・就労支援の充実	9.2	8.9	18.0	11.4
訪問系サービスの充実	8.9	5.1	5.5	11.4
日中活動系サービスの充実	3.6	8.1	3.7	4.1
短期入所の充実	3.9	9.2	2.9	2.4
意思疎通支援の充実	3.7	1.9	2.0	1.6
福祉用具・補装具などの充実	9.4	0.3	1.8	3.3
グループホームの整備・充実	4.4	30.5	6.6	2.0
入所施設の整備・充実	6.6	13.5	5.0	5.7
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど）	10.7	7.6	12.5	6.5
建物・道路などのバリアフリー化	16.9	2.4	5.0	14.3
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	1.0	0.5	2.0	2.9
趣味やスポーツ活動の充実	4.6	5.9	8.2	5.7
経済的支援の充実	17.6	13.8	31.0	22.4
災害時支援の充実	13.0	7.3	8.7	12.2
障害者の家族を対象とした支援	7.0	12.2	7.5	8.2
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	6.6	11.9	6.4	3.3
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	11.9	38.6	16.4	10.6
その他	3.0	2.2	4.8	4.1
特にない	8.7	7.6	9.6	5.7
無回答	10.1	8.4	6.4	8.2

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	肢体不自由	障害 そ し や く 機 能 ・ 音 声 ・ 言 語 能 ・	視 覚 障 害	平 聴 衡 機 ・ 能 障 害	内 部 障 害
総数	(635)	(101)	(245)	(258)	(223)
障害理解・障害者差別解消の推進	9.4	5.9	17.1	20.2	11.7
相談支援体制の充実	17.5	16.8	18.4	14.3	18.8
医療に関するサービスの充実	15.7	12.9	18.8	17.4	26.0
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	15.0	21.8	13.9	14.0	22.0
教育・療育の充実	2.8	2.0	2.9	2.3	2.7
雇用・就労支援の充実	11.7	8.9	6.9	3.1	11.2
訪問系サービスの充実	9.9	11.9	9.8	8.9	8.5
日中活動系サービスの充実	5.2	4.0	4.1	1.6	1.8
短期入所の充実	4.6	4.0	3.7	3.5	2.7
意思疎通支援の充実	1.9	9.9	1.2	13.2	0.4
福祉用具・補装具などの充実	8.7	7.9	7.3	12.8	11.7
グループホームの整備・充実	6.5	5.0	4.1	3.5	0.9
入所施設の整備・充実	7.7	8.9	9.0	5.0	4.5
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど）	11.8	5.9	10.2	8.5	10.3
建物・道路などのバリアフリー化	22.4	15.8	20.0	10.9	11.7
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	1.1	0.0	2.0	0.8	0.0
趣味やスポーツ活動の充実	4.6	5.0	3.7	7.8	3.6
経済的支援の充実	18.6	14.9	19.2	12.8	20.6
災害時支援の充実	12.3	7.9	14.7	16.3	10.3
障害者の家族を対象とした支援	8.2	6.9	10.6	4.3	4.5
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	9.8	7.9	7.3	4.3	1.8
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	14.0	19.8	7.8	14.0	9.0
その他	3.0	2.0	3.7	2.3	2.7
特にない	6.9	10.9	6.5	9.7	8.1
無回答	8.7	11.9	11.4	12.4	11.7

11 自由意見

問 44 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・「区への意見・要望」が 221 件と最も多く、次いで「経済的支援」が 60 件、「福祉サービス」が 50 件などとなっています。

回答の内容		件数
1	区への意見・要望	221
2	経済的支援	60
3	福祉サービス	50
4	障害理解	35
5	将来の不安	35
6	就労	23
7	健康・医療	17
8	生活環境	15
9	その他	96
合計		552

【1 区への意見・要望】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
使える制度があることを知らない場合が多くあるので、該当者に制度を案内して欲しい。	精神障害	女性・40代・本人
安心して日々生活できる様、最低限の各種（医療、住居、経済的）保障、分かりやすい、手続きしやすい制度の充実、皆同じ人間であること。全ての人理解できる世の中を希望します。	肢体不自由	女性・60代・本人
新宿区は障害のサービスは良いと聞いています。実際にこの5年間特に困ったことはありませんでしたが、区の横のつながりはあるといいなと思いました。例えば福祉課と子ども家庭課？と保健所とか。申請手続き等が何ヶ所も行かなくてはならず…介護者も年々歳を取り、いろいろな人との接触、手続きも疲れます。	肢体不自由、 難病・特定疾患	男性・50代・ご家族
手厚い保護を受けることが出来、感謝でいっぱいです。コロナ禍によって、マスクの日々のため、会話がままならない日々が続いています。透明マスクの普及が何より大切なことだと思っています。また、お店や公共の場でのアクリル板などが、会話のスムーズさをつぶしています。毎度聞き返しが多く、迷惑をかけてしまっています。透明ビニルやアクリル板は空調上不要なものという実験結果もでております。何卒撤廃の推進をお願い致します。	聴覚・平衡機能障害	女性・20代・本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
介護サービスを利用する際に、手続きをもっと簡単にしてほしいです。	肢体不自由、難病・特定疾患	女性・80代・本人
文章の意味がとても難しくわからないことが多かった。漢字もたくさんあって、読むのも大変だったし、意外に時間がかかって疲れてしまう。	知的障害	女性・20代・本人
当事者がそれぞれ持っている情報などを共有できる場や機会を作って欲しいです。	精神障害	男性・50代・本人
自分は家族が近くに住んでいてサポートを受けやすい状況なので、あまり公共のサポートを受けずに生活出来ている。レアケースだと思う。視覚障害者に対して支援の際の手続きがどれも紙ベースだと家族など代わりに読んで理解し対応してくれるのは誰なのか？と思う。目でみてわかることが全てではない。見えないことにぜひ目を向けて欲しい。	視覚障害	女性・70代・ご家族
福祉サービス継続利用、更新などの手続きがオンラインで出来ると良いです。	精神障害	女性・30代・本人
週末等、余暇に、自由に体を動かせる場所、施設等があると助かります。こだわり行動が多いため、一般施設で過す事は困難です（周りの理解を得られることは皆無です）。	知的障害	女性・20代・ご家族
保健センターの方が、必要な書類を送って下さるので助かっています。脚が悪いし、他人とかかわることに困難をかかえているので、これからも書類は送付してほしい。	精神障害	女性・60代・本人
障がい者や高齢者に対するホームヘルパーやガイドヘルパーの方々、高齢化していく中、この仕事で生活が成り立つ様な報酬を増していけないと多くの人材が集まってこないのので、質・量ともに充実する為に利用者として是非お願いしたい。	身体障害	男性・70代・本人

【2 経済的支援】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
金銭的に支援いただけてとても助かっています。不足する能力を外注で補うことで生活を保つことができます。ありがとうございます。	精神障害、難病・特定疾患	女性・40代・本人
障害年金だけでは暮らしていけない。	精神障害	男性・-・本人
もう少し給付金、障害者手当を増やして頂きたい。	精神障害	男性・50代・本人
扶養をはずれるギリギリの給与所得です。そのため親が丸がかえで生活しています。（薬代等）グループホームに入れたとしてもある程度は親の負担が必要となりますし、親亡き後は、娘にその負担がかかってしまいます。年金を上げてもらいたいです。ぜいたくをしたい訳ではありません。暑ければ冷房を、寒ければ暖房を使えて、食事を普通に食べられる生活が出来れば、と願っております。	知的障害	男性・30代・本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
コロナ禍と物価の値上がりで生活が困難なので給付金や支給金を定期的に配付してほしい。	肢体不自由、精神障害	男性・40代・本人

【3 福祉サービス】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
今後は年々歳を重ねていくので、介護や福祉のサービスが充実していくことを希望します。	視覚障害	女性・80代・本人
新宿区はグループホームが少なすぎる。また、相談支援の職員の質が低すぎる。就労支援の職員の充実。定着支援に関して、もっと人数を増やして、回数も手厚くしてほしい。グループホームの職員の質の向上。	知的障害	男性・30代・本人
日中活動を支えてもらっている施設の職員数が足りていない。国の基準は満たしていると紋切り型の施策ではなく、障害者にもっと寄り添えるようゆとりのある人員増をお願いします。	知的障害	女性・40代・ご家族
知的障害者で重度なので、本人の意思を読み取ることが難しい。しかし、現在通所している施設もサービスを利用している事業所もよく支援してくれている。しかし、圧倒的に人が足りないので、福祉現場の働く条件（給料など）がもっと良くなれば、人材も集まるのでは？と思います。	知的障害	女性・40代・ご家族
学校時代に利用していた放課後等デイサービスのようなサービスがなくなり、生活環境がせばまってしまいました。1日の活動時間も短かく、24才という年齢に合わない活動量になってしまっていて、とても残念です。通所施設から降所後2時間くらい別の場所で別の人達とのかかわりが持てる仕組みがあると嬉しいです。	肢体不自由、知的障害、精神障害	男性・20代・ご家族
下肢が不自由です。近くにリハビリが気軽に出来る施設が欲しい。(近年、コロナの影響もあるが筋力低下が著しい。)	肢体不自由	女性・80代・本人
新宿区にグループホームサテライト型を作っていただきたいです。一生暮らすに当たって、支援の充実をはかっていただきたいです。	知的障害	男性・30代・本人
グループホームが足りないと思います。1人暮らしの練習をするための通勤寮にもなかなか入れず、親亡き後の準備は自分の家以外の場所でないと難しいです。自立して暮らすために上記2つの充実をよろしくお願い致します。	知的障害	男性・10代・ご家族
居宅介護の1日あたりの時間上限を増やすことが困難であり、また、サービス内容に縛りや制約が多いものばかりなので、もっと充実したサービスを望む。それにはまず、人員不足の介護職の方の確保と福祉への税金を獲得することが先決。子供を育てている障害者に向けた支援がないので親子で受けられるようなサービスが欲しい。障害児を育てる障害者の保護者が集まれるコミュニティが欲しい。	精神障害	女性・30代・本人

【4 障害理解】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
福祉を利用する側と提供する側でぶつかることもあるだろうし、根本的部分にある差別心を拭い去るのは難しいと思う。福祉には「お金と時間」が必要で、短期的に大きく社会を変えることは出来ないが、公職の人や医療職などの人達、障害者自身が能動的に変わっていく事で、少しずつ社会が変わっていけば良いと思う。	精神障害	女性・30代・本人
以前より障害者に対する視線が、やさしくなった気がします。	肢体不自由	女性・60代・本人
世の中では差別の解消が叫ばれていますが、実際の会社や学校の多くは、理解のない場面が本当に多く見られます。受け入れ側の知識、理解があまり浸透していません。必要なのは、差別解消のキャンペーンではなく、知識、理解をしてもらう事です。実際の世の中では、学校等の教育環境の方がしんらつな状況です。	精神障害	男性・40代・その他
できるだけ社会環境を改善するための自分たちからの発信の場が必要。	視覚障害	男性・80代・本人
障害のある人が地域で暮らすには、同じ人間であるといった人権教育が大切。困っている人なので優しいまなざしで受け止め、何に困っているのかを感じられる気持ちが大事。「人を大切にする」にはどうしたらよいかを学べるようにと願っています。	知的障害	男性・40代・ご家族
点字ブロックの上に自転車を置いたり、早足で歩いたりしてぶつかりそうになったことがある。一般の人にいろいろな標識などの意味がもっとわかるように広めてほしい。	身体障害	女性・70代・本人
町会などで障害者を理解して貰える場が欲しい。	知的障害、精神障害	女性・30代・ご家族

【5 将来の不安】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
親が亡くなる前に、どうか早くグループホームに入れますように、なんとか願っております。	知的障害	女性・50代・ご家族
親も高齢になり、健康面が心配になります。本人も年を重ねてくると将来が不安です。	知的障害	男性・30代・ご家族
親が死んだ瞬間～一人生活開始の期間中、相談所&指導者あればお教え下さい。	知的障害	男性・30代・ご家族
新宿区はおおむね充実していると思います。心配事は、私が72才(夫)で介護者の為、将来的に不安です。	肢体不自由	女性・60代・ご家族
親亡き後、一人になった時を考えるとどうにもならず・・・。不安ですね。自分で意志表示もできないので・・・。心配です。	知的障害	男性・30代・ご家族
ずっと両親の介護で暮らしてきました。今後どのようなサービスを受けて暮らしていけるのかわかりません。	肢体不自由	女性・40代・ご家族

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
親も高齢になり、障害者の子供の先を心配になって来ました。元気でおりますが、近くに姉達もいますが、やはり本人にとって一番良い方法を見つけてあげたいと考えています。親亡き後は、本人にとって一番良い方法でと考えています。	知的障害	女性・40代・ご家族
今現在、将来への色々な不安とくに家族の不安、お金の不安、病気の不安、ケガの不安などつきないので、いまから問題を解決していただきたいです。そのために環境の充実をお願いします。	精神障害	男性・40代・本人
障害者自身も年齢が進み、今後の生活自体の不安で一杯です。健康管理等々のことが心配です。一人ひとりに寄り添える町づくりがあればいいですね。でも感謝を忘れず、本人も人に寄り添える愛情深い人格者へと願っております。	知的障害	男性・40代・ご家族
今は、両親と生活してますが、両親がいなくなった後、私が安心して生活できる環境や制度の充実が必要です。	肢体不自由、精神障害	女性・40代・本人

【6 就労】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
色んな障害を持っている人たちに働く場所がいっぱい増えるのがいいなと思います。作品を作ったのを色んな人達に見てもらいたいです。	知的障害	女性・30代・-
現職場を定年退職した後、身体が元気ならば、障害者福祉に携わる仕事ができたら、と思います。まだまだ働ける障害者にお仕事を斡旋して下さると、将来安心して老後を過せると思います。新宿区に引越してきて今は本当によかったと思っております。次に引越する時も同区内で暮りたいです。障害者・福祉に温かい街でいられるよう、何卒、よろしくお願い致します。	肢体不自由	女性・50代・本人
自宅型職業支援の充実、例えばPCを使用しての作業の支援とか、クリエイティブな仕事への教育とか、あれば助かる方がいっぱいいると思います。	精神障害	男性・60代・本人
1、就労先に障害者への理解、支援方法等を指導していただけたらありがたいと思います。2、支援する家族が困っている問題に柔軟に対応していただけたら助かります。※通勤支援（転勤してルートが変わったとき等）支援者が入院したとき。	知的障害	男性・40代・本人
障害者の就労に関して、いただけるだけありがたいとは思いますが、単純作業的なものだけでなく、知的能力を活かせるようなものがあるとよりありがたいと思う。	精神障害	女性・40代・本人
今は生活できていても、収入が少なく経済的な基盤が脆弱であったり、親や親族が高齢になって状況が変化したりすることがあるので、状況が変化した時に相談できる体制作りが必要。また、コロナ禍や物価の高騰など、経済的に厳しい状況でもあるので、仕事においては賃金が上がることを希望している。賃上げのための仕組み作りも必要だと思う。	肢体不自由	女性・30代・本人

【7 健康・医療】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
うつ病です。心に波があり、生活にも影響しています。元気な時は、家事や外出もできます。その時、うつ病の話を知りたいです（特に同病の方の生活や考え方の工夫、他のお医者様の意見や考え方）。入院時は同病の方との交流がありましたが、今はなく、不安な気持ちの解消法がありません。Dr.も長く同じ方に診てもらっているので、現在の病状の会話だけで、全体的な病気の治療方法がぼやけているので、新しい情報や考え方など知りたいです（Dr.に問題がある訳ではありません。信頼しています）。	精神障害	女性・60代・本人
今の世の中、コロナで変わっています。病院の先生方も変わってきています。施設にしても病院にしても人手不足が懸念されます。	知的障害、精神障害	女性・40代・ご家族
飲んでいる薬が高額なので、できればもっと安くしてほしい。	精神障害	女性・50代・本人
全国の精神科の人員不足解消。精神状態がキャパシティを越えてしまったとき、身ひとつで駆けこめるところ。全国の病院（特に障害福祉関連）の予約システムの横断的なネットワーク化（いつでもどこでも誰でもが助けを求められるように）。	精神障害	女性・20代・本人

【8 生活環境】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
私自身は、外出の際にも介助が必要ではないが、現在住んでいる街は坂が多く、歩道幅も狭いため、車いすの方には住みにくい街です。私営地下鉄の出入口も一方は階段のみ。障害者がどこでも住みたい街に住めるように、整備されるといいと思います。	肢体不自由	女性・50代・本人
エスカレーターがない駅をなくしてほしい。かなりキツイです。	難病・特定疾患	女性・50代・本人
道路の段差に困っている。	肢体不自由、難病・特定疾患	女性・60代・本人
道路などでの段差が分かりにくいことがあり、ころんだことが数回ありました。低いところほど分かりにくいので”ここひくいです”と分かりやすいように色とかつけてもらえると助かります。	肢体不自由	女性・50代・本人
車いす用トイレを増設してほしい。	肢体不自由	男性・50代・本人

【9 その他】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
視覚障害者でもできるスポーツ、機会の提供。	視覚障害、精神障害	男性・50代・本人

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
現役世代で、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療給付の一人暮らしで生活している人の集まり（集会）みたいなものがあると嬉しいです。	精神障害	男性・50代・本人
障害者手帳4級ですが、片耳は全く聞こえず、片耳も外してしまうと聞こえません。災害があった時に呼ばれても、夜中など聞こえずだと思いと心配です。どんな支援があるのか？ないのか？気軽にメールできると、不安も解消されるのかなと思います。	聴覚・平衡機能障害	女性・80代・ご家族
障害が身近にないとよくわからない。このアンケートの中の単語をほとんど知らなかった。	難病・特定疾患	女性・50代・本人
障害者差別を感じたことはありませんが、そもそも「差別」以前に、社会的支援が少ない。	聴覚・平衡機能障害	男性・70代・本人

Ⅱ 施設に入所している方を対象とした調査

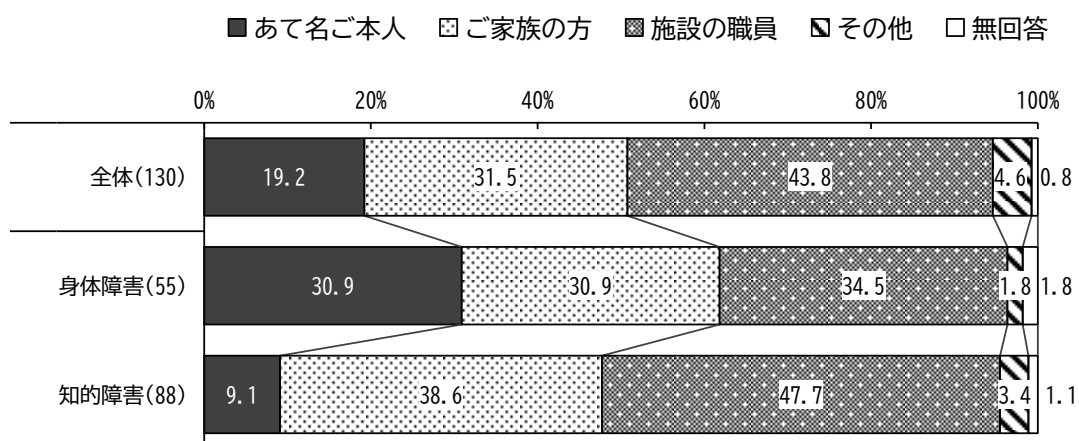
<調査票の回答者>

◆「施設の職員」が43.8%、次いで「ご家族の方」が31.5%

【全体】

- ・「施設の職員」が43.8%で最も多く、次いで「ご家族の方」が31.5%、「あて名ご本人」が19.2%となっています。

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)



1 ご本人について

(1) 性別

◆「男性」が64.6%、「女性」が35.4%

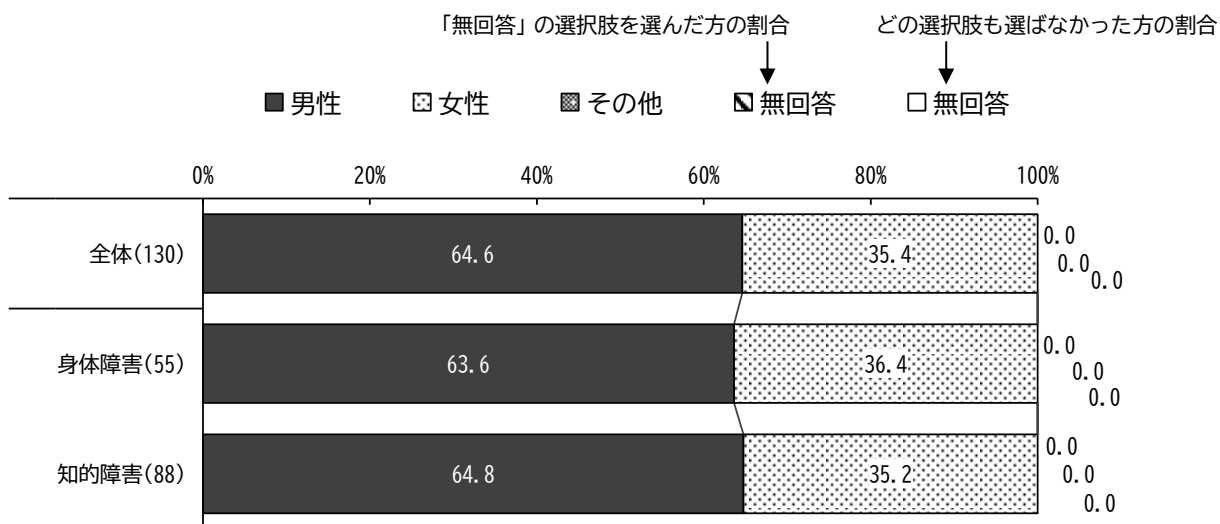
【全体】

- ・「男性」が64.6%、「女性」が35.4%となっています。

【障害別】

- ・障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問2 あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)



※この質問は選択肢を4つ設定「1 男性」「2 女性」「3 その他」「4 無回答」

(2) 年齢

◆ 「50代」が28.5%、次いで「60代」が22.3%

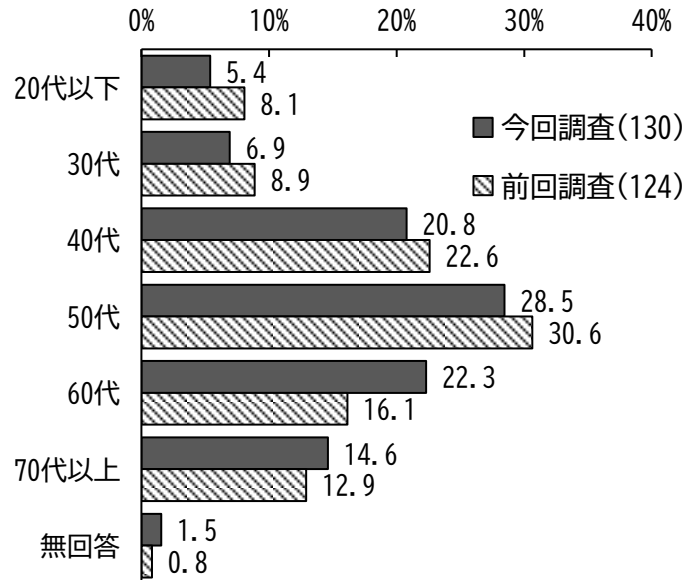
【全体】

- ・「50代」が28.5%と最も多く、次いで「60代」が22.3%、「40代」が20.8%などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害では「60代」、知的障害では「50代」が多くなっています。

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和4年11月1日現在の満年齢をお書きください。



単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
20代以下	1.8	6.8
30代	1.8	9.1
40代	21.8	22.7
50代	21.8	31.8
60代	29.1	19.3
70代以上	21.8	10.2
無回答	1.8	0.0

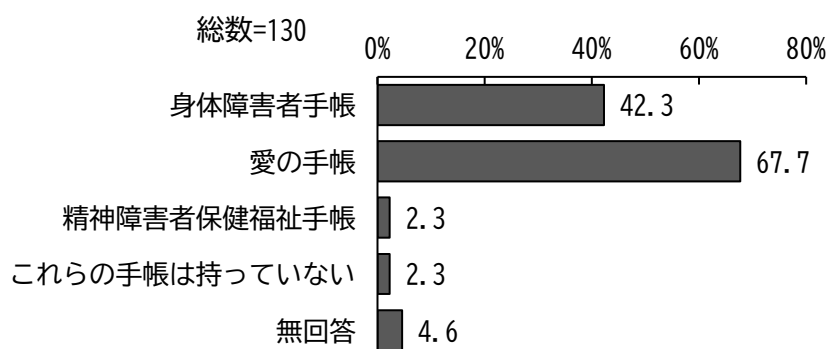
(3) 手帳の種類

◆「愛の手帳」が67.7%、次いで「身体障害者手帳」が42.3%

【全体】

- ・「愛の手帳」が67.7%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が42.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が2.3%、「これらの手帳は持っていない」が2.3%となっています。

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)



【重複障害の状況】

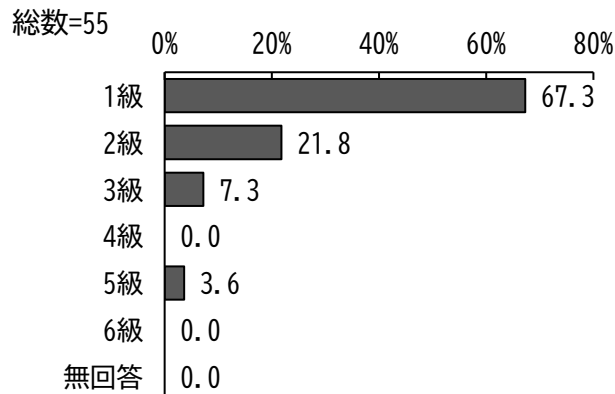
- ・身体障害の方のうち、43.6%が愛の手帳を所持しており、知的障害のある方のうち、27.3%が身体障害者手帳を所持しています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
身体障害者手帳	100.0	27.3
愛の手帳	43.6	100.0
精神障害者保健福祉手帳	1.8	0.0
これらの手帳は持っていない	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0

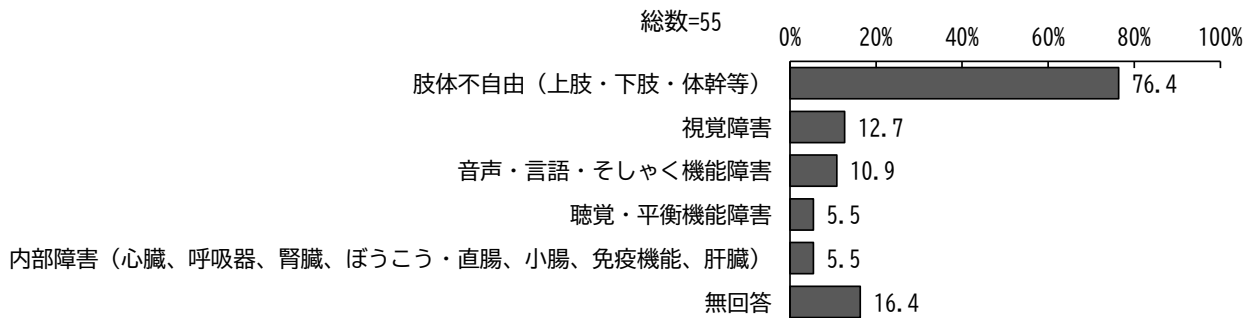
①身体障害の等級

・「1級」が67.3%で最も多く、次いで「2級」が21.8%、「3級」が7.3%などとなっています。



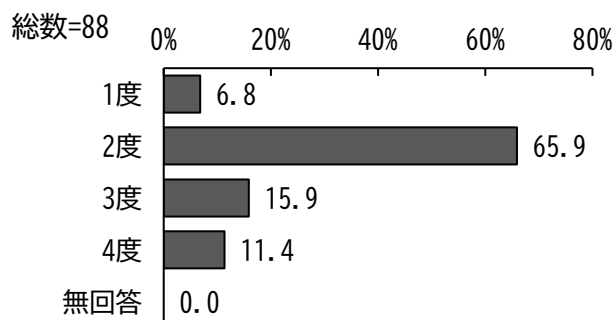
②身体障害の種類

・「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が76.4%で最も多く、次いで「視覚障害」が12.7%、「音声・言語・そしゃく機能障害」が10.9%などとなっています。



③愛の手帳の程度

・「2度」が65.9%で最も多く、次いで「3度」が15.9%、「4度」が11.4%などとなっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

・所持者は全体で3人で、「1級」が1人、「2級」が2人となっています。

2 施設入所について

(1) 施設のある地域

◆「関東甲信越（東京都を除く）」が31.5%

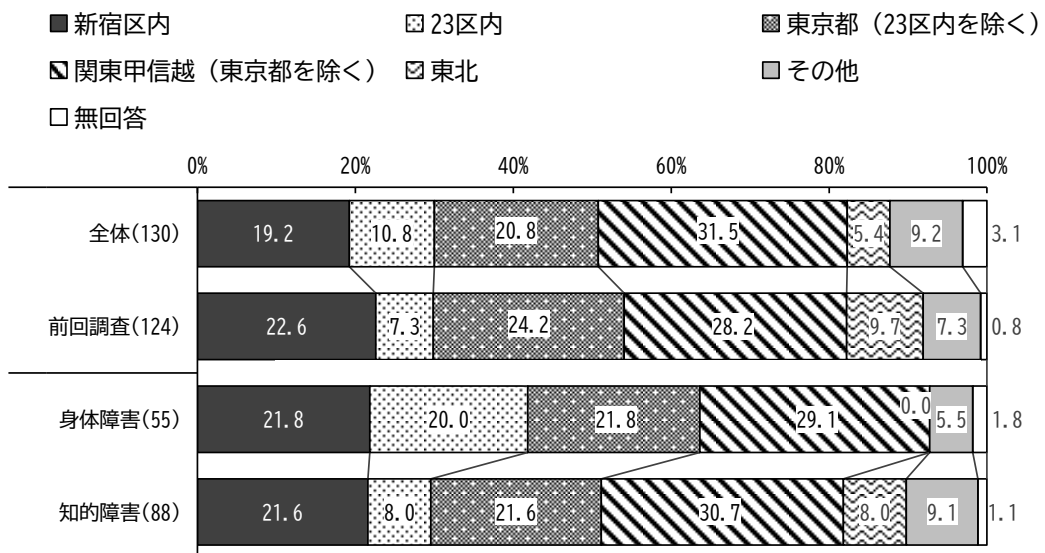
【全体】

- ・「関東甲信越（東京都を除く）」が31.5%で最も多く、次いで「東京都（23区内を除く）」が20.8%、「新宿区内」が19.2%などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害では「23区内」が比較的多くなっています。

問5 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きます。(○はひとつ)



(2) 入所期間

◆ 「20年以上」が33.8%、次いで「5年以上～10年未満」が26.9%

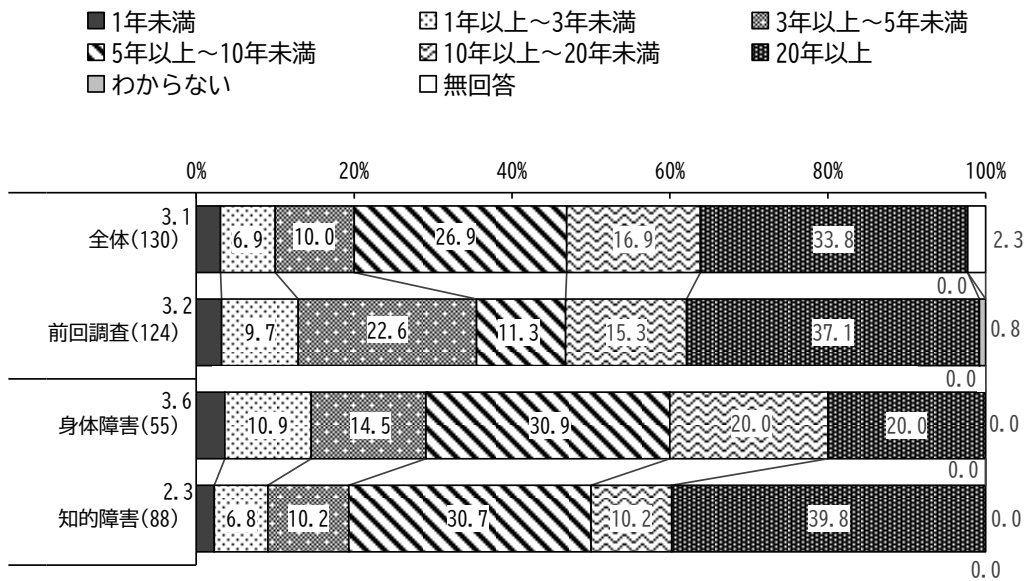
【全体】

- ・「20年以上」が33.8%で最も多く、次いで「5年以上～10年未満」が26.9%、「10年以上～20年未満」が16.9%などとなっています。

【障害別】

- ・知的障害で「20年以上」が多くなっています。

問6 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きます。(○はひとつ)



【施設のある地域別】

上段：人 下段：%	全体	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	わからない	無回答
全体	130 100.0	4 3.1	9 6.9	13 10.0	35 26.9	22 16.9	44 33.8	0 0.0	3 2.3
新宿区内	25 100.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0	18 72.0	4 16.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
23区内	14 100.0	0 0.0	2 14.3	4 28.6	4 28.6	1 7.1	3 21.4	0 0.0	0 0.0
東京都 (23区内を除く)	27 100.0	0 0.0	4 14.8	4 14.8	3 11.1	7 25.9	9 33.3	0 0.0	0 0.0
関東甲信越 (東京都を除く)	41 100.0	3 7.3	3 7.3	1 2.4	8 19.5	8 19.5	18 43.9	0 0.0	0 0.0
東北	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0
その他	12 100.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	7 58.3	0 0.0	0 0.0

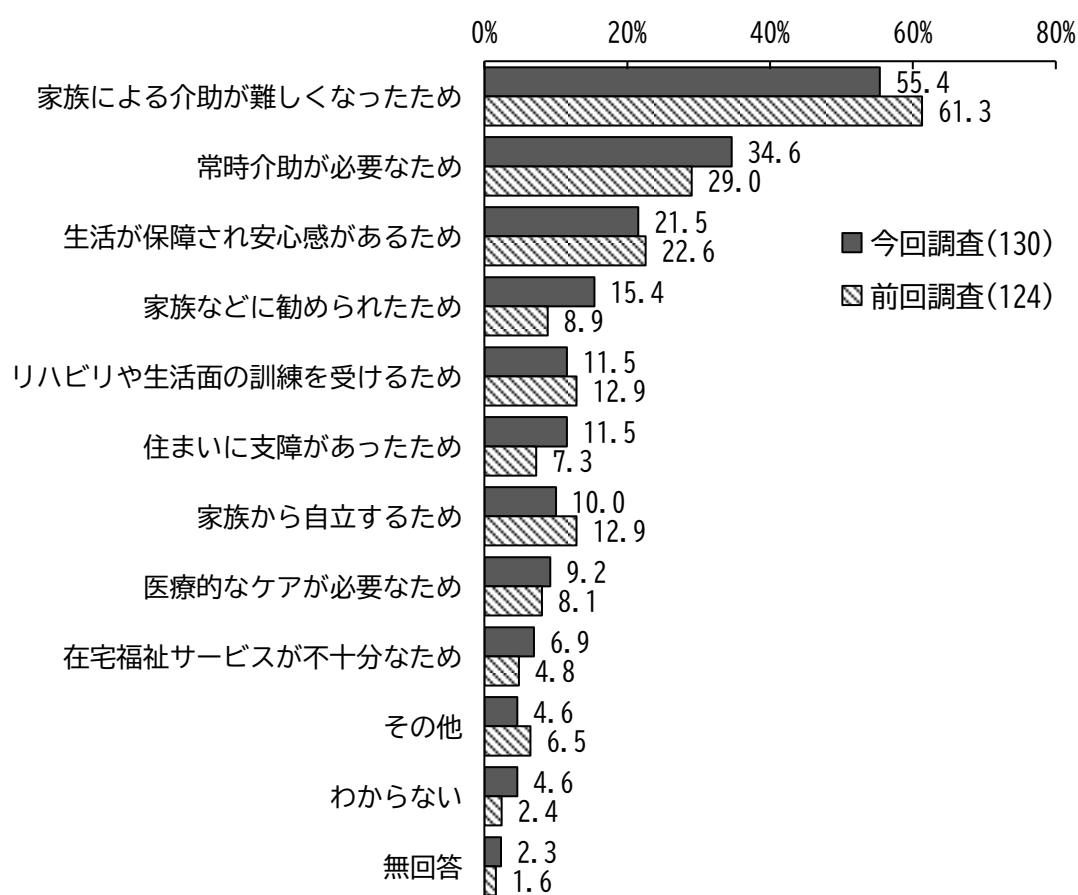
(3) 施設に入所した理由

◆「家族による介助が難しくなったため」が55.4%

【全体】

・「家族による介助が難しくなったため」が55.4%で最も多く、次いで「常時介助が必要なため」が34.6%、「生活が保障され安心感があるため」が21.5%などとなっています。

問7 あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
家族から自立するため	10.9	10.2
リハビリや生活面の訓練を受けるため	20.0	6.8
生活が保障され安心感があるため	27.3	14.8
家族による介助が難しくなったため	56.4	61.4
常時介助が必要なため	40.0	33.0
医療的なケアが必要なため	14.5	5.7
住まいに支障があったため	25.5	1.1
在宅福祉サービスが不十分なため	10.9	3.4
家族などに勧められたため	9.1	17.0
その他	5.5	3.4
わからない	5.5	4.5
無回答	0.0	0.0

3 施設での生活について

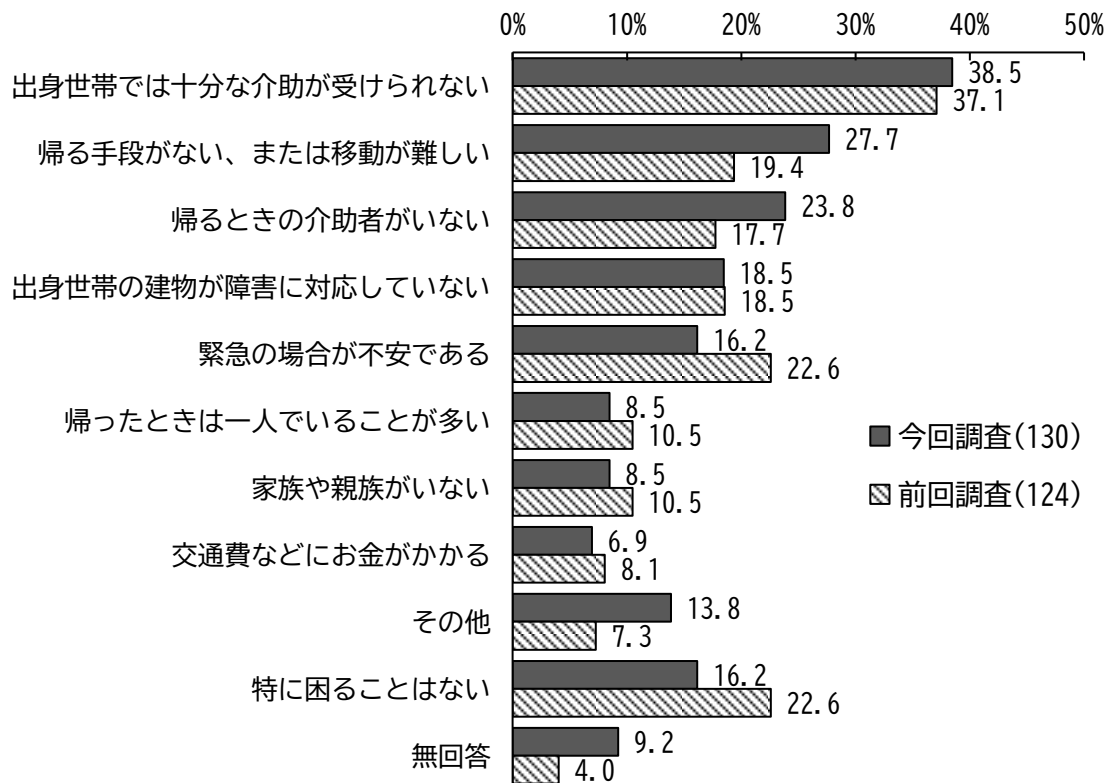
(1) 出身世帯に帰るときなどに困ること

◆「出身世帯では十分な介助が受けられない」が 38.5%

【全体】

- ・「出身世帯では十分な介助が受けられない」が 38.5%で最も多く、次いで「帰る手段がない、または移動が難しい」が 27.7%、「帰るときの介助者がいない」が 23.8%などとなっています。

問8 あなたが一時、出身世帯（施設に入る前に住んでいた家）に帰るときなどに困ることはありますか。（○はいくつでも）



【障害別】

- ・身体障害では「出身世帯では十分な介助が受けられない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
帰る手段がない、または移動が難しい	36.4	23.9
帰るときの介助者がいない	34.5	17.0
交通費などにお金がかかる	7.3	8.0
出身世帯の建物が障害に対応していない	34.5	12.5
出身世帯では十分な介助が受けられない	52.7	39.8
帰ったときは一人でいることが多い	18.2	4.5
家族や親族がいない	10.9	6.8
緊急の場合が不安である	25.5	12.5
その他	12.7	12.5
特に困ることはない	7.3	20.5
無回答	9.1	5.7

(2) 施設生活の満足度

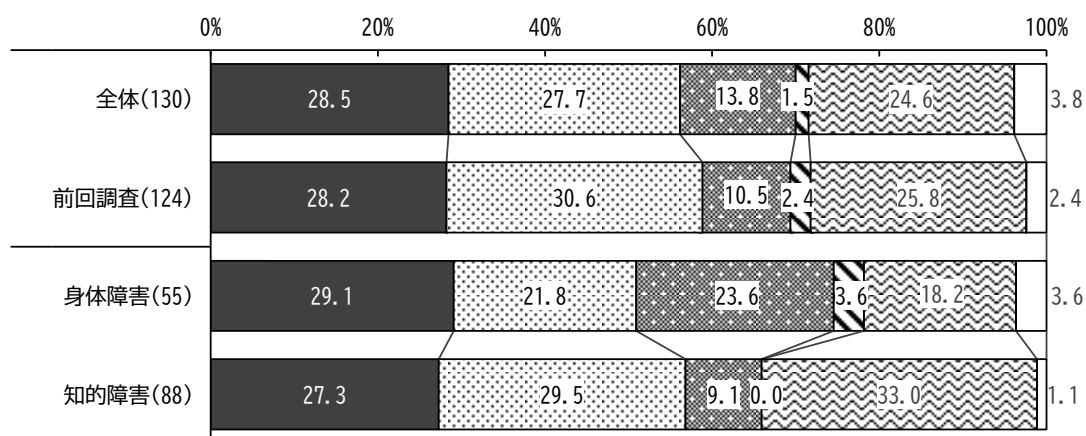
◆「非常に満足している」が28.5%で、「やや満足している」が27.7%

【全体】

- ・「非常に満足している」が28.5%で最も多く、次いで「やや満足している」が27.7%、「やや不満である」が13.8%、「非常に不満である」が1.5%となっています。「わからない」は24.6%です。

問9 あなたは、施設での生活に満足していますか。(○はひとつ)

■非常に満足している □やや満足している ▨やや不満である ▩非常に不満である ◻わからない □無回答



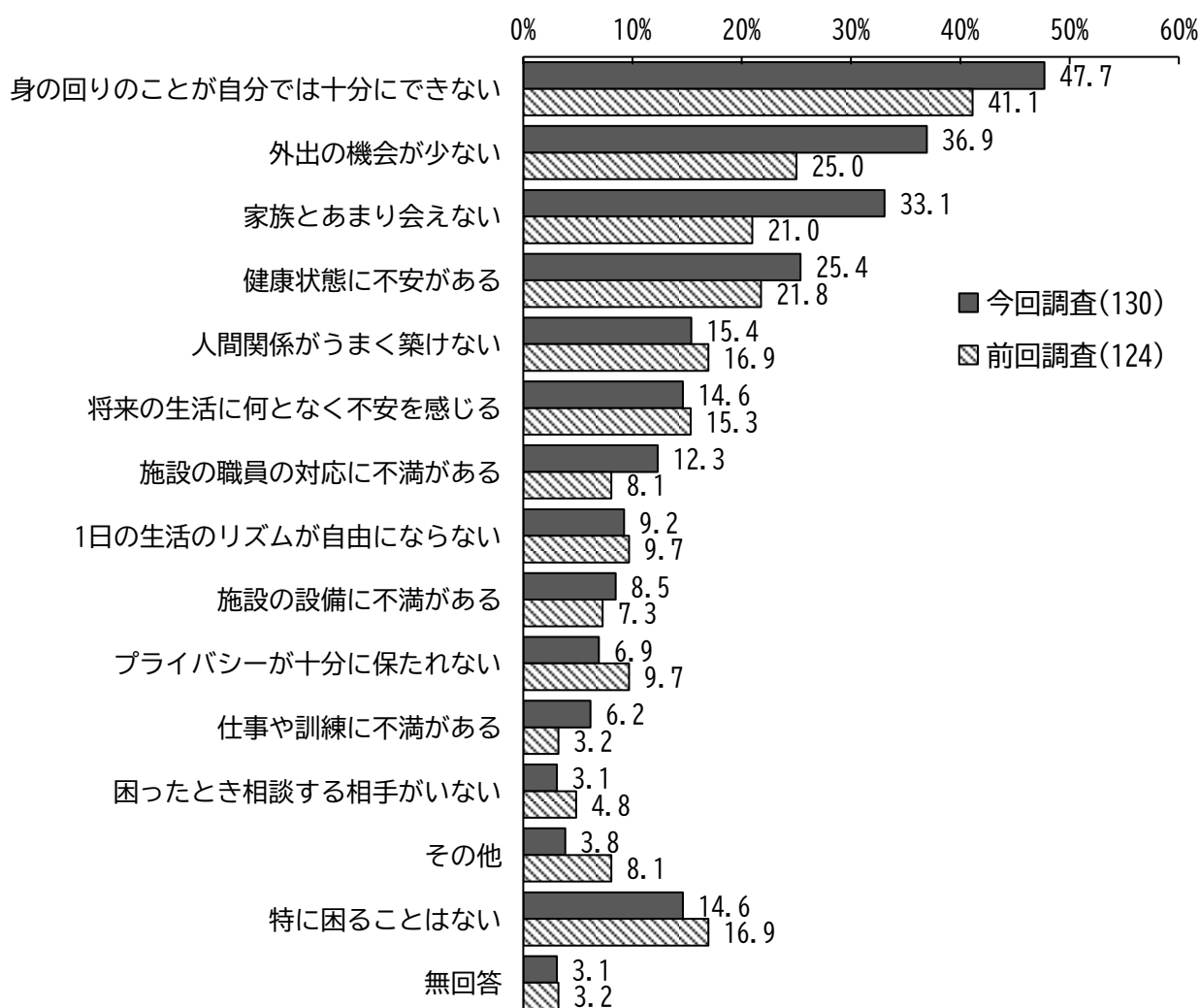
(3) 施設生活で困っていること

◆「身の回りのことが自分では十分にできない」が47.7%

【全体】

・「身の回りのことが自分では十分にできない」が47.7%で最も多く、次いで「外出の機会が少ない」が36.9%、「家族とあまり会えない」が33.1%などとなっています。

問10 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。(○はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害で「身の回りのことが自分では十分にできない」が多くなっています。知的障害では「身の回りのことが自分では十分にできない」に次いで「家族とあまり会えない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
身の回りのことが自分では十分にできない	54.5	46.6
健康状態に不安がある	32.7	23.9
プライバシーが十分に保たれない	12.7	4.5
1日の生活のリズムが自由にならない	12.7	6.8
施設の設備に不満がある	14.5	4.5
仕事や訓練に不満がある	10.9	4.5
外出の機会が少ない	40.0	31.8
施設の職員の対応に不満がある	18.2	8.0
人間関係がうまく築けない	16.4	13.6
困ったとき相談する相手がいない	5.5	2.3
家族とあまり会えない	25.5	33.0
将来の生活に何となく不安を感じる	20.0	11.4
その他	7.3	4.5
特に困ることはない	12.7	14.8
無回答	3.6	3.4

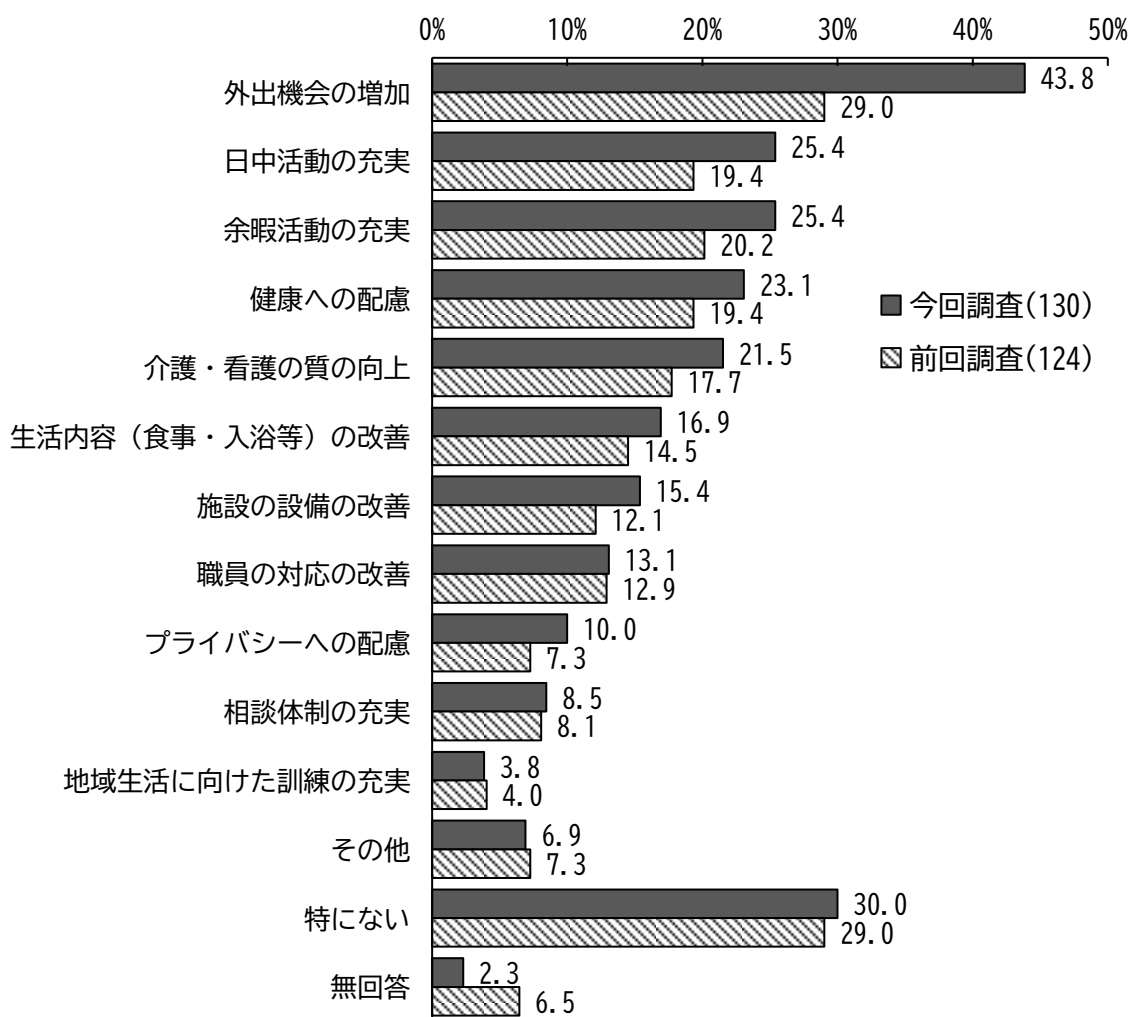
(4) 施設への要望

◆「外出機会の増加」が43.8%

【全体】

・「外出機会の増加」が43.8%で最も多く、次いで「日中活動の充実」が25.4%、「余暇活動の充実」が25.4%などとなっています。「特にない」は30.0%です。

問11 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害で「外出機会の増加」が多く、「介護・看護の質の向上」「健康への配慮」なども多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
介護・看護の質の向上	36.4	17.0
健康への配慮	30.9	20.5
プライバシーへの配慮	18.2	8.0
生活内容（食事・入浴等）の改善	21.8	12.5
施設設備の改善	21.8	10.2
日中活動の充実	29.1	23.9
外出機会の増加	45.5	38.6
職員の対応の改善	21.8	8.0
余暇活動の充実	23.6	25.0
相談体制の充実	14.5	8.0
地域生活に向けた訓練の充実	5.5	4.5
その他	7.3	8.0
特になし	29.1	30.7
無回答	3.6	3.4

(5) 医療的ケアの必要性

◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が 33.8%

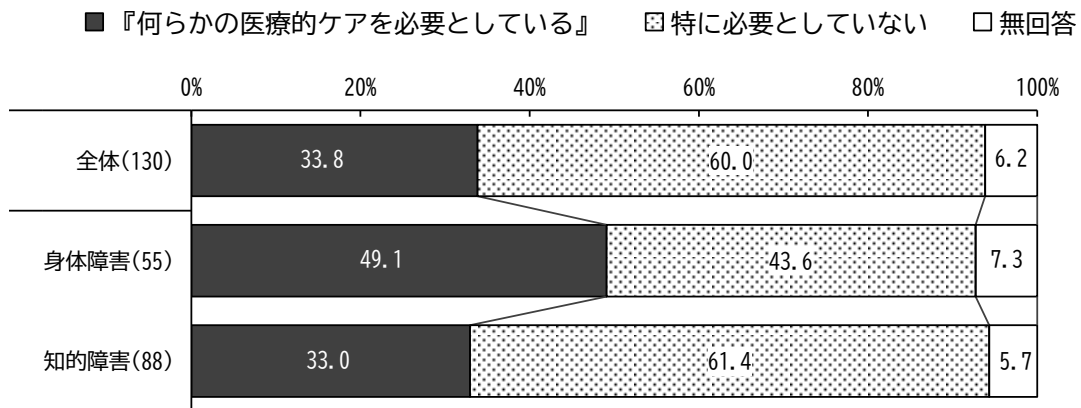
【全体】

- ・回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は 33.8%となっています。

【障害別】

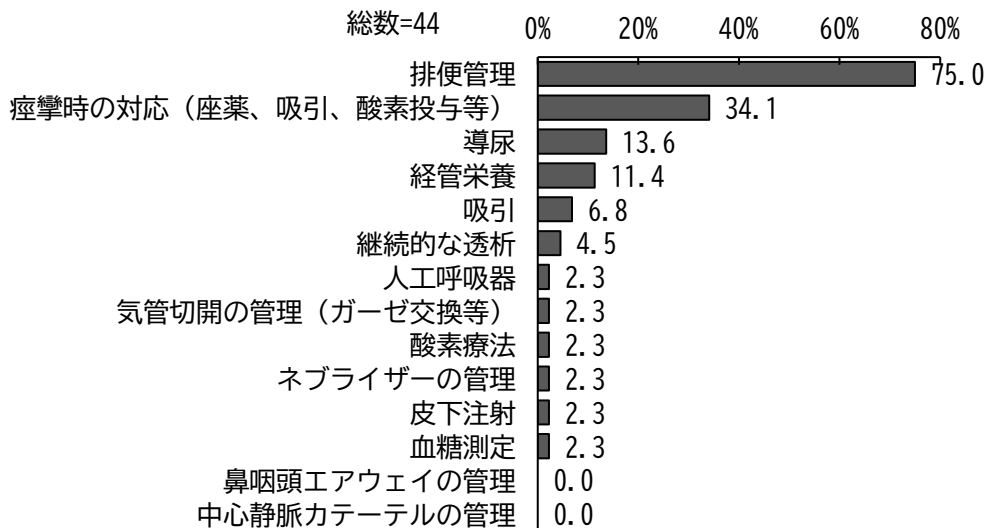
- ・身体障害で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

問 12 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。(〇はいくつでも)



【何らかの医療的ケアが必要と回答した方だけの集計】

- ・「排便管理」が 75.0%と最も多く、次いで「痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）」が 34.1%、「導尿」が 13.6%などとなっています。



※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(27)	(29)
人工呼吸器	3.7	0.0
気管切開の管理（ガーゼ交換等）	3.7	0.0
鼻咽頭エアウェイの管理	0.0	0.0
酸素療法	3.7	0.0
吸引	11.1	3.4
ネブライザーの管理	3.7	0.0
経管栄養	14.8	10.3
中心静脈カテーテルの管理	0.0	0.0
皮下注射	0.0	0.0
血糖測定	0.0	3.4
継続的な透析	7.4	0.0
導尿	14.8	6.9
排便管理	77.8	69.0
痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）	37.0	44.8

(6) 外出の頻度

◆「あまり外出しない」が47.7%、次いで「月に1~3回」が23.1%

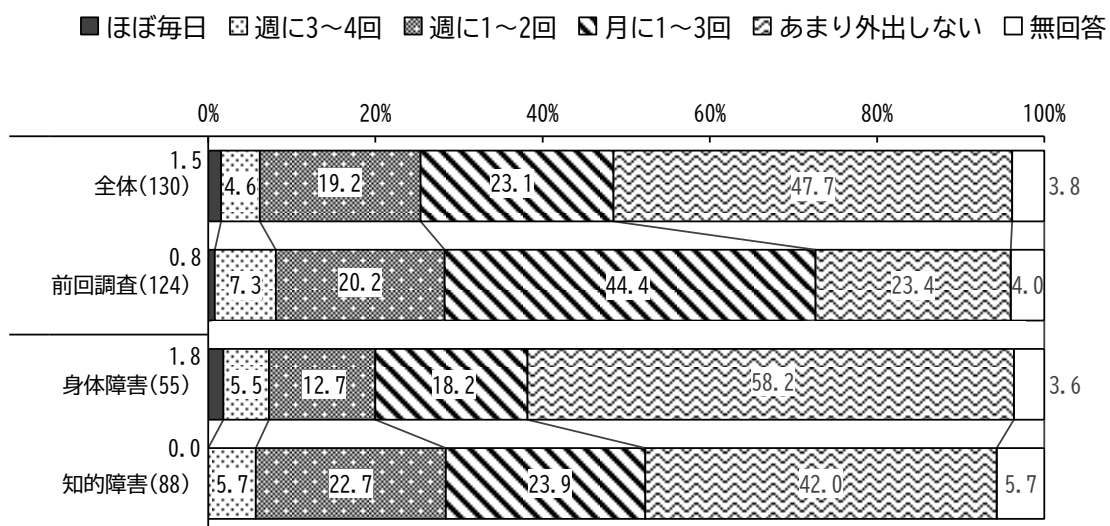
【全体】

- ・「あまり外出しない」が47.7%で最も多く、次いで「月に1~3回」が23.1%、「週に1~2回」が19.2%などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害で「あまり外出しない」が多くなっています。

問13 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)



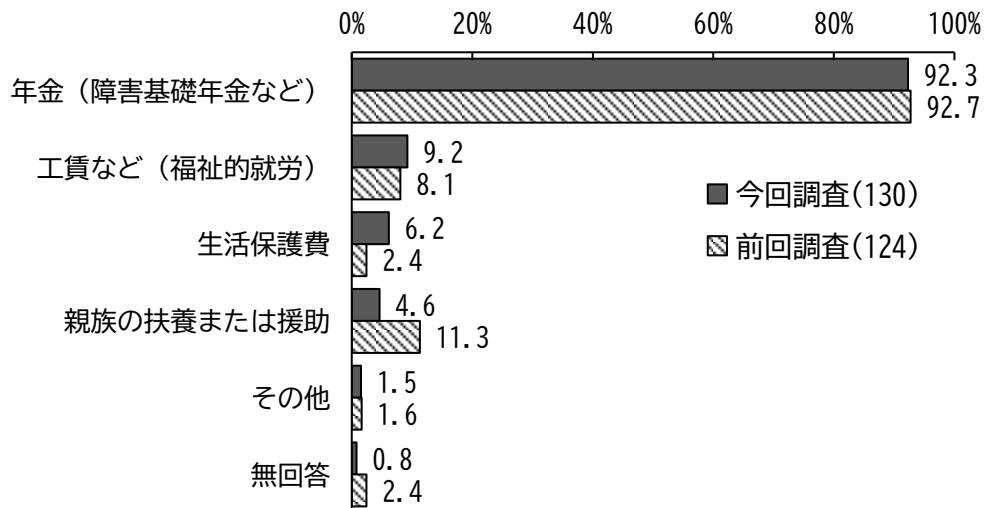
(7) 主な収入

◆「年金（障害基礎年金など）」が92.3%

【全体】

- ・「年金（障害基礎年金など）」が92.3%で最も多く、次いで「工賃など（福祉的就労）」が9.2%、「生活保護費」が6.2%などとなっています。

問14 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(○は2つまで)



【障害別】

- ・身体障害では「年金（障害基礎年金など）」に次いで「生活保護費」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
年金（障害基礎年金など）	85.5	98.9
工賃など（福祉的就労）	3.6	11.4
生活保護費	14.5	0.0
親族の扶養または援助	9.1	3.4
その他	3.6	1.1
無回答	0.0	1.1

4 相談や福祉の情報について

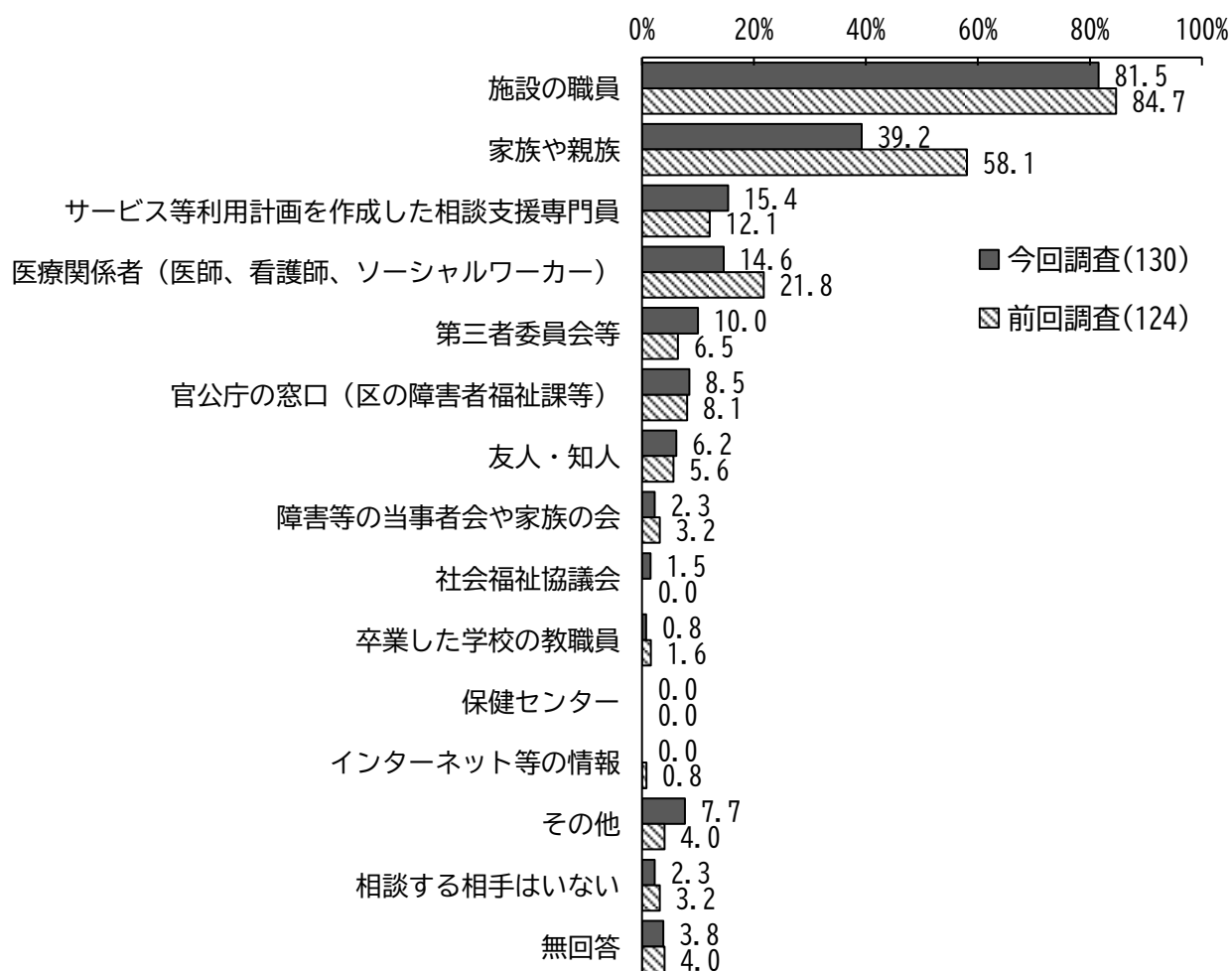
(1) 困った時に相談する相手

◆「施設の職員」が81.5%、次いで「家族や親族」が39.2%

【全体】

- ・「施設の職員」が81.5%で最も多く、次いで「家族や親族」が39.2%、「サービス等利用計画を作成した相談支援専門員」が15.4%などとなっています。

問15 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・「施設の職員」「家族や親族」以外では、身体障害では「官公庁の窓口（区の障害者福祉課等）」、知的障害では「サービス等利用計画を作成した相談支援専門員」が比較的多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
家族や親族	38.2	43.2
施設の職員	78.2	78.4
第三者委員会等	3.6	12.5
友人・知人	10.9	2.3
卒業した学校の教職員	1.8	0.0
障害等の当事者会や家族の会	1.8	1.1
サービス等利用計画を作成した相談支援専門員	10.9	18.2
医療関係者（医師、看護師、ソーシャルワーカー）	14.5	13.6
官公庁の窓口（区の障害者福祉課等）	16.4	8.0
保健センター	0.0	0.0
社会福祉協議会	1.8	1.1
インターネット等の情報	0.0	0.0
その他	7.3	6.8
相談する相手はいない	1.8	3.4
無回答	3.6	4.5

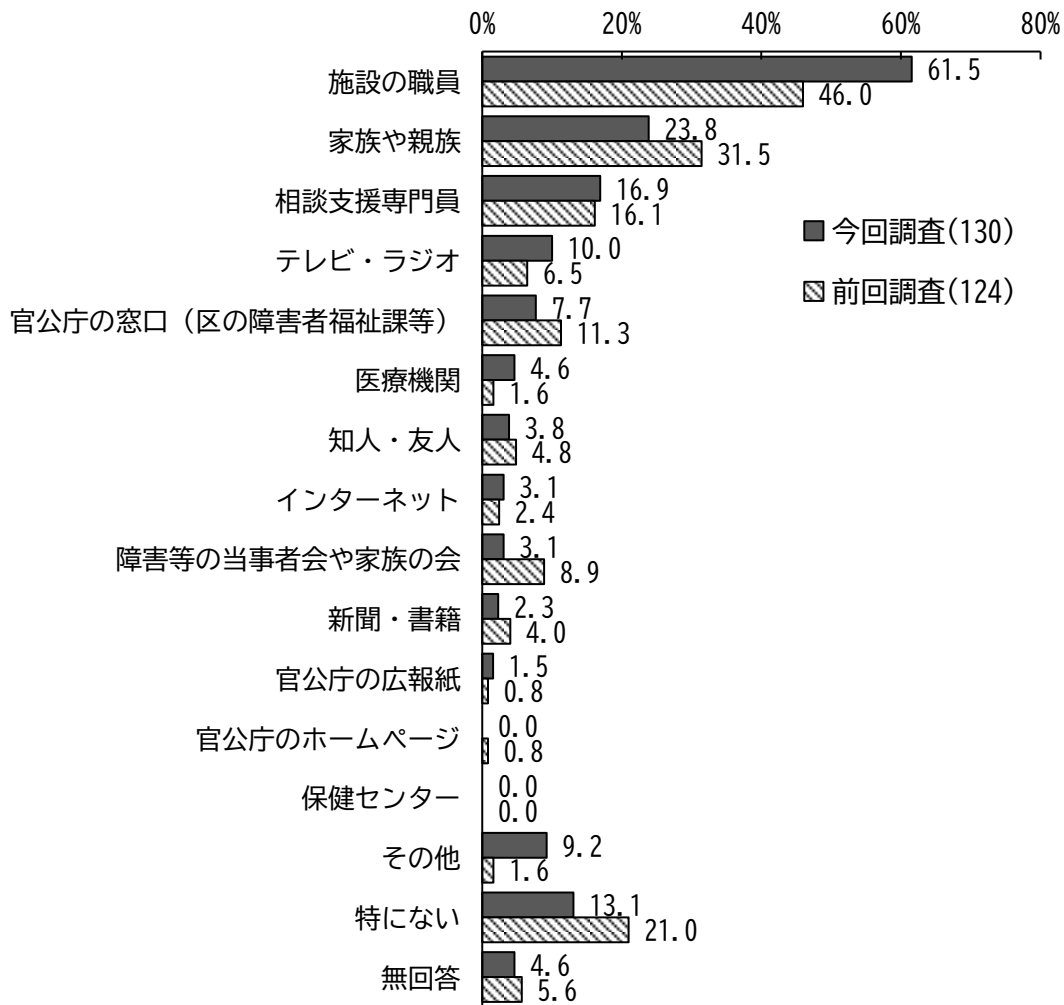
(2) 福祉情報の入手先

◆「施設の職員」が61.5%、次いで「家族や親族」が23.8%

【全体】

・「施設の職員」が61.5%で最も多く、次いで「家族や親族」が23.8%、「相談支援専門員」が16.9%などとなっています。「特にない」は13.1%です。

問16 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

・障害別でも、概ね同様の傾向となっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
家族や親族	27.3	22.7
相談支援専門員	18.2	14.8
知人・友人	9.1	0.0
官公庁の広報紙	1.8	0.0
官公庁のホームページ	0.0	0.0
官公庁の窓口（区の障害者福祉課等）	16.4	5.7
保健センター	0.0	0.0
テレビ・ラジオ	10.9	6.8
インターネット	7.3	0.0
新聞・書籍	3.6	0.0
障害等の当事者会や家族の会	3.6	3.4
医療機関	3.6	4.5
施設の職員	61.8	58.0
その他	5.5	11.4
特にない	12.7	14.8
無回答	3.6	5.7

5 権利擁護について

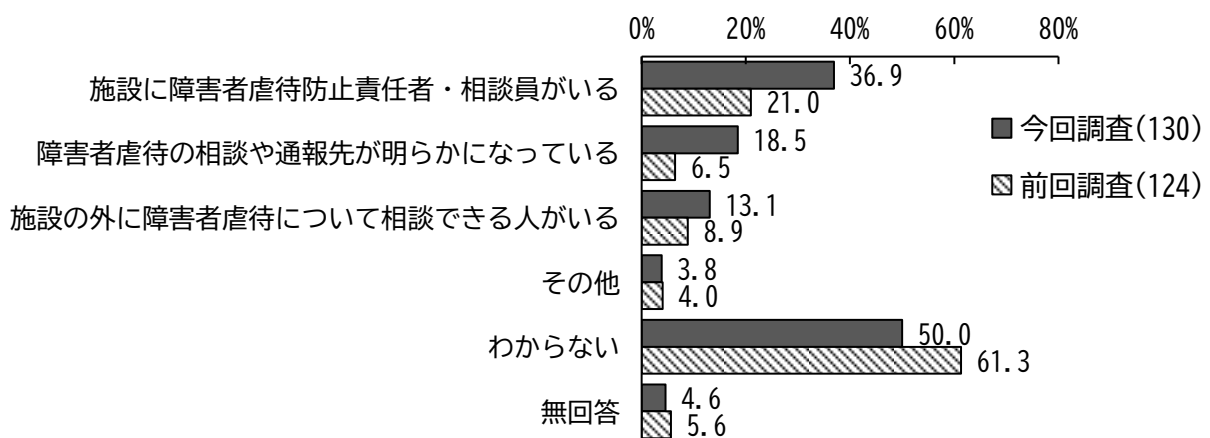
(1) 障害者虐待防止に向けた取り組みの認知状況

◆「施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」が36.9%

【全体】

- ・「わからない」が50.0%で最も多く、次いで「施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」が36.9%、「障害者虐待の相談や通報先が明らかになっている」が18.5%、「施設の外に障害者虐待について相談できる人がいる」が13.1%などとなっています。

問17 あなたは、障害者虐待の防止にむけた取り組みを知っていますか。(〇はいくつでも)



※「施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」は、前回「施設の内」に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」

【障害別】

- ・障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
施設の内」に障害者虐待防止責任者・相談員がいる	41.8	33.0
施設の外」に障害者虐待について相談できる人がいる	12.7	9.1
障害者虐待の相談や通報先が明らかになっている	20.0	15.9
その他	5.5	4.5
わからない	43.6	52.3
無回答	5.5	5.7

(2) 成年後見制度の利用意向

◆「現在、利用している」が20.8%、「今後利用したい」が13.1%

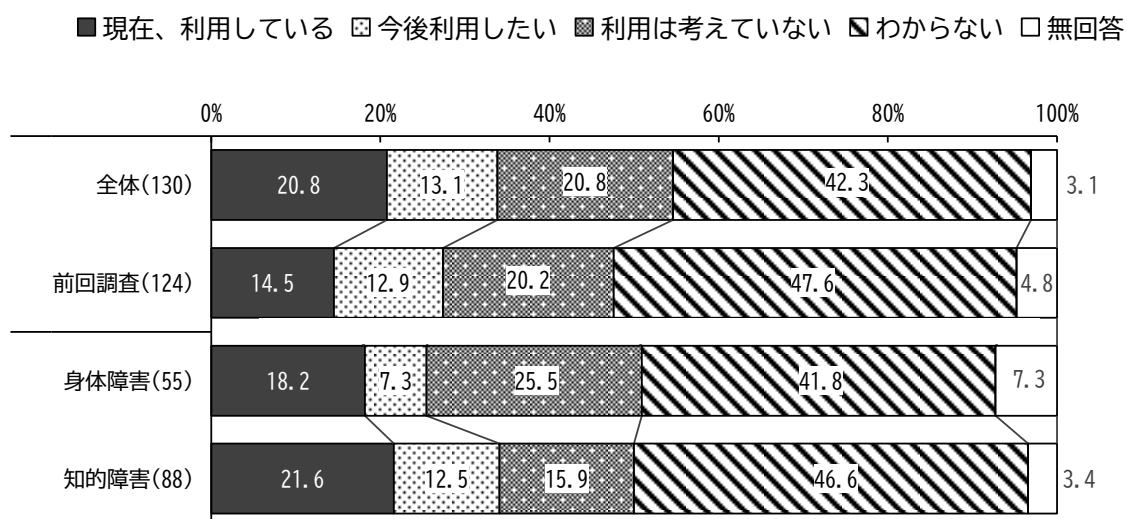
【全体】

- ・「現在、利用している」が20.8%、「今後利用したい」が13.1%、「利用は考えていない」が20.8%、「わからない」は42.3%となっています。

【障害別】

- ・「わからない」以外では、身体障害では「利用は考えていない」が、知的障害では「現在、利用している」が多くなっています。

問 18 成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)



(3) 成年後見制度を利用しない理由

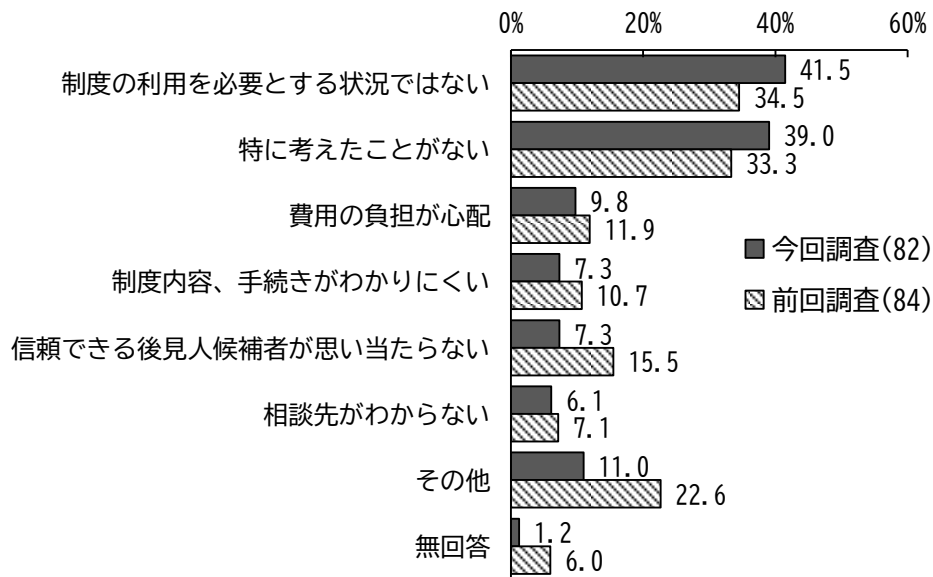
◆「制度の利用を必要とする状況ではない」が41.5%

【全体】

- ・「制度の利用を必要とする状況ではない」が41.5%で最も多く、次いで「特に考えたことがない」が39.0%、「費用の負担が心配」が9.8%などとなっています。

問19 【問18で「利用は考えていない」または「わからない」と回答した方にお聞きします。】

その理由はなんですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害では「特に考えたことがない」、知的障害では「制度の利用を必要とする状況ではない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(37)	(55)
制度の利用を必要とする状況ではない	43.2	41.8
制度内容、手続きがわかりにくい	10.8	5.5
相談先がわからない	8.1	3.6
費用の負担が心配	8.1	10.9
信頼できる後見人候補者が思い当たらない	10.8	3.6
その他	2.7	14.5
特に考えたことがない	45.9	34.5
無回答	2.7	0.0

6 新型コロナウイルス感染症の影響について

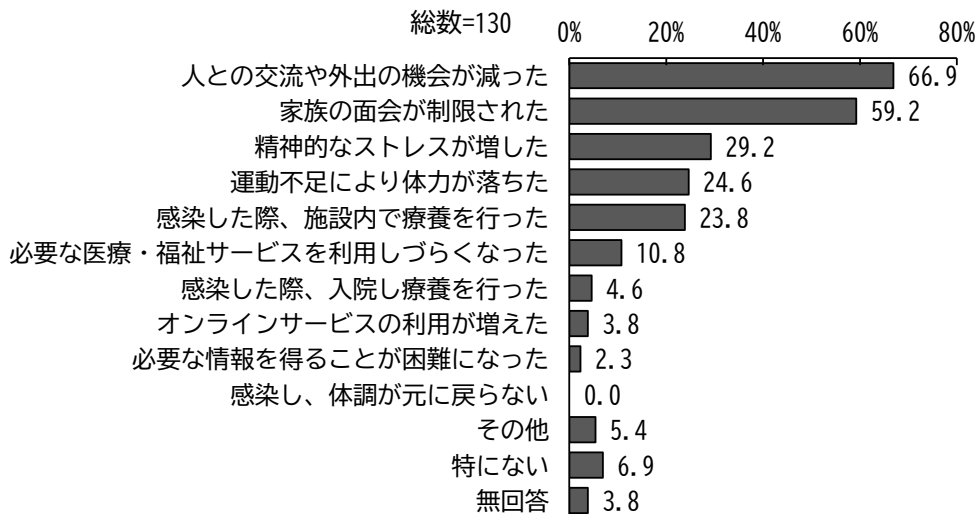
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

◆「人との交流や外出の機会が減った」が66.9%

【全体】

- ・「人との交流や外出の機会が減った」が66.9%で最も多く、次いで「家族の面会が制限された」が59.2%、「精神的なストレスが増した」が29.2%などとなっています。

問20 新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・「人との交流や外出の機会が減った」「家族の面会が制限された」以外では、身体障害では「精神的なストレスが増した」、知的障害では「感染した際、施設内で療養を行った」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
感染した際、施設内で療養を行った	10.9	28.4
感染した際、入院し療養を行った	10.9	4.5
感染し、体調が元に戻らない	0.0	0.0
人との交流や外出の機会が減った	63.6	64.8
運動不足により体力が落ちた	16.4	25.0
精神的なストレスが増した	27.3	21.6
家族の面会が制限された	52.7	59.1
必要な情報を得ることが困難になった	1.8	2.3
必要な医療・福祉サービスを利用しづらくなった	10.9	8.0
オンラインサービスの利用が増えた	5.5	3.4
その他	3.6	6.8
特になし	7.3	8.0
無回答	5.5	5.7

7 今後の暮らし方について

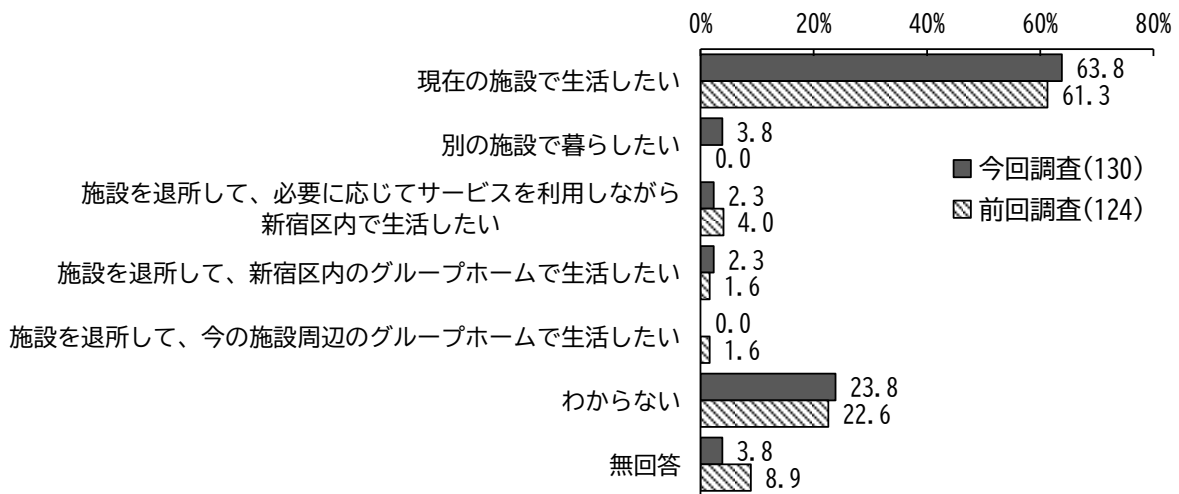
(1) 今後の生活の希望

◆「現在の施設で生活したい」が63.8%

【全体】

- ・「現在の施設で生活したい」が63.8%で最も多く、次いで「別の施設で暮らしたい」が3.8%、「施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい」「施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい」が2.3%となっています。「わからない」は23.8%です。

問21 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)



【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい	5.5	0.0
施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい	1.8	3.4
施設を退所して、今の施設周辺のグループホームで生活したい	0.0	0.0
現在の施設で生活したい	60.0	61.4
別の施設で暮らしたい	7.3	2.3
わからない	20.0	27.3
無回答	5.5	5.7

【施設のある地域別】

上段：人 下段：%	全体	施設を退所して、必要に応じて サービスを利用しながら 新宿区内で生活したい	施設を退所して、新宿区内の グループホームで生活したい	施設を退所して、今の施設周辺の グループホームで生活したい	現在の施設で生活したい	別の施設で暮らしたい	わからない	無回答
全体	130 100.0	3 2.3	3 2.3	0 0.0	83 63.8	5 3.8	31 23.8	5 3.8
新宿区内	25 100.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	19 76.0	0 0.0	4 16.0	1 4.0
23区内	14 100.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	6 42.9	3 21.4	3 21.4	0 0.0
東京都 (23区内を除く)	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 48.1	0 0.0	11 40.7	3 11.1
関東甲信越 (東京都を除く)	41 100.0	1 2.4	2 4.9	0 0.0	26 63.4	2 4.9	10 24.4	0 0.0
東北	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7	0 0.0	1 14.3	0 0.0
その他	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 83.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0

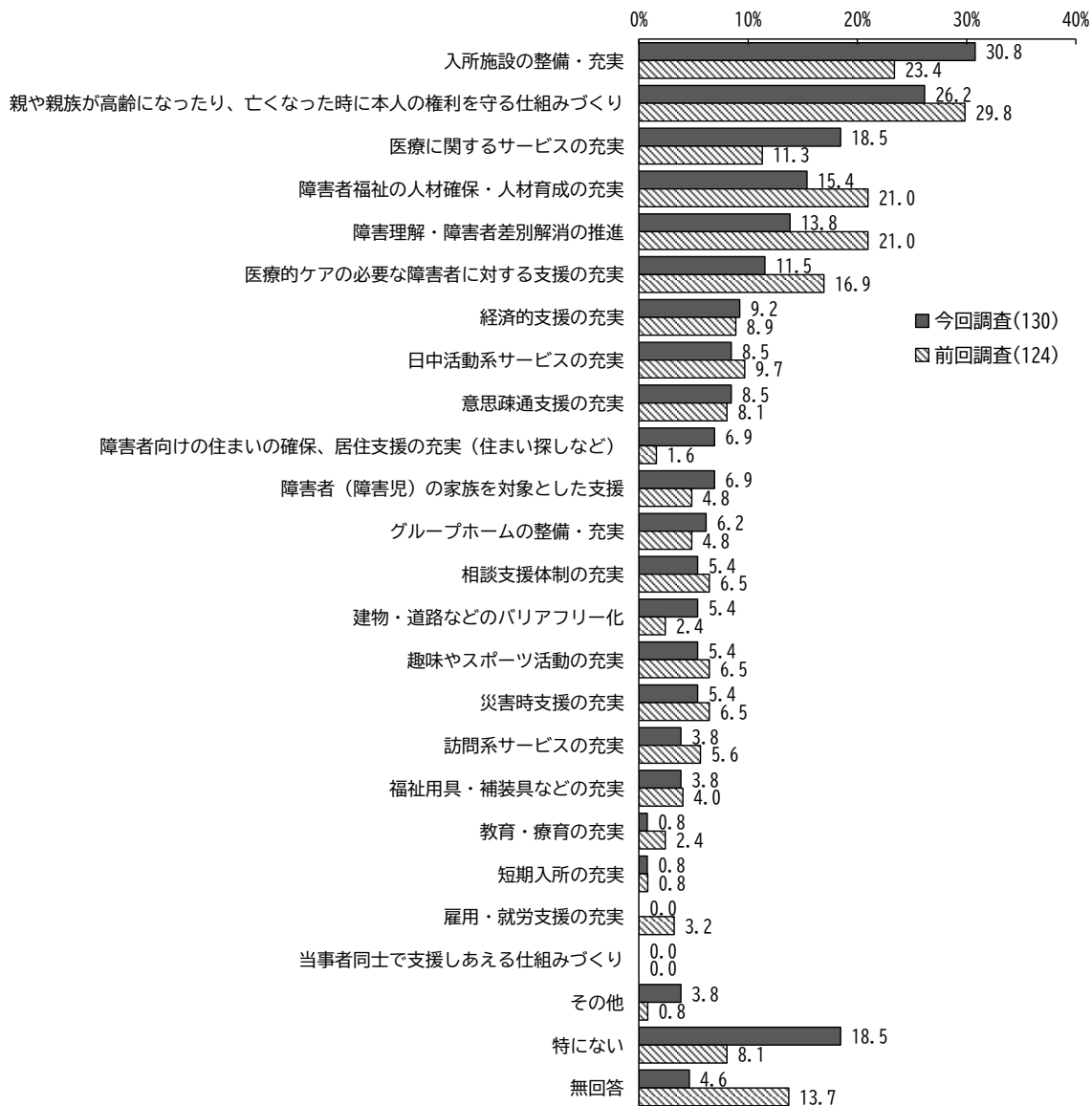
(2) 地域で安心して暮らすために重要な施策

◆「入所施設の整備・充実」が30.8%

【全体】

- ・「入所施設の整備・充実」が30.8%で最も多く、次いで「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が26.2%、「医療に関するサービスの充実」が18.5%などとなっています。

問22 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)



【障害別】

- ・身体障害では「入所施設の整備・充実」、知的障害では「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が多くなっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害
総数	(55)	(88)
障害理解・障害者差別解消の推進	9.1	14.8
相談支援体制の充実	7.3	5.7
医療に関するサービスの充実	25.5	19.3
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	12.7	8.0
教育・療育の充実	0.0	1.1
雇用・就労支援の充実	0.0	0.0
訪問系サービスの充実	7.3	4.5
日中活動系サービスの充実	10.9	5.7
短期入所の充実	1.8	1.1
意思疎通支援の充実	10.9	4.5
福祉用具・補装具などの充実	5.5	3.4
グループホームの整備・充実	3.6	6.8
入所施設の整備・充実	30.9	28.4
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど）	12.7	4.5
建物・道路などのバリアフリー化	9.1	2.3
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	0.0	0.0
趣味やスポーツ活動の充実	1.8	5.7
経済的支援の充実	18.2	3.4
災害時支援の充実	5.5	6.8
障害者（障害児）の家族を対象とした支援	9.1	9.1
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	14.5	17.0
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	16.4	33.0
その他	1.8	5.7
特にない	12.7	19.3
無回答	5.5	5.7

【性別】

- ・「入所施設の整備・充実」以外では、男性では「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、女性では「医療に関するサービスの充実」が比較的多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	男性	女性
総数	(84)	(46)
障害理解・障害者差別解消の推進	15.5	10.9
相談支援体制の充実	6.0	4.3
医療に関するサービスの充実	15.5	23.9
医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実	9.5	15.2
教育・療育の充実	1.2	0.0
雇用・就労支援の充実	0.0	0.0
訪問系サービスの充実	4.8	2.2
日中活動系サービスの充実	7.1	10.9
短期入所の充実	1.2	0.0
意思疎通支援の充実	9.5	6.5
福祉用具・補装具などの充実	3.6	4.3
グループホームの整備・充実	6.0	6.5
入所施設の整備・充実	34.5	23.9
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど）	6.0	8.7
建物・道路などのバリアフリー化	6.0	4.3
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	0.0	0.0
趣味やスポーツ活動の充実	2.4	10.9
経済的支援の充実	9.5	8.7
災害時支援の充実	3.6	8.7
障害者（障害児）の家族を対象とした支援	9.5	2.2
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	15.5	15.2
親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	29.8	19.6
その他	6.0	0.0
特にない	16.7	21.7
無回答	3.6	6.5

8 自由意見

問 23 障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

・「区への意見・要望」が6件と最も多く、次いで「経済的支援」が3件、「将来への不安」が2件などとなっています。

回答の内容		件数
1	区への意見・要望	6
2	経済的支援	3
3	将来の不安	2
4	コロナへの対応	1
5	福祉サービス	1
6	その他	4
合計		17

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
本人を取り巻く諸機関との連携（行政、家族を含む）をして当事者の望む暮らしの実現。	知的障害	男性・50代・施設の職員
車いす対応のグループホームを増やして下さい。年に一回は区の職員が会いに来て欲しい。	肢体不自由、知的障害	男性・40代・ご本人
（地域）共生社会の実現に向けての取り組みについて、その実現には「バリアフリー」や「合理的配慮」がキーワードになります。前者に比べ後者の社会での認知度はまだ低いと思われます。新宿区や議会は「合理的配慮」についての更なる啓発や推進に努め、社会の理解と協力をもっと得られる様にして下さい。	-	男性・70代・ご家族
成年後見人ですが、申請手続きが大変でした。揃える書類がとにかく多い。重度知的障害者を連れて診断書の発行のために病院へ行くのが一番大変でした。専門職の方にお問い合わせするとしても報酬が一定ではないので費用面で躊躇する方もおられるのではないのでしょうか。認定に至れば良い制度なのですが、制度がわかりづらい、申し立てが難しそうという印象が浸透しづらい一因かとも思います。親の高齢化に伴い本人の将来の先行きが不安な時期がありました。本人、家族問わず何でも相談できる窓口の拡張を望みます。	知的障害	男性・50代・その他

意見の内容	障害の種類	性別・年齢・回答者
<p>記入者(本人の兄弟)本人は脳性麻痺で生まれたため、知的障害と身体障害の両方を持って生活してきました。一人で歩けた時(64歳)までは近所の福祉センターに通って生活していましたが、一人で歩けなくなった時に施設の方から65歳を越えると健常者の高齢者と同じ扱いになるので64歳の内に障害者施設を探さないと入れなくなりますと言われました。なのであわてて障害者施設を探して入ることができましたが、障害者が65歳を越えると健常者の65歳と同じ扱いになり新規の障害者施設を利用出来なくなるのはおかしいと感じました。</p>	<p>肢体不自由、知的障害</p>	<p>女性・60代・ご家族</p>
<p>本人でないとわからない部分は回答できませんでした。今後障害者本人の高齢化に伴い、家族での介護支援が難しくなることが想定されます。本人の権利擁護の仕組みがますます大切になるのではないかと考えます。</p>	<p>肢体不自由、知的障害</p>	<p>男性・60代・ご家族</p>
<p>現在は入所施設で楽しく暮らしており親もたまに会って様子を見る事が出来るので安心ですが、言葉にして色々な事を表現できないので、親亡き後が心配です。</p>	<p>知的障害</p>	<p>男性・30代・ご家族</p>
<p>コロナ感染が始まってからの障害者施設への対応は遅く、職員を含めたワクチン接種への対応をもっと早くして欲しかった。高齢者施設には注目が集まるけれど障害者施設は後回しにされているように感じた。クラスターが起きた時に人員や物資の支援をして頂きたいです。</p>	<p>肢体不自由、知的障害</p>	<p>女性・60代・ご家族</p>
<p>施設の利用料が高い。</p>	<p>肢体不自由、聴覚・平衡機能障害</p>	<p>男性・70代・ご本人</p>
<p>他の自治体に比べて、恵まれていると思います。財政も大変な状況下で感謝しています。ケガが多く、救急対応してもらうことが多いのですが、発作が多く、少人数(一人)の家族でできることは限りなく少ない状況です。入所していることで家族も安心です。職員スタッフに過度な負担を要求はしません。平穏に日々過ごせることが幸せです。</p>	<p>知的障害</p>	<p>男性・30代・ご家族</p>

Ⅲ 児童（18歳未満）の保護者の方を対象とした調査

<調査票の回答者>

◆「母親」が83.2%、「父親」が15.7%

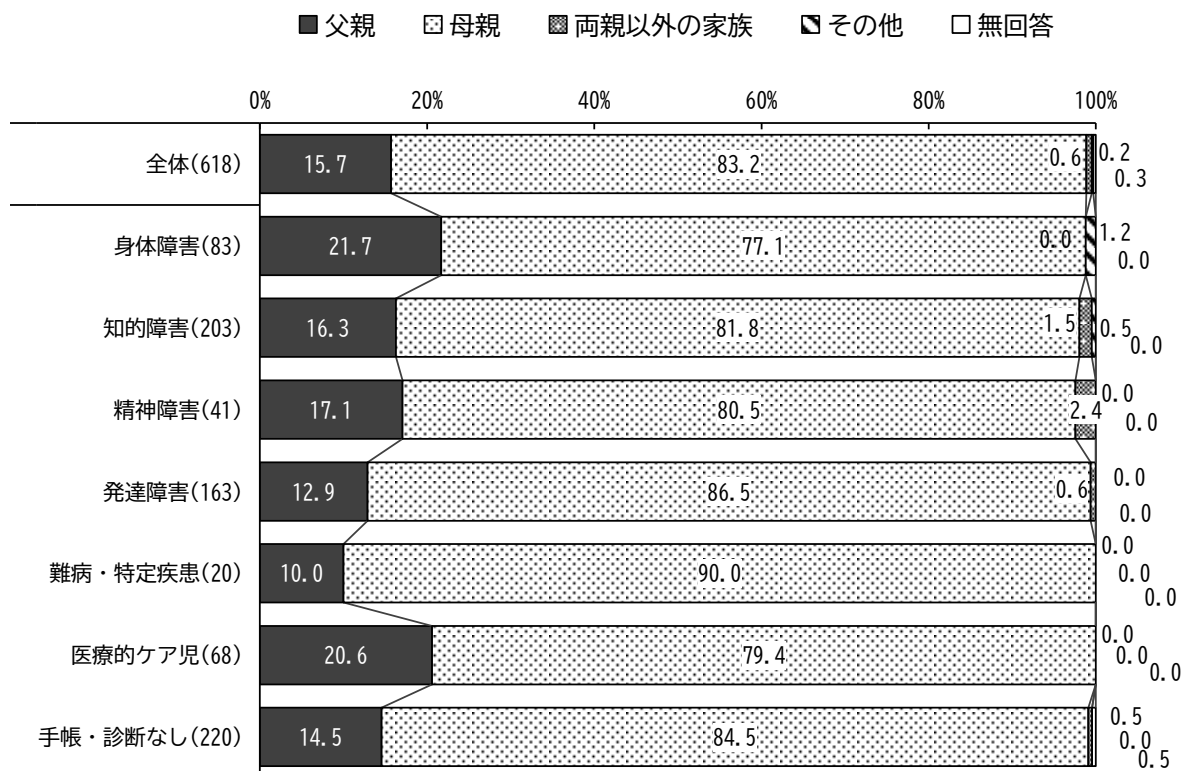
【全体】

- ・「母親」が83.2%で最も多く、次いで「父親」が15.7%、「両親以外の家族」が0.6%、などとなっています。

【障害別】

- ・身体障害と医療的ケア児で「父親」が2割を超えています。

問1 この調査票に回答していただく方は、あて名のお子さんから見て、どなたにあたりますか。(○はひとつ)



※問9で、何らかの医療的ケアを必要としていると回答した方を「医療的ケア児」として集計。以下同様。

1 お子さんについて

(1) 性別

◆「男性」が70.7%、「女性」が28.6%

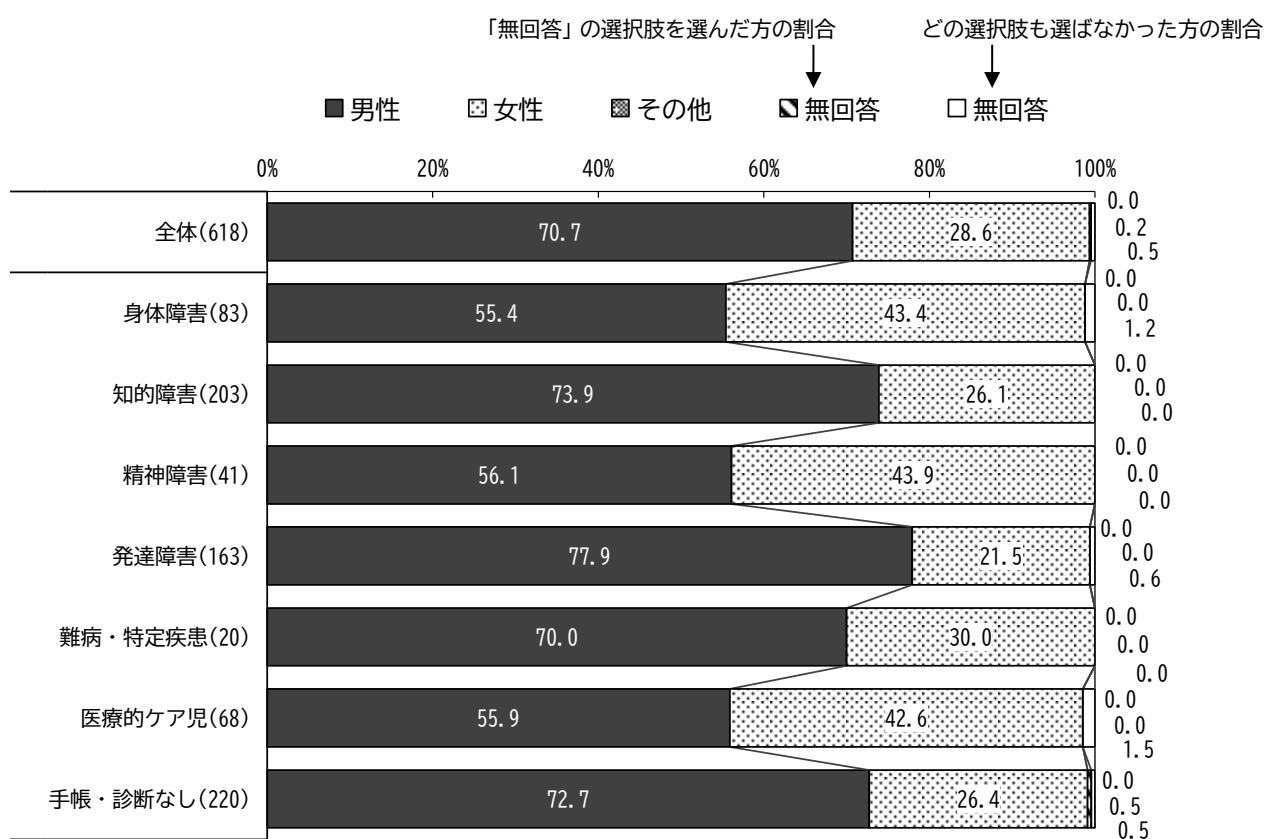
【全体】

・「男性」が70.7%、「女性」が28.6%となっています。

【障害別】

・全ての属性で「男性」が多くなっています。

問2 お子さんの性別をお聞きます。(〇はひとつ)



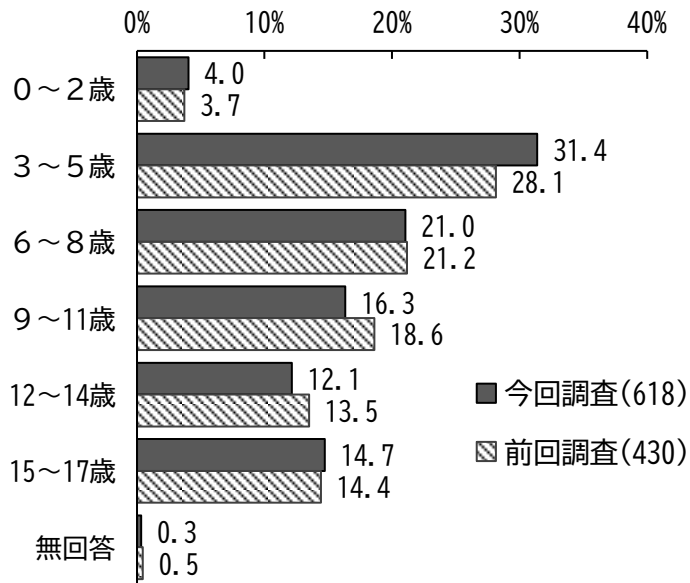
(2) 年齢

◆「3～5歳」が31.4%、次いで「6～8歳」が21.0%、「9～11歳」が16.3%

【全体】

・「3～5歳」が31.4%で最も多く、次いで「6～8歳」が21.0%、「9～11歳」が16.3%などとなっています。

問3 お子さんの年齢をお聞きます。令和4年11月1日現在の満年齢をお書きください。



【障害別】

・精神障害で「15～17歳」、手帳・診断なしで「3～5歳」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
0～2歳	6.0	2.5	4.9	1.2	10.0	8.8	5.5
3～5歳	18.1	13.8	12.2	21.5	35.0	26.5	51.8
6～8歳	15.7	17.2	4.9	20.9	10.0	19.1	28.2
9～11歳	20.5	19.2	4.9	23.3	15.0	23.5	10.9
12～14歳	16.9	19.7	12.2	20.2	10.0	7.4	2.7
15～17歳	22.9	27.6	61.0	12.3	20.0	14.7	0.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.5

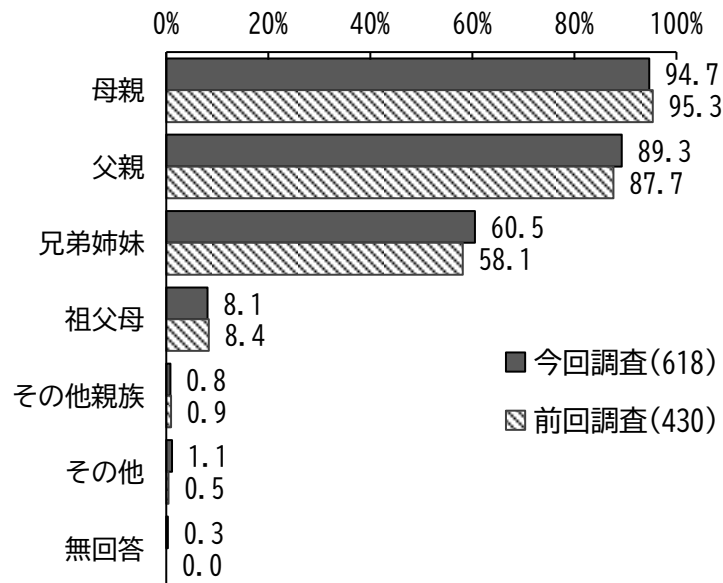
(3) 同居家族

◆「母親」が94.7%、次いで「父親」が89.3%、「兄弟姉妹」が60.5%

【全体】

・「母親」が94.7%で最も多く、次いで「父親」が89.3%、「兄弟姉妹」が60.5%などとなっています。

問4 あて名のお子さんと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)



【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
父親	86.7	85.7	85.4	87.1	95.0	88.2	92.3
母親	90.4	92.6	90.2	95.1	95.0	92.6	96.8
兄弟姉妹	65.1	64.5	63.4	60.7	60.0	70.6	57.3
祖父母	8.4	9.4	4.9	8.0	5.0	10.3	7.7
その他親族	3.6	1.5	0.0	0.6	0.0	1.5	0.0
その他	2.4	2.5	0.0	1.8	0.0	2.9	0.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.5

2 障害や健康の状況について

(1) 手帳や医療券の種類

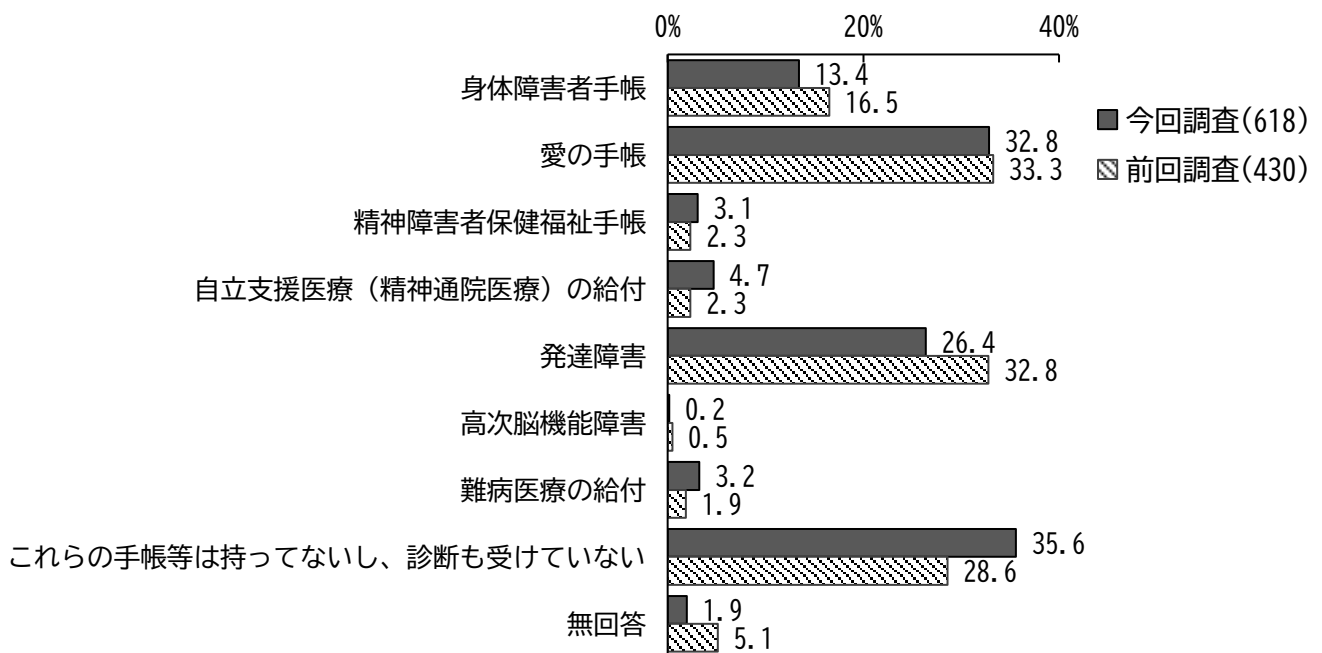
◆「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が35.6%

①手帳や医療券の種類

【全体】

- ・「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が35.6%で最も多く、次いで「愛の手帳」が32.8%、「発達障害」が26.4%、「身体障害者手帳」が13.4%などとなっています。

問5 お子さんが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)



【重複障害の状況】

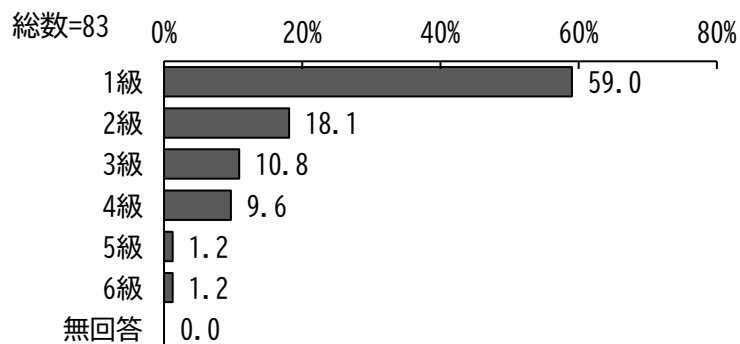
- ・身体障害のある方のうち、42.2%が愛の手帳を所持しています。また、医療的ケア児のうち、60.3%が身体障害者手帳、38.2%が愛の手帳を所持しています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
身体障害者手帳	100.0	17.2	4.9	0.6	25.0	60.3	0.0
愛の手帳	42.2	100.0	22.0	34.4	40.0	38.2	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	3.0	46.3	6.7	5.0	1.5	0.0
自立支援医療（精神通院医療）の給付	2.4	3.0	70.7	6.1	0.0	0.0	0.0
発達障害	1.2	27.6	39.0	100.0	25.0	5.9	0.0
高次脳機能障害	0.0	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
難病医療の給付	6.0	3.9	2.4	3.1	100.0	10.3	0.0
これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

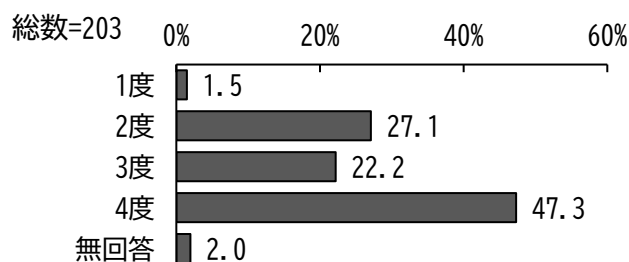
②身体障害者手帳の等級

- ・「1級」が59.0%で最も多く、次いで「2級」が18.1%、「3級」が10.8%などとなっています。



③愛の手帳の程度

- ・「4度」が47.3%で最も多く、次いで「2度」が27.1%、「3度」が22.2%などとなっています。

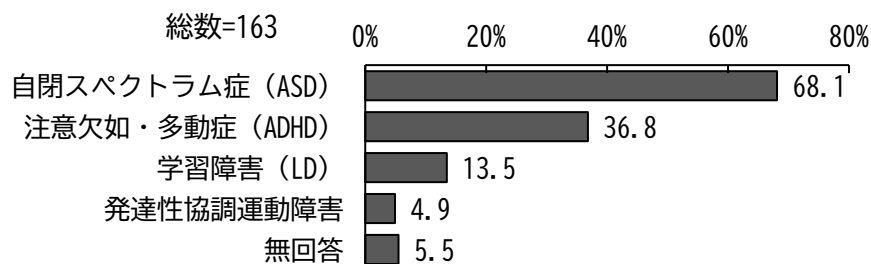


④精神障害者保健福祉手帳の等級

・所持者は全体で19人で、「3級」が13人、「2級」が5人、無回答が1人となっています。

⑤発達障害の診断名

・「自閉スペクトラム症 (ASD)」が68.1%で最も多く、次いで「注意欠如・多動症 (ADHD)」が36.8%、「学習障害 (LD)」が13.5%、「発達性協調運動障害」が4.9%、「無回答」が5.5%となっています。



⑥難病の診断を受けてからの期間

・該当者は20人で、「2～5年未満」が8人、「5年以上」が5人、「1年未満」「1～2年未満」が2人、「無回答」が3人となっています。

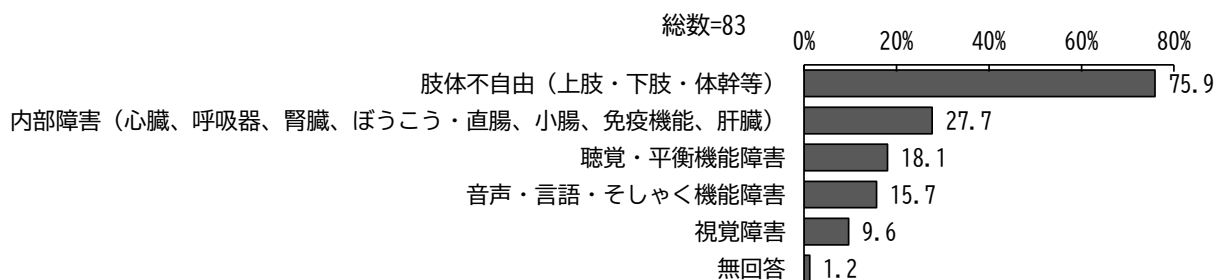
(2) 身体障害の種類

◆「肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)」が75.9%

【全体】

・「肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)」が75.9%で最も多く、次いで「内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)」が27.7%、「聴覚・平衡機能障害」が18.1%などとなっています。

問6 【問5で「身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。】どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)



(3) 発達の特徴として心配なこと

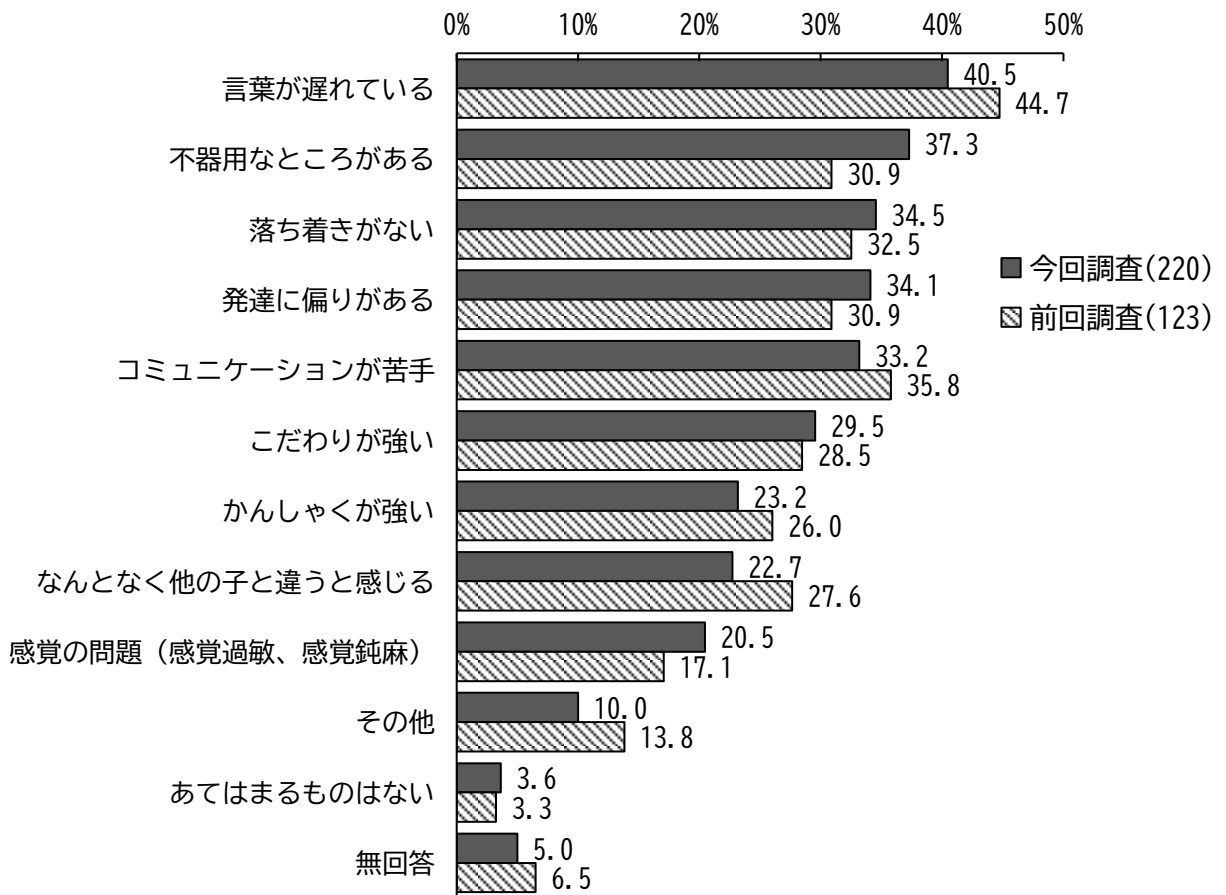
◆「言葉が遅れている」が40.5%、次いで「不器用なところがある」が37.3%

【全体】

- ・「言葉が遅れている」が40.5%で最も多く、次いで「不器用なところがある」が37.3%、「落ち着きがない」が34.5%などとなっています。

問7 【問5で「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」と回答された方にお聞きします。】

お子さんの発達の特徴として心配なことはありますか。(〇はいくつでも)



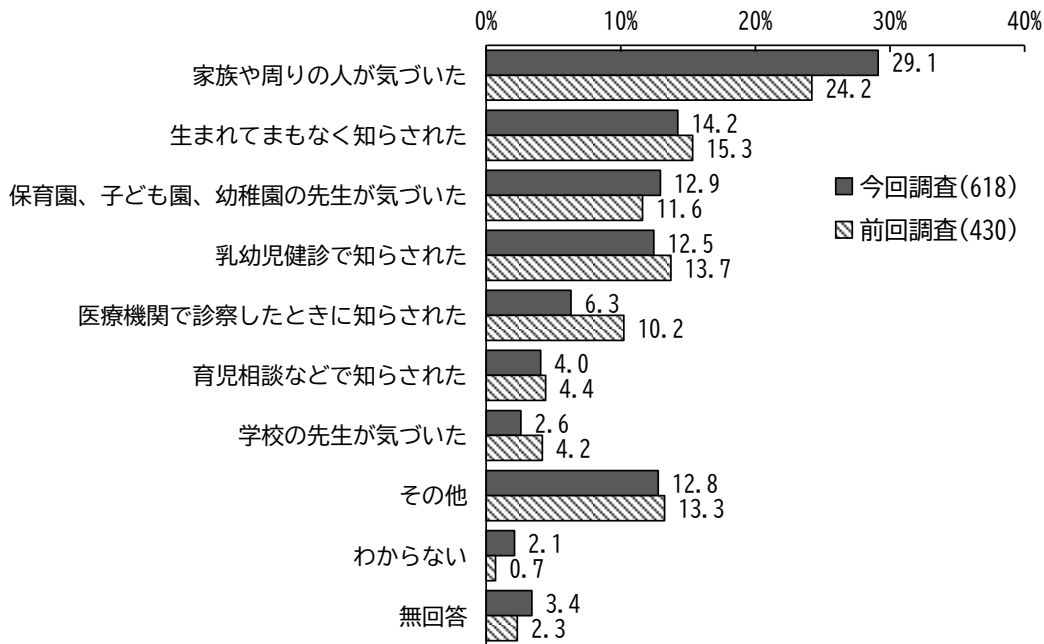
(4) 障害等に気づいたきっかけ

◆「家族や周りの人が気づいた」が29.1%

【全体】

- ・「家族や周りの人が気づいた」が29.1%で最も多く、次いで「生まれてまもなく知らされた」が14.2%、「保育園、子ども園、幼稚園の先生が気づいた」が12.9%などとなっています。

問8 お子さんの障害や心身の不調・特性について、はじめてわかったのは、どのようなときでしたか。(○はひとつ)



【障害別】

- ・身体障害と医療的ケア児で「生まれてまもなく知らされた」が多くなっています。

単位：％、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
生まれてまもなく知らされた	55.4	26.6	0.0	1.8	15.0	57.4	3.6
家族や周りの人が気づいた	8.4	29.1	41.5	36.2	25.0	10.3	31.4
乳幼児健診で知らされた	1.2	12.3	4.9	17.8	5.0	1.5	15.0
育児相談などで知らされた	1.2	3.4	7.3	3.7	0.0	1.5	5.9
医療機関で診察したときに知らされた	9.6	6.9	12.2	6.1	25.0	7.4	1.8
保育園、子ども園、幼稚園の先生が気づいた	2.4	7.9	17.1	19.0	5.0	2.9	16.4
学校の先生が気づいた	0.0	3.4	2.4	3.7	0.0	0.0	2.3
その他	21.7	8.9	12.2	8.6	15.0	17.6	13.2
わからない	0.0	1.0	2.4	0.6	0.0	0.0	5.0
無回答	0.0	0.5	0.0	2.5	10.0	1.5	5.5

(5) 医療的ケアの必要性

◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が11.0%

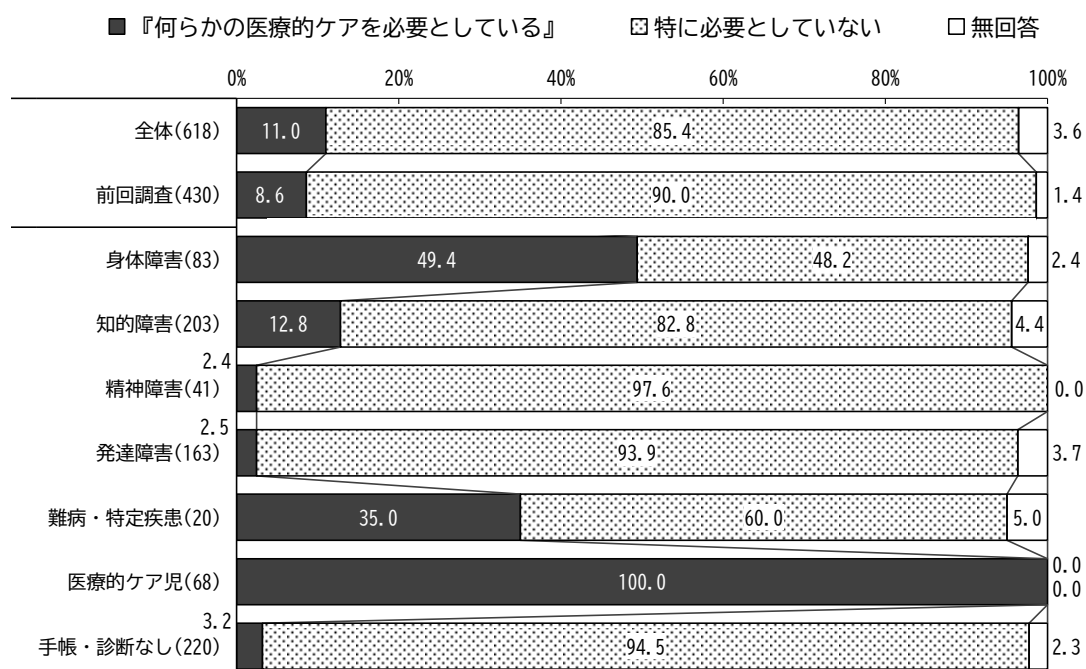
【全体】

- ・回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は11.0%となっています。

【障害別】

- ・身体障害、難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

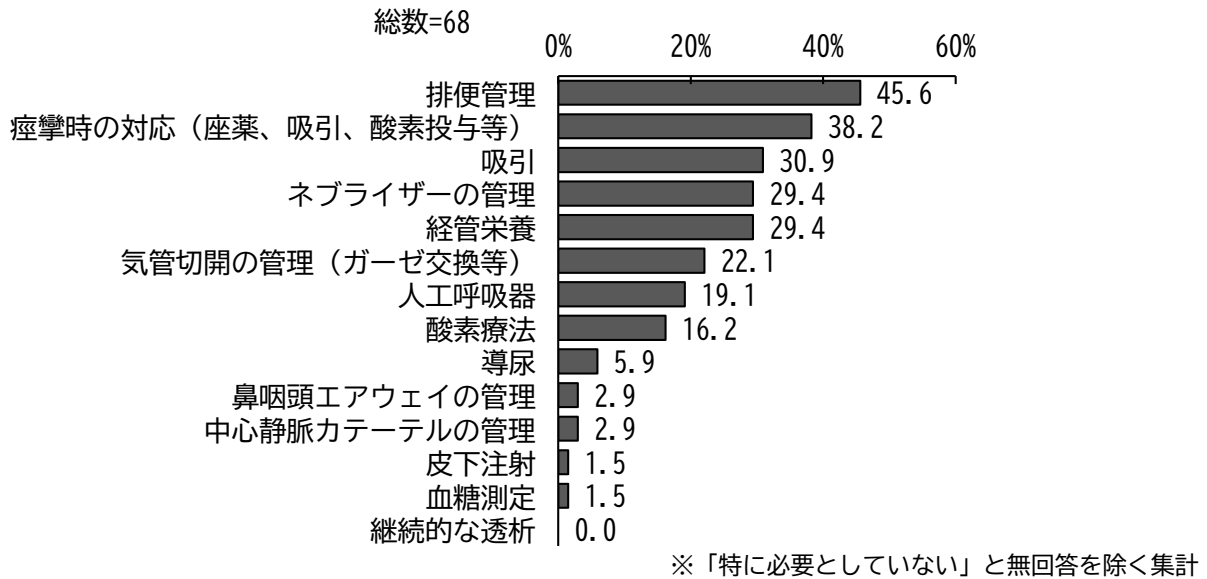
問9 お子さんは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。(○はいくつでも)



※前回は「はい」「いいえ」の択一形式の質問

【何らかの医療的ケアが必要と回答した方のみを集計】

・「排便管理」が45.6%と最も多く、次いで「痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）」が38.2%、「吸引」が30.9%などとなっています。



【障害別】

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病・疾患	医療的ケア児	診手断帳なし
総数	(41)	(26)	(1)	(4)	(7)	(68)	(7)
人工呼吸器	29.3	7.7	0.0	0.0	0.0	19.1	14.3
気管切開の管理（ガーゼ交換等）	34.1	15.4	0.0	0.0	14.3	22.1	14.3
鼻咽頭エアウェイの管理	4.9	3.8	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
酸素療法	19.5	11.5	0.0	0.0	14.3	16.2	14.3
吸引	43.9	23.1	0.0	0.0	14.3	30.9	28.6
ネブライザーの管理	29.3	19.2	0.0	25.0	28.6	29.4	57.1
経管栄養	43.9	23.1	0.0	0.0	28.6	29.4	0.0
中心静脈カテーテルの管理	4.9	3.8	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
皮下注射	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	1.5	0.0
血糖測定	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0
継続的な透析	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
導尿	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
排便管理	48.8	38.5	0.0	75.0	42.9	45.6	28.6
痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）	43.9	46.2	100.0	0.0	28.6	38.2	28.6

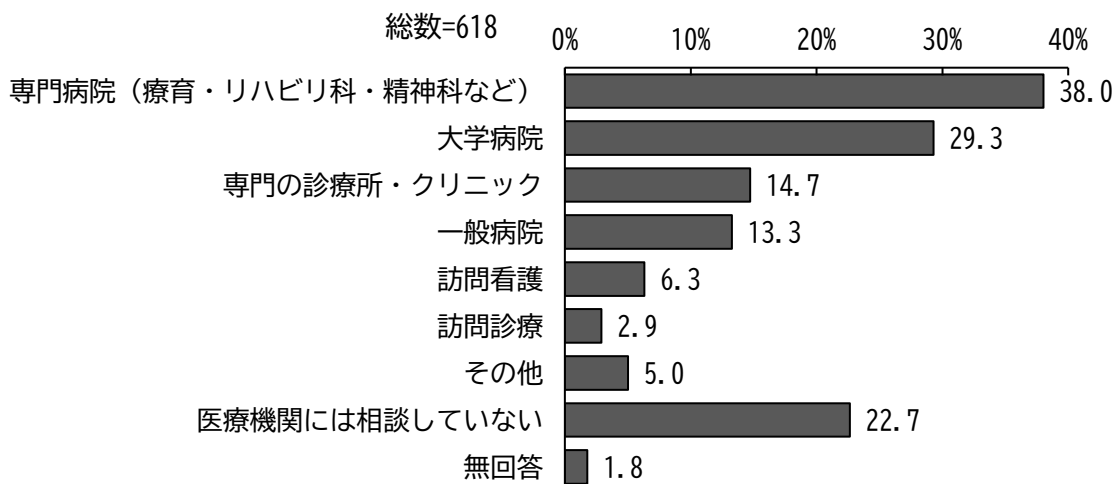
(6) 治療や相談をしている医療機関

◆「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」が 38.0%

【全体】

- ・「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」が 38.0%で最も多く、次いで「大学病院」が 29.3%、「専門の診療所・クリニック」が 14.7%などとなっています。「医療機関には相談していない」は 22.7%です。

問 10 お子さんの障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害、難病・特定疾患、医療的ケア児で「大学病院」、精神障害で「専門の診療所・クリニック」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾患・難病	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）	65.1	47.3	29.3	43.6	40.0	64.7	23.6
専門の診療所・クリニック	13.3	17.2	43.9	23.3	15.0	11.8	6.8
一般病院	21.7	14.8	12.2	9.2	20.0	23.5	10.0
大学病院	69.9	43.8	22.0	25.2	70.0	64.7	15.0
訪問診療	19.3	3.4	2.4	0.0	10.0	23.5	0.0
訪問看護	31.3	7.9	0.0	1.8	35.0	39.7	0.5
その他	1.2	3.4	0.0	4.9	5.0	5.9	7.3
医療機関には相談していない	1.2	8.4	9.8	9.8	5.0	2.9	45.0
無回答	0.0	1.0	2.4	1.2	0.0	0.0	3.6

【身体障害の種類別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	下肢・不自由・体幹等（上肢・	音声・言語・機能障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	呼吸器・内部障害（心臓、ぼうこう、腸、小腸、肝臓、膵臓、直腸、尿管、腎臓、膀胱、免
総数	(63)	(13)	(8)	(15)	(23)
専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）	76.2	92.3	50.0	46.7	56.5
専門の診療所・クリニック	9.5	7.7	12.5	26.7	17.4
一般病院	19.0	38.5	12.5	13.3	26.1
大学病院	69.8	69.2	87.5	80.0	73.9
訪問診療	22.2	30.8	25.0	33.3	30.4
訪問看護	38.1	53.8	37.5	46.7	39.1
その他	1.6	7.7	0.0	0.0	0.0
医療機関には相談していない	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

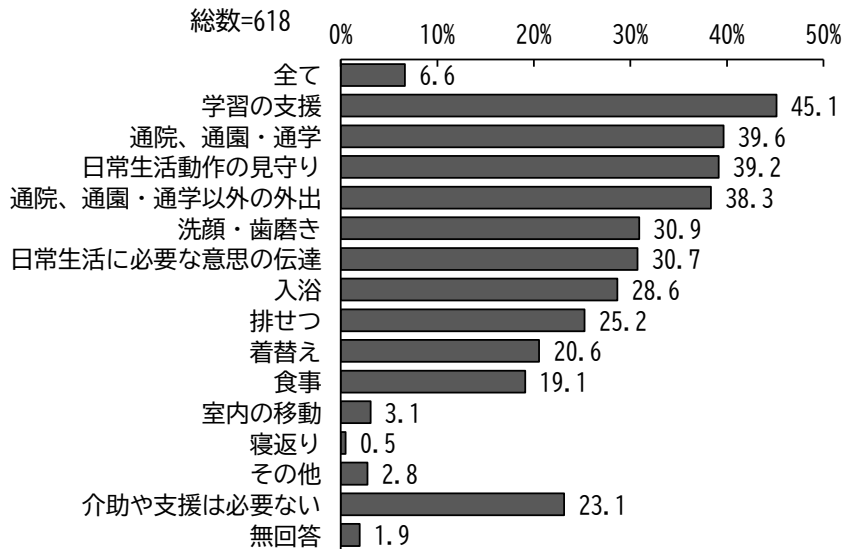
(7) 介助や支援が必要なこと

◆「学習の支援」が45.1%、次いで「通院、通園・通学」が39.6%

【全体】

・「学習の支援」が45.1%で最も多く、次いで「通院、通園・通学」が39.6%、「日常生活動作の見守り」が39.2%などとなっています。「全て」は6.6%、「介助や支援は必要ない」は23.1%となっています。

問11 お子さんは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。(○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は「全て」に○)



【障害別】

・身体障害で「通院、通園・通学以外の外出」、知的障害で「学習の支援」、精神障害で「日常生活動作の見守り」、医療的ケア児で「排せつ」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
全て	32.5	7.4	2.4	3.7	10.0	33.8	2.3
食事	30.1	31.0	12.2	19.6	40.0	33.8	11.4
排せつ	39.8	37.4	9.8	21.5	55.0	51.5	17.7
入浴	37.3	43.3	12.2	27.0	55.0	44.1	20.9
寝返り	2.4	0.5	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0
着替え	36.1	33.5	7.3	18.4	35.0	39.7	13.2
室内の移動	16.9	5.4	0.0	1.8	10.0	11.8	0.5
洗顔・歯磨き	36.1	45.3	17.1	32.5	45.0	44.1	24.1
通院、通園・通学	42.2	59.6	26.8	39.3	55.0	50.0	29.5
通院、通園・通学以外の外出	45.8	58.1	26.8	40.5	55.0	45.6	26.4
日常生活に必要な意思の伝達	25.3	51.7	19.5	39.9	40.0	32.4	20.0
日常生活動作の見守り	37.3	55.7	46.3	52.1	45.0	45.6	25.0
学習の支援	39.8	70.0	41.5	58.3	65.0	39.7	27.3
その他	2.4	2.0	12.2	4.9	15.0	1.5	1.8
介助や支援は必要ない	10.8	7.4	26.8	13.5	10.0	5.9	37.7
無回答	0.0	1.5	2.4	1.8	0.0	0.0	3.6

(8) 主な介助者

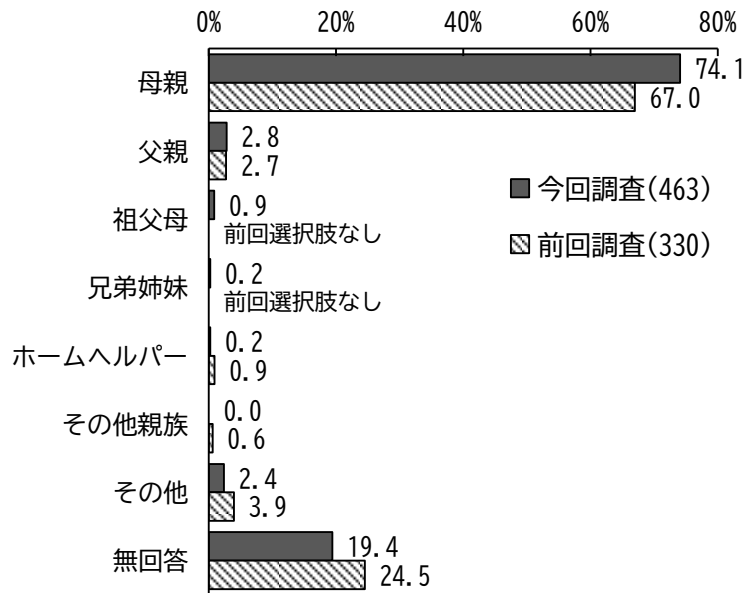
◆「母親」が74.1%

【全体】

・「母親」が74.1%で最も多く、次いで「父親」が2.8%、「祖父母」が0.9%などとなっています。

問12 【毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。】

お子さんを主に介助・支援している人はどなたですか。(○はひとつ)



※「祖父母」「兄弟姉妹」は前回選択肢なし

※前回の選択肢「ボランティア」は今回なし

【障害別】

・全ての属性で「母親」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難 定病 疾・ 患	医療的 ケア 児	診手 断帳 なし
総数	(74)	(185)	(29)	(138)	(18)	(64)	(129)
父親	2.7	4.3	6.9	0.7	0.0	1.6	1.6
母親	71.6	73.0	69.0	71.0	61.1	71.9	76.0
兄弟姉妹	0.0	0.5	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	2.7	1.6	0.0	0.7	5.6	1.6	0.0
その他親族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	3.4	0.7	0.0	0.0	0.0
その他	5.4	3.2	0.0	3.6	0.0	6.3	1.6
無回答	17.6	17.3	17.2	23.2	33.3	18.8	20.9

(9) 介助や支援についての悩み

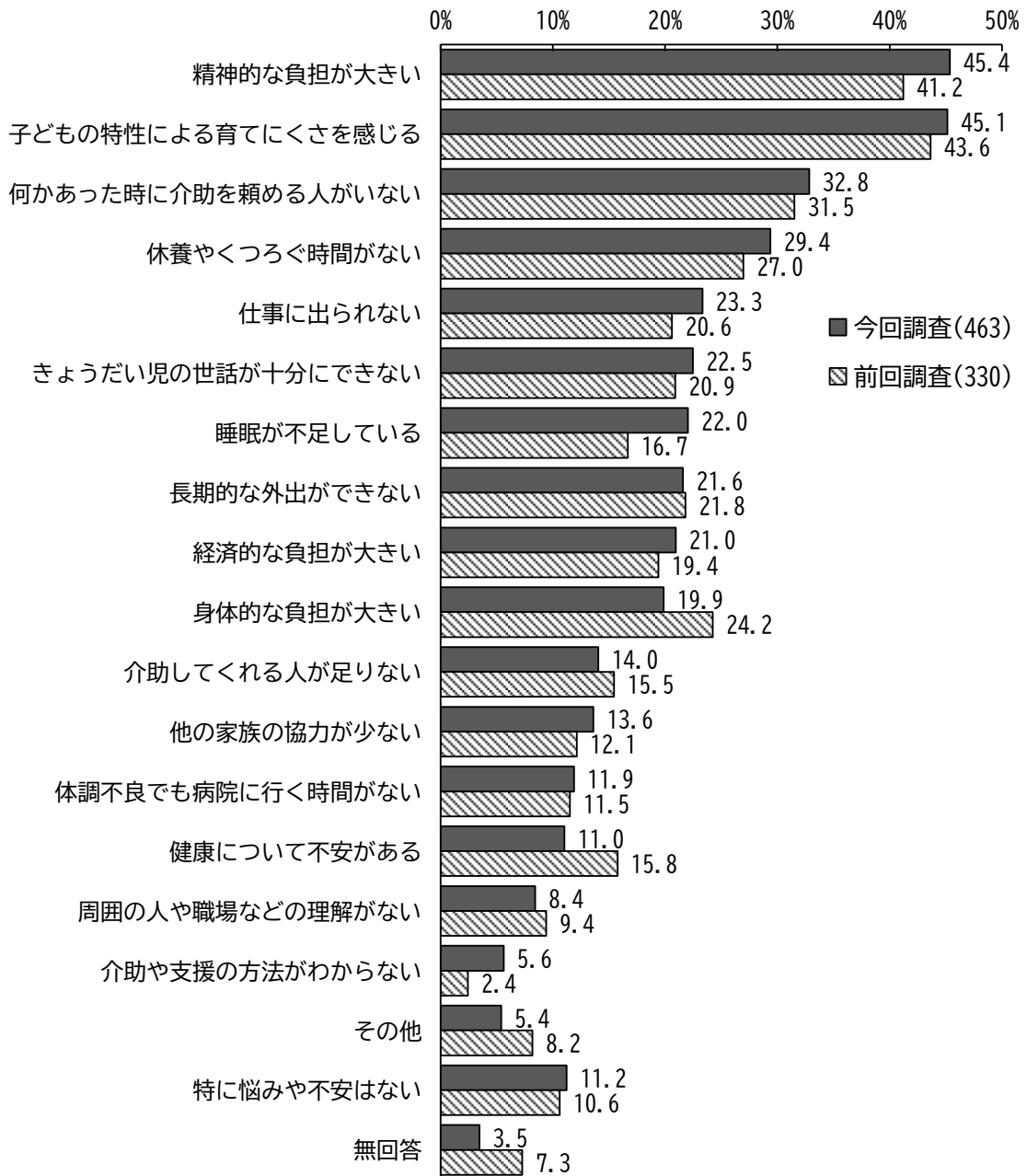
◆「精神的な負担が大きい」が45.4%

【全体】

- ・「精神的な負担が大きい」が45.4%で最も多く、次いで「子どもの特性による育てにくさを感じる」が45.1%、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が32.8%などとなっています。

問13 【毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。】

お子さんを介助・支援する立場から、どのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・身体障害と医療的ケア児では「何かあった時に介助を頼める人がいない」、発達障害と手帳・診断なしでは「子どもの特性による育てにくさを感じる」が多くなっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(74)	(185)	(29)	(138)	(18)	(64)	(129)
介助してくれる人が足りない	27.0	21.1	6.9	16.7	22.2	23.4	4.7
何かあった時に介助を頼める人がいない	59.5	43.2	20.7	29.7	33.3	54.7	20.2
他の家族の協力が少ない	20.3	15.1	6.9	10.9	11.1	23.4	11.6
仕事に出られない	48.6	27.0	24.1	22.5	33.3	45.3	10.1
長期的な外出ができない	43.2	29.7	27.6	23.9	38.9	40.6	7.8
介助や支援の方法がわからない	4.1	7.6	0.0	6.5	11.1	3.1	4.7
休養やくつろぐ時間がない	33.8	35.7	37.9	29.7	38.9	34.4	23.3
身体的な負担が大きい	51.4	26.5	17.2	15.9	16.7	43.8	7.8
健康について不安がある	25.7	16.8	10.3	10.1	22.2	21.9	3.1
体調不良でも病院に行く時間がない	24.3	13.0	6.9	10.1	22.2	23.4	8.5
睡眠が不足している	36.5	29.7	27.6	23.9	22.2	35.9	10.1
精神的な負担が大きい	45.9	53.0	62.1	53.6	50.0	45.3	34.1
経済的な負担が大きい	31.1	25.4	20.7	23.2	38.9	28.1	12.4
周囲の人や職場などの理解がない	9.5	7.6	6.9	11.6	11.1	7.8	5.4
子どもの特性による育てにくさを感じる	27.0	46.5	58.6	62.3	27.8	21.9	39.5
きょうだい児の世話が十分にできない	35.1	29.7	17.2	26.1	27.8	34.4	11.6
その他	4.1	5.9	0.0	8.0	5.6	7.8	3.9
特に悩みや不安はない	2.7	8.1	13.8	5.8	16.7	6.3	20.2
無回答	1.4	2.7	3.4	2.9	5.6	1.6	5.4

【通園先（小学校入学前）別】

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	保育園	子ども園	幼稚園	いこ（セ）あ（ナ）い（支）あ	い（セ）ン（タ）も（支）総（合）	の（達）外（セ）の（支）ン（タ）も（支）総（合）	その他	いは通し園て・い通な所
総数	(63)	(24)	(48)	(47)	(52)	(3)	(5)	
介助してくれる人が足りない	14.3	16.7	4.2	14.9	11.5	0.0	0.0	
何かあった時に介助を頼める人がいない	33.3	37.5	22.9	31.9	40.4	66.7	0.0	
他の家族の協力が少ない	14.3	20.8	8.3	12.8	15.4	0.0	0.0	
仕事に出られない	12.7	16.7	12.5	34.0	26.9	0.0	0.0	
長期的な外出ができない	14.3	12.5	14.6	29.8	26.9	66.7	0.0	
介助や支援の方法がわからない	11.1	8.3	0.0	8.5	7.7	0.0	0.0	
休養やくつろぐ時間がない	38.1	50.0	14.6	48.9	36.5	33.3	20.0	
身体的な負担が大きい	23.8	20.8	6.3	23.4	23.1	0.0	40.0	
健康について不安がある	6.3	12.5	4.2	10.6	13.5	33.3	0.0	
体調不良でも病院に行く時間がない	9.5	20.8	10.4	17.0	19.2	0.0	20.0	
睡眠が不足している	27.0	25.0	12.5	25.5	26.9	33.3	40.0	
精神的な負担が大きい	39.7	58.3	35.4	46.8	46.2	66.7	0.0	
経済的な負担が大きい	20.6	33.3	4.2	27.7	21.2	33.3	20.0	
周囲の人や職場などの理解がない	12.7	12.5	2.1	8.5	13.5	0.0	0.0	
子どもの特性による育てにくさを感じる	50.8	37.5	50.0	48.9	50.0	33.3	0.0	
きょうだい児の世話が十分にできない	14.3	37.5	10.4	25.5	15.4	0.0	0.0	
その他	3.2	8.3	4.2	4.3	1.9	0.0	0.0	
特に悩みや不安はない	14.3	12.5	18.8	8.5	15.4	0.0	40.0	
無回答	3.2	4.2	6.3	4.3	5.8	0.0	20.0	

【通学先（小・中学校）別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	常小 学 校 の 通	室別 の常小 支 教 室 の 教 師 特 通	別小 支 学 校 の 特	校特 の別 小 支 学 援 部 学	常中 学 校 の 通	教 室 （ 特 別 支 教 の 支 援 室 ま	別中 支 学 校 の 特	校特 の別 中 支 学 援 部 学
総数	(44)	(33)	(57)	(43)	(8)	(3)	(19)	(27)
介助してくれる人が足りない	9.1	9.1	14.0	34.9	12.5	33.3	10.5	25.9
何かあった時に介助を頼める人がいない	15.9	12.1	35.1	58.1	37.5	33.3	26.3	44.4
他の家族の協力が少ない	13.6	6.1	12.3	18.6	12.5	0.0	15.8	25.9
仕事に出られない	27.3	18.2	36.8	27.9	12.5	0.0	5.3	29.6
長期的な外出ができない	9.1	12.1	19.3	37.2	12.5	33.3	10.5	37.0
介助や支援の方法がわからない	6.8	9.1	8.8	0.0	12.5	0.0	5.3	7.4
休養やくつろぐ時間がない	18.2	9.1	35.1	30.2	12.5	0.0	21.1	37.0
身体的な負担が大きい	13.6	3.0	15.8	44.2	25.0	0.0	5.3	40.7
健康について不安がある	6.8	0.0	12.3	14.0	0.0	0.0	15.8	40.7
体調不良でも病院に行く時間がない	6.8	3.0	15.8	16.3	0.0	0.0	10.5	18.5
睡眠が不足している	9.1	18.2	21.1	34.9	25.0	0.0	0.0	37.0
精神的な負担が大きい	45.5	42.4	38.6	60.5	25.0	33.3	47.4	66.7
経済的な負担が大きい	20.5	12.1	22.8	23.3	62.5	0.0	26.3	18.5
周囲の人や職場などの理解がない	9.1	12.1	8.8	9.3	12.5	0.0	21.1	7.4
子どもの特性による育てにくさを感じる	61.4	57.6	50.9	41.9	37.5	0.0	47.4	40.7
きょうだい児の世話が十分にできない	18.2	15.2	31.6	41.9	25.0	0.0	26.3	25.9
その他	6.8	3.0	8.8	4.7	0.0	33.3	5.3	7.4
特に悩みや不安はない	4.5	3.0	12.3	2.3	12.5	33.3	10.5	11.1
無回答	2.3	6.1	1.8	2.3	0.0	0.0	10.5	0.0

(10) きょうだい児に関する悩み

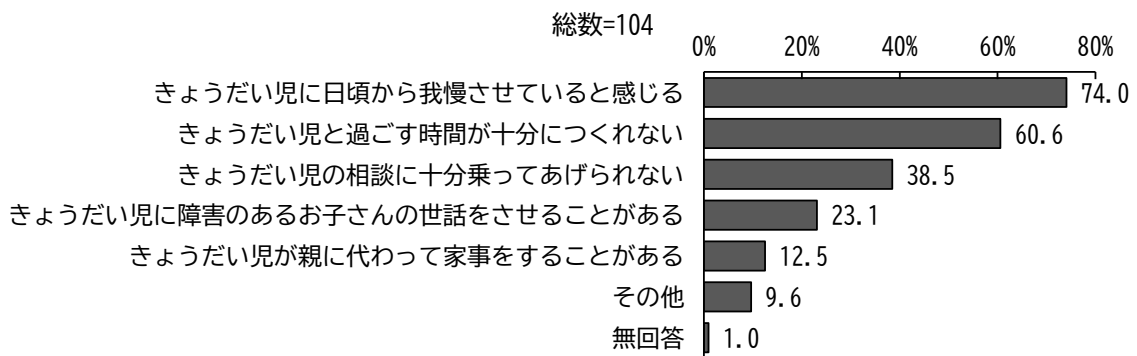
◆「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%

【全体】

- ・「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0%で最も多く、次いで「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が60.6%、「きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない」が38.5%などとなっています。

問14 【問13で「きょうだい児の世話が十分にできない」と回答した方にお聞きます。】

具体的にどのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・医療的ケア児で「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病・患	医療的ケア児	診手断帳なし
総数	(26)	(55)	(5)	(36)	(5)	(22)	(15)
きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない	57.7	63.6	60.0	52.8	100.0	63.6	60.0
きょうだい児に障害のあるお子さんの世話をさせることがある	15.4	34.5	20.0	22.2	60.0	22.7	6.7
きょうだい児が親に代わって家事をすることがある	7.7	16.4	20.0	11.1	40.0	13.6	6.7
きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる	61.5	78.2	100.0	75.0	100.0	59.1	73.3
きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない	23.1	45.5	60.0	41.7	80.0	31.8	33.3
その他	23.1	7.3	20.0	8.3	20.0	22.7	0.0
無回答	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 相談や福祉の情報について

(1) 日常生活で困っていること（お子さんが困っていること）

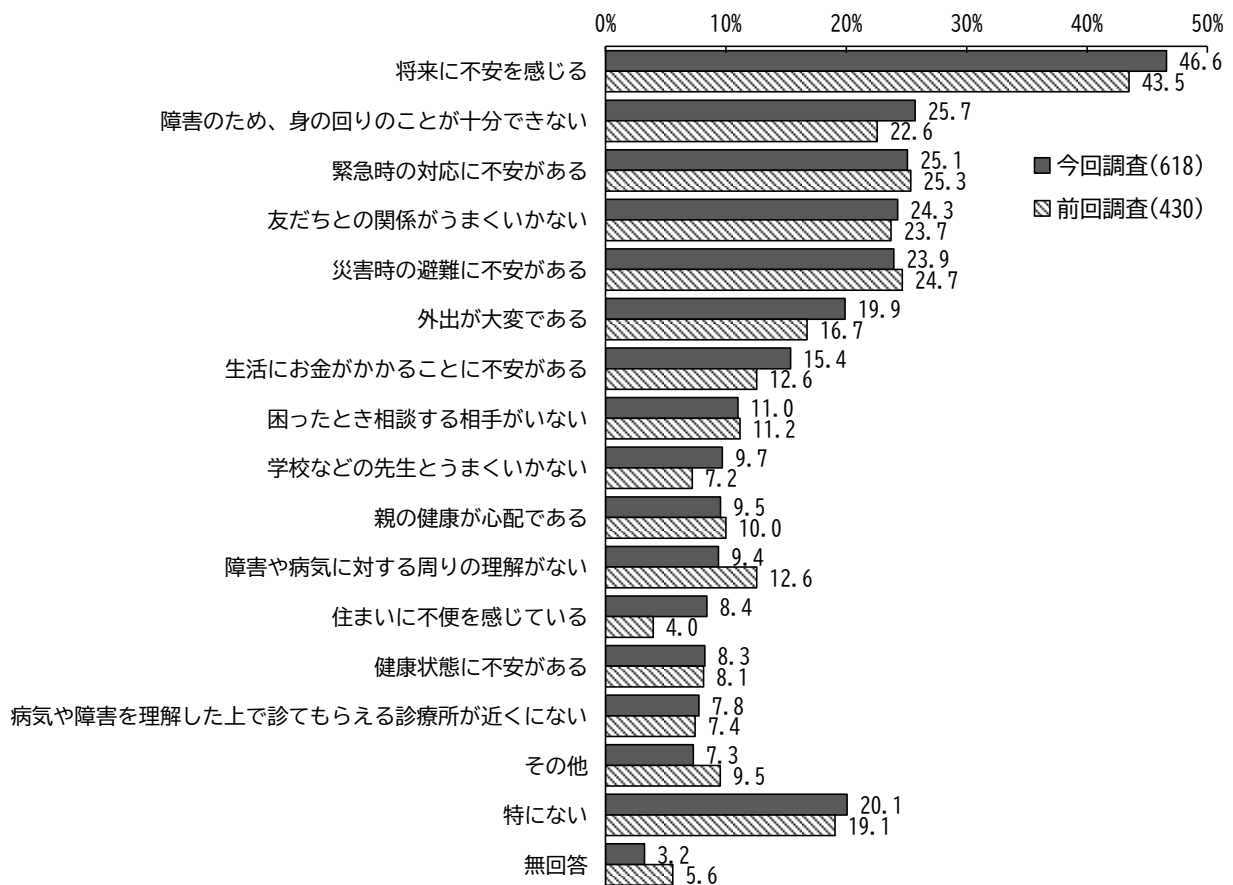
◆「将来に不安を感じる」が46.6%

【全体】

- ・「将来に不安を感じる」が46.6%で最も多く、次いで「障害のため、身の回りのことが十分できない」が25.7%、「緊急時の対応に不安がある」が25.1%などとなっています。「特にない」は20.1%です。

問 15 お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。（○はいくつでも）

（お子さんの思いをご回答ください）



【障害別】

- ・身体障害と医療的ケア児では「障害のため、身の回りのことが十分できない」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
健康状態に不安がある	20.5	12.3	14.6	6.7	30.0	26.5	2.7
障害のため、身の回りのことが十分できない	59.0	49.8	22.0	27.0	35.0	60.3	5.0
親の健康が心配である	21.7	21.7	7.3	12.3	20.0	16.2	1.4
外出が大変である	45.8	35.0	31.7	20.9	30.0	38.2	5.9
住まいに不便を感じている	24.1	15.3	2.4	7.4	15.0	22.1	2.3
災害時の避難に不安がある	48.2	45.8	17.1	27.6	30.0	51.5	8.2
緊急時の対応に不安がある	44.6	48.8	22.0	28.8	30.0	41.2	8.2
学校などの先生とうまくいかない	8.4	6.9	12.2	13.5	15.0	10.3	10.9
友だちとの関係がうまくいかない	10.8	17.2	31.7	38.0	40.0	17.6	22.7
障害や病気に対する周りの理解がない	10.8	14.3	9.8	12.3	20.0	11.8	4.1
困ったとき相談する相手がいない	19.3	15.8	14.6	12.9	25.0	13.2	4.5
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	7.2	14.8	7.3	9.2	15.0	7.4	2.7
生活にお金がかかることに不安がある	26.5	22.7	17.1	16.6	35.0	26.5	6.4
将来に不安を感じる	57.8	65.5	63.4	53.4	75.0	57.4	29.5
その他	9.6	4.9	7.3	4.9	10.0	10.3	9.5
特になし	4.8	5.9	19.5	10.4	10.0	5.9	37.3
無回答	4.8	1.5	2.4	3.7	0.0	4.4	3.6

【年齢別】

- ・年齢が高くなるほど「将来に不安を感じる」が増加しています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(219)	(231)	(166)
健康状態に不安がある	5.0	8.2	12.7
障害のため、身の回りのことが十分できない	21.9	27.3	28.9
親の健康が心配である	4.1	10.4	15.7
外出が大変である	18.7	18.6	23.5
住まいに不便を感じている	7.3	9.1	9.0
災害時の避難に不安がある	18.3	24.7	30.1
緊急時の対応に不安がある	17.8	24.2	35.5
学校などの先生とうまくいかない	7.3	12.1	9.0
友だちとの関係がうまくいかない	18.7	28.6	25.3
障害や病気に対する周りの理解がない	6.4	9.1	13.3
困ったとき相談する相手がいない	5.5	10.0	19.3
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	4.1	8.2	12.0
生活にお金がかかることに不安がある	11.9	13.9	22.3
将来に不安を感じる	39.3	43.7	59.6
その他	8.2	8.7	4.2
特になし	29.2	18.6	10.2
無回答	3.7	3.5	2.4

【通学先（小・中学校）別】

- ・特別支援学校の小学部で「障害のため、身の回りのことが十分できない」が多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	常小 の学 校の 級通	室別 の常小 支教の学 援室まの 教へな特 び通	別小 支学 援校の 学級特	校特 の別 小支 学援 部学	常中 の学 校の 級通	教へな中 室特び学 別の校 支教の 援室ま	別中 支学 援校の 学級特	校特 の別 中支 学援 部学
総数	(76)	(50)	(60)	(43)	(15)	(5)	(24)	(28)
健康状態に不安がある	3.9	8.0	13.3	9.3	6.7	20.0	12.5	14.3
障害のため、身の回りのことが十分できない	7.9	10.0	40.0	69.8	26.7	0.0	25.0	46.4
親の健康が心配である	3.9	4.0	16.7	20.9	13.3	0.0	16.7	35.7
外出が大変である	11.8	6.0	23.3	46.5	13.3	0.0	16.7	35.7
住まいに不便を感じている	3.9	4.0	8.3	25.6	13.3	0.0	4.2	17.9
災害時の避難に不安がある	10.5	14.0	33.3	65.1	6.7	0.0	33.3	46.4
緊急時の対応に不安がある	10.5	14.0	40.0	58.1	13.3	0.0	45.8	46.4
学校などの先生とうまくいかない	14.5	18.0	11.7	7.0	20.0	0.0	8.3	0.0
友だちとの関係がうまくいかない	31.6	42.0	28.3	11.6	46.7	60.0	20.8	3.6
障害や病気に対する周りの理解がない	6.6	14.0	8.3	14.0	20.0	20.0	20.8	10.7
困ったとき相談する相手がいない	11.8	10.0	10.0	14.0	33.3	20.0	16.7	17.9
病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない	2.6	4.0	8.3	23.3	0.0	20.0	8.3	28.6
生活にお金がかかることに不安がある	9.2	8.0	21.7	16.3	26.7	0.0	20.8	28.6
将来に不安を感じる	35.5	46.0	53.3	62.8	33.3	40.0	62.5	57.1
その他	5.3	4.0	10.0	9.3	6.7	20.0	0.0	7.1
特にない	30.3	16.0	6.7	2.3	20.0	0.0	12.5	7.1
無回答	2.6	0.0	3.3	4.7	6.7	0.0	0.0	0.0

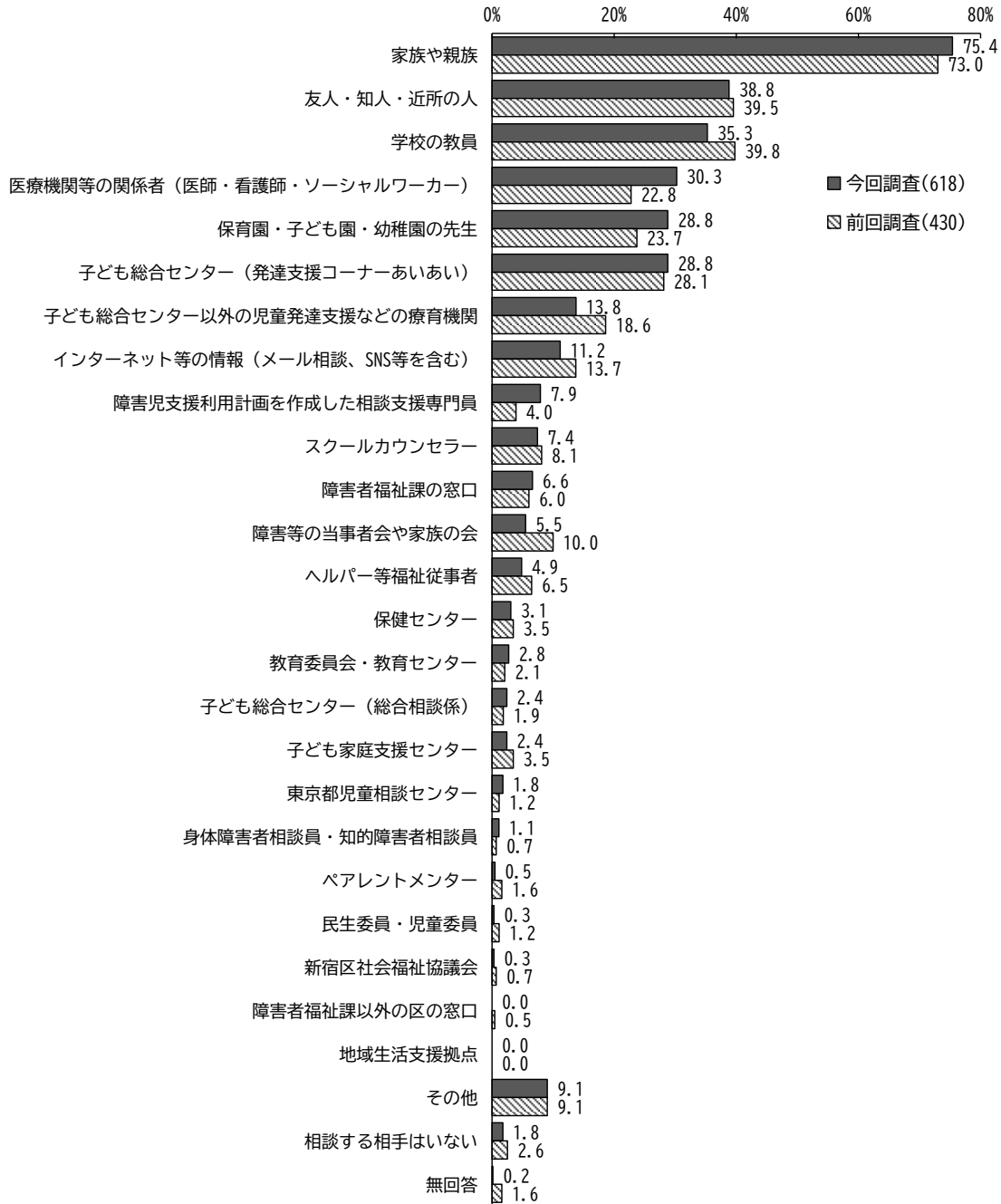
(2) 困った時に相談する相手

◆「家族や親族」が75.4%、次いで「友人・知人・近所の人」が38.8%

【全体】

・「家族や親族」が75.4%で最も多く、次いで「友人・知人・近所の人」が38.8%、「学校の教員」が35.3%などとなっています。

問16 お子さんやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

・「家族や親族」以外では、身体障害、難病・特定疾患、医療的ケア児では「医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
家族や親族	78.3	75.9	70.7	70.6	75.0	80.9	76.4
友人・知人・近所の人	43.4	39.9	36.6	34.4	35.0	38.2	41.8
学校の教員	43.4	54.2	39.0	50.3	30.0	30.9	18.6
保育園・子ども園・幼稚園の先生	12.0	12.3	12.2	19.0	25.0	19.1	48.6
民生委員・児童委員	0.0	0.0	2.4	0.6	0.0	0.0	0.5
障害等の当事者会や家族の会	16.9	10.3	4.9	3.1	5.0	14.7	0.5
身体障害者相談員・知的障害者相談員	6.0	1.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
障害児支援利用計画を作成した相談支援専門員	13.3	7.9	4.9	9.8	30.0	17.6	7.7
ヘルパー等福祉従事者	15.7	10.3	4.9	4.3	5.0	13.2	0.9
ペアレントメンター	0.0	0.0	2.4	0.6	0.0	0.0	0.9
スクールカウンセラー	0.0	3.9	9.8	14.7	0.0	0.0	5.5
医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）	59.0	36.5	36.6	39.3	40.0	54.4	13.2
障害者福祉課の窓口	24.1	12.8	4.9	4.9	10.0	23.5	0.0
障害者福祉課以外の区の窓口	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保健センター	6.0	2.0	7.3	3.7	10.0	7.4	1.4
子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）	15.7	16.7	7.3	25.8	20.0	25.0	45.0
子ども総合センター（総合相談係）	3.6	2.0	2.4	3.1	10.0	1.5	2.3
子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関	2.4	8.4	0.0	20.9	15.0	7.4	17.3
子ども家庭支援センター	2.4	1.5	9.8	4.3	0.0	2.9	1.8
教育委員会・教育センター	1.2	2.0	7.3	3.7	15.0	2.9	2.3
地域生活支援拠点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新宿区社会福祉協議会	0.0	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.5
東京都児童相談センター	2.4	1.5	4.9	3.7	0.0	4.4	0.9
インターネット等の情報（メール相談、SNS等を含む）	20.5	12.8	17.1	12.3	20.0	16.2	7.3
その他	4.8	5.9	9.8	8.6	10.0	7.4	10.0
相談する相手はいない	1.2	2.5	2.4	2.5	5.0	1.5	0.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

【年齢別】

- ・「家族や親族」以外では、0～5歳では「保育園・子ども園・幼稚園の先生」「子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）」、6歳～11歳、12～17歳では「学校の教員」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(219)	(231)	(166)
家族や親族	79.9	77.9	66.3
友人・知人・近所の人	36.1	41.1	38.6
学校の教員	2.7	51.9	55.4
保育園・子ども園・幼稚園の先生	63.0	15.6	2.4
民生委員・児童委員	0.5	0.4	0.0
障害等の当事者会や家族の会	4.1	5.6	7.2
身体障害者相談員・知的障害者相談員	1.4	0.9	1.2
障害児支援利用計画を作成した相談支援専門員	11.0	7.4	4.8
ヘルパー等福祉従事者	1.4	6.1	7.8
ペアレントメンター	0.0	0.9	0.6
スクールカウンセラー	0.5	13.4	7.8
医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）	29.7	25.5	37.3
障害者福祉課の窓口	2.3	6.5	12.7
障害者福祉課以外の区の窓口	0.0	0.0	0.0
保健センター	4.1	1.7	3.6
子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）	58.9	20.8	0.6
子ども総合センター（総合相談係）	3.2	3.0	0.6
子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関	16.4	19.5	2.4
子ども家庭支援センター	0.9	4.3	1.8
教育委員会・教育センター	0.5	3.0	5.4
地域生活支援拠点	0.0	0.0	0.0
新宿区社会福祉協議会	0.0	0.4	0.6
東京都児童相談センター	1.4	2.2	1.8
インターネット等の情報（メール相談、SNS等を含む）	11.0	9.5	13.9
その他	5.9	10.4	11.4
相談する相手はいない	1.4	2.2	1.8
無回答	0.0	0.4	0.0

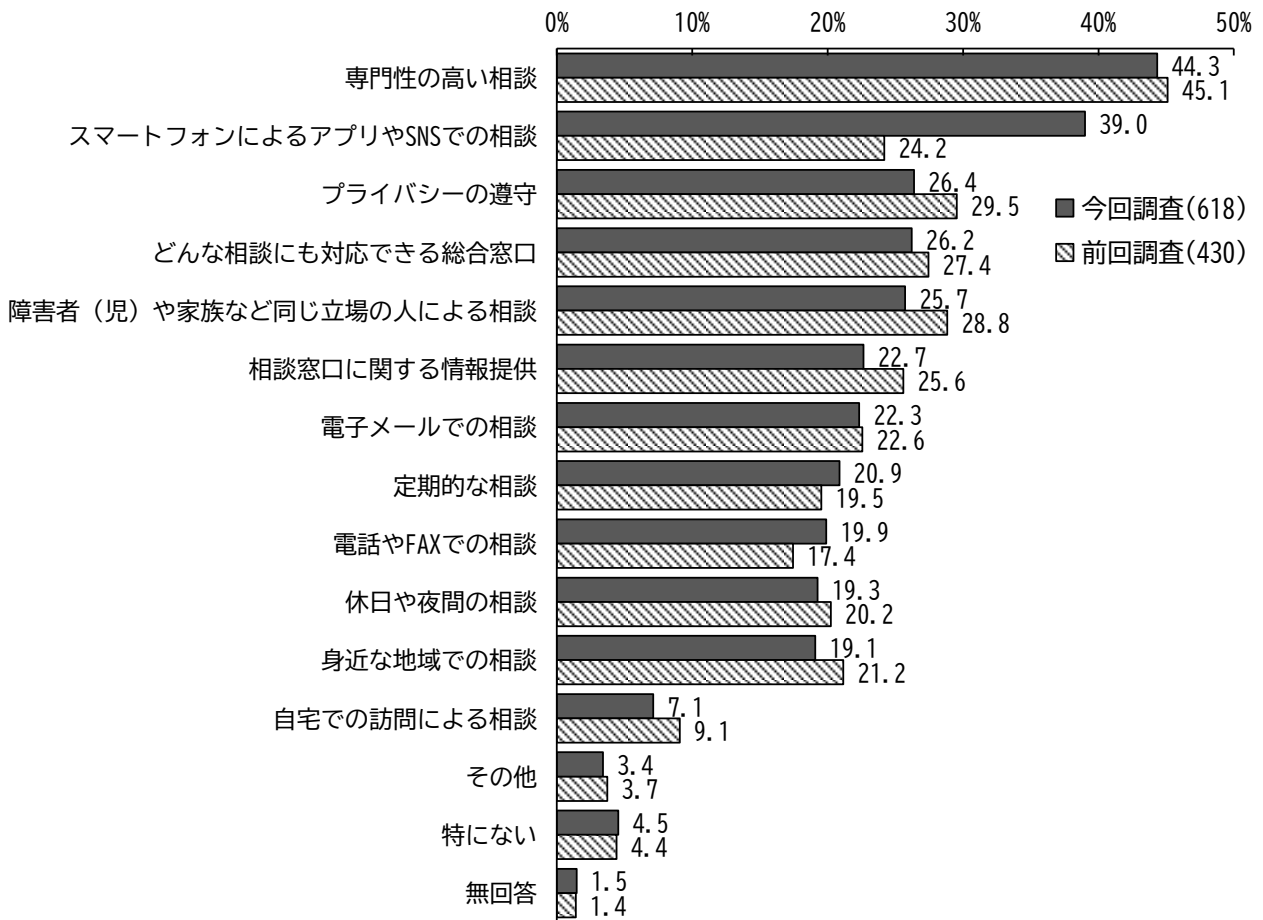
(3) 気軽に相談するために必要なこと

◆「専門性の高い相談」が44.3%

【全体】

- ・「専門性の高い相談」が44.3%で最も多く、次いで「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が39.0%、「プライバシーの遵守」が26.4%などとなっています。

問17 区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・「専門性の高い相談」を除くと、精神障害と、手帳・診断なしで「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
電話やFAXでの相談	27.7	20.2	17.1	23.3	10.0	26.5	18.6
電子メールでの相談	33.7	23.6	14.6	20.2	20.0	35.3	20.0
スマートフォンによるアプリやSNSでの相談	41.0	39.9	41.5	35.0	35.0	41.2	39.1
自宅での訪問による相談	12.0	8.4	7.3	6.1	5.0	8.8	5.5
休日や夜間の相談	18.1	15.8	19.5	22.7	15.0	17.6	21.4
専門性の高い相談	53.0	53.7	41.5	52.1	55.0	55.9	35.5
身近な地域での相談	10.8	24.1	9.8	17.8	10.0	8.8	21.8
定期的な相談	24.1	24.6	29.3	20.9	20.0	17.6	20.9
障害者(児)や家族など同じ立場の人による相談	36.1	32.5	24.4	30.1	30.0	35.3	16.4
どんな相談にも対応できる総合窓口	30.1	37.4	29.3	23.9	10.0	30.9	21.8
相談窓口に関する情報提供	21.7	29.6	17.1	25.8	20.0	17.6	18.6
プライバシーの遵守	26.5	26.1	14.6	23.9	30.0	25.0	29.1
その他	1.2	3.4	2.4	2.5	10.0	2.9	3.2
特になし	2.4	2.0	0.0	2.5	5.0	0.0	7.3
無回答	1.2	1.5	0.0	1.2	0.0	1.5	1.8

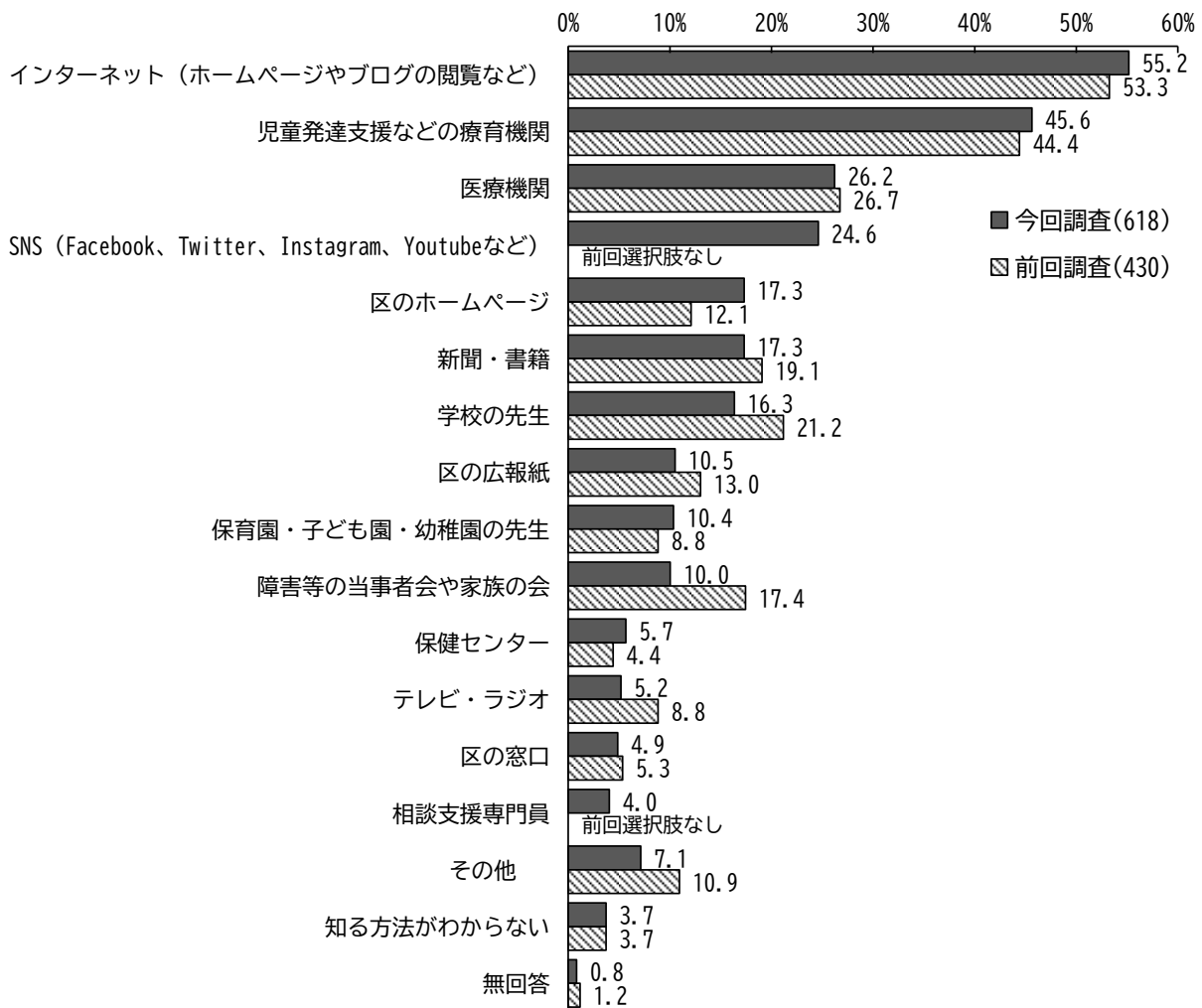
(4) 福祉情報の入手先

◆「インターネット（ホームページやブログの閲覧など）」が 55.2%

【全体】

・「インターネット（ホームページやブログの閲覧など）」が 55.2%で最も多く、次いで「児童発達支援などの療育機関」が 45.6%、「医療機関」が 26.2%などとなっています。

問 18 障害などに関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)



※「インターネット（ホームページやブログの閲覧など）」は、前回「インターネット」

※「SNS（Facebook、Twitter、Instagram、Youtube など）」は前回選択肢なし

※「相談支援専門員」は前回選択肢なし

【障害別】

・手帳・診断なしで「児童発達支援などの療育機関」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
区の広報紙	13.3	14.8	2.4	6.1	10.0	13.2	9.1
区のホームページ	15.7	19.7	17.1	19.6	30.0	25.0	15.9
区の窓口	19.3	8.9	7.3	3.1	20.0	16.2	1.4
保健センター	9.6	4.4	4.9	6.1	25.0	14.7	5.0
テレビ・ラジオ	7.2	7.4	9.8	5.5	5.0	5.9	4.1
インターネット（ホームページやブログの閲覧など）	50.6	54.7	51.2	58.3	55.0	60.3	52.3
SNS（Facebook、Twitter、Instagram、Youtubeなど）	34.9	22.2	29.3	24.5	15.0	33.8	24.1
新聞・書籍	7.2	17.2	24.4	22.7	5.0	16.2	14.5
障害等の当事者会や家族の会	28.9	18.7	4.9	3.7	10.0	29.4	2.3
医療機関	47.0	31.5	41.5	26.4	60.0	42.6	14.1
学校の先生	22.9	33.5	17.1	23.3	20.0	13.2	4.1
保育園・子ども園・幼稚園の先生	1.2	3.0	2.4	6.1	10.0	4.4	19.5
児童発達支援などの療育機関	22.9	29.1	14.6	46.6	30.0	32.4	64.5
相談支援専門員	8.4	3.0	4.9	4.9	5.0	10.3	3.2
その他	7.2	11.3	9.8	12.3	0.0	10.3	4.5
知る方法がわからない	2.4	4.4	7.3	1.8	0.0	0.0	3.2
無回答	0.0	1.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.9

【年齢別】

・0～5歳では「児童発達支援などの療育機関」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(219)	(231)	(166)
区の広報紙	7.8	10.0	14.5
区のホームページ	16.4	18.2	16.9
区の窓口	3.2	4.8	7.2
保健センター	8.7	4.3	3.6
テレビ・ラジオ	4.6	4.8	6.6
インターネット（ホームページやブログの閲覧など）	53.4	55.8	56.6
SNS（Facebook、Twitter、Instagram、Youtubeなど）	29.7	24.7	18.1
新聞・書籍	11.9	21.2	19.3
障害等の当事者会や家族の会	6.8	9.5	15.1
医療機関	22.8	23.8	33.7
学校の先生	1.4	20.3	30.7
保育園・子ども園・幼稚園の先生	21.9	6.5	0.6
児童発達支援などの療育機関	63.0	52.4	13.9
相談支援専門員	4.6	4.8	2.4
その他	4.6	6.5	11.4
知る方法がわからない	2.3	4.3	4.8
無回答	0.9	0.4	1.2

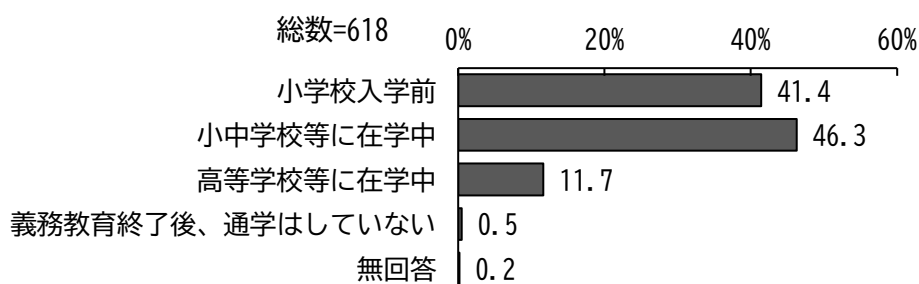
4 教育・保育について

(1) 通園・通学先

【全体】

- ・「小中学校等に在学中」が46.3%で最も多く、次いで「小学校入学前」が41.4%、「高等学校等に在学中」が11.7%などとなっています。

問19 お子さんが通園・通学などを行っているところをお聞きます。(あてはまるものに○)



【障害別】

- ・手帳・診断なしでは「小学校入学前」、精神障害では「高等学校等に在学中」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

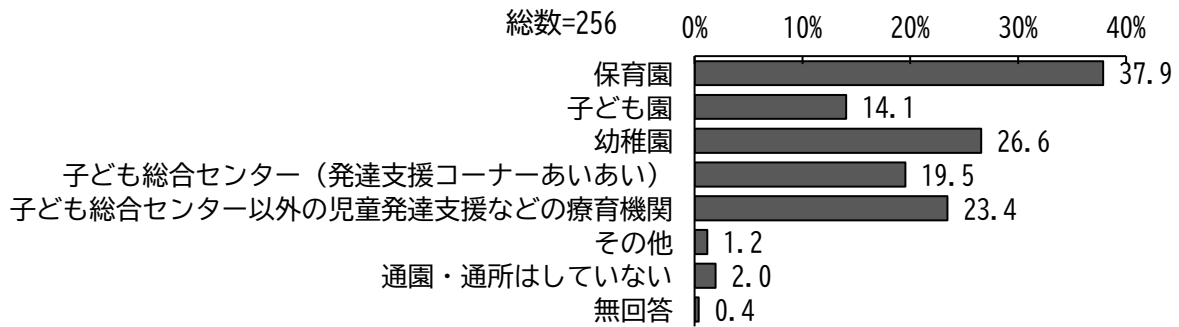
選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難 定病 疾・ 患	医療的 ケア 児	診手 断帳 なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
小学校入学前	27.7	18.7	19.5	27.0	50.0	38.2	67.3
小中学校等に在学中	56.6	61.1	19.5	60.7	30.0	52.9	31.8
高等学校等に在学中	14.5	20.2	58.5	11.7	20.0	7.4	0.5
義務教育終了後、通学はしていない	1.2	0.0	2.4	0.6	0.0	1.5	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

【小学校入学前】

◆「保育園」が37.9%、次いで「幼稚園」が26.6%

【全体】

・「保育園」が37.9%で最も多く、次いで「幼稚園」が26.6%、「子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関」が23.4%などとなっています。



【障害別】

単位：%、（ ）内は回答者総数

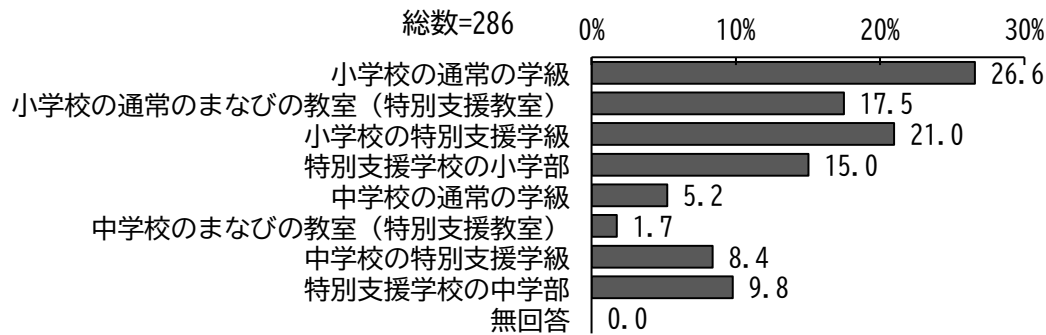
選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定疾病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(23)	(38)	(8)	(44)	(10)	(26)	(148)
保育園	30.4	36.8	37.5	43.2	30.0	19.2	37.2
子ども園	8.7	10.5	25.0	6.8	10.0	19.2	14.9
幼稚園	8.7	13.2	12.5	27.3	10.0	7.7	33.8
子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）	43.5	34.2	12.5	25.0	30.0	26.9	15.5
子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関	17.4	31.6	0.0	29.5	30.0	26.9	20.9
その他	4.3	2.6	0.0	0.0	0.0	7.7	0.7
通園・通所はしていない	4.3	0.0	12.5	2.3	10.0	7.7	0.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

【小中学校等に在学中】

◆「小学校の通常の学級」が26.6%、次いで「小学校の特別支援学級」が21.0%

【全体】

- ・「小学校の通常の学級」が26.6%で最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」が21.0%、「小学校の通常のまなびの教室（特別支援教室）」が17.5%などとなっています。



【障害別】

- ・身体障害と医療的ケア児では「特別支援学校の小学部」、知的障害では「小学校の特別支援学級」が多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

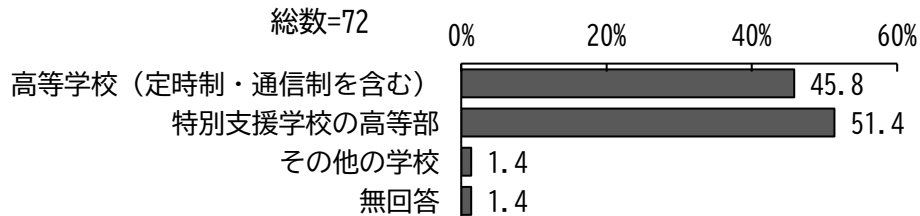
選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(47)	(124)	(8)	(99)	(6)	(36)	(70)
小学校の通常の学級	14.9	3.2	12.5	25.3	50.0	16.7	54.3
小学校の通常のまなびの教室（特別支援教室）	0.0	1.6	0.0	23.2	0.0	2.8	35.7
小学校の特別支援学級	10.6	32.3	62.5	24.2	16.7	27.8	14.3
特別支援学校の小学部	42.6	27.4	0.0	11.1	16.7	33.3	0.0
中学校の通常の学級	8.5	0.8	12.5	7.1	0.0	2.8	4.3
中学校のまなびの教室（特別支援教室）	0.0	0.8	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0
中学校の特別支援学級	2.1	17.7	25.0	5.1	16.7	2.8	0.0
特別支援学校の中学部	23.4	18.5	0.0	6.1	0.0	16.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【高等学校等に在学中】

◆「特別支援学校の高等部」が 51.4%、「高等学校（定時制・通信制を含む）」が 45.8%

【全体】

・「特別支援学校の高等部」が 51.4%で最も多く、次いで「高等学校（定時制・通信制を含む）」が 45.8%、「その他の学校」が 1.4%となっています。



【障害別】

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病・患	医療的ケア児	診手断帳なし
総数	(12)	(41)	(24)	(19)	(4)	(5)	(1)
高等学校（定時制・通信制を含む）	16.7	14.6	87.5	63.2	75.0	20.0	0.0
特別支援学校の高等部	83.3	82.9	12.5	36.8	25.0	80.0	0.0
その他の学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 通園生活等で困っていること

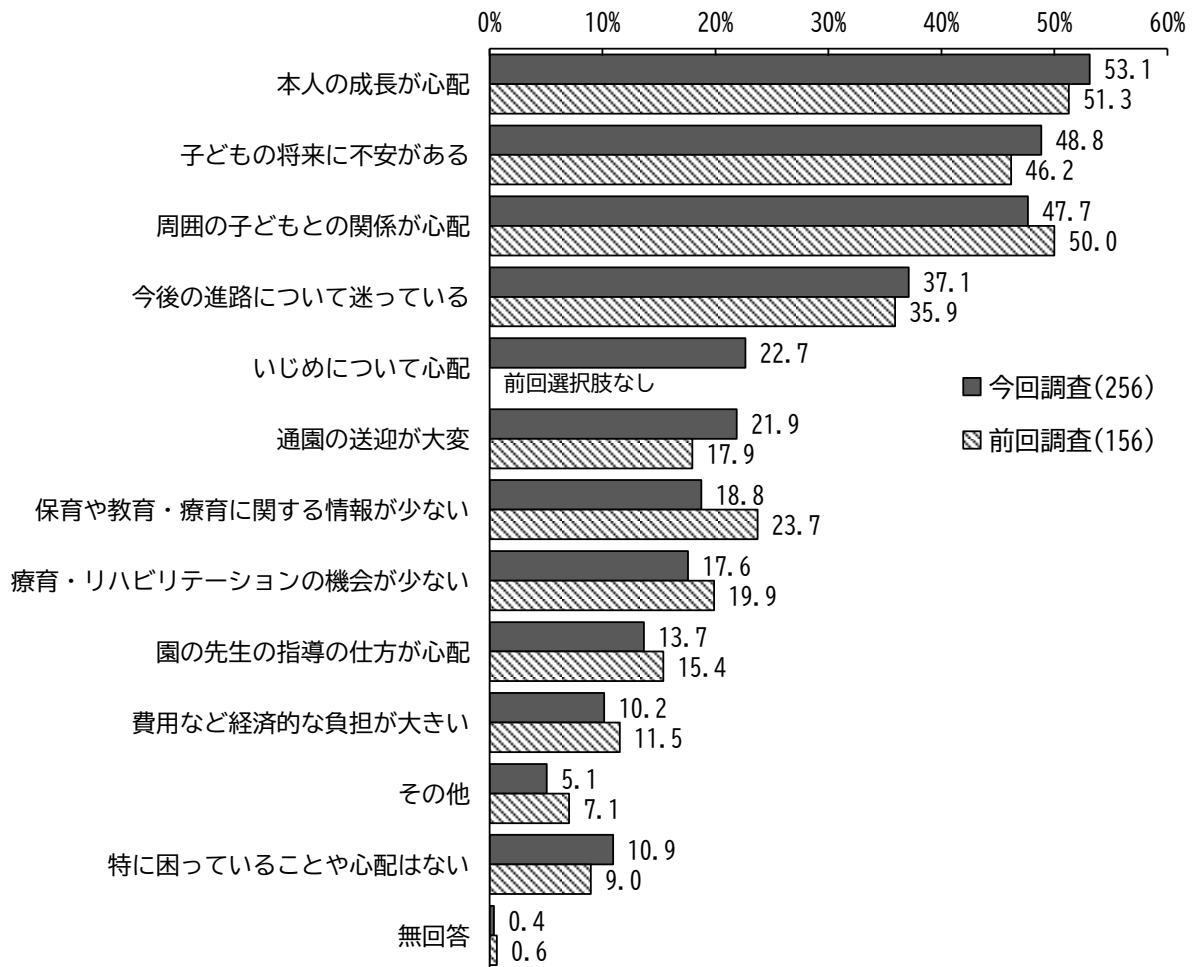
◆「本人の成長が心配」が53.1%、次いで「子どもの将来に不安がある」が48.8%

【全体】

・「本人の成長が心配」が53.1%で最も多く、次いで「子どもの将来に不安がある」が48.8%、「周囲の子どもとの関係が心配」が47.7%などとなっています。

問20 【問19で「A 小学校入学前」と回答した方にお聞きします。】

通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありますか。(〇はいくつでも)



※「いじめについて心配」は前回選択肢なし

【障害別】

・精神障害と手帳・診断なしで「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(23)	(38)	(8)	(44)	(10)	(26)	(148)
通園の送迎が大変	47.8	39.5	25.0	18.2	50.0	34.6	18.2
周囲の子どもとの関係が心配	34.8	34.2	62.5	45.5	70.0	30.8	50.7
いじめについて心配	17.4	21.1	25.0	18.2	30.0	23.1	23.0
園の先生の指導の仕方が心配	8.7	13.2	25.0	20.5	10.0	7.7	12.2
本人の成長が心配	47.8	68.4	50.0	77.3	80.0	61.5	45.9
今後の進路について迷っている	39.1	57.9	25.0	56.8	40.0	50.0	28.4
子どもの将来に不安がある	56.5	73.7	37.5	75.0	70.0	73.1	37.2
保育や教育・療育に関する情報が少ない	26.1	36.8	12.5	20.5	50.0	23.1	15.5
療育・リハビリテーションの機会が少ない	30.4	36.8	25.0	18.2	20.0	23.1	14.2
費用など経済的な負担が大きい	8.7	21.1	12.5	13.6	20.0	11.5	6.8
その他	17.4	2.6	0.0	4.5	0.0	3.8	4.7
特に困っていることや心配はない	0.0	2.6	12.5	0.0	0.0	3.8	16.9
無回答	0.0	2.6	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0

(3) 小学校の入学希望

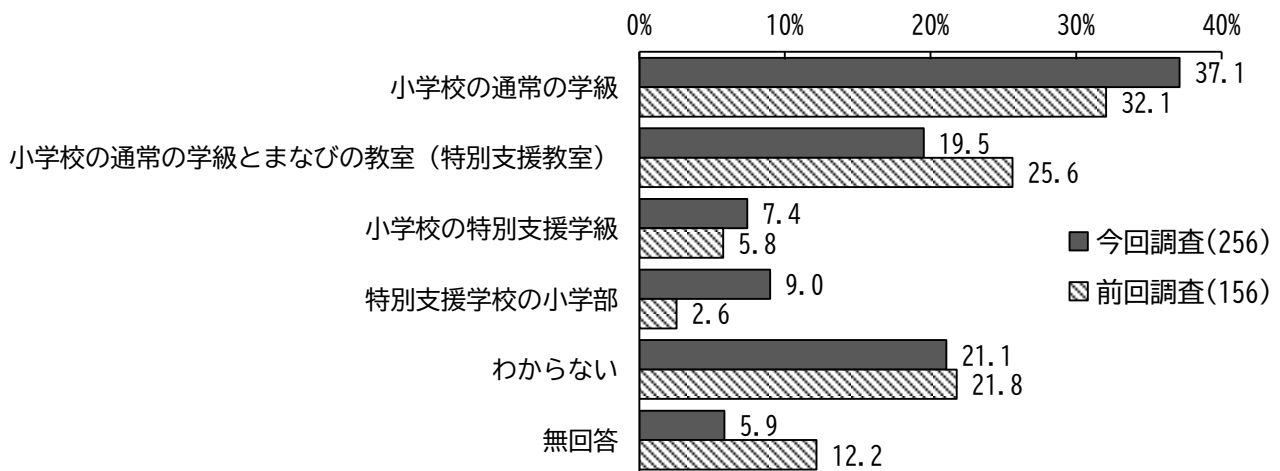
◆「小学校の通常の学級」が37.1%

【全体】

- ・「小学校の通常の学級」が37.1%で最も多く、次いで「小学校の通常の学級とまなびの教室（特別支援教室）」が19.5%、「特別支援学校の小学部」が9.0%などとなっています。「わからない」は21.1%です。

問21 【問19で「A 小学校入学前」と回答した方にお聞きします。】

小学校はどの教育機関を希望しますか。(○はひとつ)



【障害別】

- ・知的障害では「特別支援学校の小学部」、発達障害では「わからない」、手帳・診断なしでは「小学校の通常の学級」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難 定病 疾・ 患	医 療 的 ケ ア 児	診 手 断 帳 な し
総数	(23)	(38)	(8)	(44)	(10)	(26)	(148)
小学校の通常の学級	21.7	5.3	25.0	13.6	20.0	30.8	50.0
小学校の通常の学級とまなびの教室 (特別支援教室)	13.0	5.3	12.5	27.3	10.0	11.5	22.3
小学校の特別支援学級	4.3	21.1	0.0	11.4	0.0	11.5	3.4
特別支援学校の小学部	39.1	36.8	12.5	11.4	30.0	34.6	1.4
わからない	21.7	23.7	50.0	29.5	20.0	7.7	16.9
無回答	0.0	7.9	0.0	6.8	20.0	3.8	6.1

(4) 通学生活等で困っていること

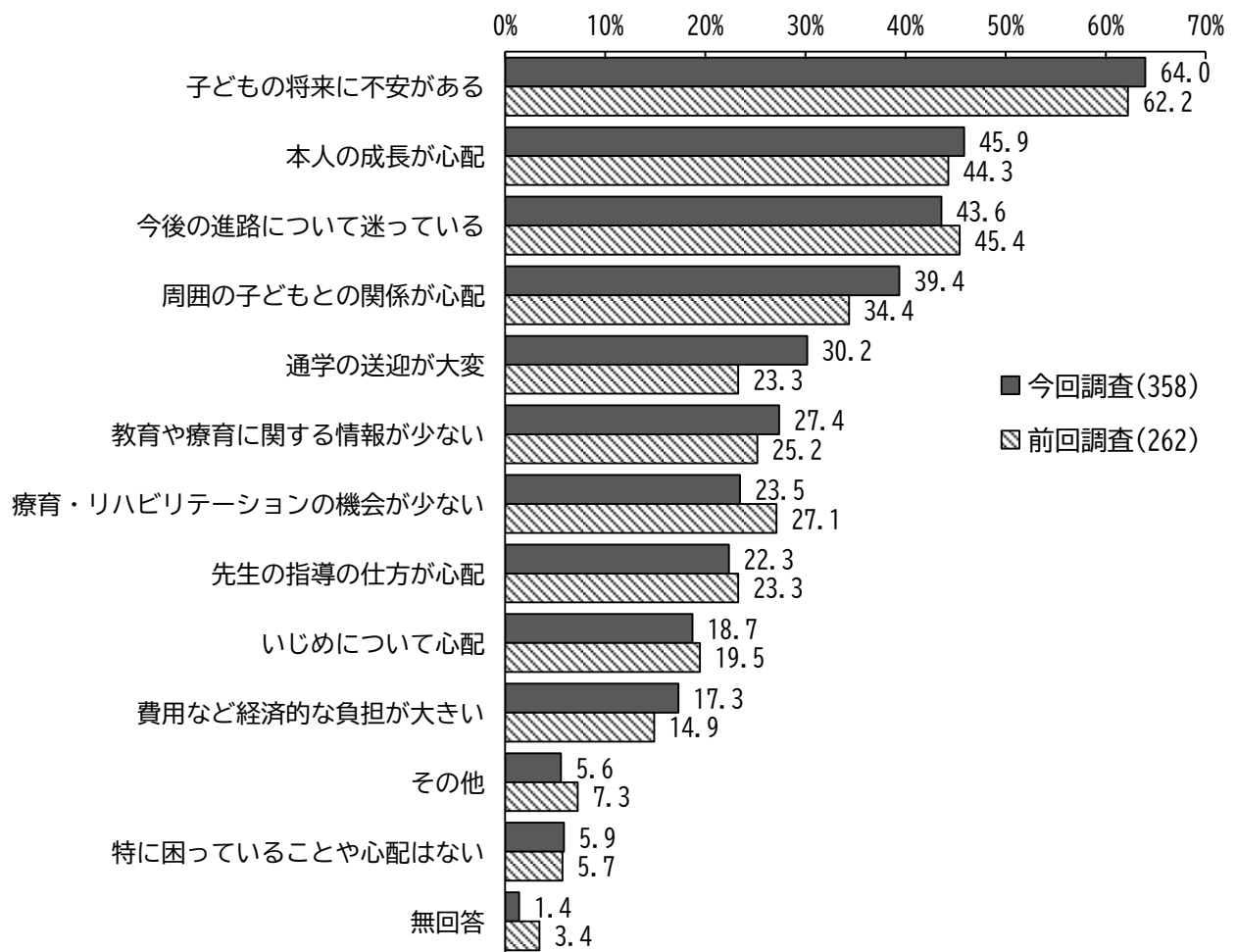
◆「子どもの将来に不安がある」が64.0%、次いで「本人の成長が心配」が45.9%

【全体】

・「子どもの将来に不安がある」が64.0%で最も多く、次いで「本人の成長が心配」が45.9%、「今後の進路について迷っている」が43.6%などとなっています。

問22 【問19で「B 小中学校等に在学中」または「C 高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きます。】

通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

・手帳・診断なしで「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(59)	(165)	(32)	(118)	(10)	(41)	(71)
通学の送迎が大変	35.6	43.0	12.5	29.7	40.0	43.9	16.9
周囲の子どもとの関係が心配	11.9	27.9	40.6	48.3	40.0	7.3	62.0
いじめについて心配	6.8	12.7	15.6	24.6	40.0	4.9	29.6
先生の指導の仕方が心配	15.3	20.6	12.5	22.9	40.0	19.5	29.6
本人の成長が心配	42.4	45.5	34.4	48.3	50.0	41.5	47.9
今後の進路について迷っている	39.0	45.5	59.4	53.4	60.0	39.0	29.6
子どもの将来に不安がある	61.0	70.9	65.6	68.6	70.0	63.4	50.7
教育や療育に関する情報が少ない	27.1	30.3	25.0	31.4	30.0	24.4	21.1
療育・リハビリテーションの機会が少ない	33.9	28.5	9.4	21.2	30.0	39.0	15.5
費用など経済的な負担が大きい	15.3	16.4	25.0	20.3	50.0	9.8	14.1
その他	6.8	7.9	3.1	6.8	0.0	9.8	0.0
特に困っていることや心配はない	5.1	3.6	9.4	3.4	0.0	7.3	7.0
無回答	3.4	2.4	3.1	0.8	0.0	0.0	0.0

【年齢別】

・「子どもの将来に不安がある」以外では、6～11歳では「本人の成長が心配」「周囲の子どもとの関係が心配」、12～17歳では「今後の進路について迷っている」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	6～11歳	12～17歳
総数	(192)	(164)
通学の送迎が大変	40.1	18.9
周囲の子どもとの関係が心配	47.9	29.3
いじめについて心配	24.0	12.2
先生の指導の仕方が心配	25.5	18.3
本人の成長が心配	49.5	40.9
今後の進路について迷っている	40.6	47.0
子どもの将来に不安がある	64.6	62.8
教育や療育に関する情報が少ない	29.7	24.4
療育・リハビリテーションの機会が少ない	28.6	17.1
費用など経済的な負担が大きい	15.6	18.9
その他	5.7	5.5
特に困っていることや心配はない	2.6	9.8
無回答	0.5	2.4

【通学先（小・中学校）別】

- ・小学校の通常の学級と小学校の通常のまなびの教室（特別支援教室）で「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	の小学校の通常	教室の小学校（まなびの特別支援教室）	支援学校の特別	の特別支援学校	の中学校の通常	別々の中学校のまなびの特別支援教室（まな）	支援学校の特別	の特別支援学校
総数	(76)	(50)	(60)	(43)	(15)	(5)	(24)	(28)
通学の送迎が大変	11.8	16.0	73.3	51.2	13.3	0.0	20.8	46.4
周囲の子どもとの関係が心配	56.6	72.0	40.0	18.6	33.3	0.0	29.2	17.9
いじめについて心配	30.3	44.0	18.3	7.0	20.0	40.0	4.2	3.6
先生の指導の仕方が心配	32.9	34.0	20.0	16.3	13.3	20.0	16.7	10.7
本人の成長が心配	50.0	56.0	51.7	41.9	40.0	20.0	58.3	53.6
今後の進路について迷っている	35.5	38.0	55.0	27.9	20.0	100.0	54.2	50.0
子どもの将来に不安がある	55.3	62.0	73.3	79.1	26.7	100.0	91.7	78.6
教育や療育に関する情報が少ない	23.7	30.0	33.3	27.9	20.0	0.0	45.8	35.7
療育・リハビリテーションの機会が少ない	19.7	16.0	31.7	39.5	26.7	0.0	12.5	32.1
費用など経済的な負担が大きい	11.8	16.0	21.7	11.6	26.7	0.0	16.7	10.7
その他	7.9	2.0	5.0	11.6	0.0	20.0	0.0	7.1
特に困っていることや心配はない	6.6	2.0	0.0	0.0	26.7	0.0	4.2	3.6
無回答	0.0	0.0	0.0	2.3	6.7	0.0	0.0	0.0

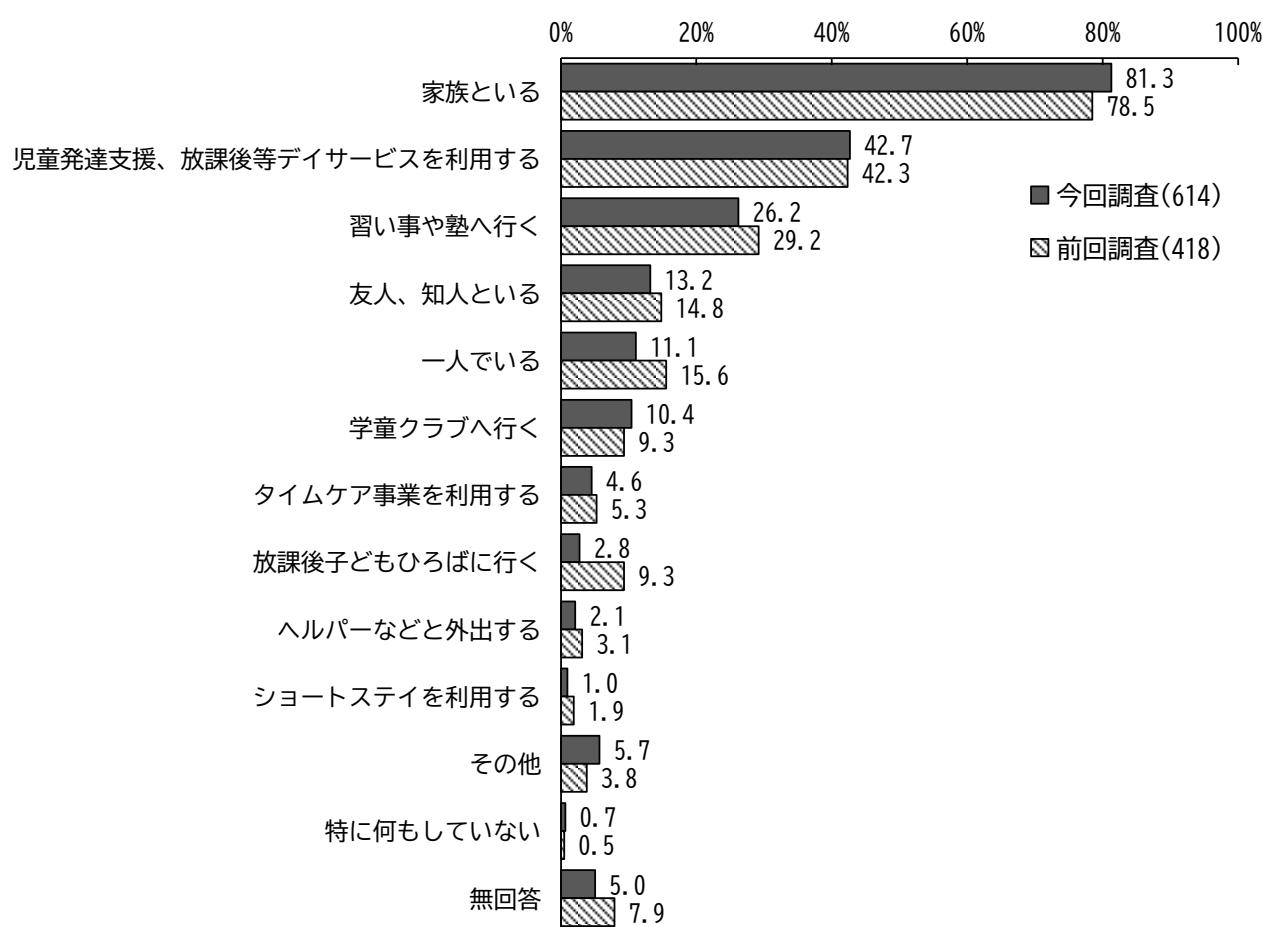
(5) 放課後や長期休校中等の過ごし方の現状

◆「家族といる」が81.3%

【全体】

- ・「家族といる」が81.3%で最も多く、次いで「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する」が42.7%、「習い事や塾へ行く」が26.2%などとなっています。

問23 【問19で「A 小学校入学前」、「B 小中学校等に在学中」または「C 高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。】放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんはどのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳なし
総数	(82)	(203)	(40)	(162)	(20)	(67)	(219)
家族とい	80.5	72.9	80.0	79.0	90.0	85.1	86.8
友人、知人とい	9.8	3.4	20.0	10.5	10.0	3.0	20.5
一人でいる	7.3	12.8	40.0	17.9	25.0	3.0	3.2
ヘルパーなどと外出する	6.1	3.9	0.0	0.6	0.0	7.5	0.9
学童クラブへ行く	6.1	11.8	2.5	11.1	0.0	6.0	11.4
放課後子どもひろばに行く	0.0	0.5	2.5	2.5	10.0	1.5	4.1
タイムケア事業を利用する	9.8	11.8	2.5	4.3	0.0	7.5	0.0
シヨートステイを利用する	2.4	2.5	0.0	1.9	0.0	3.0	0.0
児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する	34.1	50.2	22.5	53.1	40.0	44.8	35.2
習い事や塾へ行く	12.2	14.3	20.0	32.7	0.0	11.9	32.4
その他	7.3	7.4	12.5	8.0	5.0	11.9	3.2
特に何もしていない	3.7	0.5	2.5	0.0	0.0	4.5	0.0
無回答	6.1	5.4	5.0	3.1	0.0	3.0	5.5

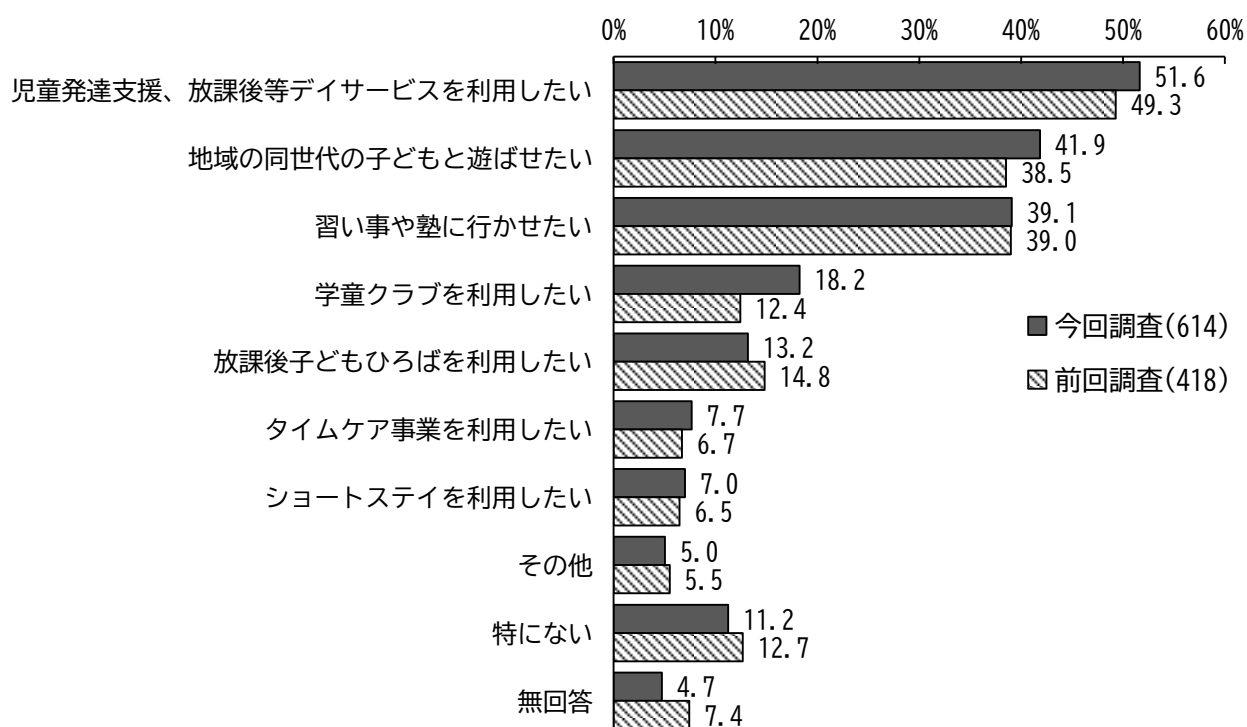
(6) 放課後や長期休校中等の過ごし方の希望

◆「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい」が51.6%

【全体】

- ・「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい」が51.6%で最も多く、次いで「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が41.9%、「習い事や塾に行かせたい」が39.1%などとなっています。

問24 【問19で「A 小学校入学前」、「B 小中学校等に在学中」または「C 高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。】放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんがどのように過ごすことを希望していますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

・手帳・診断なしで「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(82)	(203)	(40)	(162)	(20)	(67)	(219)
地域の同世代の子どもと遊ばせたい	36.6	24.1	22.5	38.9	35.0	43.3	58.4
学童クラブを利用したい	17.1	14.3	5.0	9.9	10.0	20.9	26.5
放課後子どもひろばを利用したい	12.2	7.4	7.5	13.0	15.0	17.9	15.5
習い事や塾に行かせたい	20.7	28.6	30.0	41.4	30.0	32.8	47.9
タイムケア事業を利用したい	14.6	18.7	5.0	4.3	5.0	13.4	0.9
ショートステイを利用したい	18.3	15.3	12.5	8.0	10.0	17.9	0.5
児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい	50.0	63.5	27.5	63.0	55.0	52.2	42.5
その他	7.3	6.9	5.0	2.5	0.0	9.0	5.0
特になし	13.4	13.3	32.5	8.6	25.0	10.4	7.3
無回答	6.1	3.9	5.0	2.5	5.0	3.0	4.6

【通園先（小学校入学前）別】

・保育園、子ども園、幼稚園で「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	保育園	子ども園	幼稚園	子ども園・幼稚園・児童発達支援・放課後等デイサービス	子ども園・幼稚園・児童発達支援・放課後等デイサービス	その他	通園先・通所なし
総数	(97)	(36)	(68)	(50)	(60)	(3)	(5)
地域の同世代の子どもと遊ばせたい	46.4	52.8	64.7	46.0	48.3	33.3	60.0
学童クラブを利用したい	36.1	30.6	5.9	26.0	20.0	33.3	0.0
放課後子どもひろばを利用したい	15.5	19.4	10.3	16.0	8.3	0.0	20.0
習い事や塾に行かせたい	37.1	50.0	48.5	38.0	46.7	0.0	60.0
タイムケア事業を利用したい	4.1	2.8	2.9	6.0	8.3	0.0	0.0
ショートステイを利用したい	2.1	8.3	2.9	16.0	10.0	0.0	20.0
児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい	43.3	44.4	48.5	66.0	56.7	33.3	0.0
その他	3.1	8.3	1.5	2.0	3.3	33.3	0.0
特になし	7.2	0.0	11.8	4.0	6.7	33.3	20.0
無回答	7.2	11.1	1.5	8.0	8.3	0.0	0.0

(7) 中学校（中学部）卒業後の進路

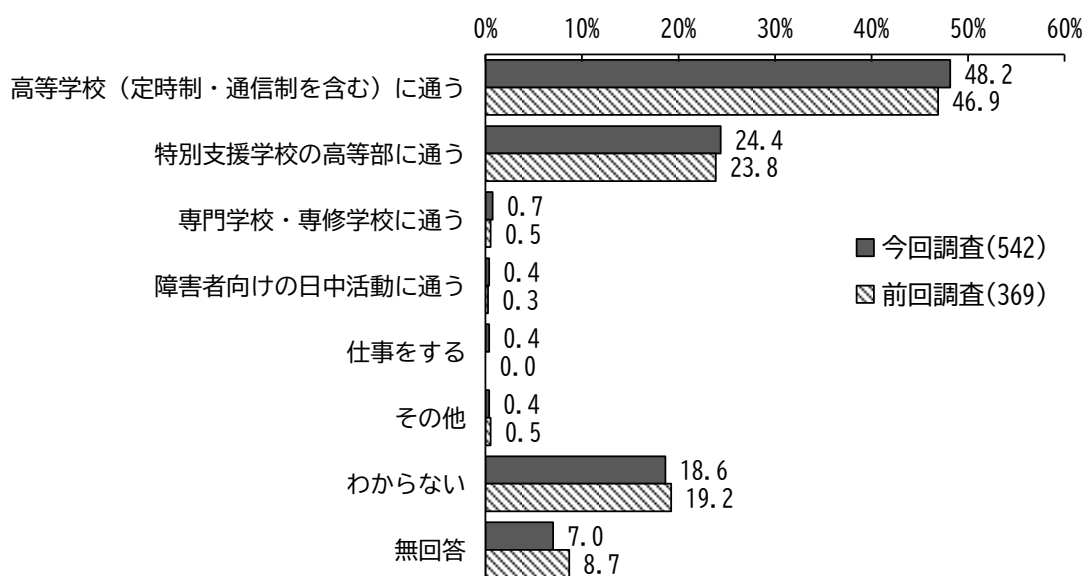
◆「高等学校（定時制・通信制を含む）に通う」が48.2%

【全体】

- ・「高等学校（定時制・通信制を含む）に通う」が48.2%で最も多く、次いで「特別支援学校の高等部に通う」が24.4%などとなっています。「わからない」は18.6%です。

問25 【問19で「A 小学校入学前」または「B 小中学校等に在学中」と回答した方にお聞きます。】

中学校（中学部）卒業後はどのような進路を希望しますか。（○はひとつ）



【障害別】

- ・身体障害、知的障害、医療的ケア児では「特別支援学校の高等部に通う」が多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病・疾患	医療的ケア児	診手断帳なし
総数	(70)	(162)	(16)	(143)	(16)	(62)	(218)
高等学校（定時制・通信制を含む）に通う	20.0	11.1	50.0	49.0	43.8	30.6	68.8
特別支援学校の高等部に通う	45.7	66.0	18.8	27.3	12.5	40.3	1.8
専門学校・専修学校に通う	0.0	1.2	6.3	2.1	0.0	0.0	0.5
障害者向けの日中活動に通う	1.4	0.6	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0
仕事をする	1.4	1.2	0.0	0.7	6.3	1.6	0.0
その他	2.9	0.6	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0
わからない	24.3	16.0	12.5	15.4	37.5	19.4	20.2
無回答	4.3	3.1	12.5	5.6	0.0	3.2	8.7

【通学先（小・中学校）別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	小学校の通常の	小学校の通常の （まなびの教室） （特別支援教室）	小学校の特別支	特別支援学校の	中学校の通常の	中学校の通常の （まなびの教室） （特別支援教室）	中学校の特別支	特別支援学校の
総数	(76)	(50)	(60)	(43)	(15)	(5)	(24)	(28)
高等学校（定時制・通信制を含む）に通う	81.6	74.0	18.3	2.3	80.0	60.0	12.5	0.0
特別支援学校の高等部に通う	3.9	2.0	45.0	86.0	6.7	0.0	83.3	89.3
専門学校・専修学校に通う	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者向けの日中活動に通う	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕事をする	0.0	2.0	1.7	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
わからない	7.9	10.0	26.7	7.0	13.3	0.0	4.2	3.6
無回答	6.6	12.0	1.7	4.7	0.0	20.0	0.0	3.6

(8) 高等学校（高等部）卒業後の進路

①お子さんの希望

◆「大学や短期大学へ通う」が43.1%

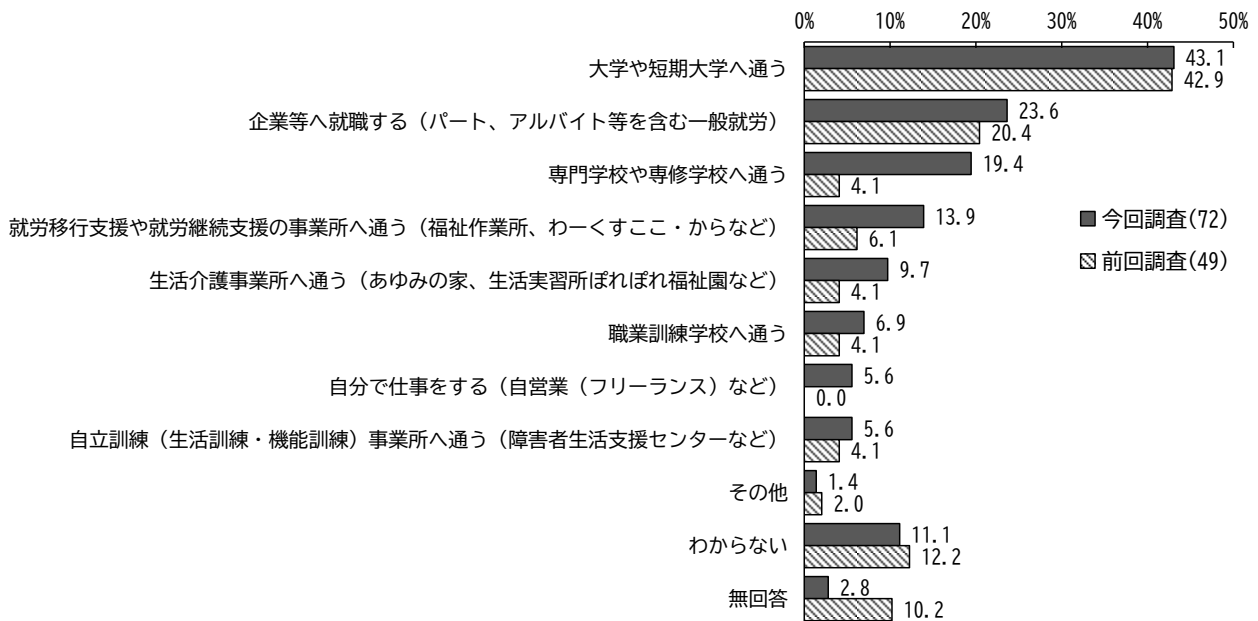
【全体】

- ・「大学や短期大学へ通う」が43.1%で最も多く、次いで「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が23.6%、「専門学校や専修学校へ通う」が19.4%などとなっています。

問26 【問19で「C 高等学校等に在学中」と回答した方にお聞きします。】

高等学校（高等部）卒業後の日中の過ごし方は、どのようにしたいと思いますか。（○はいくつでも）

※ この設問では、「お子さんの希望」と「保護者の方の希望」をそれぞれ伺います。



※ 「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（障害者生活支援センターなど）」は、前回「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（視覚障害者生活支援センター、カレッジ早稲田など）」

【障害別】

- ・知的障害で「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が多くなっています。

単位：%、（ ）内は回答者総数

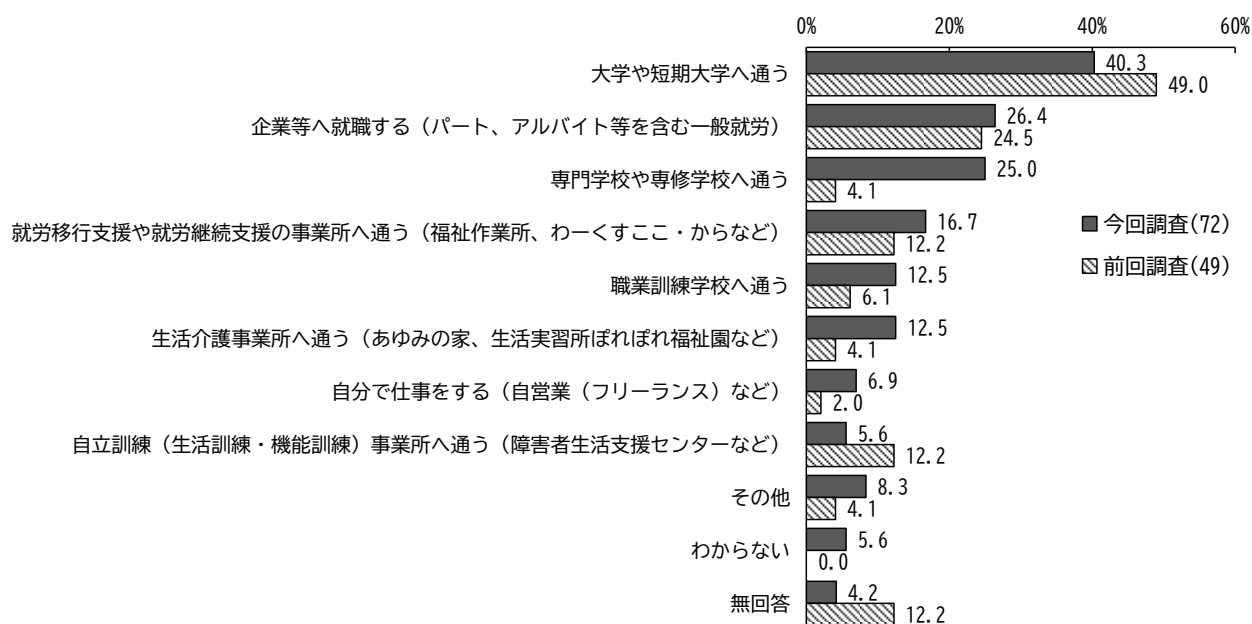
選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難 定病・ 疾患	医療的 ケア児	診手 断帳 なし
総数	(12)	(41)	(24)	(19)	(4)	(5)	(1)
大学や短期大学へ通う	41.7	19.5	58.3	52.6	75.0	40.0	100.0
専門学校や専修学校へ通う	8.3	14.6	29.2	36.8	0.0	0.0	0.0
職業訓練学校へ通う	0.0	7.3	8.3	15.8	0.0	0.0	0.0
企業等へ就職する	25.0	34.1	12.5	26.3	25.0	0.0	0.0
自分で仕事をする	0.0	7.3	12.5	15.8	0.0	0.0	0.0
就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う	8.3	22.0	8.3	26.3	0.0	0.0	0.0
自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う	0.0	7.3	4.2	10.5	0.0	20.0	0.0
生活介護事業所へ通う	33.3	12.2	8.3	0.0	0.0	60.0	0.0
その他	8.3	2.4	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	8.3	12.2	12.5	5.3	0.0	20.0	0.0
無回答	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②保護者の方の希望

◆「大学や短期大学へ通う」が40.3%

【全体】

- ・「大学や短期大学へ通う」が40.3%で最も多く、次いで「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が26.4%、「専門学校や専修学校へ通う」が25.0%などとなっています。



※「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（障害者生活支援センターなど）」は、前回「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（視覚障害者生活支援センター、カレッジ早稲田など）」

※前回は選択肢に「グループホーム、障害者支援施設等へ入所する」があった

【障害別】

- ・知的障害で「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が最も多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病疾患	医療的ケア児	診手断帳なし
総数	(12)	(41)	(24)	(19)	(4)	(5)	(1)
大学や短期大学へ通う	33.3	9.8	62.5	47.4	75.0	40.0	100.0
専門学校や専修学校へ通う	8.3	12.2	37.5	31.6	50.0	0.0	0.0
職業訓練学校へ通う	8.3	19.5	8.3	21.1	0.0	0.0	0.0
企業等へ就職する	25.0	39.0	20.8	26.3	25.0	0.0	0.0
自分で仕事をする	16.7	7.3	8.3	5.3	0.0	0.0	0.0
就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う	8.3	22.0	16.7	36.8	0.0	0.0	0.0
自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う	0.0	7.3	8.3	10.5	0.0	20.0	0.0
生活介護事業所へ通う	33.3	14.6	8.3	5.3	0.0	80.0	0.0
その他	8.3	12.2	4.2	15.8	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	7.3	8.3	5.3	0.0	0.0	0.0
無回答	8.3	7.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0

5 外出やバリアフリーについて

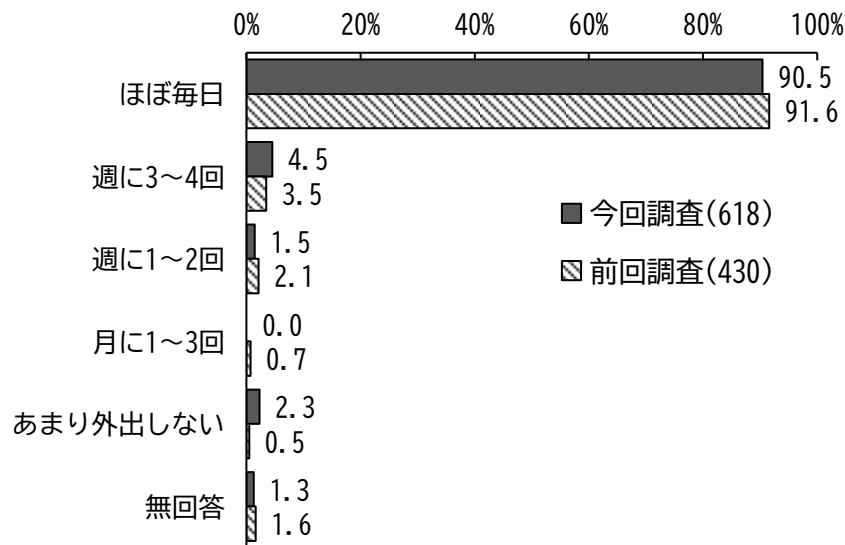
(1) 外出の頻度

◆ 「ほぼ毎日」が90.5%

【全体】

- ・「ほぼ毎日」が90.5%で最も多く、次いで「週に3~4回」が4.5%、「あまり外出しない」が2.3%などとなっています。

問27 お子さんは、どのくらいの頻度で外出（通園・通学含む）していますか。（○はひとつ）



【障害別】

- ・医療的ケア児で「あまり外出しない」が比較的多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
ほぼ毎日	80.7	89.7	78.0	89.6	75.0	76.5	95.5
週に3~4回	7.2	4.9	9.8	6.1	20.0	11.8	2.3
週に1~2回	4.8	1.0	4.9	1.2	5.0	1.5	0.0
月に1~3回	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あまり外出しない	7.2	2.5	7.3	1.8	0.0	10.3	0.5
無回答	0.0	2.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.8

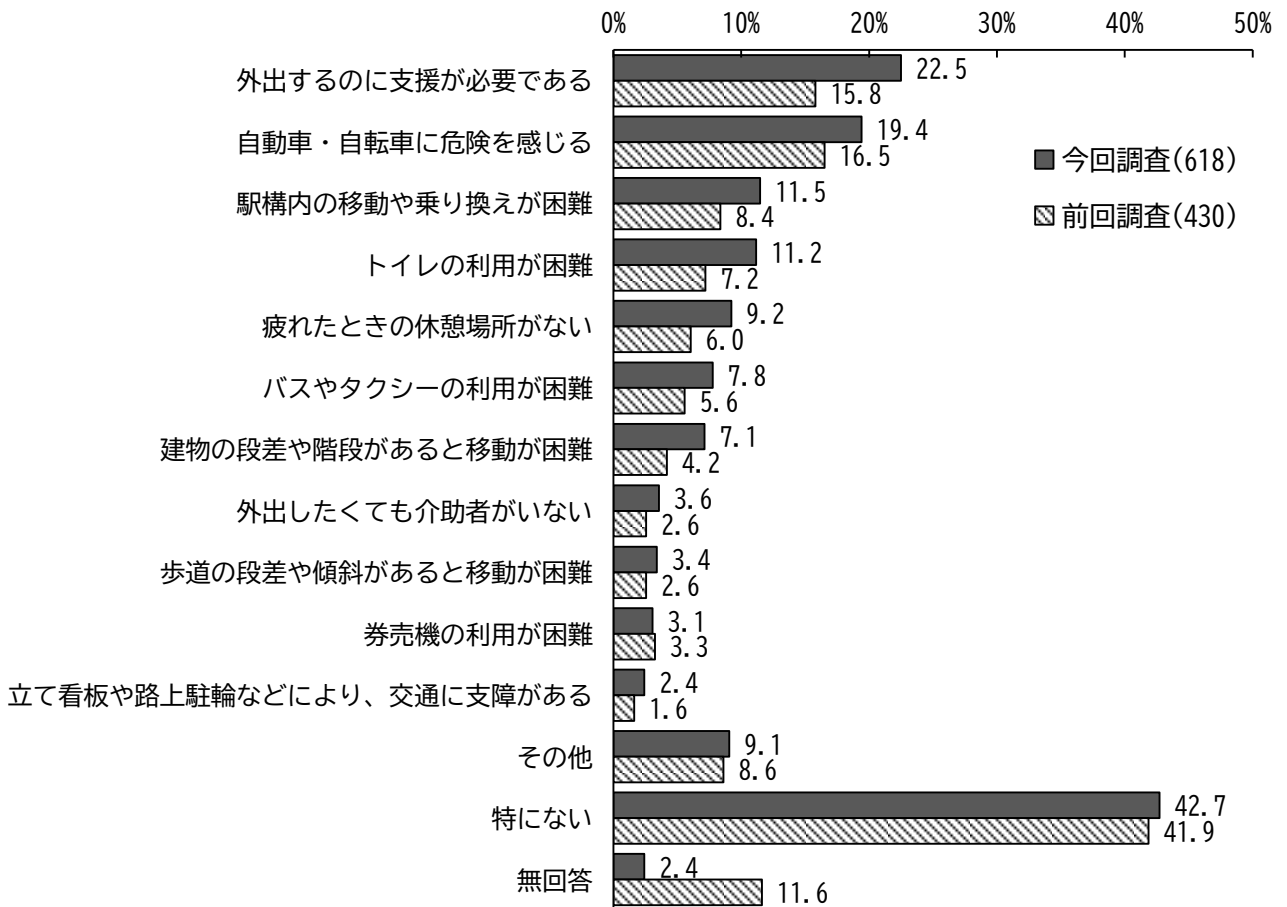
(2) 外出に関して困っていること

◆「外出するのに支援が必要である」が22.5%

【全体】

- ・「外出するのに支援が必要である」が22.5%で最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が19.4%、「駅構内の移動や乗り換えが困難」が11.5%などとなっています。「特にない」は42.7%です。

問28 お子さんは、外出（通園・通学以外）に関してどのようなことで困っていますか。（○は3つまで）



【障害別】

・身体障害、知的障害、医療的ケア児で「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳断りなし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
歩道の段差や傾斜があると移動が困難	15.7	3.9	0.0	1.2	20.0	14.7	1.4
建物の段差や階段があると移動が困難	34.9	7.4	2.4	1.8	20.0	36.8	2.7
バスやタクシーの利用が困難	26.5	13.3	9.8	8.0	25.0	25.0	0.9
駅構内の移動や乗り換えが困難	31.3	17.7	9.8	11.7	25.0	30.9	3.2
券売機の利用が困難	0.0	7.4	4.9	4.3	0.0	0.0	0.5
トイレの利用が困難	25.3	18.2	7.3	11.7	15.0	30.9	4.5
疲れたときの休憩場所がない	12.0	11.8	12.2	9.2	15.0	13.2	5.9
自動車・自転車で危険を感じる	9.6	26.1	14.6	26.4	10.0	17.6	15.9
立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある	2.4	2.5	2.4	2.5	0.0	2.9	3.2
外出するのに支援が必要である	39.8	44.3	19.5	27.6	25.0	38.2	5.0
外出したくても介助者がいない	12.0	5.9	2.4	2.5	0.0	10.3	0.5
その他	10.8	11.3	12.2	11.0	20.0	17.6	5.9
特にない	16.9	19.7	46.3	38.0	40.0	13.2	63.2
無回答	1.2	2.5	0.0	1.2	5.0	0.0	3.6

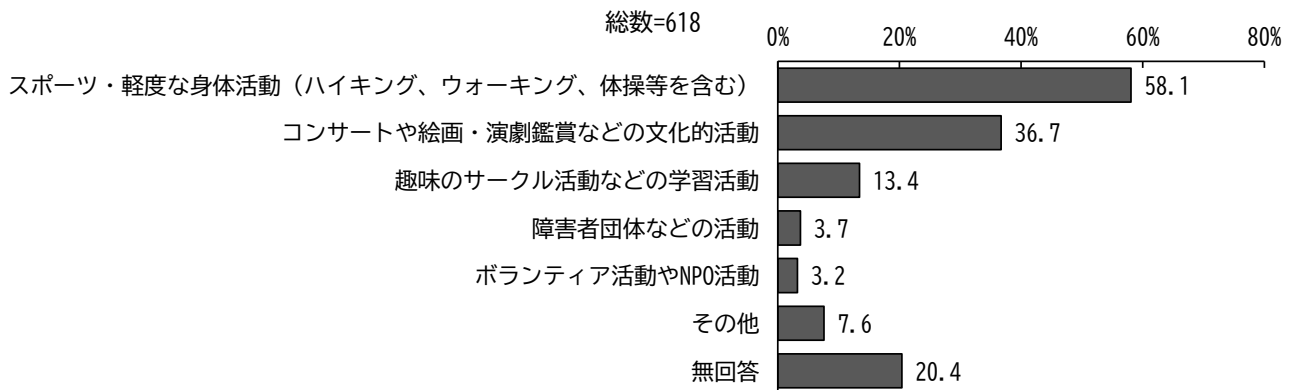
(3) 過去1年間の趣味や学習、スポーツなどの活動

◆「スポーツ・軽度な身体活動」が58.1%

【全体】

・「スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング、ウォーキング、体操等を含む）」が58.1%で最も多く、次いで「コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動」が36.7%、「趣味のサークル活動などの学習活動」が13.4%などとなっています。

問29 過去1年間にお子さんは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。(○はいくつでも)



【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難 定病 疾・ 患	医 療 的 ケ ア 児	診 手 断 帳 な し
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動	39.8	31.0	41.5	36.8	40.0	35.3	36.8
スポーツ・軽度な身体活動	30.1	49.3	48.8	65.6	40.0	32.4	66.8
趣味のサークル活動などの学習活動	14.5	8.4	17.1	15.3	20.0	10.3	13.6
ボランティア活動やNPO活動	3.6	3.4	2.4	5.5	10.0	5.9	2.7
障害者団体などの活動	10.8	7.4	2.4	3.1	10.0	16.2	0.5
その他	10.8	6.4	17.1	8.0	0.0	8.8	5.9
無回答	32.5	30.5	12.2	12.9	40.0	29.4	17.7

6 福祉サービスについて

A 主に18歳未満の方が利用するサービス

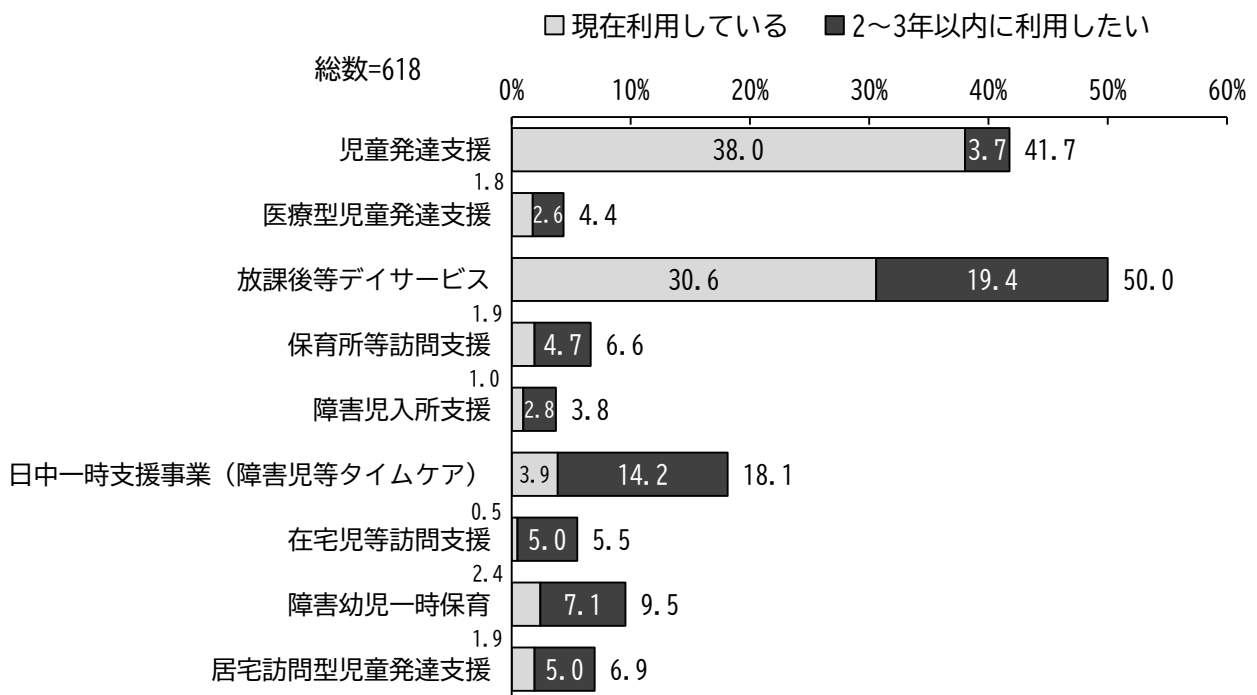
(1) 主に18歳未満の方が利用するサービス

◆放課後等デイサービスのサービスの需要は50.0%

【全体】

- ・「現在利用している」は、児童発達支援が38.0%、放課後等デイサービスが30.6%、日中一時支援事業（障害児等タイムケア）が3.9%などとなっています。
- ・「2～3年以内に利用したい」は、児童発達支援が3.7%、放課後等デイサービスが19.4%、日中一時支援事業（障害児等タイムケア）が14.2%などとなっています。

問30 お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いますか。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	児童発達支援		医療型児童発達支援		放課後等デイサービス		保育所等訪問支援		障害児入所支援	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	618 100.0	235 38.0	23 3.7	11 1.8	16 2.6	189 30.6	120 19.4	12 1.9	29 4.7	6 1.0	17 2.8
身体障害	83 100.0	15 18.1	4 4.8	7 8.4	11 13.3	24 28.9	16 19.3	1 1.2	5 6.0	3 3.6	11 13.3
知的障害	203 100.0	43 21.2	12 5.9	6 3.0	6 3.0	85 41.9	39 19.2	3 1.5	11 5.4	4 2.0	9 4.4
精神障害	41 100.0	7 17.1	2 4.9	0 0.0	1 2.4	10 24.4	4 9.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.9
発達障害	163 100.0	52 31.9	9 5.5	2 1.2	0 0.0	67 41.1	33 20.2	2 1.2	8 4.9	1 0.6	3 1.8
難病・特定疾患	20 100.0	8 40.0	3 15.0	0 0.0	3 15.0	4 20.0	8 40.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0
医療的ケア児	68 100.0	24 35.3	3 4.4	4 5.9	8 11.8	19 27.9	15 22.1	3 4.4	3 4.4	3 4.4	6 8.8
手帳・診断なし	220 100.0	130 59.1	3 1.4	1 0.5	1 0.5	46 20.9	43 19.5	7 3.2	10 4.5	1 0.5	1 0.5

上段：人 下段：%	全体	日中一時支援事業 (障害児等タイムケア)		在宅児等訪問支援		障害幼児一時保育		居宅訪問型 児童発達支援	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	618 100.0	24 3.9	88 14.2	3 0.5	31 5.0	15 2.4	44 7.1	12 1.9	31 5.0
身体障害	83 100.0	7 8.4	17 20.5	2 2.4	5 6.0	2 2.4	10 12.0	6 7.2	7 8.4
知的障害	203 100.0	22 10.8	47 23.2	1 0.5	14 6.9	6 3.0	16 7.9	4 2.0	15 7.4
精神障害	41 100.0	1 2.4	5 12.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4
発達障害	163 100.0	7 4.3	24 14.7	1 0.6	8 4.9	8 4.9	9 5.5	1 0.6	11 6.7
難病・特定疾患	20 100.0	0 0.0	5 25.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	3 15.0
医療的ケア児	68 100.0	3 4.4	13 19.1	2 2.9	4 5.9	2 2.9	8 11.8	8 11.8	5 7.4
手帳・診断なし	220 100.0	0 0.0	17 7.7	0 0.0	8 3.6	3 1.4	14 6.4	1 0.5	6 2.7

サービス名	サービスの内容
児童発達支援	療育を必要とする障害児等が施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。
医療型児童発達支援	肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練や、医学的管理下での支援が必要な児童のための通所支援です。
放課後等デイサービス	就学している障害児に、放課後や休校日に生活能力の訓練、社会交流機会を提供します。
保育所等訪問支援	保育所等に通う障害児が集団生活に適応するために必要な専門的支援を提供します。

サービス名	サービスの内容
障害児入所支援	福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の2種類。入所手続きは児童相談センターが窓口です。
日中一時支援事業（障害児等タイムケア）	障害児の放課後及び夏休み等の長期学校休校中の活動場所を提供します。
在宅児等訪問支援	障害児等の自宅を訪問し、遊びや生活の指導、情報提供を行います。
障害幼児一時保育	一時的に保育が必要なとき、障害幼児等の保育を行います。
居宅訪問型児童発達支援	障害児等の居宅を訪問し、日常生活における動作の指導、知識技能の付与等の支援を行います。

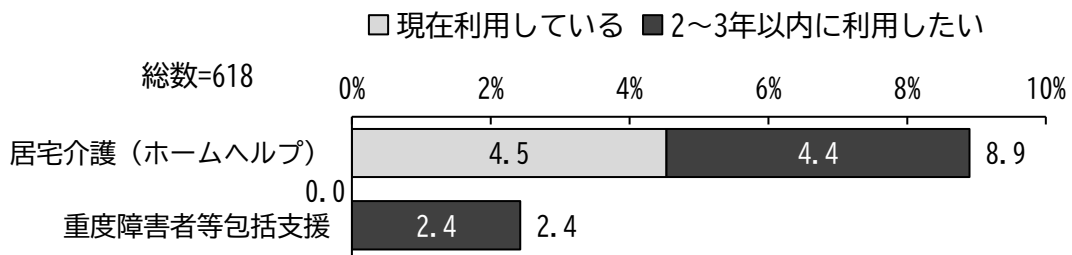
B 児童期～成人期を通じて利用できるサービス

(2) 自宅での生活を支援するサービス

◆居宅介護のサービスの需要は 8.9%

【全体】

- ・「現在利用している」は、居宅介護（ホームヘルプ）が4.5%、「2～3年以内に利用したい」は、居宅介護（ホームヘルプ）が4.4%、重度障害者等包括支援が2.4%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	居宅介護 (ホームヘルプ)		重度障害者等包括支援	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	618 100.0	28 4.5	27 4.4	0 0.0	15 2.4
身体障害	83 100.0	25 30.1	14 16.9	0 0.0	12 14.5
知的障害	203 100.0	15 7.4	16 7.9	0 0.0	8 3.9
精神障害	41 100.0	2 4.9	0 0.0	0 0.0	1 2.4
発達障害	163 100.0	0 0.0	4 2.5	0 0.0	0 0.0
難病・特定疾患	20 100.0	2 10.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0
医療的ケア児	68 100.0	21 30.9	8 11.8	0 0.0	6 8.8
手帳・診断なし	220 100.0	2 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0

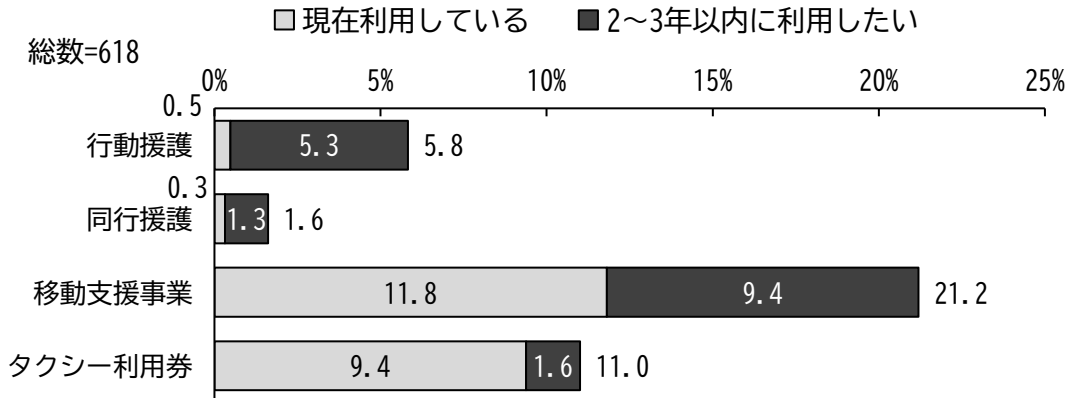
サービス名	サービスの内容
居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。
重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。

(3) 外出を支援するサービス

◆移動支援事業のサービスの需要は21.2%

【全体】

・「現在利用している」は、行動援護が0.5%、同行援護が0.3%、移動支援事業が11.8%、タクシー利用券が9.4%、「2～3年以内に利用したい」は、行動援護が5.3%、同行援護が1.3%、移動支援事業が9.4%、タクシー利用券が1.6%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	行動援護		同行援護		移動支援事業		タクシー利用券	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	618 100.0	3 0.5	33 5.3	2 0.3	8 1.3	73 11.8	58 9.4	58 9.4	10 1.6
身体障害	83 100.0	0 0.0	9 10.8	1 1.2	3 3.6	28 33.7	14 16.9	44 53.0	6 7.2
知的障害	203 100.0	2 1.0	21 10.3	2 1.0	6 3.0	52 25.6	38 18.7	32 15.8	5 2.5
精神障害	41 100.0	0 0.0	2 4.9	0 0.0	0 0.0	3 7.3	2 4.9	2 4.9	0 0.0
発達障害	163 100.0	0 0.0	13 8.0	0 0.0	3 1.8	18 11.0	16 9.8	4 2.5	0 0.0
難病・特定疾患	20 100.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	6 30.0	4 20.0	2 10.0
医療的ケア児	68 100.0	1 1.5	7 10.3	1 1.5	0 0.0	21 30.9	11 16.2	29 42.6	3 4.4
手帳・診断なし	220 100.0	1 0.5	4 1.8	0 0.0	1 0.5	2 0.9	4 1.8	0 0.0	0 0.0

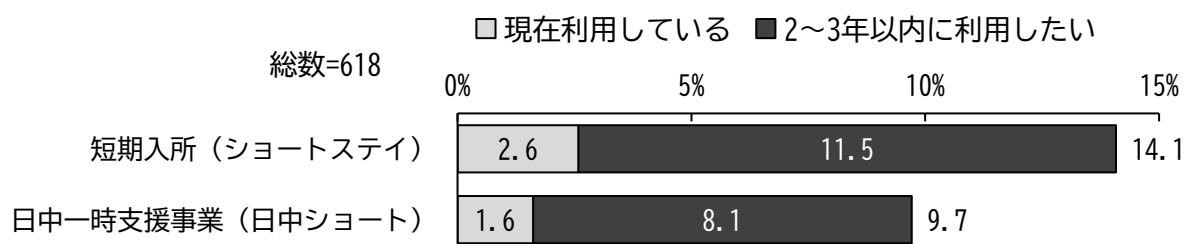
サービス名	サービスの内容
行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。
同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。
移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。
タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。

(4) 一時的な支援を行うサービス

◆短期入所のサービスの需要は14.1%

【全体】

- ・「現在利用している」は、短期入所（ショートステイ）が2.6%、日中一時支援事（日中ショート）が1.6%、「2～3年以内に利用したい」は、短期入所（ショートステイ）が11.5%、日中一時支援事（日中ショート）が8.1%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	短期入所 (ショートステイ)		日中一時支援事業 (日中ショート)	
		現在利用している	利用し たい 2～3 年以 内に	現在利用している	利用し たい 2～3 年以 内に
全体	618 100.0	16 2.6	71 11.5	10 1.6	50 8.1
身体障害	83 100.0	8 9.6	26 31.3	3 3.6	21 25.3
知的障害	203 100.0	11 5.4	52 25.6	9 4.4	32 15.8
精神障害	41 100.0	1 2.4	3 7.3	1 2.4	0 0.0
発達障害	163 100.0	5 3.1	13 8.0	4 2.5	9 5.5
難病・特定疾患	20 100.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	4 20.0
医療的ケア児	68 100.0	7 10.3	17 25.0	1 1.5	17 25.0
手帳・診断なし	220 100.0	0 0.0	2 0.9	0 0.0	2 0.9

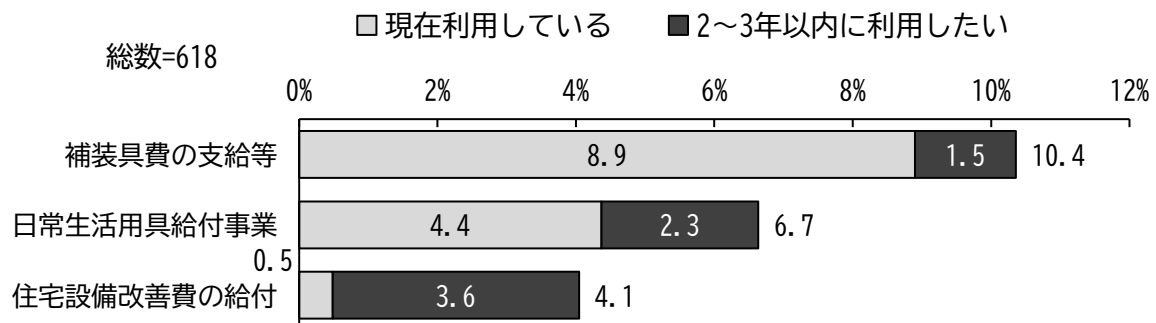
サービス名	サービスの内容
短期入所 (ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。
日中一時支援事業 (日中ショート)	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。

(5) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

◆補装具費の支給等のサービスの需要は10.4%

【全体】

- ・「現在利用している」は、補装具費の支給等が8.9%、日常生活用具給付事業が4.4%、住宅設備改善費の給付が0.5%、「2～3年以内に利用したい」は、補装具費の支給等が1.5%、日常生活用具給付事業が2.3%、住宅設備改善費の給付が3.6%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	補装具費の支給等		日常生活用具給付事業		住宅設備改善費の給付	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	618 100.0	55 8.9	9 1.5	27 4.4	14 2.3	3 0.5	22 3.6
身体障害	83 100.0	45 54.2	2 2.4	26 31.3	9 10.8	2 2.4	19 22.9
知的障害	203 100.0	26 12.8	6 3.0	9 4.4	7 3.4	2 1.0	8 3.9
精神障害	41 100.0	1 2.4	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0	1 2.4
発達障害	163 100.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0
難病・特定疾患	20 100.0	5 25.0	2 10.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0
医療的ケア児	68 100.0	31 45.6	2 2.9	21 30.9	3 4.4	1 1.5	11 16.2
手帳・診断なし	220 100.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

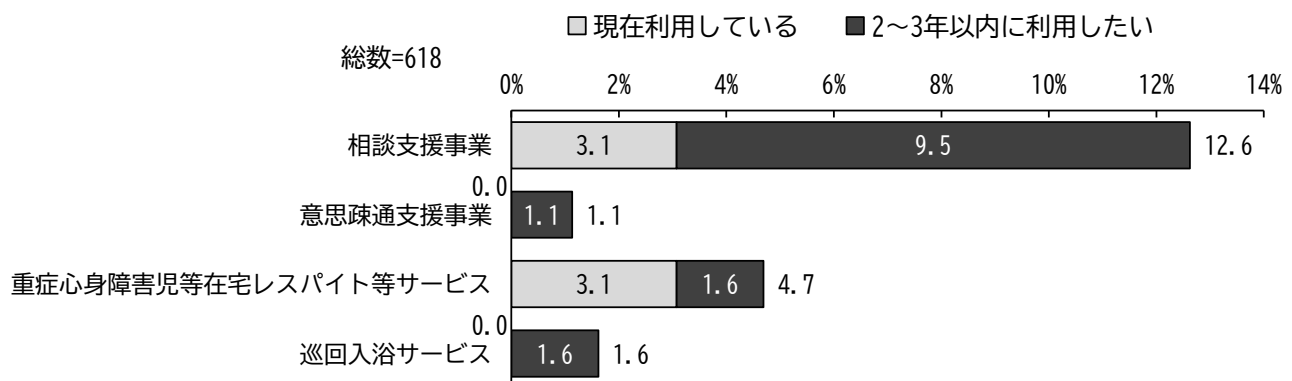
サービス名	サービスの内容
補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。
日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。
住宅設備改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。

(6) 日常生活のサービス

◆相談支援事業のサービスの需要は12.6%

【全体】

- ・「現在利用している」は、相談支援事業が3.1%、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが3.1%、「2～3年以内に利用したい」は、相談支援事業が9.5%、意思疎通支援事業が1.1%、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが1.6%、巡回入浴サービスが1.6%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	相談支援事業		意思疎通支援事業		重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス		巡回入浴サービス	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい	現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	618 100.0	19 3.1	59 9.5	0 0.0	7 1.1	19 3.1	10 1.6	0 0.0	10 1.6
身体障害	83 100.0	9 10.8	6 7.2	0 0.0	4 4.8	16 19.3	7 8.4	0 0.0	8 9.6
知的障害	203 100.0	9 4.4	31 15.3	0 0.0	5 2.5	7 3.4	6 3.0	0 0.0	5 2.5
精神障害	41 100.0	1 2.4	6 14.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0
発達障害	163 100.0	5 3.1	23 14.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病・特定疾患	20 100.0	1 5.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0
医療的ケア児	68 100.0	8 11.8	3 4.4	0 0.0	0 0.0	18 26.5	3 4.4	0 0.0	5 7.4
手帳・診断なし	220 100.0	4 1.8	9 4.1	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0

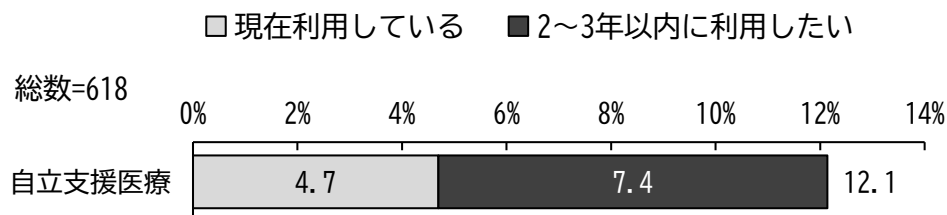
サービス名	サービスの内容
相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。
意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。
重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児（者）の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。
巡回入浴サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。

（7）医療に関する支援

◆自立支援医療のサービスの需要は12.1%

【全体】

- ・自立支援医療は、「現在利用している」が4.7%、「2～3年以内に利用したい」が7.4%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	自立支援医療	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい
全体	618 100.0	29 4.7	46 7.4
身体障害	83 100.0	4 4.8	8 9.6
知的障害	203 100.0	7 3.4	27 13.3
精神障害	41 100.0	24 58.5	2 4.9
発達障害	163 100.0	9 5.5	18 11.0
難病・特定疾患	20 100.0	0 0.0	3 15.0
医療的ケア児	68 100.0	3 4.4	6 8.8
手帳・診断なし	220 100.0	1 0.5	3 1.4

サービス名	サービスの内容
自立支援医療	障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院）を給付します。

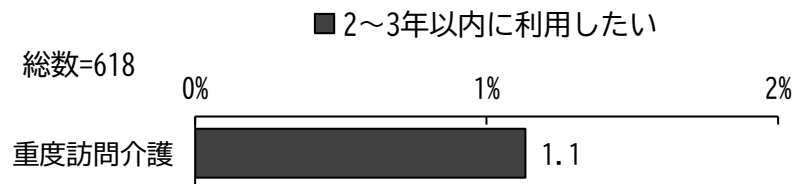
C 主に18歳以上の方が利用するサービス

(8) 自宅での生活を支援するサービス

◆重度訪問介護の利用意向は1.1%

【全体】

- ・重度訪問介護は「2～3年以内に利用したい」が1.1%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	重度訪問介護
		利用したい 2～3年以内に
全体	618 100.0	7 1.1
身体障害	83 100.0	4 4.8
知的障害	203 100.0	5 2.5
精神障害	41 100.0	0 0.0
発達障害	163 100.0	0 0.0
難病・特定疾患	20 100.0	0 0.0
医療的ケア児	68 100.0	3 4.4
手帳・診断なし	220 100.0	0 0.0

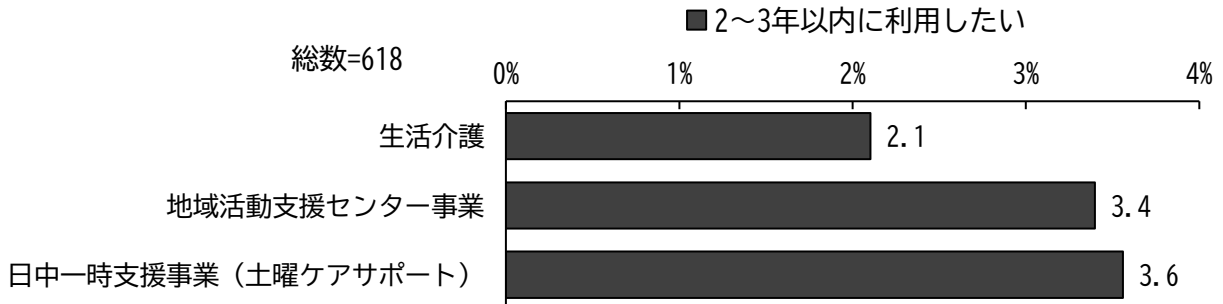
サービス名	サービスの内容
重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。

(9) 日中の活動を支援するサービス

◆日中一時支援事業（土曜ケアサポート）の利用意向は3.6%

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、生活介護が2.1%、地域活動支援センター事業が3.4%、日中一時支援事業（土曜ケアサポート）が3.6%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	生活介護	地域活動支援センター事業	日中一時支援事業（土曜ケアサポート）
		利用したい 2～3年以内に	利用したい 2～3年以内に	利用したい 2～3年以内に
全体	618 100.0	13 2.1	21 3.4	22 3.6
身体障害	83 100.0	7 8.4	8 9.6	9 10.8
知的障害	203 100.0	9 4.4	16 7.9	17 8.4
精神障害	41 100.0	2 4.9	2 4.9	2 4.9
発達障害	163 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6
難病・特定疾患	20 100.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0
医療的ケア児	68 100.0	6 8.8	7 10.3	7 10.3
手帳・診断なし	220 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

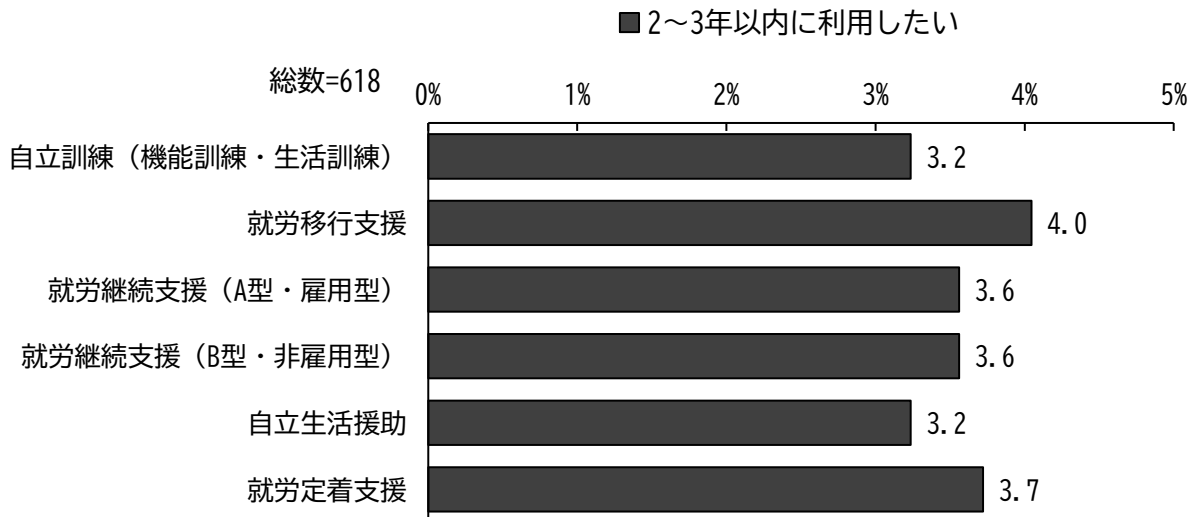
サービス名	サービスの内容
生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。
地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。
日中一時支援事業（土曜ケアサポート）	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。

(10) 自立や就労を支援するサービス

◆就労移行支援の利用意向は 4.0%

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、自立訓練（機能訓練・生活訓練）が3.2%、就労移行支援が4.0%、就労継続支援（A型・雇成型）が3.6%、就労継続支援（B型・非雇成型）が3.6%、自立生活援助が3.2%、就労定着支援が3.7%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・雇成型）	就労継続支援（B型・非雇成型）	自立生活援助	就労定着支援
		利用し たい 2 ～ 3 年 以 内 に	利用し たい 2 ～ 3 年 以 内 に	利用し たい 2 ～ 3 年 以 内 に	利用し たい 2 ～ 3 年 以 内 に	利用し たい 2 ～ 3 年 以 内 に	利用し たい 2 ～ 3 年 以 内 に
全体	618 100.0	20 3.2	25 4.0	22 3.6	22 3.6	20 3.2	23 3.7
身体障害	83 100.0	5 6.0	3 3.6	4 4.8	5 6.0	5 6.0	3 3.6
知的障害	203 100.0	14 6.9	21 10.3	17 8.4	19 9.4	16 7.9	16 7.9
精神障害	41 100.0	3 7.3	3 7.3	2 4.9	2 4.9	2 4.9	3 7.3
発達障害	163 100.0	2 1.2	9 5.5	5 3.1	6 3.7	1 0.6	6 3.7
難病・特定疾患	20 100.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0
医療的ケア児	68 100.0	4 5.9	1 1.5	1 1.5	3 4.4	4 5.9	2 2.9
手帳・診断なし	220 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	2 0.9

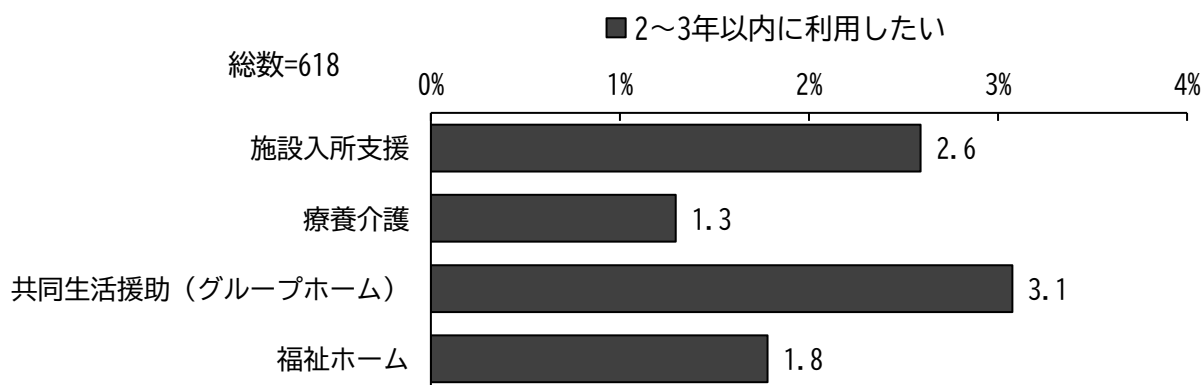
サービス名	サービスの内容
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。
就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。
就労継続支援 (A型・雇車型)	障害者に雇型の就労や生産活動の機会を提供します。
就労継続支援 (B型・非雇車型)	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。
自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。
就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。

(11) 住まいの場・住まいに関するサービス

◆共同生活援助（グループホーム）の利用意向は 3.1%

【全体】

- ・「2～3年以内に利用したい」は、施設入所支援が2.6%、療養介護が1.3%、共同生活援助（グループホーム）が3.1%、福祉ホームが1.8%となっています。



【障害別】

上段：人 下段：%	全体	施設入所支援	療養介護	共同生活援助 (グループホーム)	福祉ホーム
		利用したい 2～3年以内に	利用したい 2～3年以内に	利用したい 2～3年以内に	利用したい 2～3年以内に
全体	618 100.0	16 2.6	8 1.3	19 3.1	11 1.8
身体障害	83 100.0	8 9.6	4 4.8	4 4.8	2 2.4
知的障害	203 100.0	14 6.9	4 2.0	15 7.4	9 4.4
精神障害	41 100.0	1 2.4	0 0.0	4 9.8	2 4.9
発達障害	163 100.0	0 0.0	0 0.0	4 2.5	1 0.6
難病・特定疾患	20 100.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0
医療的ケア児	68 100.0	5 7.4	4 5.9	1 1.5	1 1.5
手帳・診断なし	220 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

サービス名	サービスの内容
施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。
療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。
共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。
福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。

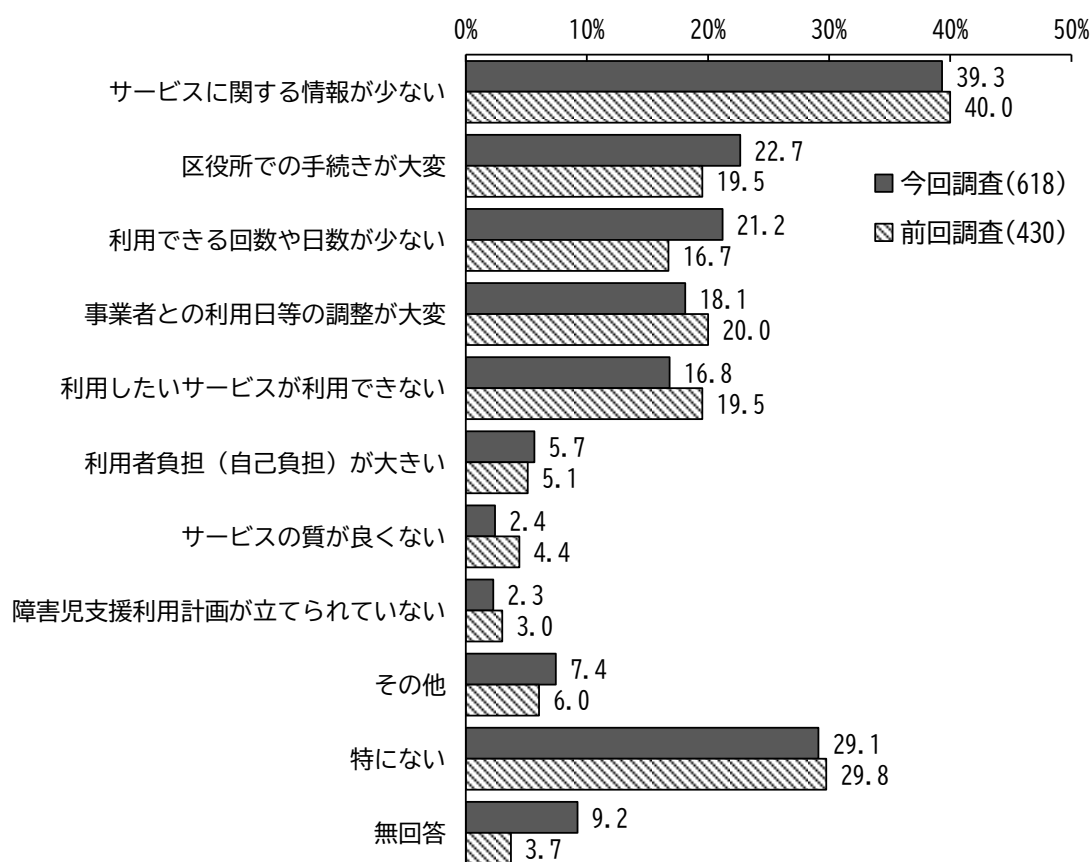
(12) サービス利用に関して困っていること

◆「サービスに関する情報が少ない」が39.3%

【全体】

- ・「サービスに関する情報が少ない」が39.3%で最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が22.7%、「利用できる回数や日数が少ない」が21.2%などとなっています。「特にない」は29.1%です。

問31 お子さんのサービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・医療的ケア児で「事業者との利用日等の調整が大変」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
サービスに関する情報が少ない	50.6	51.7	43.9	42.9	40.0	33.8	28.2
区役所での手続きが大変	31.3	27.1	24.4	25.2	30.0	20.6	18.2
利用できる回数や日数が少ない	24.1	21.2	7.3	23.3	20.0	27.9	20.9
事業者との利用日等の調整が大変	28.9	27.1	12.2	17.8	10.0	35.3	11.8
サービスの質が良くない	6.0	5.9	2.4	4.9	5.0	2.9	0.0
利用したいサービスが利用できない	20.5	26.6	9.8	20.9	25.0	25.0	8.2
障害児支援利用計画が立てられていない	4.8	4.4	2.4	3.7	5.0	1.5	0.9
利用者負担（自己負担）が大きい	8.4	7.4	2.4	6.7	5.0	11.8	4.1
その他	8.4	8.4	7.3	7.4	10.0	13.2	6.4
特になし	15.7	17.7	34.1	27.6	30.0	17.6	36.4
無回答	8.4	7.9	9.8	9.2	10.0	5.9	11.8

(13) サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成状況

◆「家族や支援者とセルフプランを作成している」が81.2%

【全体】

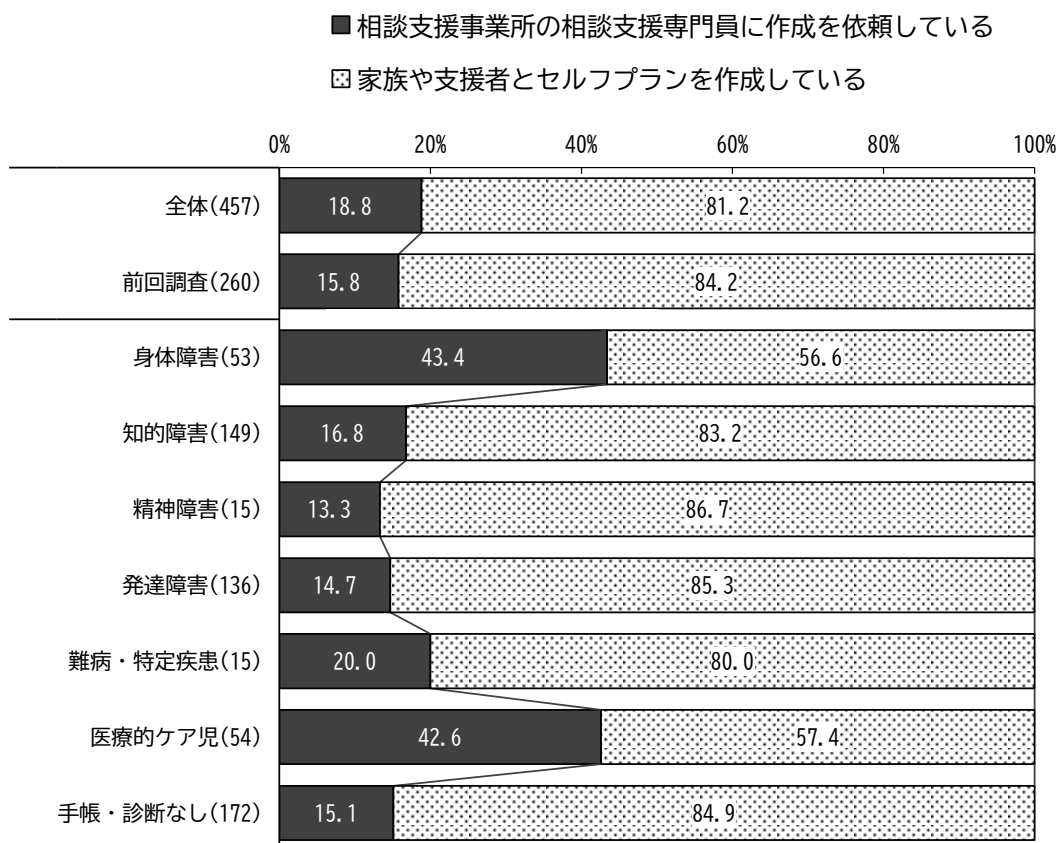
- ・「家族や支援者とセルフプランを作成している」が81.2%、「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が18.8%となっています。

【障害別】

- ・身体障害と医療的ケア児で「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が比較的多くなっています。

問 32 【障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方にお聞きします。】

サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、現状を教えてください。(○はひとつ)



※無回答を除いた集計

(14) 利用者負担の負担感

◆「あまり負担に感じない」が33.7%

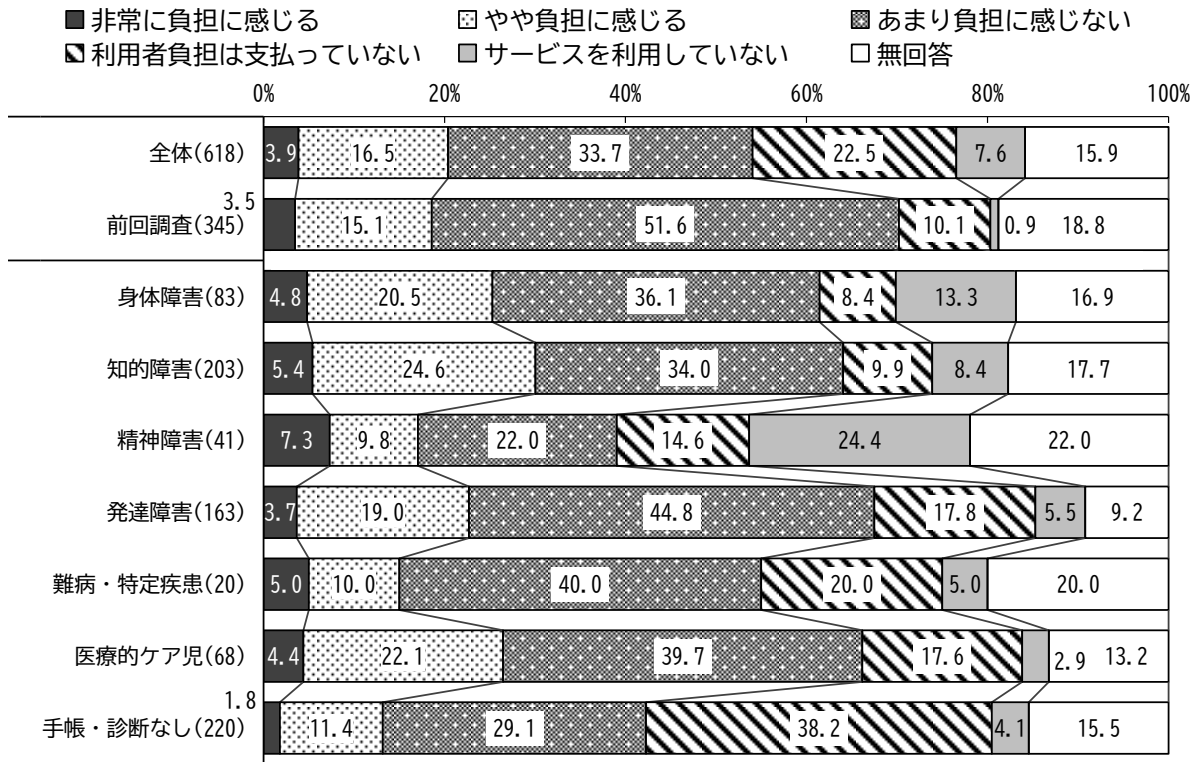
【全体】

・「あまり負担に感じない」が33.7%で最も多く、次いで「利用者負担は支払っていない」が22.5%、「やや負担に感じる」が16.5%などとなっています。

【障害別】

・精神障害で「非常に負担に感じる」が他と比較して多くなっています。

問33 あなたは、サービスの利用者負担（自己負担）をどのように感じていますか。（○はひとつ）



7 災害対策について

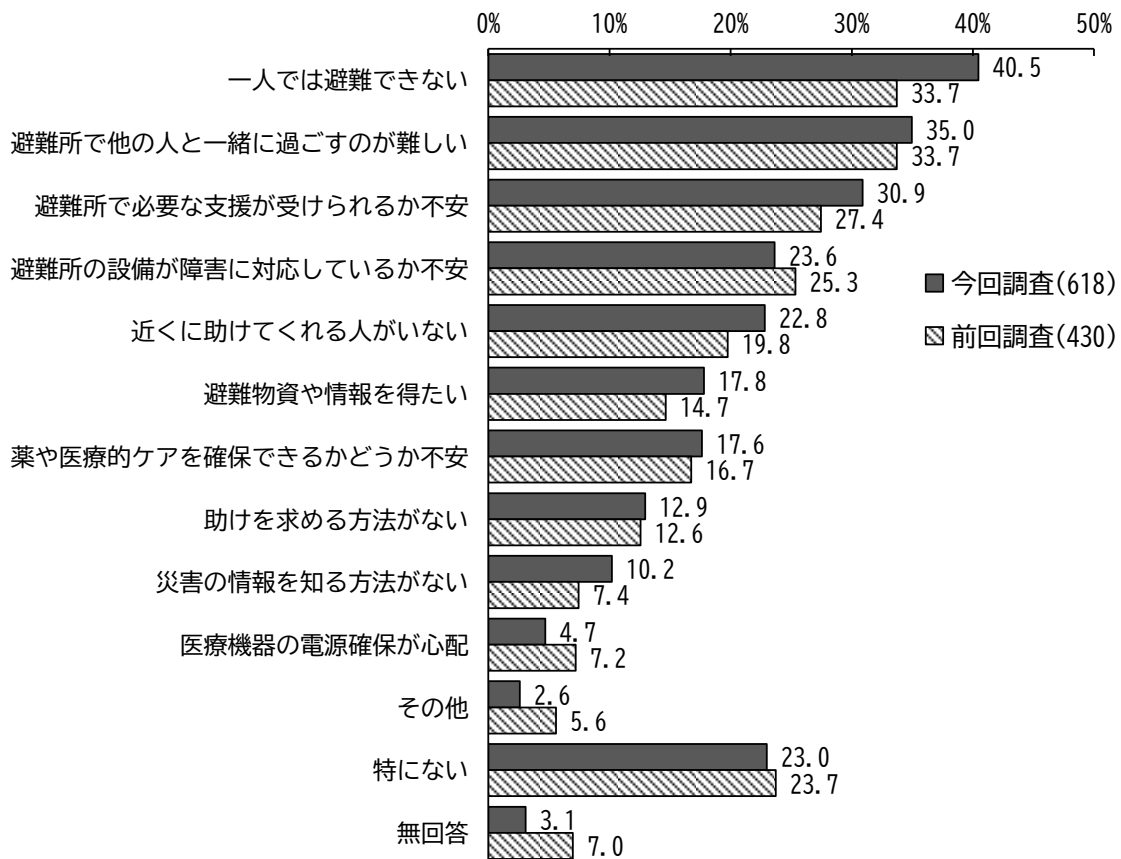
(1) 災害が発生したときに困ること

◆「一人では避難できない」が40.5%

【全体】

- ・「一人では避難できない」が40.5%で最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が35.0%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が30.9%などとなっています。「特にない」は23.0%です。

問34 お子さんやご家族の方が、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)



【障害別】

- ・精神障害で「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が多くなっています。また、医療的ケア児では「一人では避難できない」に次いで「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
災害の情報を知らない	12.0	14.8	12.2	11.7	10.0	13.2	7.7
助けを求める方法がない	18.1	22.7	12.2	16.0	20.0	14.7	7.3
近くに助けてくれる人がいない	27.7	31.5	17.1	28.8	30.0	29.4	16.8
一人では避難できない	69.9	61.6	26.8	43.6	45.0	66.2	22.3
避難所の設備が障害に対応しているか不安	50.6	40.9	17.1	27.0	45.0	48.5	8.2
避難所で必要な支援が受けられるか不安	61.4	48.3	31.7	33.1	40.0	50.0	14.5
避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	47.0	49.3	46.3	42.9	40.0	39.7	21.4
薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	57.8	23.2	22.0	14.7	55.0	64.7	6.4
医療機器の電源確保が心配	16.9	4.4	4.9	1.2	20.0	26.5	2.7
避難物資や情報を得たい	25.3	24.1	17.1	15.3	15.0	23.5	13.2
その他	2.4	2.5	2.4	1.8	0.0	1.5	3.2
特になし	6.0	6.9	24.4	21.5	20.0	5.9	37.7
無回答	0.0	2.5	0.0	1.8	5.0	1.5	5.0

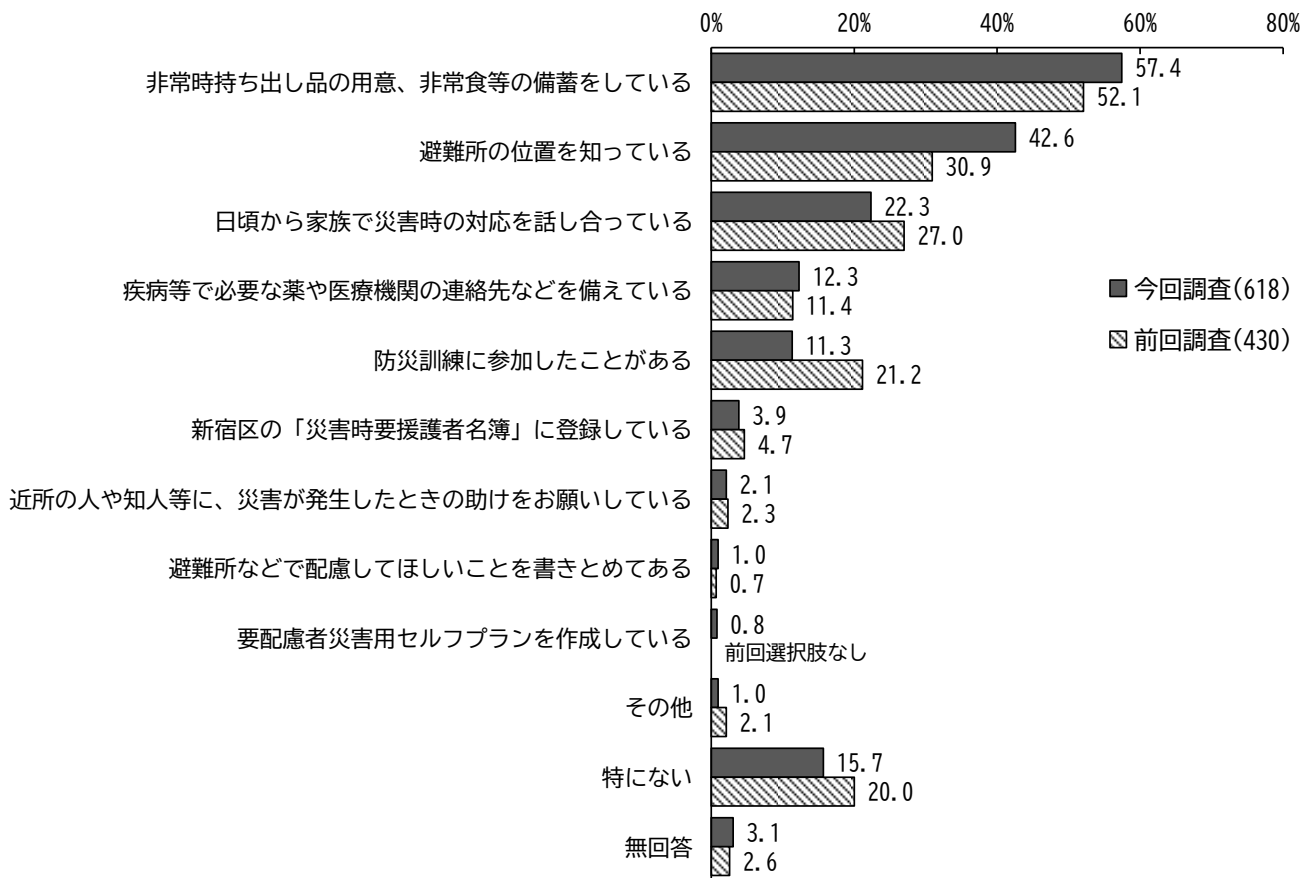
(2) 災害に対して備えていること

◆「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が57.4%

【全体】

- ・「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が57.4%で最も多く、次いで「避難所の位置を知っている」が42.6%、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が22.3%などとなっています。「特にない」は15.7%です。

問 35 お子さんやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)



※「避難所の位置を知っている」は、前回「避難所の位置を知っている、行ったことがある」

※「要配慮者災害用セルフプランを作成している」は前回選択肢なし

【障害別】

単位：％、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	26.5	21.7	36.6	22.7	40.0	26.5	16.8
非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている	56.6	56.7	56.1	65.6	65.0	64.7	56.8
疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	38.6	15.3	12.2	5.5	30.0	39.7	5.9
近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	4.8	3.4	0.0	1.8	5.0	4.4	0.9
新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している	20.5	5.9	2.4	0.6	15.0	23.5	0.5
避難所の位置を知っている	41.0	44.3	46.3	37.4	20.0	48.5	42.7
避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある	2.4	2.0	0.0	1.2	5.0	2.9	0.5
防災訓練に参加したことがある	9.6	13.3	12.2	12.9	5.0	14.7	8.6
要配慮者災害用セルフプランを作成している	4.8	0.5	0.0	0.0	5.0	7.4	0.5
その他	2.4	2.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.5
特になし	20.5	13.8	14.6	11.7	20.0	10.3	16.8
無回答	0.0	3.4	0.0	3.1	5.0	0.0	3.2

8 新型コロナウイルス感染症の影響について

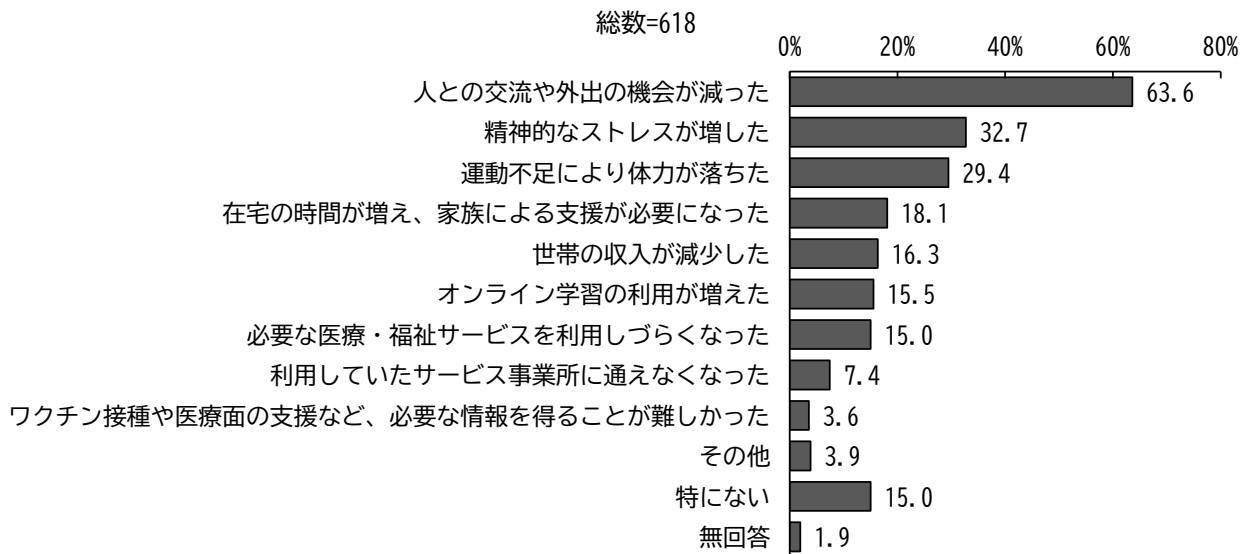
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

◆「人との交流や外出の機会が減った」が63.6%

【全体】

- ・「人との交流や外出の機会が減った」が63.6%で最も多く、次いで「精神的なストレスが増した」が32.7%、「運動不足により体力が落ちた」が29.4%などとなっています。

問36 新型コロナウイルス感染症により、お子さんにどのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)



【障害別】

単位：%、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診手帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
人との交流や外出の機会が減った	63.9	65.5	75.6	70.6	70.0	57.4	58.2
運動不足により体力が落ちた	33.7	31.5	46.3	38.0	30.0	25.0	20.5
精神的なストレスが増した	30.1	35.5	61.0	43.6	30.0	26.5	25.0
ワクチン接種や医療面の支援など、必要な情報を得ることが難しかった	6.0	4.9	7.3	2.5	10.0	2.9	2.3
必要な医療・福祉サービスを利用しづらくなった	24.1	23.2	9.8	16.0	15.0	27.9	8.2
オンライン学習の利用が増えた	27.7	12.8	29.3	16.0	20.0	25.0	10.9
世帯の収入が減少した	21.7	19.2	17.1	18.4	30.0	20.6	11.4
利用していたサービス事業所に通えなくなった	16.9	13.8	4.9	6.1	10.0	19.1	2.7
在宅の時間が増え、家族による支援が必要になった	31.3	30.5	19.5	21.5	15.0	26.5	6.8
その他	4.8	3.4	0.0	4.3	5.0	8.8	4.5
特になし	12.0	10.8	9.8	10.4	20.0	11.8	22.3
無回答	1.2	1.0	0.0	0.6	0.0	1.5	3.2

(2) 新型コロナウイルス感染症に感染して困ったこと

◆多く寄せられた意見等は「外出制限、自宅待機で心身ともにストレス」「家庭内隔離が困難」「家事や介助が困難」など

問 37 新型コロナウイルス感染症にお子さんや家族が感染した方に伺います。どのようなことに困りましたか。

【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

外出制限、自宅待機で心身ともにストレス
体力が有り余って、暇すぎて時間を潰すのに困った。(家族全員でかかったが、2～3日で回復(軽度)した為10日間家にいてもやる事がなかった。)
家から出られない事が理解出来ずストレスとなり、かんしゃくが酷かった。仕方なく家で遊べる玩具を購入し、出費に困った。
不安が強い子なので感染しても通院せず、自然治癒するまで自宅にいた(もし、自分が感染したと知ったら祖父の様に死ぬとパニックになるため)。
本人が元気になっても家族の体調がまだ戻らないと外に出ることが出来ず、元気なのに何日も家に閉じ込めてもてあましているのが気の毒でした。その影響なのか、その後幼稚園で喋らなくなってしまいました。
学校の対応が厳しく、登校まで通常より時間がかかり負担が大きかった。
障害児が家で遊べる事が少ないため、かんしゃくがかなり増え、本人も家族もかなりストレスがあった。2日に1回少しでも外出できたら大変ありがたい。
家族が次々に罹患し、一番最初に感染した父のみホテル療養となってしまった為、唯一元気な3歳児の外出などができない事が大変だった。
外出できないことによる子供のストレス・きょうだい児への他害行動
発症から3～4日経過し、病状が回復すると元気に部屋を動き回り、その対応が大変だった。年の離れた弟が、本人にぶつかり数針縫うけがをしてしまった。
自宅で療養した際に下の階の住人から騒音の苦情が入った。
母子ともに感染しましたが、幸い軽度だったのですが、自宅療養期間の子供の体力やストレスの発散に困りました。 (騒音を立てる常同行動があるので、近所迷惑にならないか等、親の心の負担もありました。)
2週間隔離になりましたが、本人は元気で外に出たくてイライラ暴れたりしていました。
外に出られず、ストレスがたまり兄妹間でのケンカが増えた。
子供が外出できないことを理解できなかった為、かんしゃくが増えて困った。
自宅待機期間に、家庭内でストレスを発散させることが大変だった。同じ部屋のなかに、在宅勤務とオンライン授業と、未就学児がおり、音に気を遣った。

家庭内隔離が困難

子供が感染した時、世帯内隔離が実質不可能でした。親も感染を覚悟し日々生活しました。

家庭内隔離が困難
<p>家族がかかったが、持病がある障害児（子）にうつったら、重症化するのではないかと、不安が大きかった。マスクをつけるのが困難だった。</p>
<p>子供の方が先に感染し、両親が後から感染したため大変だった。病児保育について、感染を広げないためには、休止はやむを得ないと思う。保育士さんは、子育て世代が多く、とにかく、無理をさせないで欲しい。</p>
<p>子供だけが感染したため、自宅内で食事や入浴、寝室を分けたり、除菌を徹底することを心がけた結果、本人の不安感が強くなり、身体中に湿疹が出たり、体調がしばらく不安定になってしまった事。</p>
<p>親子共に感染しましたが、子の回復が早かったため、その相手をするのがとても大変でした。また、隔離生活が非常に困難で10日間も外に出られないストレスが親子共に辛かったです。コロナの症状よりも隔離が大変でした。</p>
<p>家族の1人が感染したがホテル療養を望まず自宅にて療養した際、部屋数が少なく、障害児（感染症にかかりやすい）を完全に感染者から隔離できず生きた心地がしなかった。</p>
<p>感染隔離は不可能。3食用意するのが大変。支援の食品では子供が食べられるものが少なく、自分も体調悪いのに調理しなければならなかった。きょうだいも元気で状況が理解できず、部屋もわけられないため、ゆっくり休ませてあげられなかった。病院受診も断られ困りました。</p>

家事や介助が困難
<p>食事・掃除・洗濯等、軽症だった父は仕事（単身で事務所）に行ってしまう日常生活はほとんど全て母が動かなければならず、大変すぎて記憶が薄い。</p>
<p>家族が感染し、難病の子供にうつさないようにするのが大変でした。食料が段ボール2つ届き、大変な時に助かりましたが、病人の食事ではなかったです。感染し、病院にたくさん電話しましたが、診察してもらえませんでした。診察可能でも薬局が不可もあり、とても大変でした。</p>
<p>本人以外家族が感染して濃厚接触者になり、通学ができなくなり家で1日中過ごした期間が2週間あり、誰にも預けられず感染して苦しい間も世話をしなければいけないことに困った。</p>
<p>両親共に感染し、子供を預けることもできず、体調不良のまま必死に子供の世話をしました。きょうだいもですが、特に障害のある娘はハイリスクなため、うつらないか心配でした。</p>
<p>オンライン授業がないため家族（母親）がつきっきりで面倒をみることになる。私自身（母親）が体調が悪くても頼れる人がなく大変だった。</p>
<p>子供から親へ感染が広がり、家事がだるくて出来ず食事の支度も辛かったです。同居の義理両親は高齢なので、2週間会わずに生活しました。2週間誰にも頼れないのは心細く、独りで抱え込むので本当に辛かったです。もう二度と繰り返したくありません。</p>
<p>大人だけ起き上がれず子供は元気だったため、症状がひどいタイミングで面倒をみるのが困難だった。</p>

食料調達、日用品の確保が困難

食料支援を依頼し、2～3日で届くと言われたのに、療養期間が終わってから届いた。待っている間不安だった。3ヶ月位は不調が続いた。保険の申請や会社や学校への連絡がたくさんあってとてもバタバタしました。

買い出し。食べられる物が少ないので、都から頂いた食料では、本人の食べられるものがない。

家族全員感染した。大人の食事などはなんとかやっていたが、子供の食事の準備が大変だった。

食事の買い出しに行けなくネットスーパーを利用したが、高い商品が多く、出費がかさんだ。

食料支援があっても、状態によっては食べられない。食料もありがたいですが、日用品を少しでも支援して頂きたいと思う程困ってました。

子供は特定のものしか食べられないのに、食糧を買いに行けなかった。

福祉サービスの利用が困難

ヘルパーさんが訪問不可になったこと。家庭内隔離が難しく家族4人中3人がかかった。

そのため待機期間と療養期間が3週間と長くなり、ヘルパー訪問が全く無く在宅生活に限界を感じた。

新型コロナウイルス感染時、褥瘡も煩っており、毎日のケアが必要だったが、居宅訪問型児童発達支援の看護師派遣は全てストップし、訪問看護をお願いしている事業所2ヶ所の内1ヶ所もストップした。往診ドクターともう1ヶ所の看護事業所と具合の悪い家族がケアをするしかなくなり困った。

一人でも家族の中で感染者がいると保育園の通園もできず、すべての療育支援を受けることができず、仕事もできない期間が2週間以上あり、生活全般が絶望的になる。

自宅隔離期間が解除されるまで、一切の支援サービスを受けることができず、親も体調不良の中子どもの看病をすることが心身ともに非常に負担に感じた。

医療機関の受診が困難

初めての子供、初めての病気で何がどの程度悪い場合病院に行っているのか、救急になるのか分からず、戸惑いました（子供が自ら病状を説明出来ない為）。

また私自身が罹患した際の子供のお世話が大変でした。

PCR検査や通院で待つ際に体調も悪く大変だった。きょうだいで感染したが、保護者一人で付添と言われ、障害があることを伝えても変えてくれずに一人で連れて行く事が大変だった。

診察してもらえる病院がなくて自宅で漢方を飲んで対応した。

熱は高かったが、意識はあったので良かったが、もっとひどい状態だったらと思うと怖かった。食事が摂れなかったので栄養ゼリー等買いに行きたかったが、行かれなくて大変でした。

夜驚症（発達障害）による発作か、熱痙攣かが分からず、クリニックに電話で問合せしたり、発熱外来に電話をした。結局何かわからず、落ち着く（目覚めさせて）のを見守るのみでした。

本人が感染し急に初めて単独で入院し、ベッドから動くことも出来ずストレスが大きかった。月日が経ってもその時の入院を思い出すと辛くなる様子。自宅待機期間後も、ヘルパーさん等が感染した人の家に訪問するのが不安なのではないかと、サービスの再開がなかなか出来なかった。

入院関連
子供の1人が入院を勧められましたが、もう1人の子供がいるため、入院はできず点滴を打ちに行く事になった。入院と判断されるまでに時間を要した。
待機期間明け直後に子供が入院することになったが、陽性の為に付添入院ができずに、子供のみ入院となった。意思疎通が図れない為不安だった。
待機期間明けにも関わらず、家族最後の感染者の待機期間明けまで登校できずに親の出勤が出来なかった。
いつもの病院に入院させられなかった。

仕事に支障が出た
学校で感染が広がり、何度も濃厚接触による急な学校への迎えや自宅待機があったことで保護者の仕事に影響があったこと、本人の通院が出来なくなったこと。
3日分程の備蓄をしていたが、家族全員濃厚となり、長期間買い物に出られなかったこと。
学校休校による在宅支援、職場理解がなく、子連れ出勤となった。パワハラも受けた。介護支援や福祉支援を該当者だけでなく、周囲にも認知されないと家族の精神負担が大きい。

その他
一般の方と変わらない対応を受けたので（通院予約できず、自宅で様子見）、障害がある方へのサポートを手厚くしてくれても良いと思った。軽症で済んだので問題なかったが、心疾病などあり、要配慮でも全く通常の対応をされたので。
自粛して自宅療養と隔離をしたので、医師からの診察無しで保健所への届け出がなかったため、保険金が貰えなかった。
子供が感染しました。重い症状ではなく自宅待機だったので、親自身が看護できたので本人のストレスや親の不安は少なく済みましたが、小学高学年の息子がもし、ホテルで1人で療養になった場合、本人がパニック起こしたり不安になったりしないか？親も同行できるのか？等、心配になりました。
子どもはマスクの着用を嫌がり、外出先でも気を使いました。病院でも、3歳以上の子どもはマスクをつけていないと入れません、と言われ困りました。家族で感染した時も、家の中でマスクは難しかったので、あきらめました。

9 権利擁護について

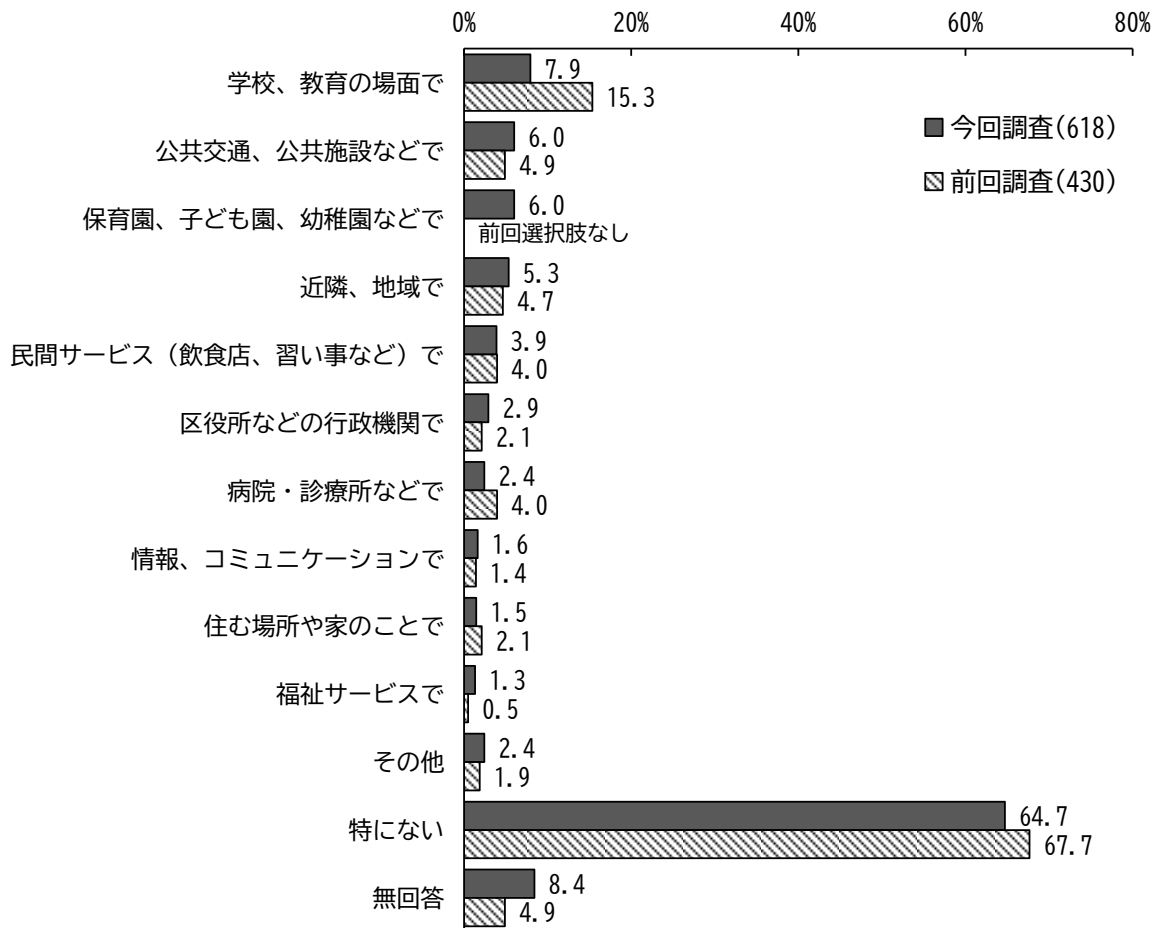
(1) 差別と感ずる取扱いを受けた経験

◆「学校、教育の場面で」が7.9%

【全体】

- ・「学校、教育の場面で」が7.9%で最も多く、次いで「公共交通、公共施設などで」「保育園、子ども園、幼稚園などで」が6.0%、「近隣、地域で」が5.3%などとなっています。「特になし」は64.7%です。

問 38 あなたのお子さんは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感ずる取扱いを受けた経験がありますか。
あてはまる場面の番号に○をし、具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)



※「保育園、子ども園、幼稚園などで」は前回選択肢なし

【障害別】

単位：％、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難 定病・ 疾患	医療的 ケア児	手帳 断 なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
区役所などの行政機関で	8.4	3.4	0.0	1.8	20.0	11.8	1.4
公共交通、公共施設などで	8.4	10.3	4.9	6.1	20.0	10.3	2.7
保育園、子ども園、幼稚園などで	7.2	3.9	4.9	6.1	5.0	10.3	5.9
学校、教育の場面で	7.2	7.4	9.8	14.1	0.0	4.4	4.1
病院・診療所などで	2.4	3.4	0.0	1.8	5.0	4.4	1.8
民間サービス（飲食店、習い事など）で	3.6	5.9	4.9	4.3	10.0	5.9	2.7
福祉サービスで	1.2	2.0	0.0	2.5	5.0	2.9	0.5
住む場所や家のことで	2.4	3.0	2.4	3.1	0.0	2.9	0.0
情報、コミュニケーションで	1.2	3.4	2.4	3.7	0.0	1.5	0.0
近隣、地域で	2.4	8.4	7.3	8.0	0.0	1.5	3.6
その他	6.0	2.0	4.9	3.1	0.0	4.4	1.8
特になし	59.0	59.1	68.3	57.7	50.0	51.5	74.5
無回答	8.4	9.9	4.9	9.8	20.0	14.7	6.4

【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
保育園に通いたくても通う事が出来なかった事。医療的ケアがあった為。	内部障害	男性・5歳
土曜日勤務に変更を考えた際に相談したが、加配である息子の預かりは出来ないと言われました。普段から一生懸命見て下さっているのに逆にそれ以上頼む事が出来ず、金曜日（会社は土曜日勤務に変更してもOKでしたが）の療育の為に欠勤しています（時々）。	知的障害、発達障害	男性・3歳
差別ではないが、特性が有りそうと念のため伝えた事が原因で対応出来るか分からないと言われた（経験がないという理由でした）。伝えるべきか迷う事が多い。知識がない人に偏見を持たれる。	手帳・診断なし	男性・3歳
普通の地域の学校に支援を受けながら通える様にして欲しい。	知的障害、肢体不自由	女性・6歳
賃貸住宅を探している時、仲介の不動産屋さんにご子供の障害のことを伝えたと、賃貸は難しいと言われた。	知的障害	男性・17歳
過敏があり、マスクがつけられず入場を断られる。未就園児でもマスクをつける努力義務があった時代。	知的障害	女性・4歳
声を出したり、じっとしてられない特性があるのですが、バスの中で触るな、こっちに来るなど言われた。	知的障害	男性・10歳
耳鼻科で診察する際、怖がってパニック状態の息子を見て、あきらめられた。歩み寄りがない場面は壁を感じます。	知的障害	男性・7歳
とある私立幼稚園で、加配が該当学年がすでに枠いっぱい、となっているため受け入れられないと言われた。	発達障害	女性・4歳
外出時、強いかんしゃくを出してしまうことがあり、周りから嫌な顔をされることが多い。	手帳・診断なし	男性・3歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
自閉症スペクトラムのことを話すと、入塾を拒否された幼稚園受験施設があった。入塾拒否の詳細な理由は不明だが、おそらくそれが原因の様な気がした。	精神障害	男性・6歳
コロナ禍により、子供がずっとはマスクを付けてられないことで受けたサービスが断られたりしたことが何度かある。	手帳・診断なし	男性・3歳

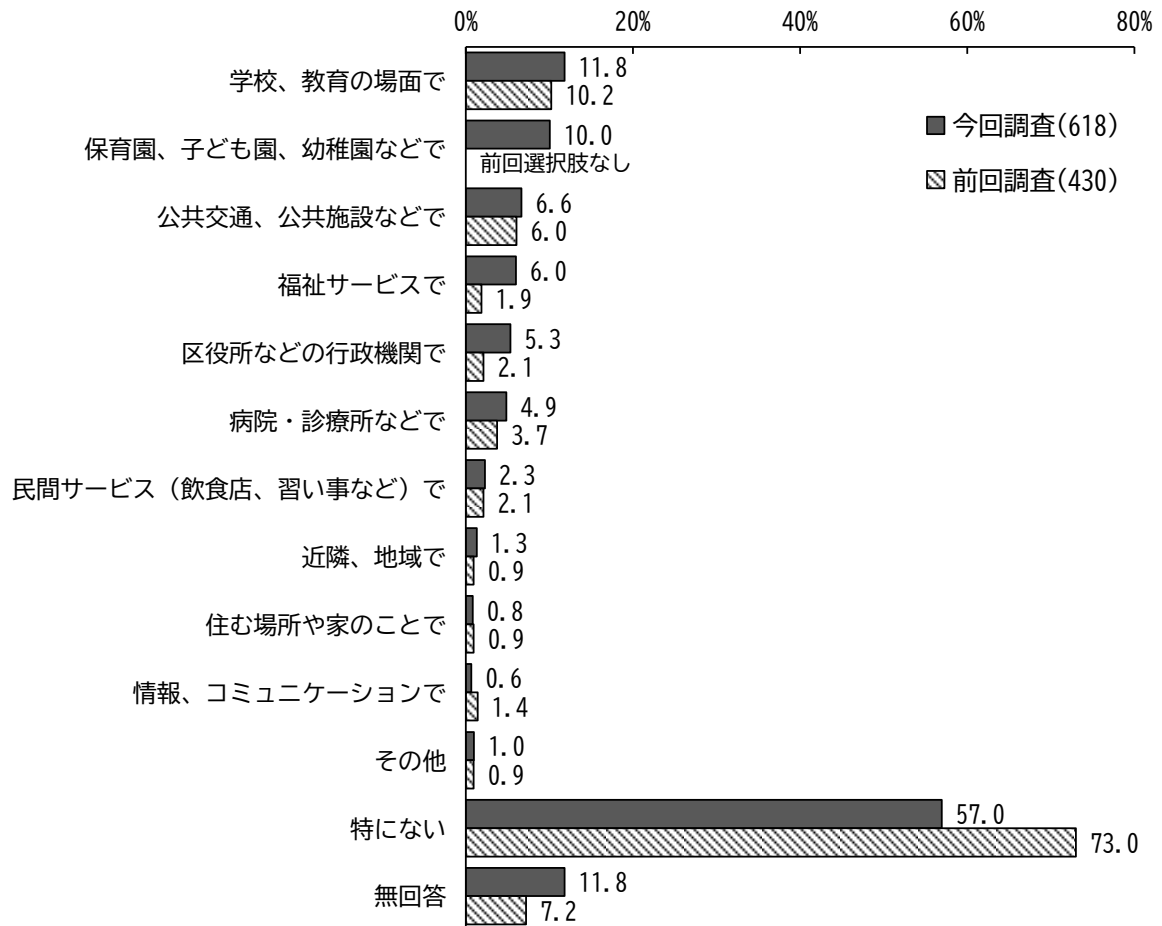
(2) 配慮があって助かったこと

◆「学校、教育の場面で」が11.8%

【全体】

- ・「学校、教育の場面で」が11.8%で最も多く、次いで「保育園、子ども園、幼稚園などで」が10.0%、「公共交通、公共施設などで」が6.6%などとなっています。「特にない」は57.0%です。

問 39 障害者差別解消法と関連して、障害などへの配慮として良いと思ったこと、配慮があって助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号に○をし、具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)



※「保育園、子ども園、幼稚園などで」は前回選択肢なし

【障害別】

- ・身体障害と医療的ケア児で「公共交通、公共施設などで」「区役所などの行政機関で」、精神障害と発達障害で「学校、教育の場面で」がやや多くなっています。

単位：％、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	手帳・診断なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
区役所などの行政機関で	14.5	6.4	0.0	3.7	5.0	19.1	2.7
公共交通、公共施設などで	25.3	10.3	0.0	4.9	15.0	22.1	1.8
保育園、子ども園、幼稚園などで	7.2	5.9	0.0	12.9	5.0	10.3	12.7
学校、教育の場面で	8.4	9.4	17.1	20.2	15.0	13.2	7.7
病院・診療所などで	10.8	4.9	2.4	5.5	10.0	11.8	2.3
民間サービス（飲食店、習い事など）で	4.8	2.5	0.0	2.5	0.0	5.9	1.4
福祉サービスで	7.2	5.9	2.4	7.4	5.0	8.8	5.5
住む場所や家のことで	1.2	2.0	4.9	1.8	5.0	0.0	0.0
情報、コミュニケーションで	1.2	0.5	0.0	1.2	0.0	1.5	0.0
近隣、地域で	2.4	2.5	2.4	2.5	0.0	1.5	0.0
その他	0.0	2.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.9
特にない	50.6	55.2	68.3	46.6	45.0	42.6	66.8
無回答	10.8	12.3	9.8	11.0	15.0	13.2	10.5

【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
幼稚園で加配が付き、充実した園生活が送れた。	発達障害	男性・5歳
学校での支援に助けられている。	手帳・診断なし	男性・6歳
運動会など、参加するのが難しい行事でも、出来ることだけでいいと言っただけで、自由に参加したりしなかったりさせて頂いた事。	手帳・診断なし	女性・5歳
一人で落ち着ける場所を確保して頂いた。	発達障害	男性・7歳
あいあいに行く事で保育園に子供の特性が伝わりやすくなったと思う。	手帳・診断なし	男性・6歳
子ども園の先生が個別に相談に親身になって乗ってくれた。	手帳・診断なし	男性・3歳
コロナの中でも、放課後等デイサービス事業は継続して利用出来たことには本当にありがたく感謝しています。親子共にストレスが軽減され心身共にすこやかに過ごせました。	知的障害	男性・13歳
学校の先生は理解ある方もいる。先生によってではなく学校全ての先生で温度差がなくなると良い。	手帳・診断なし	男性・7歳
合理的配慮として、字幕がふられている画像や映像が増えたと思います。耳から受け取れる情報が限られているため、もっと選択できるようになると助かるなど思っています。	発達障害	男性・9歳
学校、先生方が理解して頂けることが増えた気がします。	手帳・診断なし	男性・11歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
学童の先生に子供の状況を説明し協力をお願いしたところ、快く対応してくださった。	手帳・診断なし	男性・9歳
何度も全校集会等で、話を先生方が子供達にしてくださり、4年生になってからは学校内での問題は減りました。	精神障害、発達障害	男性・9歳
障害者・児・家族の声を聞いて下さり、改善されていくケースが増えた。	肢体不自由	女性・6歳
車いす利用なので電車移動の時に、ホームと電車の間が狭い所や、エレベーターが増えているなど感じる。	難病・特定疾患、肢体不自由	女性・5歳
現在通っている学校で先生達には感謝しかない程、配慮して頂いています。今は受験生で普通科進学希望。高校で同じように配慮して頂けるか不安です。	肢体不自由	女性・14歳
園長先生をはじめ、担任の先生方が「関わり方など、保育の参考にしたいので教えて下さい」と向こうから歩み寄って下さったので、安心して預けています。	手帳・診断なし	男性・3歳
本人以外の家族へのケアが大きい。	発達障害、難病・特定疾患	男性・3歳
小学校の先生とまなびの教室の先生は、特性に合わせた接し方をしてくださって、日々とても助けられています。	発達障害	男性・7歳
療育を福祉サービスの一環として受けられるのはとてもありがたいです。	発達障害	男性・5歳
医療的ケア児の受け入れをしてくださるようになったこと。	知的障害	女性・9歳
幼稚園で加配の先生をつけてもらって、本人も保護者も安心して通園できています。	手帳・診断なし	男性・5歳

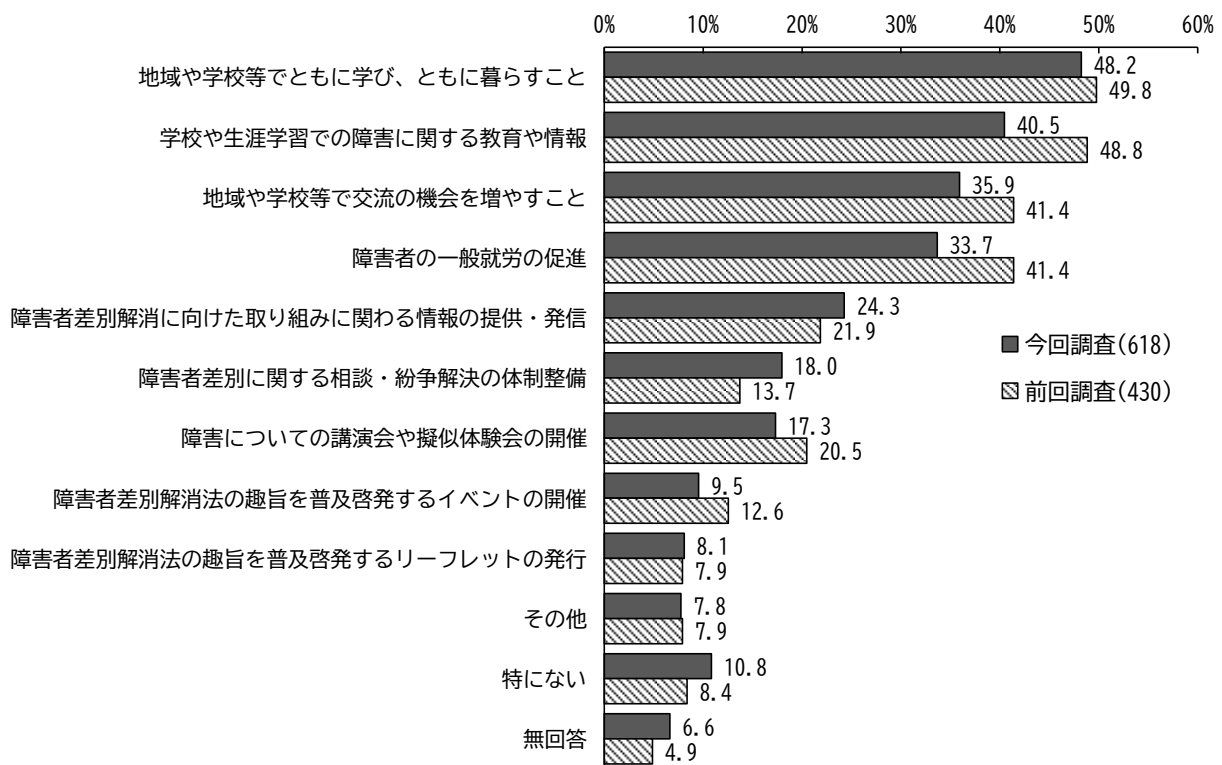
(3) 障害者差別の解消のために力を入れるべきこと

◆「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が48.2%

【全体】

- ・「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が48.2%で最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が40.5%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が35.9%などとなっています。

問 40 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○はいくつでも)



【障害別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特定病・疾患	医療的ケア児	診断なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	25.3	21.7	22.0	20.2	40.0	17.6	14.1
障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信	25.3	33.0	31.7	27.6	40.0	26.5	19.5
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	10.8	9.9	14.6	10.4	10.0	10.3	5.0
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	15.7	14.3	9.8	13.5	5.0	16.2	3.6
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	41.0	34.0	31.7	35.6	30.0	36.8	35.9
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	48.2	47.3	46.3	52.8	40.0	41.2	47.7
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	47.0	45.3	36.6	47.2	50.0	39.7	31.4
障害についての講演会や疑似体験会の開催	25.3	23.6	26.8	18.4	10.0	22.1	11.8
障害者の一般就労の促進	39.8	46.3	39.0	33.1	20.0	32.4	23.6
その他	7.2	10.3	7.3	9.8	5.0	11.8	5.0
特になし	8.4	6.9	9.8	5.5	10.0	7.4	16.4
無回答	1.2	5.9	4.9	5.5	15.0	8.8	7.7

【年齢別】

- ・12～17歳では「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が多くなっています。

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	0～5歳	6～11歳	12～17歳
総数	(219)	(231)	(166)
障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	18.7	16.0	19.9
障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信	24.7	23.8	24.7
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行	6.8	7.8	10.2
障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催	10.0	7.8	11.4
地域や学校等で交流の機会を増やすこと	37.4	35.9	33.7
地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと	46.1	52.4	44.6
学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	34.2	42.0	45.8
障害についての講演会や疑似体験会の開催	13.7	19.0	19.9
障害者の一般就労の促進	30.1	32.9	39.2
その他	8.7	6.5	8.4
特になし	14.2	10.0	7.8
無回答	6.4	7.8	5.4

(4) 成年後見制度の認知状況

◆「概要については知っている」が37.4%

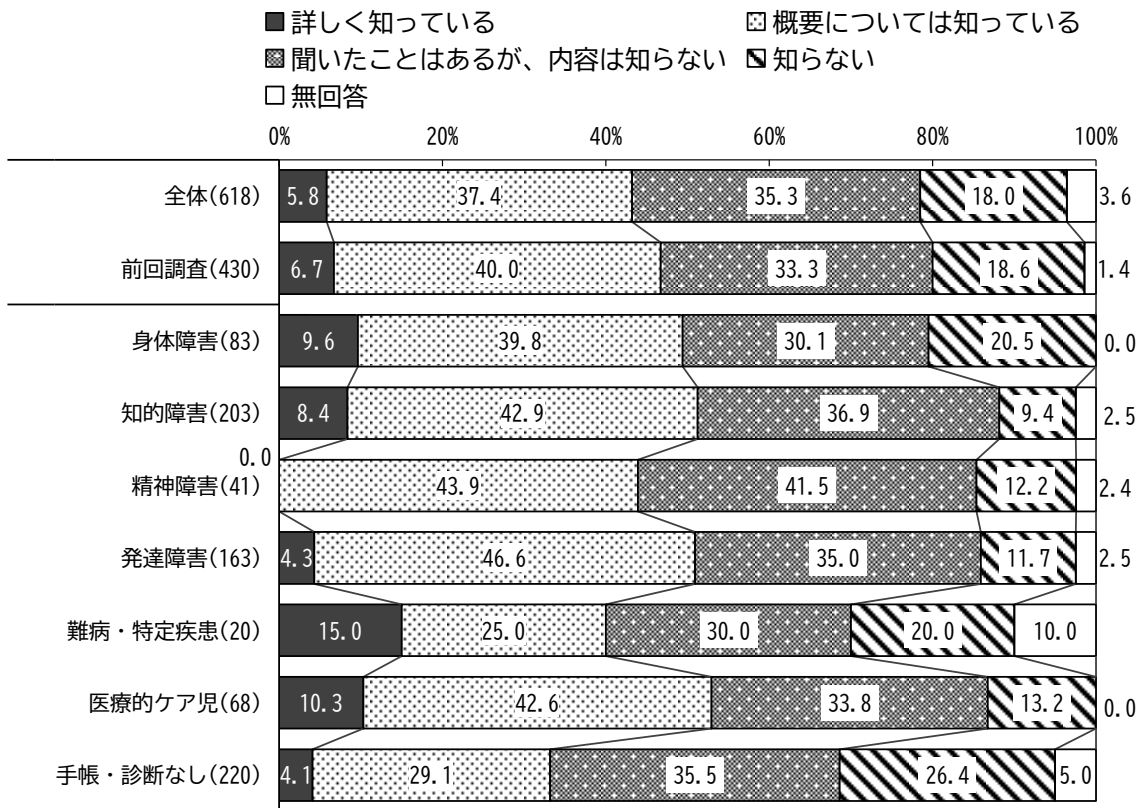
【全体】

- ・「概要については知っている」が37.4%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が35.3%、「知らない」が18.0%などとなっています。

【障害別】

- ・手帳・診断なしで「知らない」が比較的多くなっています。

問 41 成年後見制度を知っていますか。(○はひとつ)



(5) 成年後見制度の利用意向

◆「利用したい」が12.5%、「利用は考えていない」が28.6%

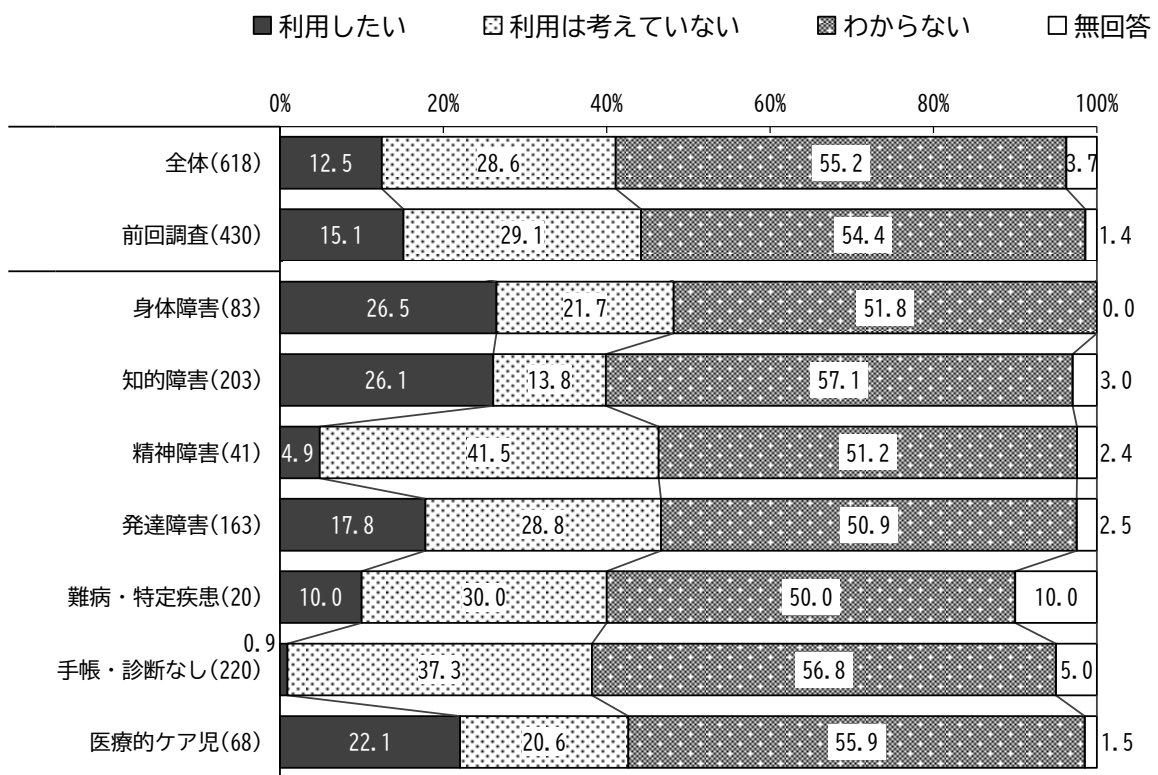
【全体】

- ・「利用したい」が12.5%、「利用は考えていない」が28.6%、「わからない」が55.2%となっています。

【障害別】

- ・身体障害、知的障害、医療的ケア児で「利用したい」が比較的多くなっています。

問 42 お子さんが成人した後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)



10 将来について

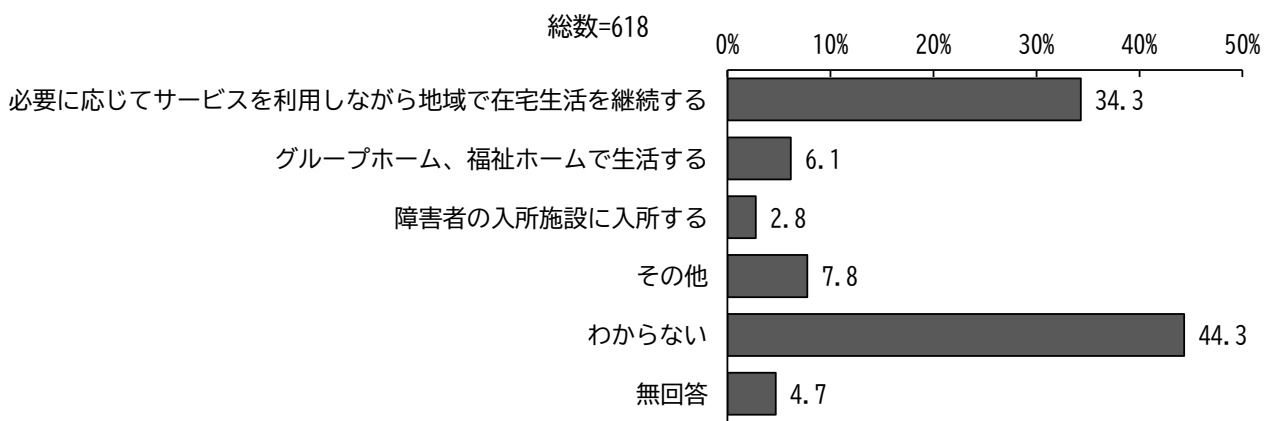
(1) 将来の生活の希望

◆「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が 34.3%

【全体】

- ・「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が 34.3%で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が 6.1%、「障害者の入所施設に入所する」が 2.8%となっています。「わからない」は 44.3%です。

問 43 お子さんは成人後、どのような生活を希望していますか。(○はひとつ)



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多く、知的障害では「グループホーム、福祉ホームで生活する」も多くなっています。

単位：%、() 内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難定病・疾患	医療的ケア児	診断帳なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する	42.2	38.9	34.1	39.9	35.0	35.3	23.6
グループホーム、福祉ホームで生活する	3.6	17.2	7.3	9.8	5.0	5.9	0.5
障害者の入所施設に入所する	13.3	5.9	0.0	1.2	0.0	10.3	0.0
その他	12.0	5.4	12.2	6.7	5.0	10.3	8.6
わからない	26.5	29.6	39.0	40.5	50.0	35.3	60.5
無回答	2.4	3.0	7.3	1.8	5.0	2.9	6.8

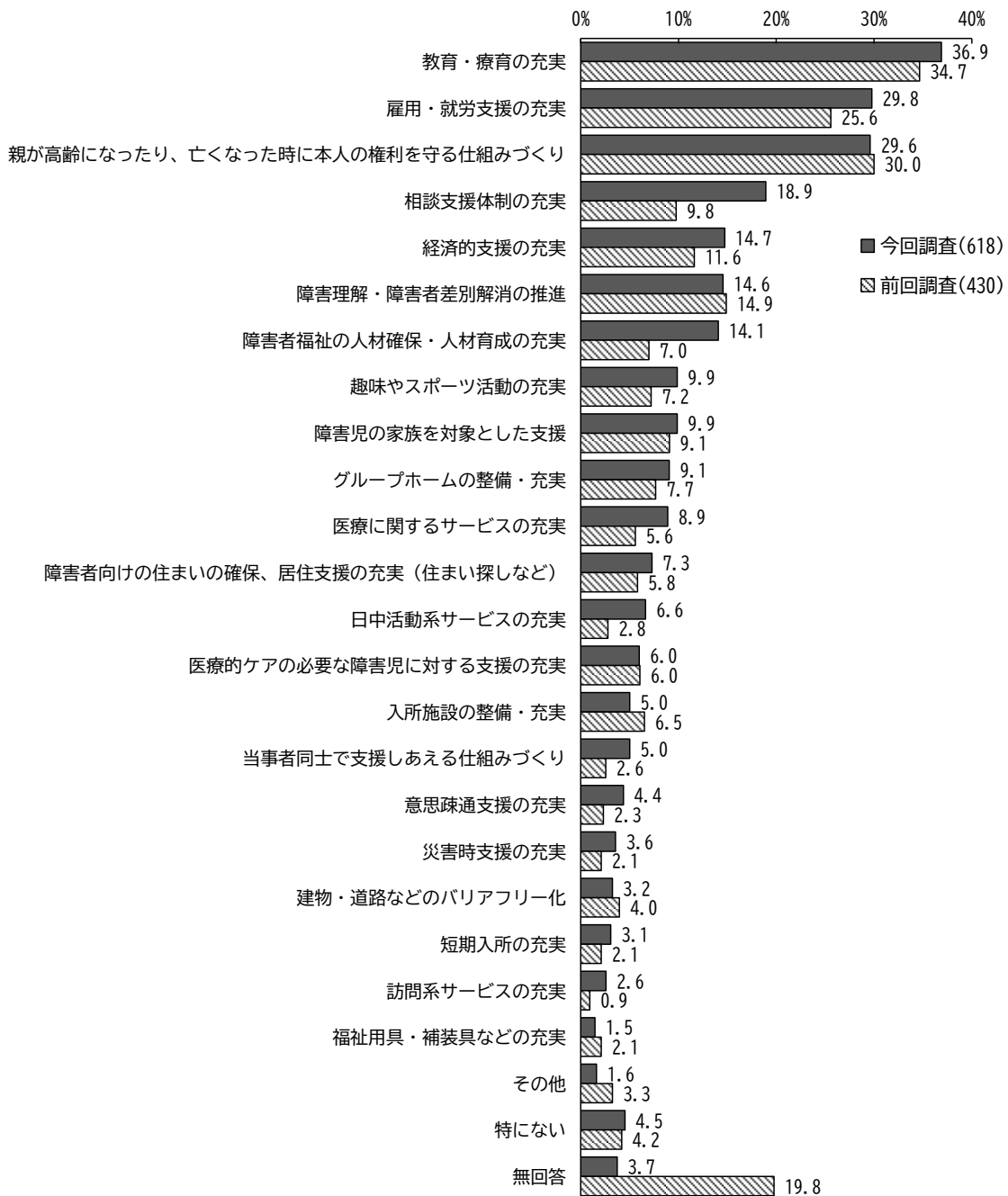
(2) 地域で安心して暮らすために重要な施策

◆「教育・療育の充実」が36.9%、次いで「雇用・就労支援の充実」が29.8%

【全体】

- ・「教育・療育の充実」が36.9%で最も多く、次いで「雇用・就労支援の充実」が29.8%、「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が29.6%などとなっています。

問 44 お子さんが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(○は3つまで)



【障害別】

- ・身体障害と知的障害で「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害で「雇用・就労支援の充実」、医療的ケア児で「医療的ケアの必要な障害児に対する支援の充実」が多くなっています。

単位：％、()内は回答者総数

選択肢\属性	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	特難 定病・ 疾・ 患	医療的 ケア児	診手 断帳・ なし
総数	(83)	(203)	(41)	(163)	(20)	(68)	(220)
障害理解・障害者差別解消の推進	12.0	19.7	14.6	19.6	20.0	16.2	10.9
相談支援体制の充実	12.0	20.2	31.7	23.3	15.0	13.2	16.8
医療に関するサービスの充実	16.9	7.4	17.1	6.1	20.0	17.6	7.7
医療的ケアの必要な障害児に対する支援の充実	20.5	4.4	7.3	3.7	15.0	29.4	3.2
教育・療育の充実	21.7	22.2	24.4	46.6	25.0	26.5	49.1
雇用・就労支援の充実	19.3	33.0	43.9	38.0	25.0	11.8	25.5
訪問系サービスの充実	10.8	3.9	0.0	1.2	0.0	7.4	0.5
日中活動系サービスの充実	10.8	10.3	9.8	6.7	0.0	8.8	3.6
短期入所の充実	10.8	7.4	7.3	1.8	0.0	5.9	0.9
意思疎通支援の充実	8.4	4.9	0.0	3.7	0.0	7.4	2.7
福祉用具・補装具などの充実	6.0	3.0	2.4	1.2	10.0	8.8	0.0
グループホームの整備・充実	12.0	20.7	12.2	9.8	0.0	10.3	2.7
入所施設の整備・充実	14.5	9.9	0.0	4.9	5.0	17.6	0.9
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど）	12.0	12.3	4.9	5.5	5.0	10.3	4.5
建物・道路などのバリアフリー化	15.7	2.0	2.4	0.6	5.0	7.4	1.8
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	3.6	5.4	4.9	5.5	5.0	2.9	4.5
趣味やスポーツ活動の充実	4.8	6.9	12.2	7.4	15.0	4.4	13.2
経済的支援の充実	10.8	19.7	9.8	18.4	20.0	10.3	10.0
災害時支援の充実	4.8	3.9	0.0	2.5	10.0	4.4	3.2
障害児の家族を対象とした支援	9.6	7.4	14.6	11.7	10.0	8.8	10.0
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	16.9	18.2	4.9	14.7	10.0	26.5	10.9
親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	30.1	39.4	22.0	32.5	30.0	27.9	22.3
その他	1.2	0.5	0.0	0.0	5.0	2.9	3.6
特になし	0.0	0.5	4.9	2.5	5.0	0.0	8.6
無回答	2.4	2.0	2.4	1.8	5.0	1.5	5.5

【通園先（小学校入学前）別】

単位：％、（ ）内は回答者総数

選択肢\属性	保育園	子ども園	幼稚園	あ 支 子 関 な 児 子 の 発 達 に 関 連 した 機 関	あ 支 子 関 な 児 子 の 発 達 に 関 連 した 機 関	あ 支 子 関 な 児 子 の 発 達 に 関 連 した 機 関	あ 支 子 関 な 児 子 の 発 達 に 関 連 した 機 関	あ 支 子 関 な 児 子 の 発 達 に 関 連 した 機 関
	(97)	(36)	(68)	(50)	(60)	(3)	(5)	(5)
総数								
障害理解・障害者差別解消の推進	10.3	13.9	8.8	8.0	23.3	0.0	0.0	0.0
相談支援体制の充実	15.5	22.2	19.1	16.0	21.7	0.0	0.0	0.0
医療に関するサービスの充実	6.2	16.7	2.9	10.0	6.7	66.7	0.0	0.0
医療的ケアの必要な障害児に対する支援の充実	8.2	2.8	5.9	8.0	8.3	33.3	20.0	20.0
教育・療育の充実	41.2	66.7	52.9	36.0	45.0	33.3	20.0	20.0
雇用・就労支援の充実	23.7	16.7	30.9	26.0	26.7	33.3	20.0	20.0
訪問系サービスの充実	4.1	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービスの充実	3.1	5.6	5.9	8.0	1.7	0.0	0.0	0.0
短期入所の充実	2.1	0.0	0.0	2.0	3.3	0.0	0.0	0.0
意思疎通支援の充実	1.0	8.3	2.9	6.0	1.7	0.0	0.0	0.0
福祉用具・補装具などの充実	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホームの整備・充実	5.2	2.8	2.9	8.0	8.3	0.0	0.0	0.0
入所施設の整備・充実	2.1	2.8	2.9	2.0	1.7	0.0	20.0	0.0
障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど）	6.2	5.6	7.4	6.0	8.3	33.3	0.0	0.0
建物・道路などのバリアフリー化	6.2	2.8	1.5	14.0	8.3	0.0	0.0	0.0
当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	5.2	2.8	5.9	6.0	3.3	0.0	0.0	0.0
趣味やスポーツ活動の充実	9.3	16.7	11.8	8.0	11.7	0.0	0.0	0.0
経済的支援の充実	13.4	8.3	14.7	16.0	11.7	0.0	20.0	20.0
災害時支援の充実	3.1	2.8	1.5	2.0	1.7	0.0	20.0	0.0
障害児の家族を対象とした支援	12.4	19.4	10.3	18.0	15.0	0.0	0.0	0.0
障害者福祉の人材確保・人材育成の充実	18.6	5.6	10.3	24.0	16.7	33.3	0.0	0.0
親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり	22.7	16.7	25.0	32.0	28.3	66.7	40.0	40.0
その他	3.1	5.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	8.2	2.8	7.4	4.0	3.3	0.0	20.0	20.0
無回答	5.2	2.8	4.4	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0

11 自由意見

問 45 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・「区への意見・要望」が 41 件と最も多く、次いで「福祉サービス」が 36 件、「学校・教育」が 30 件などとなっています。

回答の内容		件数
1	区への意見・要望	41
2	福祉サービス	36
3	学校・教育	30
4	保育・療育	25
5	家族支援	16
6	将来の不安	13
7	経済的支援	12
8	障害理解	12
9	健康・医療	5
10	その他	12
合計		202

【1 区への意見・要望】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
受給者証をもらう時に書く書類に、子供の名前を書くところがありますが、「障害児童名」（だったかな？）というのを「サービス利用児童」とか、別の表現にして欲しい。うちの場合、まだ2才になったばかりで診断がおりてない状態なのに、こういう表現が使われるのは、ちょっと精神的に重いです。いずれ診断おりるかも、と心の準備をしつつあるところではありますが、まだよく分からない段階で、そういう言葉を見ると、まだ受け止めきれないです。他にもそういう表記がないか、見直して欲しい。	手帳・診断なし	女性・2歳
福祉の制度を利用するためには、全て自分で調べないとダメで、その資料もとても分かりにくい。年齢に合った制度を紹介してもらえ取組みがあっても良いと思います。	知的障害	男性・11歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
正直、自分の子供に障害がなかったら知る事は無かったであろうサービスも、もっと子供が生まれた時に冊子で配るなど、情報発信をして欲しいと思った。調べてやっとたどり着くサービスは、知らなくて困る人もいるだろうし、そこまでしないと知る事の出来ない情報になっている事は残念だと思う。もっと手に届きやすい相談しやすい体制になって欲しい。そもそも発達の子や精神障害の子は外に出るのも親子とも難しい事が多いので、こちらから出向くより、手軽にメールやLINEなどで相談できる体制も作った方が利用しやすい。この調査が今後のサービス向上に繋がることを期待します。	知的障害、精神障害	女性・18歳
いつもお世話になり、ありがとうございます。セルフプランの提出ですが、毎年書き直すのが大変なので変更なければ確認のみで提出不要だと助かります。	知的障害	男性・8歳
バリアフリーをもっと促進してほしいです。特に電車に今増えているスロープをかけずに乗れる仕組みをもっと増やして欲しいです。特に新宿駅は全ての出口にエレベーターの設置を願います。出たい出口にエレベーターがなく、反対にでて遠回りをしなくてはいけないことが多々あります。	肢体不自由	女性・7歳
出産してからまずはじめの一步をどう歩みだしてよいのかわからなかった。産院と公共支援や施設などを橋渡しする流れが必要だと思います。	手帳・診断なし	女性・2歳

【2 福祉サービス】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
放課後等デイサービス（送迎付き）を増やして欲しい。少なすぎると思う。	難病・特定疾患	男性・5歳
一人一人様々な障害であると思うので制度がこうだからなどと枠にはめるのではなく、臨機応変にその人に会うサービスの提供をして欲しい。緊急の一時ショートなど作って欲しい。	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害	男性・13歳
高校生以上でも利用しやすい放課後等デイサービスの充実。就労訓練だけでなく、知的障害のある子供がゆっくり学べる場があると嬉しいです（特別支援学校の高等部以外でも）。	知的障害	男性・13歳
医療的ケアが必要な児の短期入所先が区内になく困っています。医療的ケア対応可となっているところでも、問い合わせると不可だったりして区内には短期入所先がありません。また、学校の送迎バスに乗れなかったり、医療的ケア児対応の放課後等デイサービスが少なく週5日通えないため、保護者の安定した就労が難しくなっています。夜間もケアがあるため睡眠不足が続き体調不良になることも多いです。医療的ケア児を安心して預けられる場所を増やして頂けると助かります。	知的障害、肢体不自由、内部障害	男性・7歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
移動支援を探し続けてもうすぐ1年が経とうとしています。コロナでヘルパーさんの人数も減ってしまったようです。放課後等デイサービスも、質より量のように感じられ、預け先に悩んでおります。都内は場所も狭く、雑居ビルなどの中で運営されているのでゆとりのあるスペースがあるといいなと思います。	知的障害	男性・7歳
色々なサービスがあるようですが、どのサービスが具体的に、どのようなケースの場合に使えるものなのか…ということが分かりづらく、ホームページにあるような説明では判断しにくい。具体例が添えてあると助かる。そうでなければ、実際に窓口へ行って質問をたくさんして教えてもらうことになり、その場合、共働きだと、仕事を休まざるを得ず、何のためのサービスか…?と思うことがある。	肢体不自由	女性・3歳
予約などがとりにくく時間がかかるので子供の成長に関して相談できるところが多くあると良い。	手帳・診断なし	男性・5歳
移動支援、放課後等デイサービスの利用枠が非常に少なく、特に夏休みなどの長期休みの間、居場所を確保するのに苦労しています。親の就労継続にも影響することであり、充実していただけないかと思っております。	知的障害	男性・10歳
まいペースの増枠が必要。	知的障害	男性・15歳

【3 学校・教育】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
ゆくゆくは、支援学級への転学も検討していますが、近隣に支援学級が少ない。近くに一つある支援学級も、先生が足りていない、生徒数が年々増えているという事で、いざ転学を希望しても支援学級に入れるのか、不安に感じています。	手帳・診断なし	男性・8歳
うちの子は特別支援学校に通っていますが、コミュニケーションはわりと普通なので、通常の学校、学園生活を望んでいます。障害児のみの特別支援学校ではなく、普通の高校の中に支援が受けられる形で、体育祭、学園祭などは普通の高校生の様な盛り上がりを楽しませてあげたいです。	知的障害、発達障害	男性・16歳
小学校のまなびの教室を利用させて頂いています。細かいケアを心身共にして下さり、親子でとても頼りにしています。イジメなどトラブルも大きく（大事に）ならないうちに相談できました。とても感謝しています。	手帳・診断なし	男性・11歳
障害者が置かれている状況は娘が小学部に入学した時から変わっていない。学校の教科の内容も今年やっとタブレットを入れたりしているが、遅いと感じる。便利な物はどんどん使えばいいし、大人も柔軟に対応しなければいけないのに、変わっていかない。「変えよう」と声を上げて「そんなの無理」の方が大きく何も変わらない。手続きも大事かもしれないけど、不便な事、昔を引きずっている事は手早く変えて欲しい。何かと古い。	知的障害	女性・16歳
教育環境が重要だと思います。健常児の子も、障害のある子と一緒に育つ・暮らすことにより、それが普通になると思います。	知的障害	男性・3歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
学校でも、素晴らしい先生と、適任でない先生がいました。全般的に色々配慮して頂いているのを感じ、感謝していますが、最終的には運というか、巡り会いにかかっている気がします。情報の共有を、今後もよろしくお願いします（学校からの持ち帰りプリントにも、色々な情報があり、助けになりました）。	手帳・診断なし	男性・11歳
小学校の特別支援教育のあり方が、保育園までの支援の手厚さからすると不十分に思える。情緒固定級を設置するか、通常級自体を情緒級並の視覚支援、環境調整を入れるなど、不登校や二次障害を防ぐ体制をとるべきではないか。知的障害のない自閉症の子は現状で“居場所がない”と感じる。	手帳・診断なし	男性・6歳

【4 保育・療育】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
医療的ケアが必要な子供でも通える子ども園などがもっと充実して欲しい。ケアが必要だと親が働きたくても働く事が出来ない事があると思う。潜在的な待機児童は多いと思う。	内部障害	男性・5歳
手帳が出来て、療育を受ける事が出来るようになりました。楽しく療育に通っています。他の子に比べると成長はゆっくりですが、徐々に出来る事が増えて、嬉しく思います。療育が受けられる様になって、不安が少しずつ解消しました。相談できることが何よりの救いです。1人では育てられません。心から感謝しております。ありがとうございます。	手帳・診断なし	女性・4歳
「あいあい」で療育を受けておりますが、月に1回しか行けません（あいあいの事情）。新型コロナの影響とのことですが、子の発達支援にとっても助かっているの、早く「月に複数回」行かせて頂けるようご調整お願い申し上げます。	手帳・診断なし	男性・4歳
受けたいサービス（放課後等デイサービス）が、キャンセル待ちで3年経っても順番が回ってこない、もしくは混んでいて新たに入所できない。子供に適切な時期に適切な療育を受けさせられないことが残念に思う。	手帳・診断なし	女性・9歳
新宿区在住であったから、早期に療育を始めることができ、子供の発達の困り事について手助けをすることができたと思います。（他の区ではなかなか受給者証も頂けないと聞きます…。）ありがとうございます。今後も変わらない新宿区であると、嬉しく思います。	手帳・診断なし	男性・7歳
療育施設が少ないので入りづらい。他の区に比べて対応が遅いです。	精神障害	女性・5歳
何年もの間、療育や移動支援のお陰で大変助けられてきました。この支援がなければ、私一人では順調に育ててくる事が出来なかったと思います。大変、有り難く感謝しております。これから仕事をするようになりますが、仕事の後の時間をどのように過ごそうか、どのように体を動かす機会をどこで作ればいいのか悩んでいます。ぜひ、18歳以降も使える療育のようなものが出来てくれたら嬉しいと思っています。ご検討頂けたら幸いです。	知的障害	男性・17歳

【5 家族支援】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
きょうだい児を預かったり、かまってくれ、思う存分遊ばせてくれるサークルやイベントが欲しい。息子を預けることは難しいので姉がいつもかわいそう（切実です）。夫が精神的な問題を抱えており、実質は1人で収入（仕事）・育児・家事・夫の心配（ケア）をしており、金銭的にも時間的にも精神的にも自分の負担が多く感じる。	知的障害、発達障害	男性・3歳
普段の生活の支援は充実してきていると感じていますが、土・日・祝に預かってくれるところが欲しいです。小学生の間は学童クラブがありますが、中学生になると預かり先がなくなるのが不安（今、小5）です。放課後等デイサービスは18:00で終わるところが多い。長期休暇も10:30～など、仕事をしている親には難しいです。学童と同じように（8:00-19:00）預かってくれるところを学童と同じぐらいの距離（近所）に欲しい。戸山に特別支援学校が出来ると聞いてからだいぶ経ちますが、いつ頃できるのでしょうか…。早く作って欲しいです。	知的障害	男性・10歳
子供の将来に不安があったり、障害者の家族は本当に日々、子のために努力し、頑張っています。家族の負担が少しでも減るように行政も仕組みづくりをしてくれるといいなと思います。	手帳・診断なし	男性・5歳
子供に障害があっても、親が働きやすいようにして欲しい（学童の利用条件緩和など）。雇用について、幅広く仕事を選べたらよい。	手帳・診断なし	男性・7歳
子供がまだ小さいので先の事は分かりませんが、発達障害＝甘え、母親のせい、と言われることが多いです。子供に対してのフォローアップはもちろんですが、母親（常に世話をしている方）へのフォローアップもかなり重要だと感じています。	発達障害	男性・4歳

【6 将来の不安】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
高校卒業後の事が不安でたまりません。肢体不自由児者の通える施設の利用肢がほぼ無く、このままでは区外に出なければならないかもしれないと不安を抱えています。まだ小学生なのに明るい未来が見えず、不憫です。	知的障害、肢体不自由	女性・11歳
高校卒業後の医療的ケア児（人工呼吸器必要）の行き先が選べない。入れるかどうか、いつも不安なので、早急に対応して頂きたい。最重度の障害者の行き着く先が医療入所しかないのは、生きることが辛くなります。親亡き後も、人生を豊かに産まれてきて良かったと、本人には生きて欲しいといつも思っています。	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、視覚障害、聴覚・平衡機能障害、内部障害	女性・13歳
今は親である私が相談をして決めています。子供が一人になった時、会話が上手く通じない時にも親切に説明して、指導するのをお願いします。不親切だったという意味ではなく、ただ一人残った場合にも上手く生きて行ける様に助けてください。	知的障害、肢体不自由	女性・17歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
先の話になるが、入所施設の空きがあるかが心配。空きがあるかが問題になることが多いので障害児が増えつつある昨今、施策の充実性を図って頂けると助かる。	知的障害、聴覚・平衡機能障害	女性・7歳
医療的ケアが必要な障害児の入所施設を区内に造って欲しい。親が高齢になるにつれ、在宅で看るのは難しくなる。長期に渡る介護で、家族の負担は余りにも大きい。救いっばなしの医療のあり方にも疑問を感じる。	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、聴覚・平衡機能障害	女性・16歳
母（私）と子の二人暮らしで、子が知的障害です。私が高齢になり、亡くなってからの子のことがとても心配です。本人の暮らしや権利を守る仕組みづくりを進めてほしいです。	知的障害	男性・7歳

【7 経済的支援】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
実は受けられるサービスについても、知らなければ一生知らないまま、たまたま知った人が手続きをしてお金を受け取る、という様な仕組みはおかしい。適用になるのが何なのかは、こちらでは分からないので、一括で区や都で該当するものを自動で適用し知らせるなどして欲しい。	知的障害、発達障害	女性・7歳
いつも大変お世話になっております。手当などの経済的支援を利用することで大変助かっています。装具や車椅子を作る際も親切に対応して頂いており、感謝しています。	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、内部障害	男性・13歳
経済面での負担が大きいです。将来子供が1人生活するためにいくら必要なのか？また自立するための経済的支援が充実して欲しい。	知的障害	女性・15歳
所得によりサービスがとても高額になることがあり納得できない。だれでも障害者や障害児の家族になる可能性があるので、所得の高低であまりにも差をつけられると精神的にも経済的にも非常に辛い。新宿区は福祉に手厚いと思っはっておりありがたいですが、障害児に収入はないので親の収入で区別することはやめてほしいです。	知的障害	男性・7歳

【8 障害理解】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
子供の頃から身近に障害者がいない場合、大多数の人はよくわからない、接し方がわからないから距離をおいたり、関わらないようにするというケースが多いと思う。子供の頃からそういう人もいるのだということを生活の中で実感していれば双方にとって長い目で見た時に良い影響が出ると思う。早くから生活の中で障害者と一般の方が一緒に過ごせるのであればその方が良い。なるべく子供のうちから接点は多く作って欲しい。大人になってからでは遅い。	手帳・診断なし	男性・7歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
子育てしている親同士でも知識がなく説明をするのに大変でした。障害者に関わる人だけ知るのではなく、親世代が知らなくては障害者のサポート・理解はできにくいと思います。学生など若い時から知っている方が、受け入れやすいのでは…と思います。又は、母親学級など、どこかの時点で知ると変わってくるのでは…。教育者の先生達も知識にバラつきがあり、小学校の時は大変でした。大学で何を学んできたんだろう…と思うこともありました。教員の知識を深めるサポートも必要なのではと思います。	知的障害	男性・16歳
軽度の知的障害は、見た目では分からないため、トラブル（外出時）にあった時のためになにか分かる物があつたらいいと思っています。学生のため手帳は持たせていませんので、外でのトラブルが少し心配です。	知的障害	男性・16歳
教員が発達障害についての理解が乏しいと思う場面が多々あります。教員個人によるのは当たり前とも思いますが、それでも、最低限のことも知らない先生も多く見受けられます。教員の研修をもっと研修を増やして、理解を深めるようにしていただきたいです。	発達障害	男性・13歳

【9 健康・医療】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
発達障害（2～3才）の知識をもう少し知っていたら、子供を療育に通わせるのが早かったと思う。定期健診などで、情報の共有や、可能性のある病気や名前を知っておく機会が欲しかった。特に1人目の子は何も知らない事が多く、人に指摘されにくいものは特に…。	発達障害、難病・特定疾患	男性・3歳
障害は1人1人状況や程度が違うので、その人が必要とするサービスに結びつけることが難しい場合もあるかもしれませんが、柔軟に対応して頂けると助かります。我が子は乳児健診で発達相談をしたことから、あいあいと医療機関につなげて頂きました。私の場合は自分から相談しに行くのが難しかったので、健診で相談出来て良かったです。	知的障害、発達障害	男性・4歳
子どもの今後の相談することができる場合は、長い期間を考えると医療機関しかないのかと考えるようになってきました。本人も落ち着いて話しを毎回相談出来る同じ人を希望しているようです。ただこの医療機関にかかったら良いのか親としては非常に迷っています。	手帳・診断なし	男性・8歳

【10 その他】

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
どんな人も元気で楽しく生活を送り、幸せな人生を過ごせる社会にして欲しいです。	知的障害	男性・13歳
現状の成年後見制度は認知症など高齢者には適しているかもしれませんが、障害者には向きません。成人後から長きに渡り他人に財産を管理されることに全く納得がいきません。早急に改善されるべきだと思います。	知的障害、肢体不自由	女性・15歳
子供に障害があっても働きやすいこと。ある程度のことのできれば、本人がある程度仕事ができるようになって欲しい。	発達障害	女性・4歳

意見の内容	障害の種類	性別・年齢
<p>連絡会議等により当事者の声を共有出来る場がある事はとても素晴らしいと思う。また、個々のケースに応じた支援を一緒に検討して下さい、とても助かっている。防災についての支援を今後詰めていけたらと思う。</p>	<p>肢体不自由</p>	<p>女性・6歳</p>

12 医療的ケア児の保護者に対するヒアリング

- ・医療的ケア児の生活状況等について詳細に把握するため、調査項目に関して聞き取り調査を実施しました。

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 調査期間 | 令和4年11月29日（火）から12月7日（水）まで |
| 2 | 調査方法 | 主に人工呼吸器、気管切開、吸引、経管栄養等の医療的ケアの必要な児童について、区職員が自宅訪問等により聞き取り調査を実施。 |
| 3 | 調査人数 | 7人 |

問13 介助や支援についての悩み

- ・児童通所では待機を求められ。精神的・体力的に疲れる。
- ・保育園に入れなかったため退職した。
- ・夜間も含め24時間吸引が必要。学校では看護師、家では家族が対応。寝不足になりがち。
- ・身内が近くにいないため、母に何かあったときに対応できる人がいない。
- ・訪問看護やヘルパーは、土日や長時間の対応が難しい。
- ・歩ける医療的ケア児。自分で管を抜いてしまうことがあるため対応してくれる事業所が少ない。

問14 きょうだい児に関する悩み

- ・本人の体調不良があると、きょうだいの面倒を見られなくなることがある。
- ・学校行事や土日の課外授業に参加できない。
- ・きょうだいの体調不良があっても、すぐに病院に連れて行けない。
- ・本人の介助者がいないと、きょうだいを登園させられず、休ませることがあった。

問20・問22 通園生活・通学生活等で困っていること

- ・学校の先生が医療的ケア児への対応に不安を抱えていると思う。手探り状態。
- ・知的障害のない医療的ケア児への教育について、ノウハウがまだない。
- ・送迎バスについて、迎えは毎日保護者かヘルパーが行わなければならない。
- ・写真カード等、コミュニケーション支援にもっと力を入れてほしい。

問21 小学校の入学希望

- ・特別支援学校を考えているが、情報が無いためまだよく分からない。

問28 外出に関して困っていること

- ・歩道に立て看板や自転車などが多く、車椅子で通行できない。
- ・吸引器等の医療物品を持ち歩くので、持ち物が多い。
- ・外出は車で行ける所に限られる。
- ・障害者用のトイレでも、狭くて使えないことがある。座位を保持できない子は使えるトイレがさらに限られる。

問 34 災害が発生したときに困ること
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者名簿には登録しているが、いざという時何をしてくれるか分からない。 ・医療的ケア児の避難訓練をやるべき。具体的なことが分からず不安。 ・電源について、健常者の需要も多いと思われるため心配。
問 35 災害に対して備えていること
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師、保健センター、相談支援専門員と災害時個別支援計画を作成している。 ・ポータブル電源の準備がある。
問 38 差別と感じる取扱いを受けた経験
<ul style="list-style-type: none"> ・健康チェック等、記入する書類が多い。給食も送迎バスも利用できる様になるまで何か月もかかる。 ・保育園入園について、話が進まなかった。 ・バスの運転手によっては、あからさまに拒否的な態度を取られることがある。
問 39 配慮があって助かったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・通学バスが医療的ケアに対応していなかったが、乗れるようになった。 ・処方箋の写真を撮って薬局へ送れば薬を自宅まで届けてくれる。 ・関係機関の連絡会があるのは良いと思う。新宿区の障害者福祉課は医療的ケア児のコーディネーターも多く積極的に取り組んでいると思う。 ・医療的ケア児支援法の施行により、通学バスへ看護師が同乗してくれるようになったり、地域での学校での受け入れ等の対応が進んだと感じる。
問 44 地域で安心して暮らすために重要な施策
<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育というが、教師や施設の環境整備が不十分なまま実施しても現場が耐えられないのではと思う。 ・色々な部署に問合せ、同じ話を何度もしなければならぬ。相談窓口を一本化できないか。 ・当事者がもっと参加し交流できるような連絡会があると良い。
問 45 自由意見
<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家の定員が不足するのではないかと不安。 ・卒業後の進路の選択肢が増えてほしい。 ・子の支援や健康状況により、親の会等の活動に参加したいと思っても難しい。要望が無い訳ではないことを理解してほしい。 ・もみじの家のような短期入所施設が区内にもあると良い。 ・小学校に入るまでの過程が大変だった。医療的ケアのある子もすんなりと入学できるようにしてほしい。 ・親が就労に復帰できるような環境があると良い。 ・医療的ケア児の活動できる放課後等デイサービスが増えてほしい。 ・訪問看護のレスパイトについて、支給時間数は増えても事業所が人員不足のため入れない。また、在宅での利用のみという制限をなくしてほしい。

※個人情報保護のため、回答の一部を省略・要約しています。

IV サービス事業者を対象とした調査

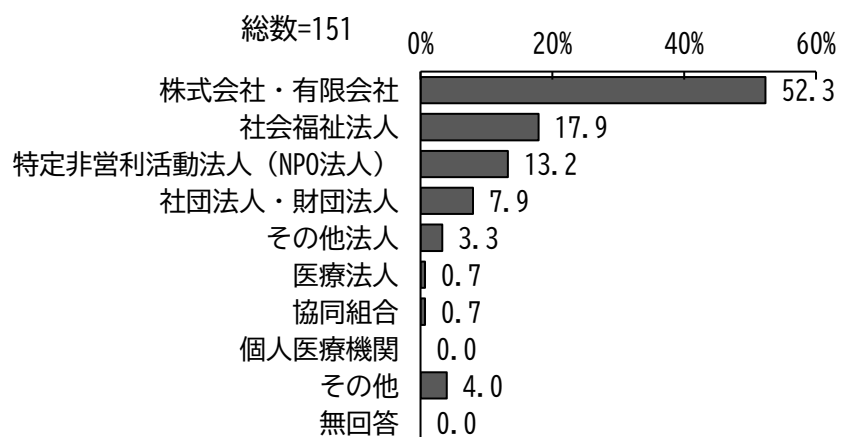
1 事業運営について

(1) 経営主体

◆「株式会社・有限会社」が52.3%、次いで「社会福祉法人」が17.9%

・「株式会社・有限会社」が52.3%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が17.9%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が13.2%などとなっています。

問1 貴事業所の経営主体をお聞きします。（○はひとつ）



【提供サービス別（参考）】

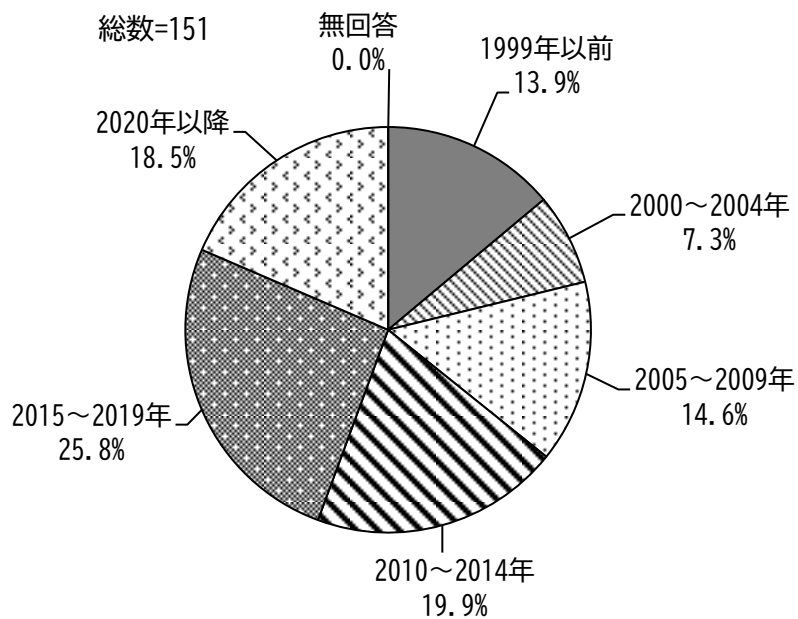
提供サービス\選択肢	合計	社会福祉法人	医療法人	社団法人・財団法人	株式会社・有限会社	特定非営利活動法人（NPO法人）	協同組合	その他法人	個人医療機関	その他	無回答
全体	151 100.0	27 17.9	1 0.7	12 7.9	79 52.3	20 13.2	1 0.7	5 3.3	0 0.0	6 4.0	0 0.0
居宅介護	52 100.0	2 3.8	0 0.0	2 3.8	34 65.4	6 11.5	1 1.9	3 5.8	0 0.0	4 7.7	0 0.0
重度訪問介護	39 100.0	2 5.1	0 0.0	1 2.6	27 69.2	4 10.3	0 0.0	3 7.7	0 0.0	2 5.1	0 0.0
同行援護	18 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 50.0	6 33.3	1 5.6	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0
行動援護	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0
生活介護	8 100.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
短期入所（ショートステイ）	7 100.0	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
施設入所支援	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	8 100.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労移行支援	19 100.0	2 10.5	0 0.0	3 15.8	12 63.2	1 5.3	0 0.0	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（A型）	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（B型）	27 100.0	13 48.1	0 0.0	4 14.8	4 14.8	5 18.5	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労定着支援	15 100.0	2 13.3	0 0.0	3 20.0	8 53.3	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立生活援助	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
共同生活援助（グループホーム）	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	20 100.0	7 35.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0
移動支援事業	32 100.0	2 6.3	0 0.0	1 3.1	19 59.4	3 9.4	1 3.1	3 9.4	0 0.0	3 9.4	0 0.0
地域活動支援センター事業	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日中一時支援事業	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
児童発達支援	18 100.0	1 5.6	0 0.0	1 5.6	11 61.1	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0
放課後等デイサービス	19 100.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	13 68.4	3 15.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所等訪問支援	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
障害児相談支援	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0
その他	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(2) 開業年

◆ 「2015～2019年」が25.8%、次いで「2010～2014年」が19.9%

- ・「2015～2019年」が25.8%で最も多く、次いで「2010～2014年」が19.9%、「2020年以降」が18.5%などとなっています。

問2 貴事業所の開業年をお聞きします。



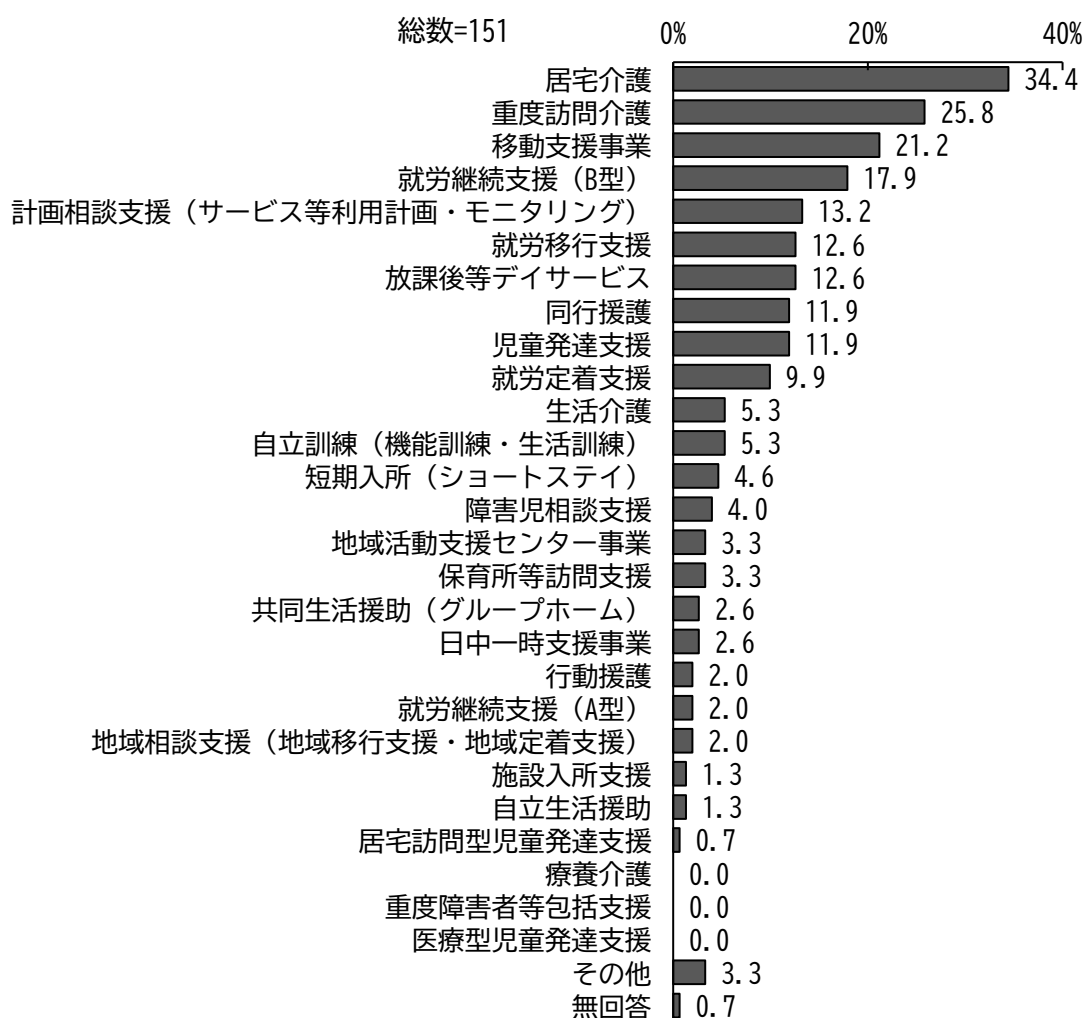
(3) 提供しているサービス

◆「居宅介護」が34.4%、次いで「重度訪問介護」が25.8%

・「居宅介護」が34.4%で最も多く、次いで「重度訪問介護」が25.8%、「移動支援事業」が21.2%などとなっています。

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きます。(〇はいくつでも)

※ 介護保険サービスは含めないでください。

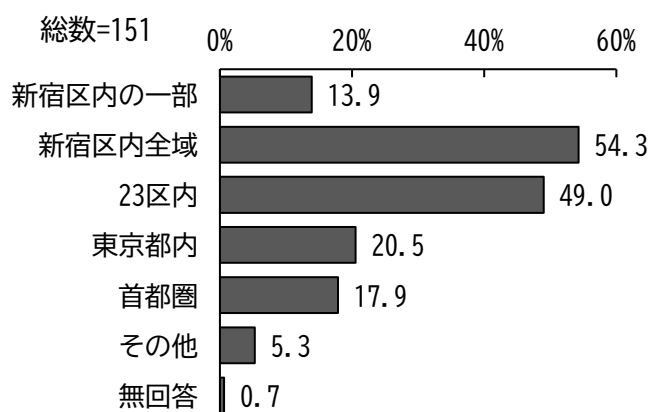


(4) 事業エリア

◆「新宿区内全域」が54.3%、次いで「23区内」が49.0%、「東京都内」が20.5%

・「新宿区内全域」が54.3%で最も多く、次いで「23区内」が49.0%、「東京都内」が20.5%などとなっています。

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア（サービス利用対象者がお住まいの範囲）をお答えください。（〇はいくつでも）



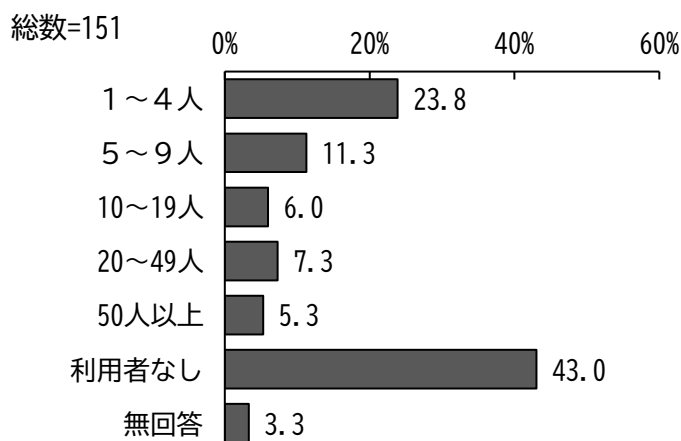
(5) 利用者数

①身体障害

◆「1～4人」が23.8%で最も多い

・「1～4人」が23.8%で最も多く、次いで「5～9人」が11.3%、「20～49人」が7.3%などとなっています。「利用者なし」は43.0%です。

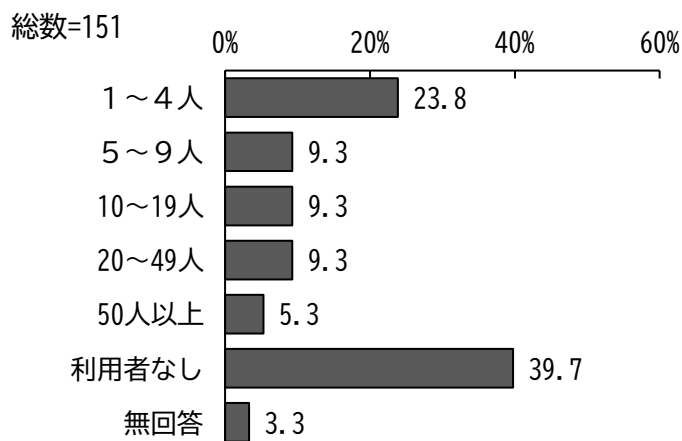
問5 貴事業所でサービスを提供している利用者数をお聞きます。障害別にお答えください。重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。



②知的障害

◆「1～4人」が23.8%で最も多い

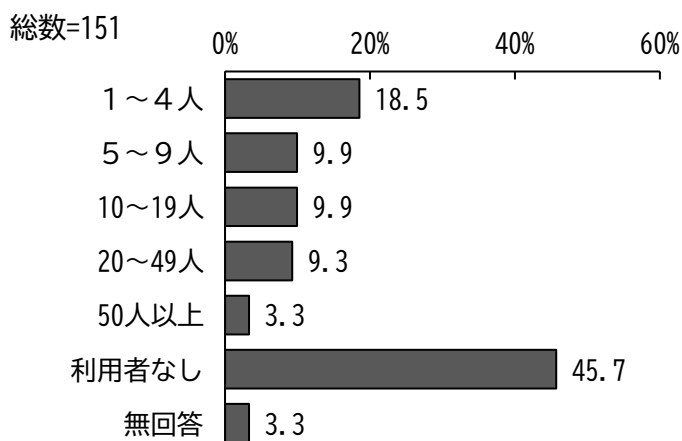
・「1～4人」が23.8%で最も多く、次いで「5～9人」「10～19人」「20～49人」が9.3%、「50人以上」が5.3%となっています。「利用者なし」は39.7%です。



③精神障害（高次脳機能障害を含む）

◆「1～4人」が18.5%で最も多い

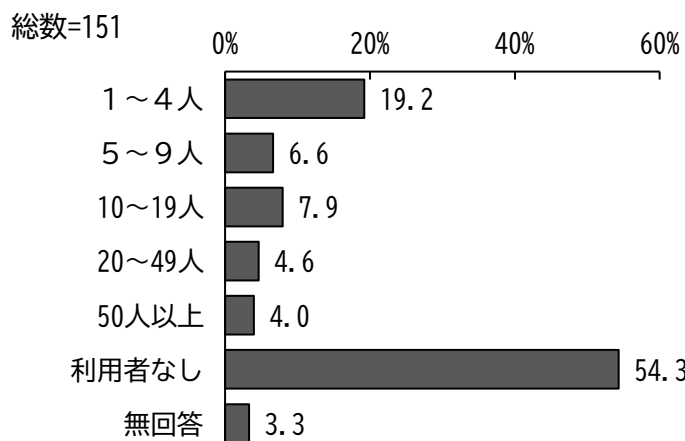
・「1～4人」が18.5%で最も多く、次いで「5～9人」「10～19人」が9.9%、「20～49人」が9.3%などとなっています。「利用者なし」は45.7%です。



④発達障害

◆「1～4人」が19.2%で最も多い

・「1～4人」が19.2%で最も多く、次いで「10～19人」が7.9%、「5～9人」が6.6%などとなっています。「利用者なし」は54.3%です。

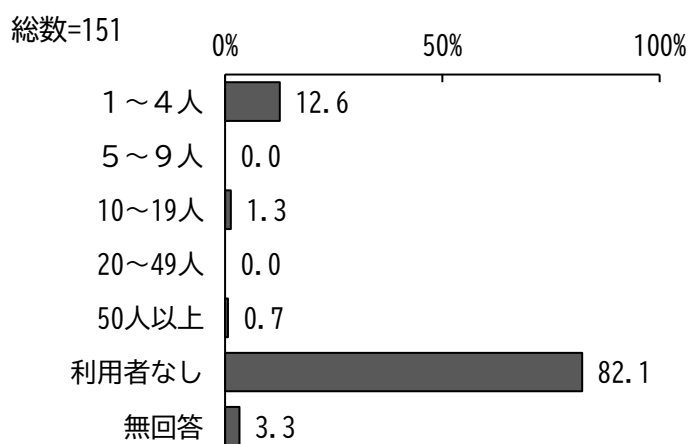


⑤難病

◆「1～4人」が12.6%で最も多い

【全体】

・「1～4人」が12.6%で最も多く、次いで「10～19人」が1.3%、「50人以上」が0.7%となっています。「利用者なし」は82.1%です。



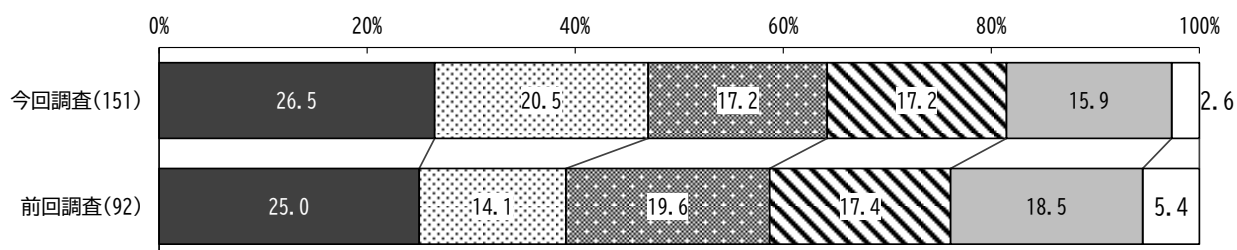
(6) 事業収支

◆「黒字だった」が26.5%、次いで「ほぼ収支が均衡した」が20.5%

・「黒字だった」が26.5%で最も多く、次いで「ほぼ収支が均衡した」が20.5%、「やや赤字だった」「大幅な赤字だった」が17.2%、「わからない」が15.9%となっています。

問6 貴事業所の令和3年度の事業の収支をお聞きます。(〇はひとつ)

■ 黒字だった ▨ ほぼ収支が均衡した ▩ やや赤字だった ▪ 大幅な赤字だった □ わからない □ 無回答



【提供サービス別（参考）】

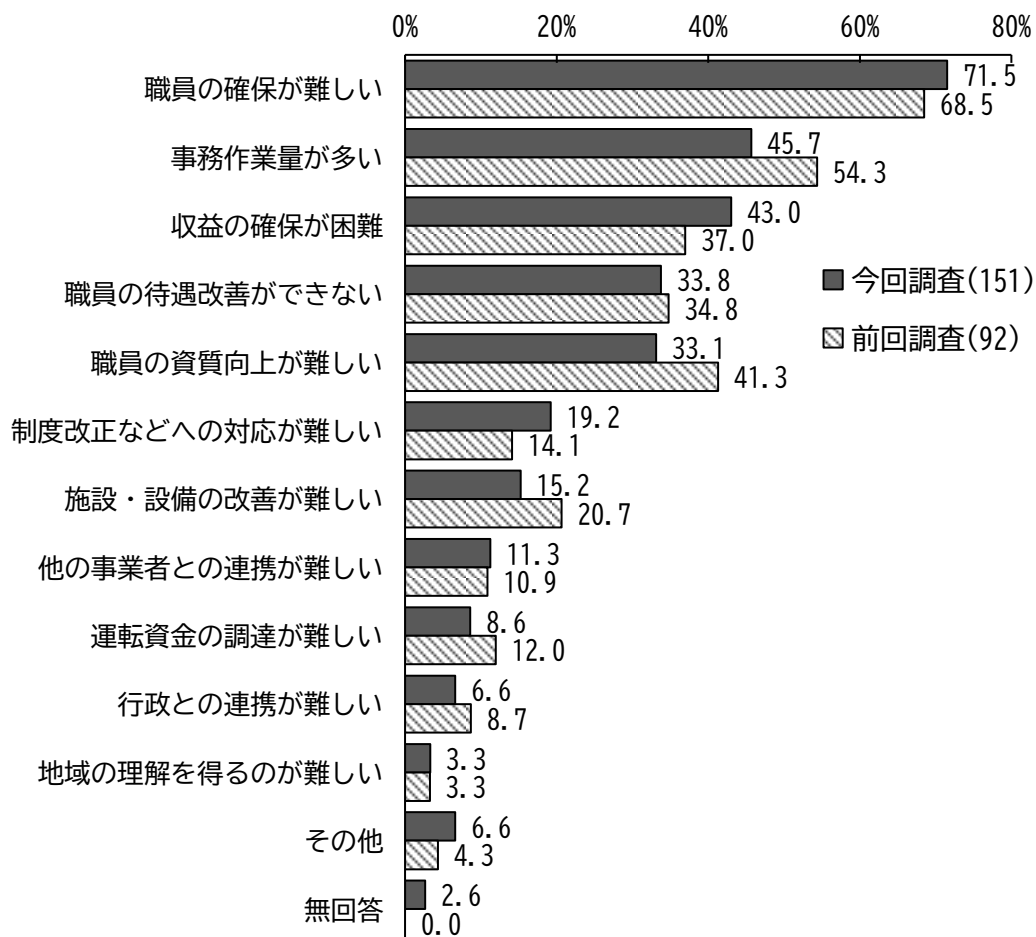
提供サービス\選択肢	合計	黒字 だった	均 ば 衡 し た 収 支 が	だ や っ た 赤 字	だ っ た 大 幅 な 赤 字	わ か ら な い	無 回 答
全体	151 100.0	40 26.5	31 20.5	26 17.2	26 17.2	24 15.9	4 2.6
居宅介護	52 100.0	17 32.7	12 23.1	6 11.5	9 17.3	7 13.5	1 1.9
重度訪問介護	39 100.0	10 25.6	10 25.6	5 12.8	9 23.1	4 10.3	1 2.6
同行援護	18 100.0	6 33.3	4 22.2	3 16.7	3 16.7	2 11.1	0 0.0
行動援護	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
生活介護	8 100.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
短期入所（ショートステイ）	7 100.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0
施設入所支援	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	8 100.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0
就労移行支援	19 100.0	4 21.1	3 15.8	7 36.8	3 15.8	2 10.5	0 0.0
就労継続支援（A型）	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（B型）	27 100.0	12 44.4	8 29.6	3 11.1	2 7.4	2 7.4	0 0.0
就労定着支援	15 100.0	3 20.0	3 20.0	6 40.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0
自立生活援助	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
共同生活援助（グループホーム）	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	20 100.0	3 15.0	4 20.0	3 15.0	6 30.0	4 20.0	0 0.0
移動支援事業	32 100.0	10 31.3	7 21.9	3 9.4	8 25.0	4 12.5	0 0.0
地域活動支援センター事業	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0
日中一時支援事業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
児童発達支援	18 100.0	2 11.1	2 11.1	6 33.3	1 5.6	5 27.8	2 11.1
放課後等デイサービス	19 100.0	4 21.1	3 15.8	6 31.6	1 5.3	4 21.1	1 5.3
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所等訪問支援	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
障害児相談支援	6 100.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0
その他	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0

(7) 経営上の課題

◆「職員の確保が難しい」が71.5%、次いで「事務作業量が多い」が45.7%

- ・「職員の確保が難しい」が71.5%で最も多く、次いで「事務作業量が多い」が45.7%、「収益の確保が困難」が43.0%などとなっています。

問7 貴事業所を経営していく上で課題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)



2 職員について

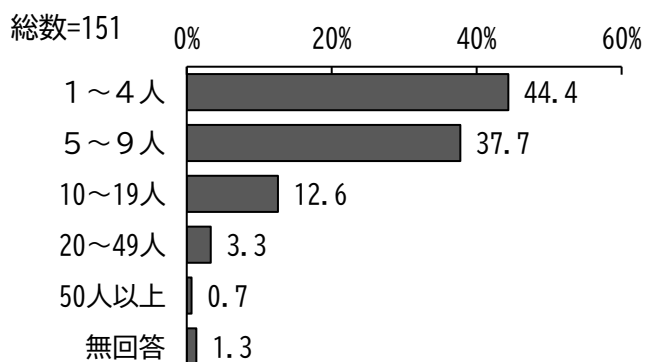
(1) 職員数

①常勤職員

◆「1～4人」が44.4%、次いで「5～9人」が37.7%、「10～19人」が12.6%

・「1～4人」が44.4%で最も多く、次いで「5～9人」が37.7%、「10～19人」が12.6%などとなっています。

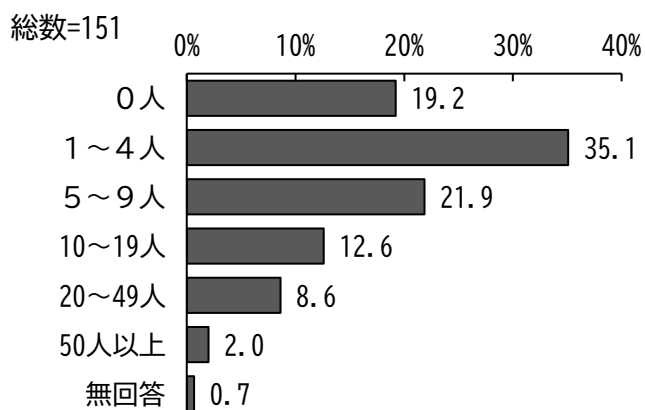
問8 貴事業所の職員数をお聞きます。



②非常勤職員

◆「1～4人」が35.1%、次いで「5～9人」が21.9%、「0人」が19.2%

・「1～4人」が35.1%で最も多く、次いで「5～9人」が21.9%、「0人」が19.2%などとなっています。

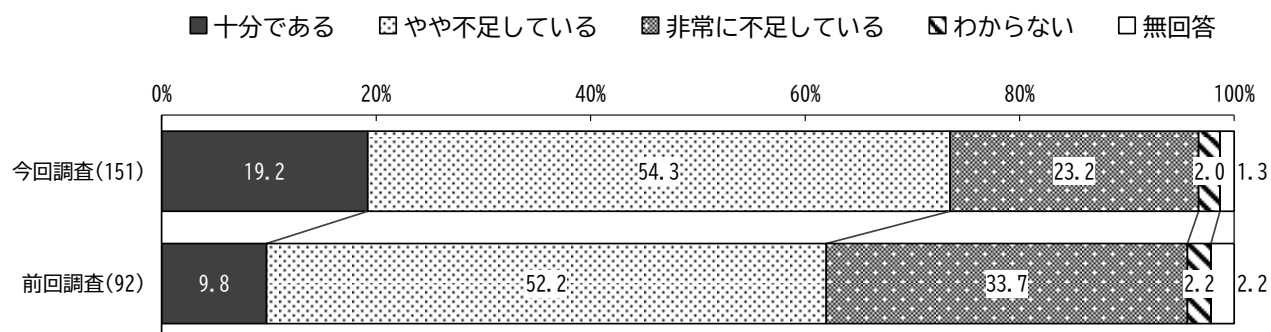


(2) 職員の充足状況

◆ 「やや不足している」が54.3%、次いで「非常に不足している」が23.2%

- ・「やや不足している」が54.3%で最も多く、次いで「非常に不足している」が23.2%、「十分である」が19.2%、「わからない」が2.0%などとなっています。

問9 貴事業所の業務量に対して、職員の充足状況（人手）はいかがですか。（○はひとつ）



【提供サービス別（参考）】

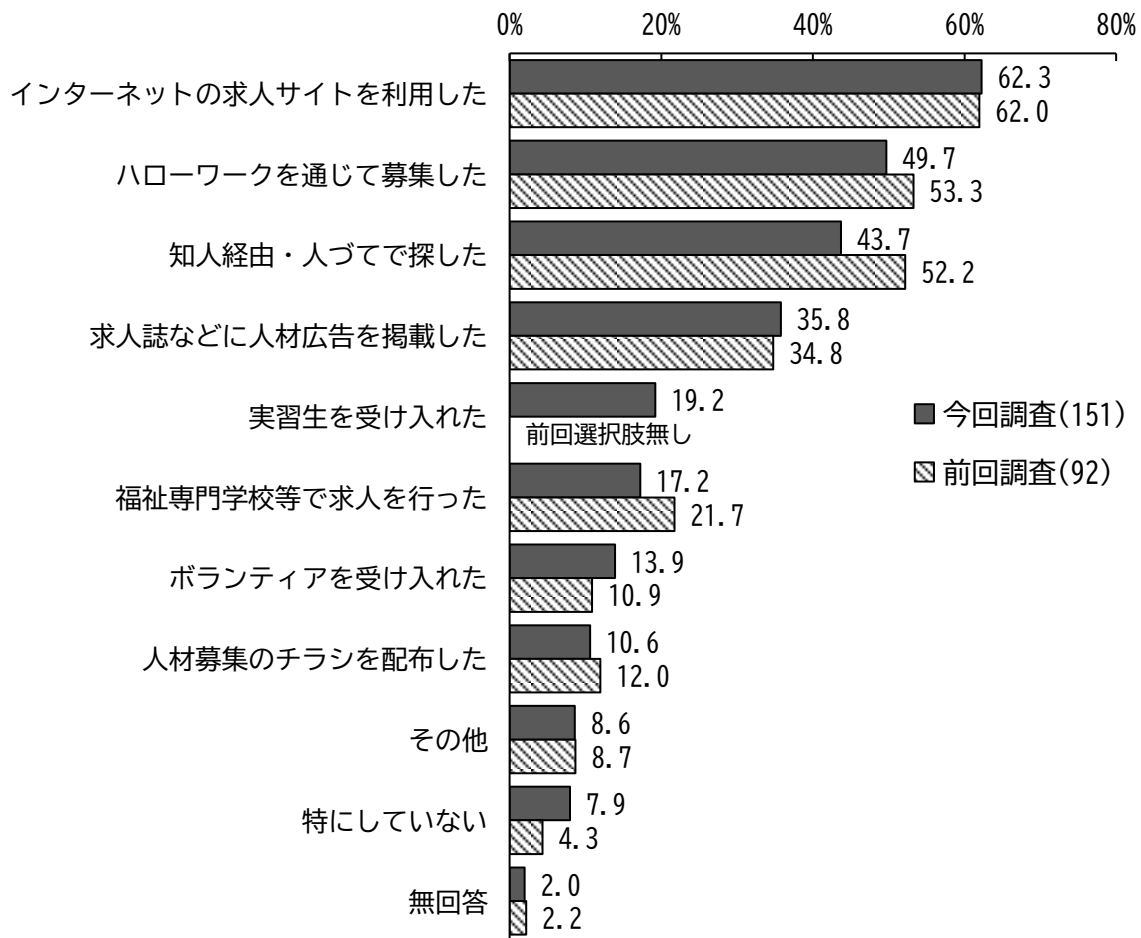
提供サービス\選択肢	合計	十分である	いやや不足している	非常に不足している	わからない	無回答
全体	151 100.0	29 19.2	82 54.3	35 23.2	3 2.0	2 1.3
居宅介護	52 100.0	3 5.8	29 55.8	19 36.5	1 1.9	0 0.0
重度訪問介護	39 100.0	2 5.1	21 53.8	15 38.5	1 2.6	0 0.0
同行援護	18 100.0	1 5.6	12 66.7	4 22.2	1 5.6	0 0.0
行動援護	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
生活介護	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0
短期入所（ショートステイ）	7 100.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3	0 0.0	1 14.3
施設入所支援	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	8 100.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0
就労移行支援	19 100.0	9 47.4	8 42.1	2 10.5	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（A型）	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（B型）	27 100.0	5 18.5	15 55.6	6 22.2	1 3.7	0 0.0
就労定着支援	15 100.0	5 33.3	8 53.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0
自立生活援助	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
共同生活援助（グループホーム）	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	20 100.0	6 30.0	11 55.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0
移動支援事業	32 100.0	1 3.1	20 62.5	10 31.3	1 3.1	0 0.0
地域活動支援センター事業	5 100.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
日中一時支援事業	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
児童発達支援	18 100.0	4 22.2	13 72.2	0 0.0	1 5.6	0 0.0
放課後等デイサービス	19 100.0	6 31.6	12 63.2	0 0.0	1 5.3	0 0.0
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所等訪問支援	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害児相談支援	6 100.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7
その他	5 100.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0

(3) 人材確保のための取り組み

◆「インターネットの求人サイトを利用した」が62.3%

・「インターネットの求人サイトを利用した」が62.3%で最も多く、次いで「ハローワークを通じて募集した」が49.7%、「知人経由・人づてで探した」が43.7%などとなっています。

問10 貴事業所では、人材確保のための取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)



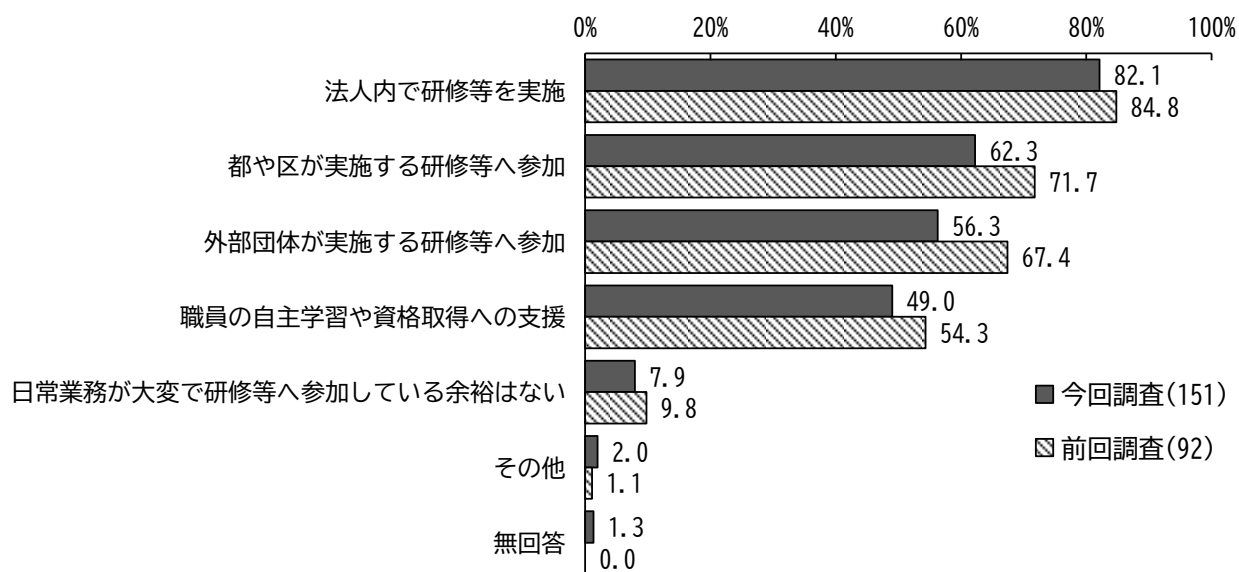
※「実習生を受け入れた」は前回選択肢なし

(4) 人材育成のための取り組み

◆「法人内で研修等を実施」が82.1%

- ・「法人内で研修等を実施」が82.1%で最も多く、次いで「都や区が実施する研修等へ参加」が62.3%、「外部団体が実施する研修等へ参加」が56.3%などとなっています。

問11 貴事業所では、人材育成のための取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

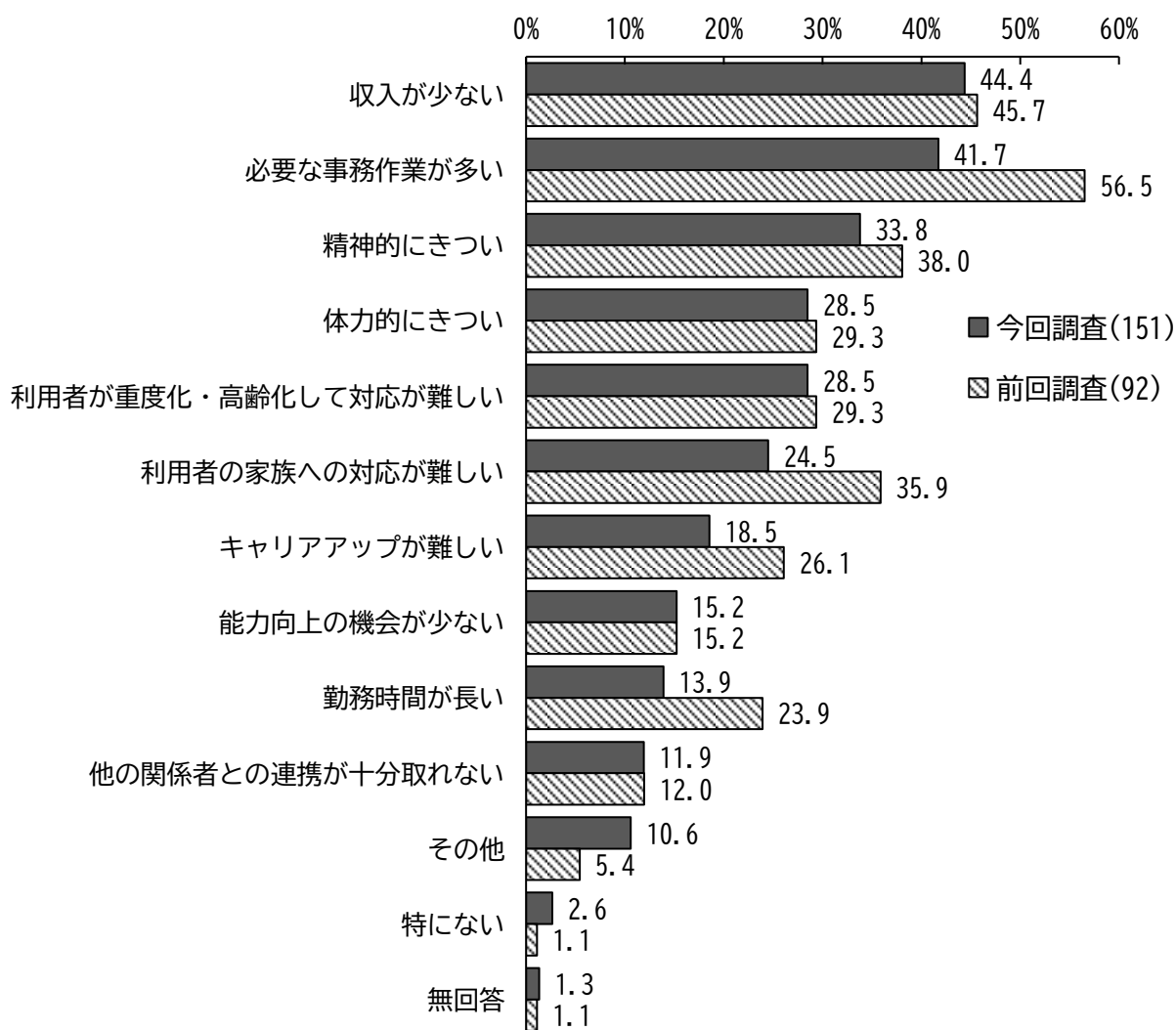


(5) 職員が困っていること

◆ 「収入が少ない」が44.4%、次いで「必要な事務作業が多い」が41.7%

・「収入が少ない」が44.4%で最も多く、次いで「必要な事務作業が多い」が41.7%、「精神的にきつい」が33.8%などとなっています。

問12 貴事業所の職員の方は、どのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)



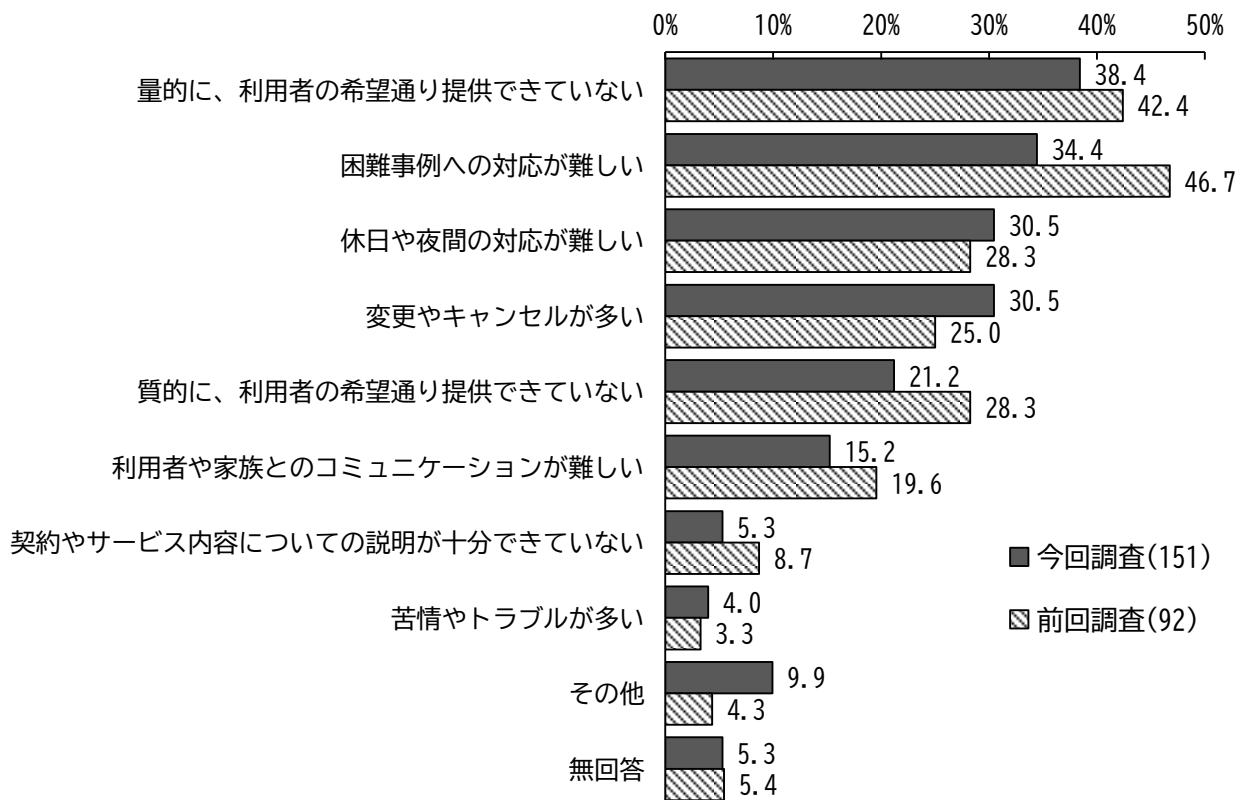
3 サービス提供について

(1) サービス提供の課題

◆「量的に、利用者の希望通り提供できていない」が38.4%

・「量的に、利用者の希望通り提供できていない」が38.4%で最も多く、次いで「困難事例への対応が難しい」が34.4%、「休日や夜間の対応が難しい」「変更やキャンセルが多い」が30.5%などとなっています。

問13 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)



【提供サービス別（参考）】

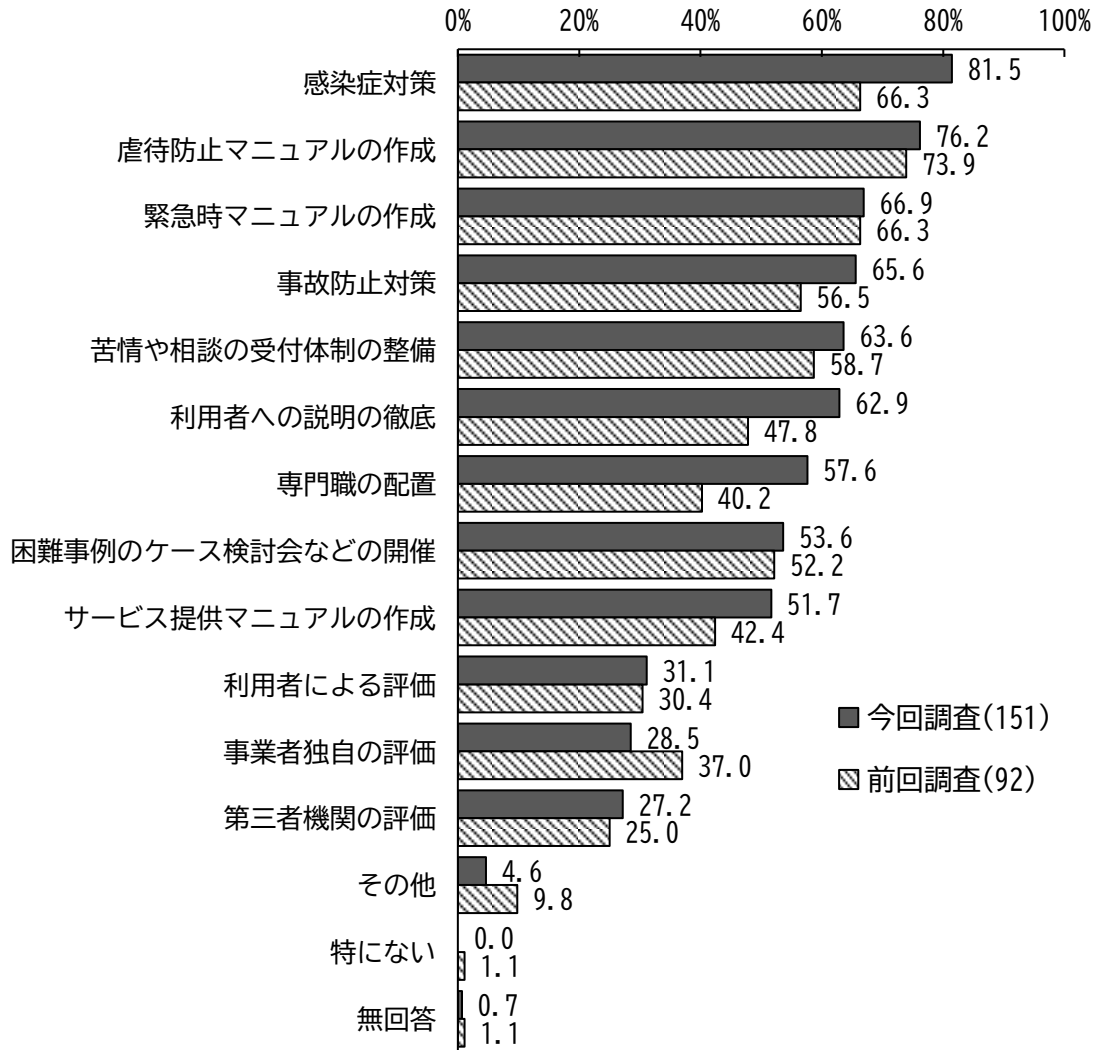
提供サービス\選択肢	合計	て希量的に、 いな通り、 提供用者 での	て希量的に、 いな通り、 提供用者 での	いが容約やサ にについサービス 十分でいてい てい説明な	ンが難し 利用者が家 コミューケ ンが難し	が困 難事例への 対応	が休 日や夜間の 対応	が変 更やキャン セル	多 情やトラ ブルが	そ の他	無 回 答
全体	151 100.0	58 38.4	32 21.2	8 5.3	23 15.2	52 34.4	46 30.5	46 30.5	6 4.0	15 9.9	8 5.3
居宅介護	52 100.0	29 55.8	7 13.5	4 7.7	8 15.4	17 32.7	27 51.9	19 36.5	4 7.7	3 5.8	2 3.8
重度訪問介護	39 100.0	23 59.0	6 15.4	3 7.7	7 17.9	10 25.6	21 53.8	18 46.2	4 10.3	2 5.1	2 5.1
同行援護	18 100.0	8 44.4	2 11.1	2 11.1	5 27.8	6 33.3	11 61.1	9 50.0	2 11.1	0 0.0	0 0.0
行動援護	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
生活介護	8 100.0	4 50.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
短期入所（ショートステイ）	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0
施設入所支援	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	8 100.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
就労移行支援	19 100.0	3 15.8	2 10.5	1 5.3	2 10.5	5 26.3	5 26.3	3 15.8	0 0.0	3 15.8	1 5.3
就労継続支援（A型）	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
就労継続支援（B型）	27 100.0	7 25.9	10 37.0	0 0.0	4 14.8	11 40.7	3 11.1	4 14.8	1 3.7	3 11.1	1 3.7
就労定着支援	15 100.0	3 20.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	2 13.3	5 33.3	2 13.3	0 0.0	4 26.7	1 6.7
自立生活援助	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
共同生活援助（グループホーム）	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	20 100.0	9 45.0	6 30.0	1 5.0	4 20.0	9 45.0	6 30.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0
移動支援事業	32 100.0	21 65.6	3 9.4	4 12.5	7 21.9	11 34.4	21 65.6	14 43.8	4 12.5	2 6.3	1 3.1
地域活動支援センター事業	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 80.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日中一時支援事業	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
児童発達支援	18 100.0	6 33.3	3 16.7	1 5.6	2 11.1	4 22.2	1 5.6	10 55.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6
放課後等デイサービス	19 100.0	8 42.1	4 21.1	1 5.3	1 5.3	6 31.6	2 10.5	10 52.6	0 0.0	2 10.5	1 5.3
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所等訪問支援	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
障害児相談支援	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
その他	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 60.0	3 80.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0

(2) サービス向上のための取り組み

◆「感染症対策」が81.5%、次いで「虐待防止マニュアルの作成」が76.2%

- ・「感染症対策」が81.5%で最も多く、次いで「虐待防止マニュアルの作成」が76.2%、「緊急時マニュアルの作成」が66.9%などとなっています。

問14 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)



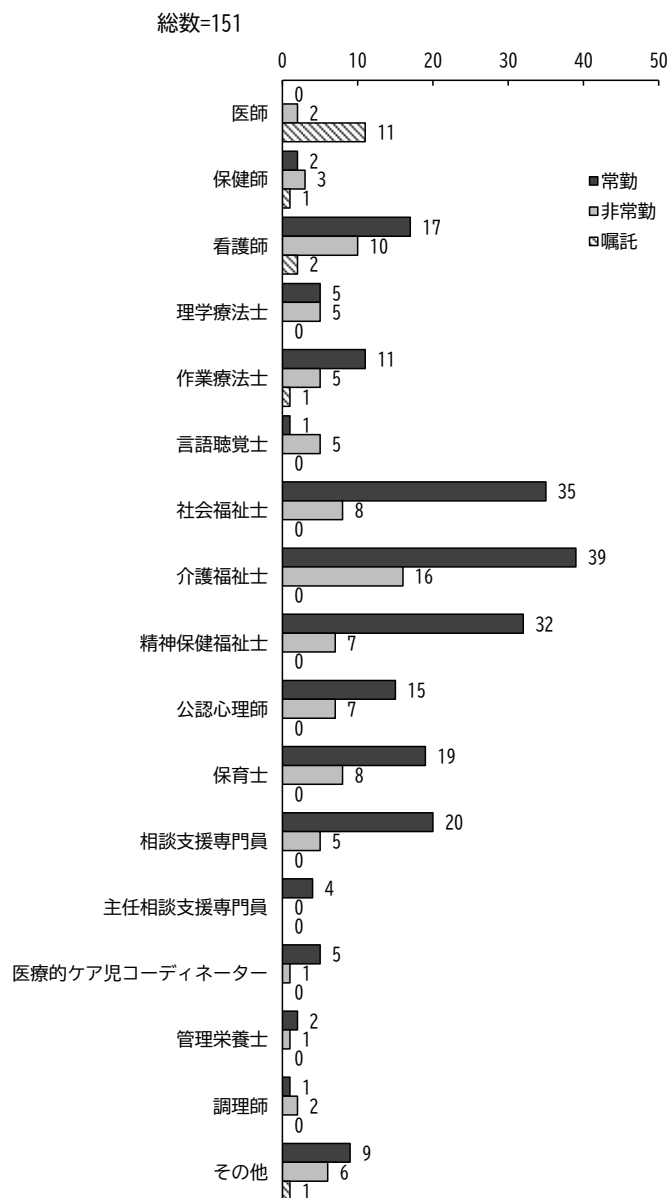
(3) 専門職の配置数

①専門職の配置数（配置している事業所数）

◆常勤は「介護福祉士」「社会福祉士」、非常勤は「介護福祉士」「看護師」、嘱託は「医師」を配置している事業所が多い

- ・常勤は、「介護福祉士」が39事業所と最も多く、次いで「社会福祉士」が35事業所、「精神保健福祉士」が32事業所などとなっています。
- ・非常勤は、「介護福祉士」が16事業所と最も多く、次いで「看護師」が10事業所、「社会福祉士」「保育士」が8事業所などとなっています。
- ・嘱託は、「医師」が11事業所、「看護師」が2事業所、「保健師」「作業療法士」が1事業所となっています。

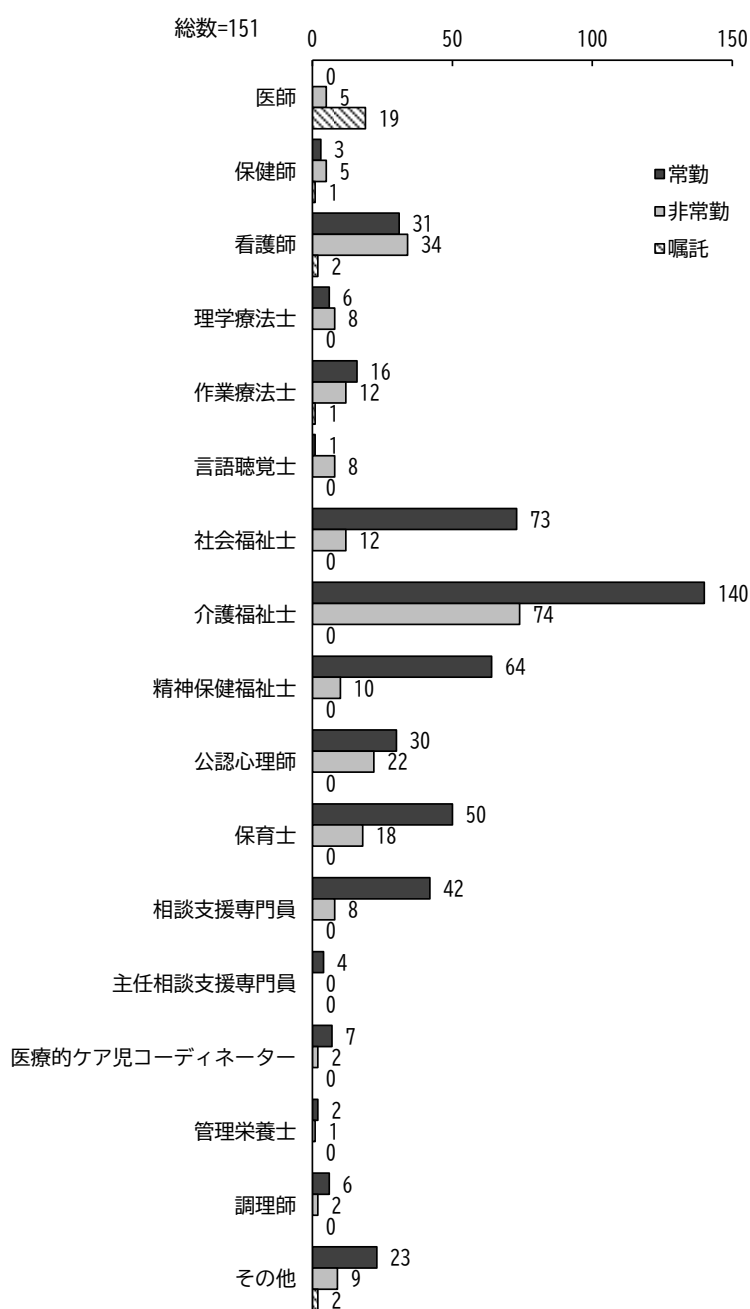
問15 【問14で「専門職の配置」を選択された事業所にお聞きます。】貴事業所で配置している専門職について、雇用形態別に人数をご記入ください。その他の場合は職種名もご記入ください。



②専門職の配置数（配置人数合計）

◆常勤は「介護福祉士」「社会福祉士」、非常勤は「介護福祉士」「看護師」、嘱託は「医師」の配置人数が多い

- ・常勤は、「介護福祉士」が140人と最も多く、次いで「社会福祉士」が73人、「精神保健福祉士」が64人などとなっています。
- ・非常勤は、「介護福祉士」が74人と最も多く、次いで「看護師」が34人、「公認心理師」が22人などとなっています。
- ・嘱託は、「医師」が19人、「看護師」が2人、「保健師」「作業療法士」が1人となっています。



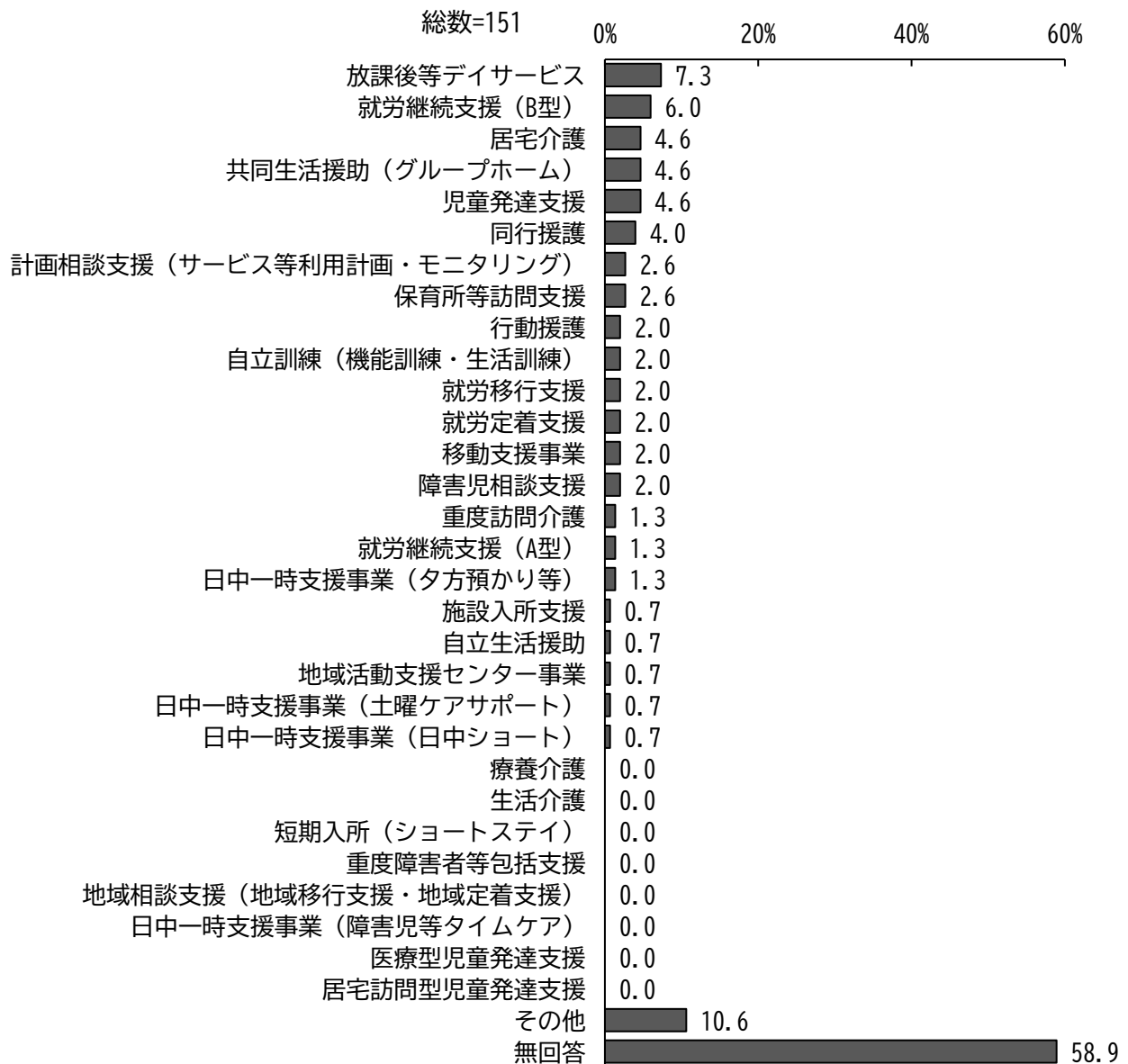
(4) 新規参入の予定

◆「放課後等デイサービス」が7.3%、次いで「就労継続支援（B型）」が6.0%

・「放課後等デイサービス」が7.3%と最も多く、次いで「就労継続支援（B型）」が6.0%、「居宅介護」「共同生活援助（グループホーム）」「児童発達支援」が4.6%などとなっています。

問16 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。（○はいくつでも）

※ 介護保険サービスは含めないでください。

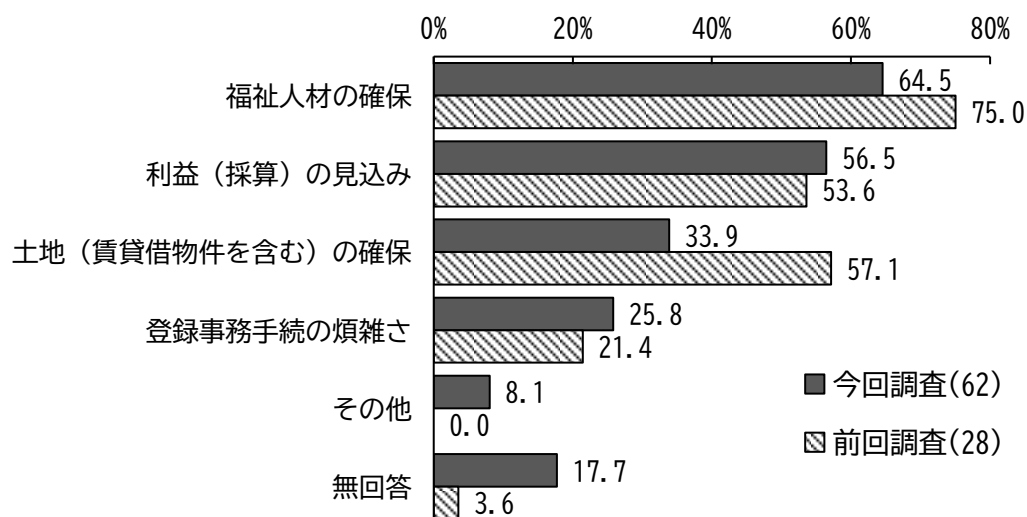


(5) 新規参入にあたっての課題

◆「福祉人材の確保」が64.5%、次いで「利益（採算）の見込み」が56.5%

- ・「福祉人材の確保」が64.5%で最も多く、次いで「利益（採算）の見込み」が56.5%、「土地（賃貸借物件を含む）の確保」が33.9%などとなっています。

問17 【問16で回答した事業所にお聞きします。】参入にあたって課題となるものは何ですか。（○はいくつでも）

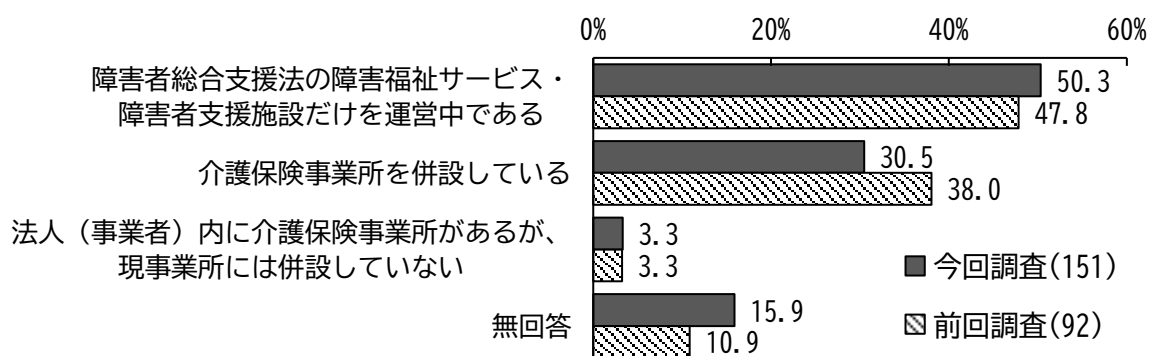


(6) 介護保険事業所の併設状況

◆「障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である」が50.3%

- ・「障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である」が50.3%で最も多く、次いで「介護保険事業所を併設している」が30.5%、「法人（事業者）内に介護保険事業所があるが、現事業所には併設していない」が3.3%となっています。

問18 貴事業所には、介護保険事業所を併設していますか。（○はひとつ）

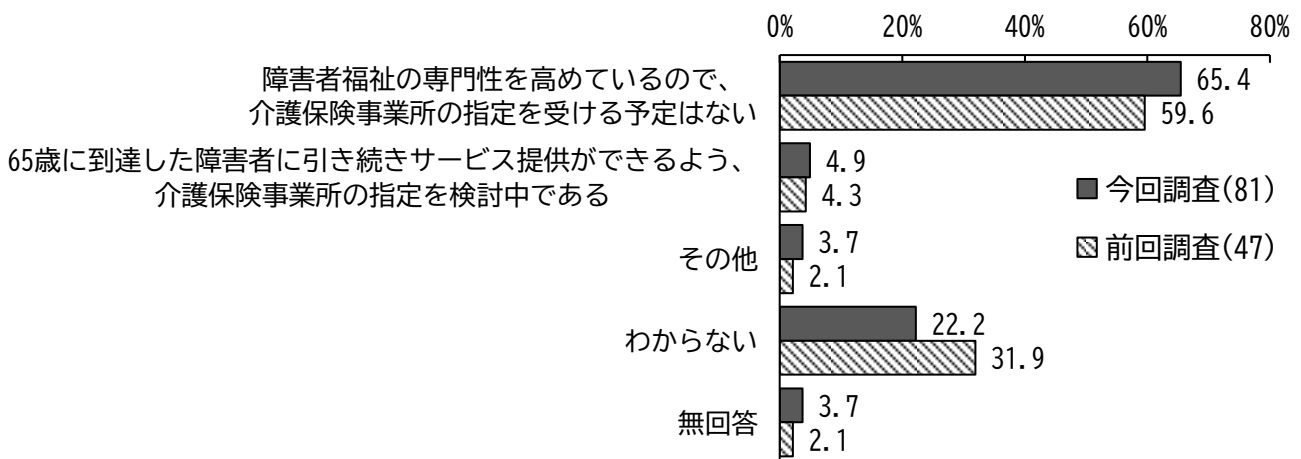


(7) 介護保険事業所の指定を受ける予定

◆「障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない」が65.4%

- ・「障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない」が65.4%で最も多く、次いで「わからない」が22.2%、「65歳に到達した障害者に引き続きサービス提供ができるよう、介護保険事業所の指定を検討中である」が4.9%となっています。

問19 【問18で「法人（事業者）内に介護保険事業所があるが、現事業所には併設していない」または「障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である」と回答した事業所の方にお聞きます。】
貴事業所では、新たに介護保険事業所の指定を受ける予定はありますか。（○はひとつ）

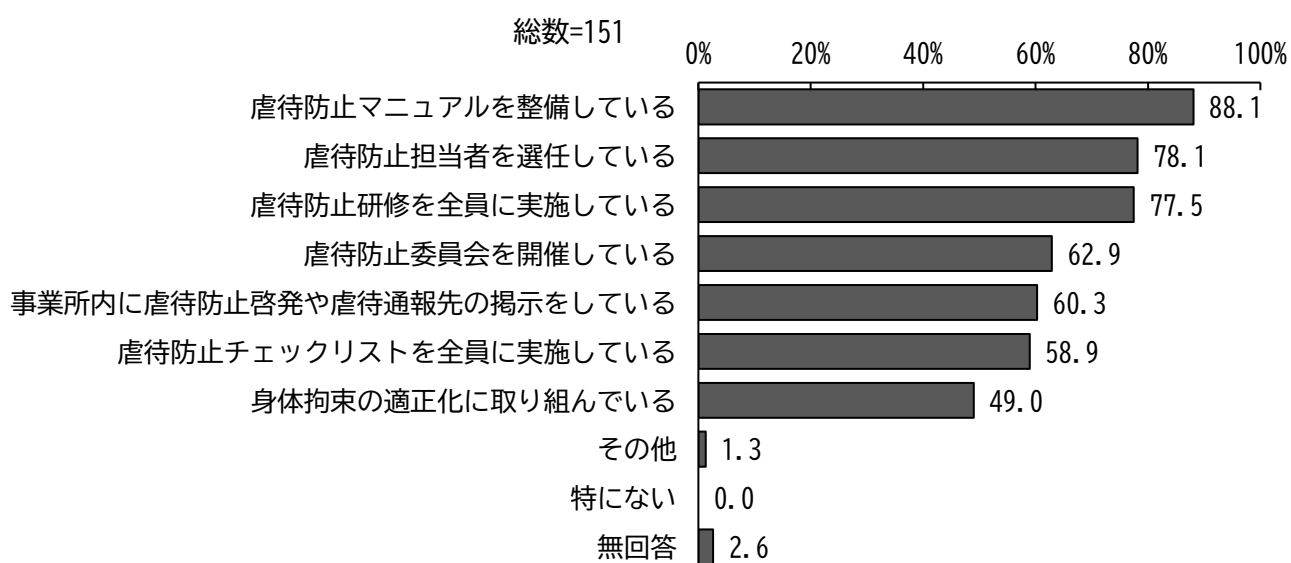


(8) 障害者虐待防止に向けた取り組み

◆「虐待防止マニュアルを整備している」が88.1%

- ・「虐待防止マニュアルを整備している」が88.1%で最も多く、次いで「虐待防止担当者を選任している」が78.1%、「虐待防止研修を全員に実施している」が77.5%などとなっています。

問20 貴事業所で、障害者虐待防止に向けて取り組んでいることを教えてください。(〇はいくつでも)

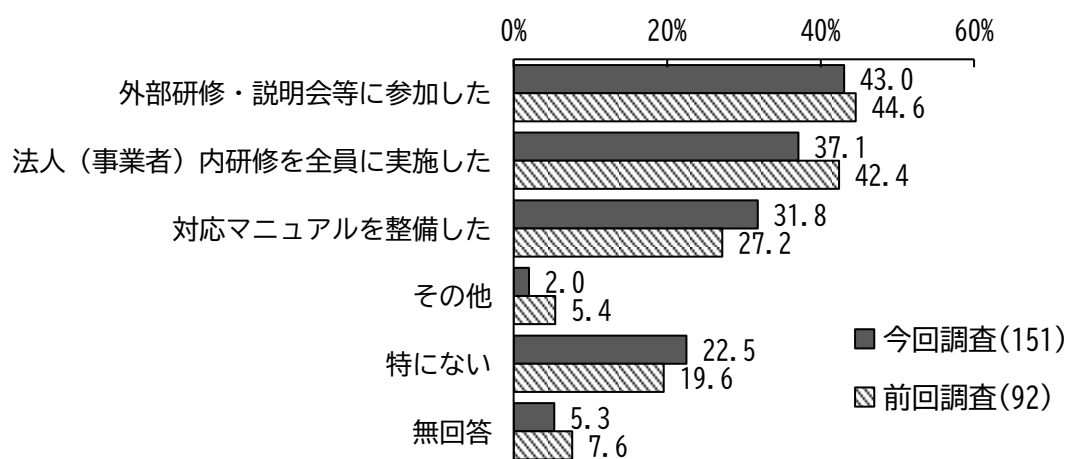


(9) 障害者差別解消の推進に向けた取り組み

◆「外部研修・説明会等に参加した」が43.0%

・「外部研修・説明会等に参加した」が43.0%で最も多く、次いで「法人（事業者）内研修を全員に実施した」が37.1%、「対応マニュアルを整備した」が31.8%となっています。「特にない」は22.5%です。

問21 貴事業所で、障害者差別解消の推進に向けて取り組んでいることを教えてください。(〇はいくつでも)

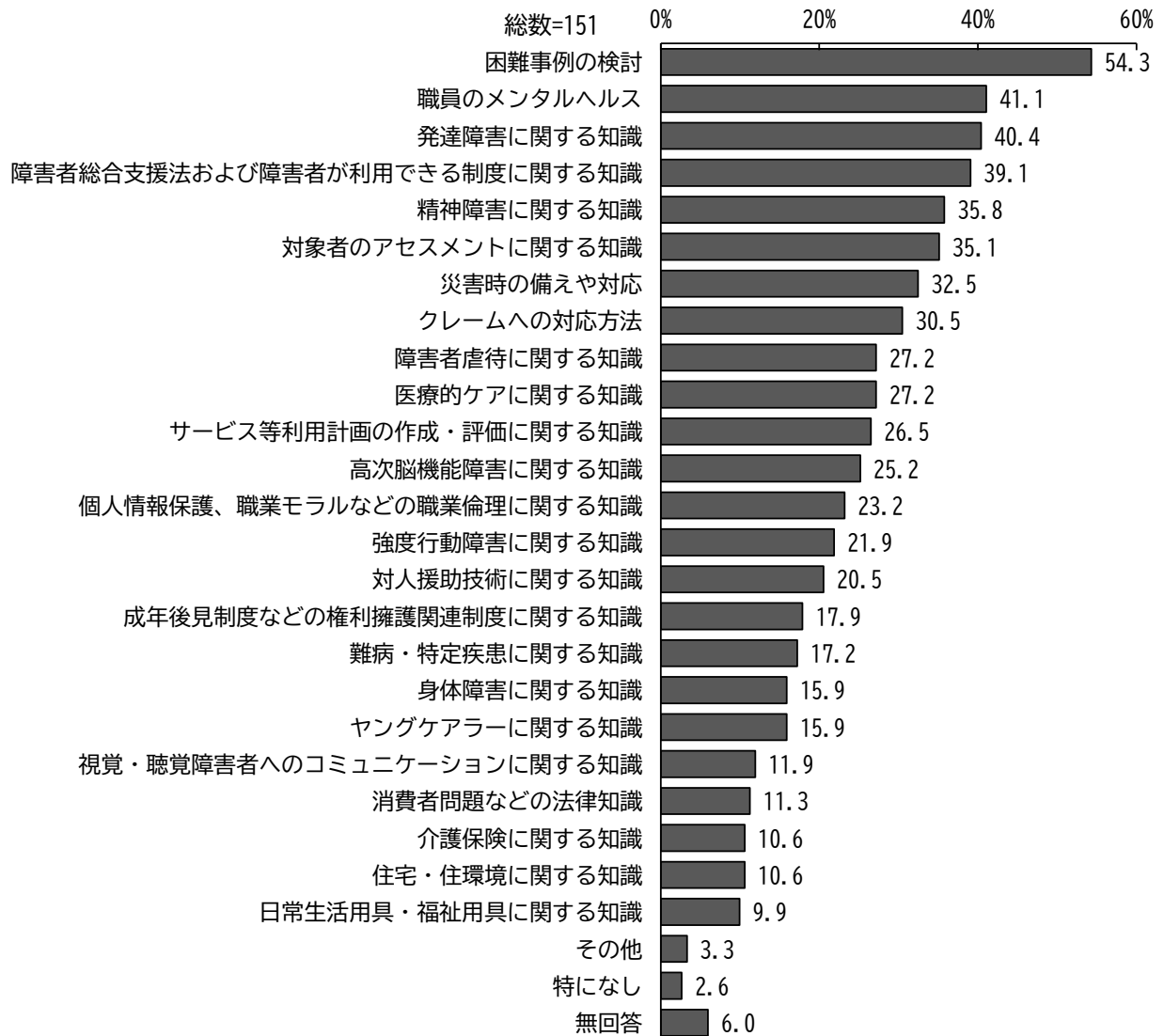


(10) 区が開催する研修に希望する内容

◆「困難事例の検討」が54.3%、次いで「職員のメンタルヘルス」が41.1%

- ・「困難事例の検討」が54.3%で最も多く、次いで「職員のメンタルヘルス」が41.1%、「発達障害に関する知識」が40.4%などとなっています。

問22 区が開催する研修について、どのような内容を希望しますか。(〇はいくつでも)



【提供サービス別（参考）】

提供サービス\選択肢	合計	困難事例の検討	知身体障害に関する	強度行動障害に関する	精神障害に関する	発達障害に関する	高次脳機能障害に関する	難病・特定疾患に関する	対象者のアセスメントに関する	障害者総合支援法および障害者が利用できる制度に関する	障害者作成・評価に関する	介護保険に関する	対人援助技術に関する	成年後見制度などに関する	障害者虐待に関する
全体	151 100.0	82 54.3	24 15.9	33 21.9	54 35.8	61 40.4	38 25.2	26 17.2	53 35.1	59 39.1	40 26.5	16 10.6	31 20.5	27 17.9	41 27.2
居宅介護	52 100.0	31 59.6	13 25.0	11 21.2	20 38.5	17 32.7	17 32.7	15 28.8	9 17.3	16 30.8	10 19.2	11 21.2	6 11.5	7 13.5	12 23.1
重度訪問介護	39 100.0	25 64.1	11 28.2	9 23.1	18 46.2	14 35.9	14 35.9	13 33.3	7 17.9	14 35.9	10 25.6	8 20.5	6 15.4	7 17.9	11 28.2
同行支援	18 100.0	9 50.0	4 22.2	3 16.7	7 38.9	6 33.3	6 33.3	5 27.8	1 5.6	6 33.3	3 16.7	5 27.8	1 5.6	1 5.6	3 16.7
行動支援	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
生活介護	8 100.0	5 62.5	3 37.5	3 37.5	3 37.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	3 37.5
短期入所（ショートステイ）	7 100.0	5 71.4	2 28.6	4 57.1	3 42.9	3 42.9	3 42.9	1 14.3	4 57.1	2 28.6	3 42.9	0 0.0	4 57.1	3 42.9	4 57.1
施設入所支援	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	8 100.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	3 37.5	3 37.5	2 25.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0
就労移行支援	19 100.0	12 63.2	1 5.3	2 10.5	7 36.8	7 36.8	4 21.1	4 21.1	8 42.1	11 57.9	6 31.6	0 0.0	4 21.1	3 15.8	5 26.3
就労継続支援（A型）	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
就労継続支援（B型）	27 100.0	13 48.1	1 3.7	5 18.5	12 44.4	10 37.0	6 22.2	1 3.7	12 44.4	15 55.6	10 37.0	1 3.7	9 33.3	8 29.6	7 25.9
就労定着支援	15 100.0	10 66.7	1 6.7	2 13.3	7 46.7	7 46.7	4 26.7	4 26.7	6 40.0	10 66.7	4 26.7	0 0.0	4 26.7	2 13.3	5 33.3
自立生活援助	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
共同生活援助（グループホーム）	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	20 100.0	9 45.0	1 5.0	4 20.0	7 35.0	8 40.0	4 20.0	0 0.0	6 30.0	9 45.0	10 50.0	3 15.0	8 40.0	5 25.0	4 20.0
移動支援事業	32 100.0	21 65.6	10 31.3	9 28.1	15 46.9	15 46.9	11 34.4	10 31.3	7 21.9	12 37.5	8 25.0	9 28.1	4 12.5	5 15.6	9 28.1
地域活動支援センター事業	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0
日中一時支援事業	4 100.0	3 75.0	2 50.0	4 100.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	2 50.0	3 75.0
児童発達支援	18 100.0	4 22.2	5 27.8	4 22.2	2 11.1	8 44.4	3 16.7	2 11.1	9 50.0	4 22.2	6 33.3	0 0.0	3 16.7	1 5.6	7 38.9
放課後等デイサービス	19 100.0	9 47.4	3 15.8	5 26.3	4 21.1	7 36.8	3 15.8	1 5.3	8 42.1	6 31.6	7 36.8	0 0.0	4 21.1	4 21.1	7 36.8
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
保育所等訪問支援	5 100.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
障害児相談支援	6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	3 50.0	2 33.3	0 0.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7
その他	5 100.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0

提供サービス\選択肢	合計	個人の職業倫理に関する知識	個人情報保護、モラルなど	災害時の備えや対応	消費者問題などの法律知識	福祉用具に関する知識	日常生活用具に関する知識	視覚・聴覚障害者へのコミュニケーションに関する知識	住宅・住環境に関する知識	応用方法	クレームへの対応	ヘルスマンタル	職員のメンタル	医療的ケアに関する知識	にやんぐケアライ	その他	特になし	無回答
全体	151 100.0	35 23.2	49 32.5	17 11.3	15 9.9	18 11.9	16 10.6	46 30.5	62 41.1	41 27.2	24 15.9	5 3.3	4 2.6	9 6.0				
居宅介護	52 100.0	11 21.2	14 26.9	5 9.6	6 11.5	7 13.5	5 9.6	17 32.7	22 42.3	18 34.6	10 19.2	0 0.0	1 1.9	2 3.8				
重度訪問介護	39 100.0	9 23.1	12 30.8	5 12.8	5 12.8	5 12.8	5 12.8	14 35.9	20 51.3	17 43.6	9 23.1	0 0.0	0 0.0	1 2.6				
同行援護	18 100.0	3 16.7	4 22.2	3 16.7	3 16.7	3 16.7	2 11.1	5 27.8	6 33.3	4 22.2	3 16.7	0 0.0	0 0.0	2 11.1				
行動援護	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0				
生活介護	8 100.0	2 25.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5				
短期入所（ショートステイ）	7 100.0	2 28.6	4 57.1	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	2 28.6	4 57.1	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0				
施設入所支援	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0					
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	8 100.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5					
就労移行支援	19 100.0	4 21.1	6 31.6	7 36.8	0 0.0	2 10.5	1 5.3	6 31.6	9 47.4	4 21.1	1 5.3	2 10.5	0 0.0					
就労継続支援（A型）	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0					
就労継続支援（B型）	27 100.0	6 22.2	11 40.7	4 14.8	2 7.4	1 3.7	4 14.8	9 33.3	11 40.7	5 18.5	3 11.1	2 7.4	2 7.4					
就労定着支援	15 100.0	3 20.0	5 33.3	6 40.0	0 0.0	1 6.7	1 6.7	6 40.0	8 53.3	4 26.7	1 6.7	2 13.3	0 0.0					
自立生活援助	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0					
共同生活援助（グループホーム）	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0					
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0					
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	20 100.0	6 30.0	10 50.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	8 40.0	10 50.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0					
移動支援事業	32 100.0	7 21.9	8 25.0	3 9.4	3 9.4	4 12.5	3 9.4	11 34.4	14 43.8	12 37.5	8 25.0	0 0.0	0 0.0					
地域活動支援センター事業	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0					
日中一時支援事業	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0					
児童発達支援	18 100.0	4 22.2	8 44.4	0 0.0	1 5.6	3 16.7	0 0.0	5 27.8	5 27.8	5 27.8	1 5.6	0 0.0	2 11.1					
放課後等デイサービス	19 100.0	6 31.6	7 36.8	2 10.5	2 10.5	4 21.1	1 5.3	6 31.6	6 31.6	4 21.1	3 15.8	1 5.3	2 10.5					
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0					
保育所等訪問支援	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0					
障害児相談支援	6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7					
その他	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	5 100.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0					

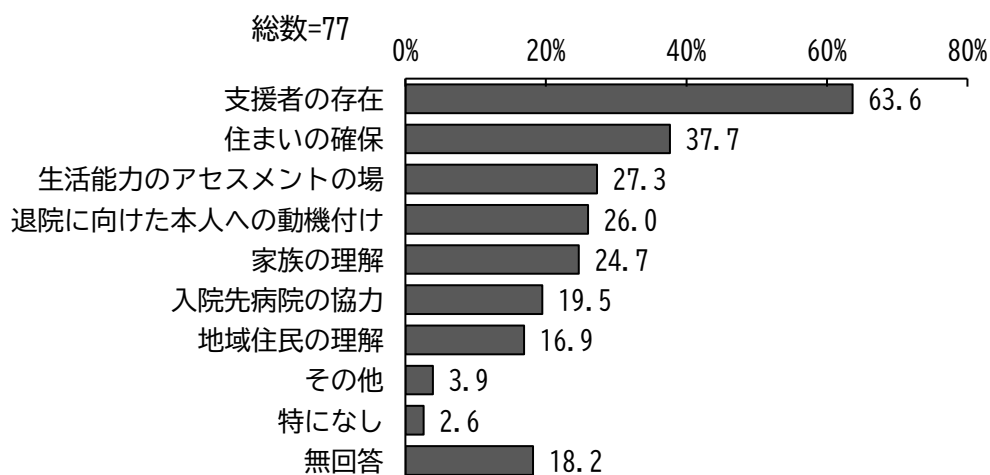
(11) 長期入院者の地域移行を促進するために必要なこと

◆「支援者の存在」が63.6%、次いで「住まいの確保」が37.7%

・「支援者の存在」が63.6%で最も多く、次いで「住まいの確保」が37.7%、「生活能力のアセスメントの場」が27.3%などとなっています。

問23 【精神障害者の支援を行っている事業所にお聞きします。】

長期入院者の地域移行を促進するために、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



【提供サービス別（参考）】

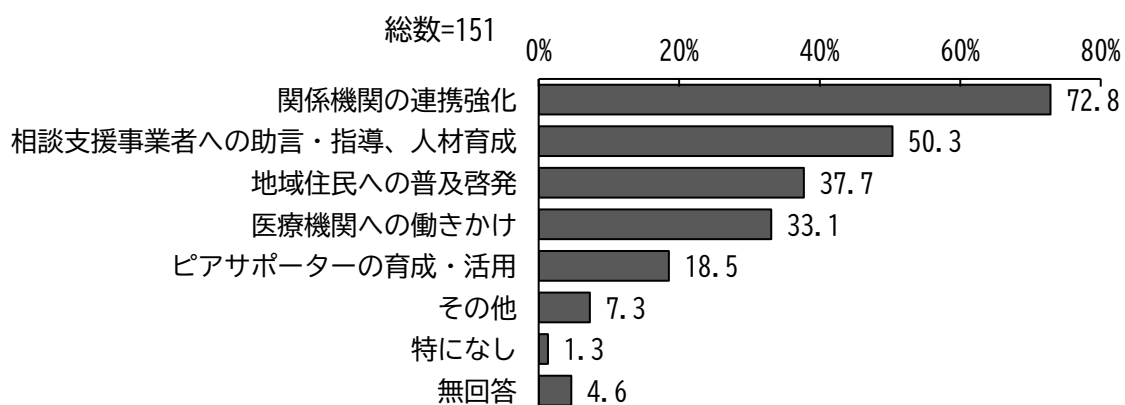
提供サービス\選択肢	合計	保 住 ま い の 確	在 支 援 者 の 存	ト ア 生 活 の セ ス メ ン の 場	家 族 の 理 解	理 地 域 住 民 の	動 た 退 機 本 院 付 人 へ の 向 け	の 入 協 院 力 先 病 院	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全体	77 100.0	29 37.7	49 63.6	21 27.3	19 24.7	13 16.9	20 26.0	15 19.5	3 3.9	2 2.6	14 18.2
居宅介護	24 100.0	7 29.2	12 50.0	5 20.8	6 25.0	7 29.2	2 8.3	4 16.7	2 8.3	0 0.0	6 25.0
重度訪問介護	18 100.0	5 27.8	8 44.4	4 22.2	5 27.8	5 27.8	2 11.1	4 22.2	2 11.1	0 0.0	4 22.2
同行援護	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3
行動援護	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
生活介護	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
短期入所（ショートステイ）	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
施設入所支援	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	5 100.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
就労移行支援	17 100.0	10 58.8	16 94.1	4 23.5	4 23.5	1 5.9	6 35.3	5 29.4	0 0.0	1 5.9	0 0.0
就労継続支援（A型）	3 100.0	2 66.7	3 100.0	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（B型）	17 100.0	9 52.9	15 88.2	5 29.4	6 35.3	1 5.9	5 29.4	4 23.5	0 0.0	1 5.9	0 0.0
就労定着支援	13 100.0	9 69.2	13 100.0	5 38.5	3 23.1	0 0.0	4 30.8	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立生活援助	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
共同生活援助（グループホーム）	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	13 100.0	4 30.8	9 69.2	3 23.1	6 46.2	1 7.7	7 53.8	3 23.1	0 0.0	0 0.0	2 15.4
移動支援事業	16 100.0	5 31.3	8 50.0	3 18.8	3 18.8	6 37.5	2 12.5	2 12.5	2 12.5	0 0.0	4 25.0
地域活動支援センター事業	5 100.0	2 40.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日中一時支援事業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
児童発達支援	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0
放課後等デイサービス	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7
居宅訪問型児童発達支援	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所等訪問支援	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
障害児相談支援	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
その他	2 100.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

(12) 障害者が暮らしやすい地域づくりのために力を入れるべきこと

◆「関係機関の連携強化」が72.8%

- ・「関係機関の連携強化」が72.8%で最も多く、次いで「相談支援事業者への助言・指導、人材育成」が50.3%、「地域住民への普及啓発」が37.7%などとなっています。

問24 障害者が暮らしやすい地域づくりのために、区が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は3つまで)



【提供サービス別（参考）】

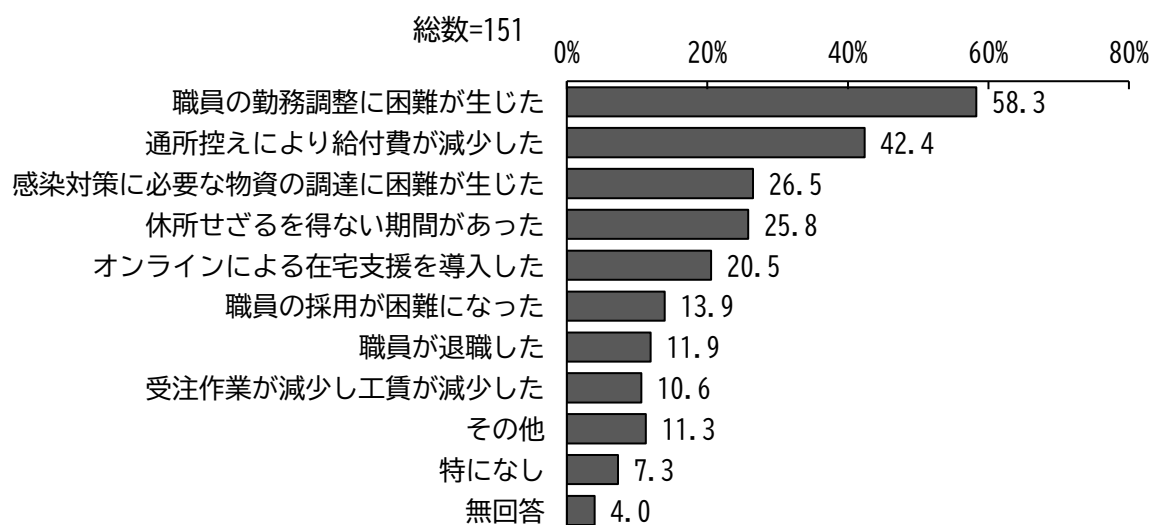
提供サービス\選択肢	合計	強化 関係 機関 の連 携	導への 相談支 助言・ 材育成 指業者	き医 かけ療 機関 への働	のピア 育成・ サポ ーター 活用	及地 啓域 発住 民への 普	その他	特になし	無回答
全体	151 100.0	110 72.8	76 50.3	50 33.1	28 18.5	57 37.7	11 7.3	2 1.3	7 4.6
居宅介護	52 100.0	34 65.4	29 55.8	11 21.2	11 21.2	19 36.5	3 5.8	1 1.9	2 3.8
重度訪問介護	39 100.0	28 71.8	23 59.0	8 20.5	9 23.1	15 38.5	3 7.7	0 0.0	0 0.0
同行援護	18 100.0	11 61.1	13 72.2	6 33.3	0 0.0	6 33.3	2 11.1	0 0.0	1 5.6
行動援護	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活介護	8 100.0	6 75.0	6 75.0	4 50.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
短期入所（シヨートステイ）	7 100.0	5 71.4	5 71.4	5 71.4	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
施設入所支援	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	8 100.0	7 87.5	6 75.0	5 62.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労移行支援	19 100.0	15 78.9	9 47.4	12 63.2	2 10.5	8 42.1	0 0.0	0 0.0	1 5.3
就労継続支援（A型）	3 100.0	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（B型）	27 100.0	22 81.5	13 48.1	12 44.4	3 11.1	9 33.3	2 7.4	0 0.0	1 3.7
就労定着支援	15 100.0	12 80.0	7 46.7	8 53.3	2 13.3	5 33.3	1 6.7	0 0.0	1 6.7
自立生活援助	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
共同生活援助（グループホーム）	4 100.0	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	20 100.0	15 75.0	11 55.0	9 45.0	2 10.0	10 50.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0
移動支援事業	32 100.0	25 78.1	17 53.1	7 21.9	8 25.0	13 40.6	2 6.3	0 0.0	1 3.1
地域活動支援センター事業	5 100.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日中一時支援事業	4 100.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
児童発達支援	18 100.0	12 66.7	10 55.6	4 22.2	3 16.7	1 5.6	1 5.6	1 5.6	2 11.1
放課後等デイサービス	19 100.0	12 63.2	7 36.8	5 26.3	5 26.3	5 26.3	2 10.5	1 5.3	1 5.3
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所等訪問支援	5 100.0	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害児相談支援	6 100.0	4 66.7	3 50.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
その他	5 100.0	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

(13) 新型コロナウイルス感染症の影響

◆「職員の勤務調整に困難が生じた」が58.3%

- ・「職員の勤務調整に困難が生じた」が58.3%で最も多く、次いで「通所控えにより給付費が減少した」が42.4%、「感染対策に必要な物資の調達に困難が生じた」が26.5%などとなっています。

問25 新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)

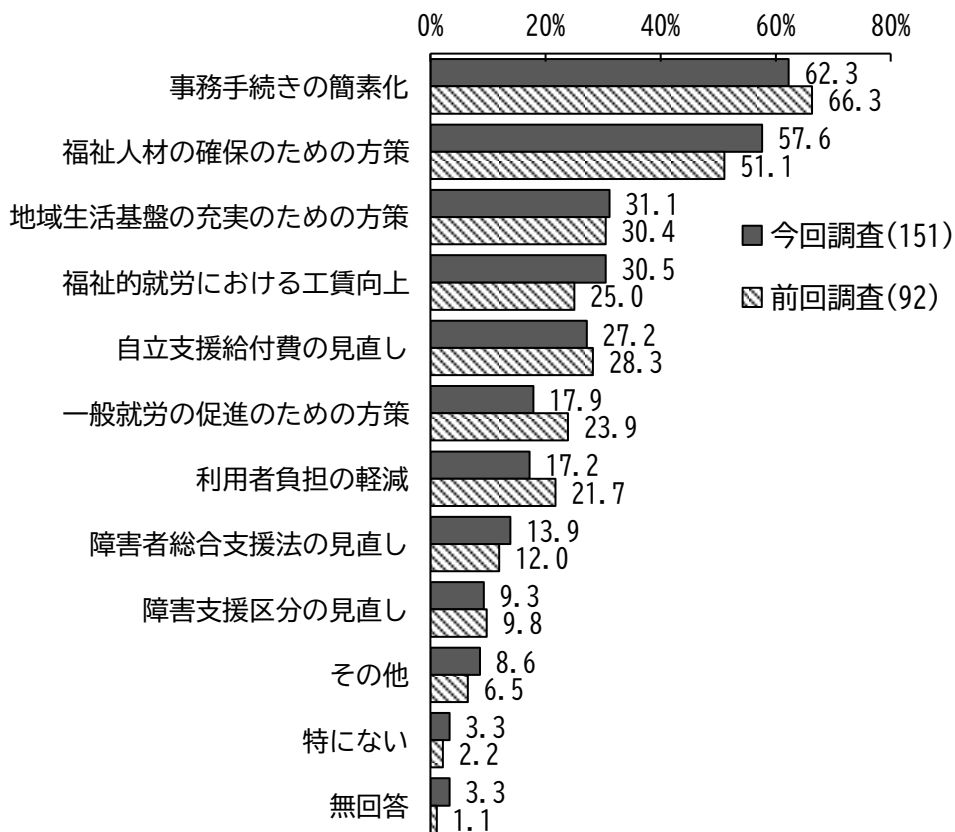


(14) 障害者施策に期待すること

◆「事務手続きの簡素化」が 62.3%、次いで「福祉人材の確保のための方策」が 57.6%、「地域生活基盤の充実のための方策」が 31.1%

・「事務手続きの簡素化」が 62.3%で最も多く、次いで「福祉人材の確保のための方策」が 57.6%、「地域生活基盤の充実のための方策」が 31.1%などとなっています。

問 26 貴事業所では、今後の障害者施策について、どのようなことを期待していますか。(〇はいくつでも)



4 自由意見

問 27 障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・「区への意見・要望」が 18 件と最も多く、次いで「サービス提供」が 4 件、「職員確保・質の向上」が 3 件などとなっています。

回答の内容		件数
1	区への意見・要望	18
2	サービス提供	4
3	職員確保・質の向上	3
4	その他	1
合計		26

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

意見の内容	提供サービス
来年度からこども家庭庁も創設されることもあり、新宿区でもどんな子供達もキラキラ輝いて育っていくことができるよう、一民間事業所としても取り組んでいきたい。新宿区ならではの取組が出来るよう、どんな子供達もご家族も楽しく過ごせる様な地域になれるよう一緒に進んでいきたいと考えます。	保育所等訪問支援
いつもありがとうございます。困った時には都度福祉課さんにご相談しながら対応させて頂いております。引き続き宜しくお願い致します。また、区の施策のレベルではないのですが、基本相談をいくら受けても報酬がつかないのはかなり厳しい感じです（少しでも報酬つけば収入にも影響し待遇改善につながると思います…）。	計画相談支援、障害児相談支援
新宿区では他区に比べて比較的障害福祉に優しい…と思います。障害福祉の仕事はとても楽しい!!というコトを全面に出して世間に周知して行きたいです。	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援事業
加算による処遇改善をやめて欲しい。単純に障害福祉サービス等報酬の基本報酬を上げて欲しい。処遇改善加算の事務処理が複雑で、事業者も行政もその処理に費やす時間が無駄だと思う。事務を増やすような仕事はやめて欲しい。	就労継続支援（B型）
今後重要になる包括支援について、障害のある人だけではなく、全ての方がライフステージに応じて起こった問題に対して、その人が相談した全ての方が窓口となり、必要な支援機関と連携が取れるよう、行政・教育・医療・福祉など様々な機関が柔軟に垣根を越えて連携できる仕組みの構築が必要であると考えます。新しく社会資源を作らなくても、既存の社会資源がスムーズに連携するだけで、様々な問題が解決され、事前の予防策にもつながるものと思います。	就労継続支援（B型）、計画相談支援、地域活動支援センター事業

意見の内容	提供サービス
<p>当社は介護保険主体の事業所です。1回の訪問を30分～60分の単位で動いています。しかし障害福祉サービスの依頼は1回90分～180分といった長時間が多く、スケジュールのマッチングができずにお断りすることが多くなっています。難しいとは思いますが両制度をうまく行き来できればと思っています。</p>	<p>居宅介護、重度訪問介護</p>
<p>移動支援では、スタートとゴールが異なるため、スタート又はゴール地から事務所等へ移動する時間がサービスには含まれないため、遠くへワンウェイで行く支援は困難になってしまう。</p>	<p>居宅介護、移動支援事業</p>
<p>人員不足の解消をどうにか進めて欲しい。</p>	<p>居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援事業</p>
<p>日中の職員配置を行わない限り十分な利用者支援には結びつかない。自立支援給付費は区分の高い方（重度利用者）は加算を定められているが、常勤職員を充分雇用できる収益には満たないためアルバイト、非常勤が必要となるが質の低下、人材確保の困難が課題となる。給付費の見直しと人材の確保に力を貸して頂ければ幸いです。</p>	<p>共同生活援助（グループホーム）</p>
<p>居宅介護事業所だが、在宅支援を希望する人材不足が顕著に表れていると思う。コロナ前よりはるかに人材の確保が困難を極めている。その反面、利用者の派遣ニーズは増えている。とりわけ、通所先から帰宅後の時間帯、児童の学校への送迎など、希望が集中してしまう時間帯があり、派遣することが難しい。事業所の立場で断るのに心苦しい、また利用者は何十件と問い合わせをしているなど、もっと効率の良い方法は無いのかと思う。計画相談の有効活用や相談窓口などの設置など、利用者と事業所の間をつなぐ役割が必要ではないかと思う。</p>	<p>居宅介護、重度訪問介護、移動支援事業</p>

資料（調査票）

くみん せいかつ かん 区民の生活のニーズに関する調査



- この調査票には、名前を書かないでください。
- 回答は、この調査票に直接書いてください。
- 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 質問によっては、一部の方のみにお返しいただくものもあります。
- 回答が「その他」になる場合は、()内にその内容を書いてください。
- 回答したくない質問は答えずに、次の質問に進んでください。

◇ 問答せだい ◇

ふくしよ しょうかいしゃ ふくしよせいしんがかり でんわ
福祉部 障害者福祉課 福祉推進係 電話 03(5273)4516、ファクス 03(3209)3441
しんじやくく くみん いんげん
新宿区 区民意見システム <https://www.faq.city.shinjuku.lg.jp/op/opinioninput.aspx?cid=18335>
しんじやくく かい
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区役所2階
どよう にちよう しやくしつ のぞ
(土曜・日曜・祝日を除く、午前8時30分から午後5時まで)

◇ 返送期限について ◇

れいわ ねん がつ かい
令和4年12月9日(金)まで
どうふう へんしんよう どうふう
同封の「返信用封筒」に、回答を書き入れたこの調査票を入れて、
どうふう かい
ポストに投函してください。 切手を貼る必要はありません。

インターネットを使って回答することもできます

スマートフォン・タブレット等で回答する場合は、右の二次元コードを読み取ってください。パソコンで回答する場合は、下記のURLを入力しIDとパスワードを入力してください。

URL : <https://www.cz-wee.com/if/shinjuku01.php>

※インターネット回答の詳しい説明は裏面にあります。

インターネット回答の説明

1. 二次元コードを読み取ると、自動的にID・パスワードが入力された状態になりますので、「ログイン」ボタンをタップ、またはクリックし、回答画面に進んでください。パソコンで回答される場合は、ID・パスワードを入力し、ログインしてください。
2. 画面の案内に従い、回答を進めてください。
3. 回答を途中保存する際は、画面右上の「MENU」を押して、途中終了をタップ(クリック)してから、ブラウザを閉じてください。
4. 回答を再開する際は、再度二次元コードを読み込んでいただくか、ID・パスワードを入力して再ログインをお願いします。
5. 回答が終わりましたら、「回答送信」をクリックし、「アンケート回答完了」の画面が表示されましたら、アンケートは終了です。郵送による回答は必要ありません。

- 郵送とインターネットはいずれかを選択いただくものであり、両方から回答することはできません。
- この調査は無記名により実施し、ご回答いただいた内容については統計的な処理をするため、回答者が特定されることはありません。
- 二次元コードとID・パスワードは、対象者名簿と紐づけられない状態で紙アンケート調査票にランダムに貼り付けており、個人を特定するためのものではありません。
- ID・パスワードは、「郵送回答とインターネット回答の重複確認」と「回答を一時保存した際の回答ページへの再ログイン」のためにのみ使用するものです。
- スマートフォン以外の携帯電話については、機種によっては回答できない場合がありますのでご了承ください。また、インターネットエクスペリエンスでは正しく表示されない場合がありますので、ご了承ください。
- 通信サービスの接続料金は回答される方の負担となりますのでご了承ください。

ここから調査がはじまります

ちょうさひょう

この調査票で、「あなた」とあるのは、『あて名ご本人』のことです。

な ほんにん

できるかぎりありあて名ご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合は、ご家族や介助の方が、あて名ご本人の立場や利益に沿った回答となるよう、現在の状況を踏まえてご回答ください。

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人 ()
2 ご家族の方
3 その他 ()

1 ご本人について

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性 2 女性 3 その他 4 無回答

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和4年11月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 父親 6 兄弟姉妹
2 母親 7 その他親族
3 配偶者・パートナー 8 ひとり暮らし
4 子(18歳未満) 9 グループホーム等での集団生活
5 子(18歳以上) 10 その他 ()

しょうがい けんこう じょうきょう

2 障害や健康の状況について

問5 あなたが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 身体障害者手帳 (級)

→1に○をつけた方は問6へ

2 愛の手帳 (度)

3 精神障害者保健福祉手帳 (級)

→3または4に○をつけた方は問7へ

4 自立支援医療 (精神通院医療) の給付

5 難病医療の給付 (病名:)

(診断を受けてからの期間: 年 月)

→1、3、4に○をつけなかった方は問8へ

問6 問5で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きます。どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)
2 音声・言語・そしゃく機能障害
3 視覚障害
4 聴覚・平衡機能障害
5 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)

問7 問5で「3 精神障害者保健福祉手帳」または「4 自立支援医療（精神通院医療）の給付」もしくは両方を回答された方にお聞きします。

どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 統合失調症
- 2 気分障害（うつ病・双極性障害）
- 3 神経症（不安障害・パニック障害）
・強迫性障害・PTSD・摂食障害など
- 4 発達障害 ※下記選択肢の中からあらはまる診断名に○を
- ① 自閉スペクトラム症 (ASD) ③ 学習障害 (LD)
- ② 注意欠如・多動症 (ADHD) ④ 発達性協調運動障害
- 5 高次脳機能障害
- 6 依存症（アルコール・薬物等）
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

ここからは全ての方にお聞きします。

問8 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。
(○はいくつでも)

- 1 人工呼吸器
- 2 気管切開の管理（ガーゼ交換等）
- 3 鼻咽喉エアウェイの管理
- 4 酸素療法
- 5 吸引
- 6 ネブライザーの管理
- 7 経管栄養
- 8 中心静脈カテーテルの管理
- 9 皮下注射
- 10 血糖測定
- 11 継続的な透析
- 12 導尿
- 13 排便管理
- 14 痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）
- 15 特に必要としていない

問9 あなたは、障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(○はいくつでも)

- 1 専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）
- 2 専門の診療所・クリニック
- 3 一般病院
- 4 大学病院
- 5 訪問診療
- 6 訪問看護
- 7 その他（ ）
- 8 医療機関には相談していない

問10 あなたは、毎日の生活の中のどのような場面で、介助や支援が必要ですか。
(○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は1に○)

- 1 全て
- 2 食事
- 3 排せつ
- 4 入浴
- 5 寝返り
- 6 着替え
- 7 調理・掃除・洗濯等の家事
- 8 室内の移動
- 9 洗顔・歯磨き
- 10 代読・代筆
- 11 電話の利用・代行
- 12 お金の管理
- 13 日常の買い物
- 14 通院、通学・通勤
- 15 通院、通学・通勤以外の外出
- 16 日常生活に必要な意思の広達
- 17 日常生活動作の見守り
- 18 薬の管理
- 19 区役所や業者などの手続き
- 20 その他（ ）
- 21 介助や支援は必要ない

→21に○をつけた方は問15へ

問11 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。
 あなたを介助・支援している人はどなたですか。
 【主な介助者】と【その他の介助者】についてお答えください。

- 【主な介助者】(○はひとつ)
- 1 父親
 - 2 母親
 - 3 配偶者・パートナー
 - 4 子(18歳未満)
 - 5 子(18歳以上)
 - 6 兄弟姉妹
 - 7 ホームヘルパー
 - 8 その他()

【その他の介助者】(○はいくつでも)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 配偶者・パートナー
- 4 子(18歳未満)
- 5 子(18歳以上)
- 6 兄弟姉妹
- 7 ホームヘルパー
- 8 その他()

問12 問11の【主な介助者】で「1」～「6」のいずれかを回答された方にお聞きします。
 あなたを主に介助・支援している人は何歳ですか。(○はひとつ)

- 1 15歳未満
- 2 15～19歳
- 3 20～29歳
- 4 30～39歳
- 5 40～49歳
- 6 50～59歳
- 7 60～64歳
- 8 65～74歳
- 9 75歳以上

問13 問11の【主な介助者】で「1」～「6」のいずれかを回答された方にお聞きします。
 あなたを主に介助・支援している人は、あなた以外の人を介助・支援する
 ことがありますか。それはどのような場合ですか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者の介護
- 2 乳幼児の子育て
- 3 病人の看護
- 4 あなた以外の障害者の介護
- 5 その他()
- 6 ない

問14 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。主な介助者があな
 たを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。
 (○はいくつでも)

- 1 一緒に住んでいる家族に頼む
- 2 別に住んでいる親族に頼む
- 3 ホームヘルパー(居宅介護等)を利用する
- 4 訪問看護を利用する
- 5 ショートステイを利用する
- 6 施設に入所する
- 7 グループホーム 福祉ホームに入居する
- 8 病院に入院する
- 9 成年後見人を立てる
- 10 その他()
- 11 まだわからない

3 相談や福祉の情報について

問15 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。
 (○はいくつでも)

- 1 健康状態に不安がある
- 2 着替えや食事などが十分でない
- 3 家事などが十分できない
- 4 介助者の負担や健康が心配
- 5 外出に支障がある
- 6 進学・学校について困っている
- 7 就労について困っている
- 8 緊急時の対応に不安がある
- 9 災害時の避難に不安がある
- 10 家族の人間関係に支障がある
- 11 家族以外の人間関係に支障がある
- 12 障害や病気に對する周囲の理解がない
- 13 困ったとき相談する相手がない
- 14 役所などの手続きが難しい
- 15 病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない
- 16 経済的に不安がある
- 17 将来に不安を感じている
- 18 その他()
- 19 特にない

問16 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 近所の人
- 3 友人・知人・職場の人
- 4 民生委員・児童委員
- 5 障害等の当事者会や家族の会
- 6 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 7 サービス等利用計画を作成した相談支援専門員
- 8 ヘルパー等福祉従事者
- 9 施設の職員
- 10 医療機関等の関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)
- 11 障害者福祉課の窓口
- 12 保健センター
- 13 地域生活支援拠点(※)
- 14 福祉事務所のケースワーカー
- 15 新居区社会福祉協議会
- 16 地域活動支援センター
- 17 高齢者総合相談センター
- 18 インターネット等の情報(メール相談、SNS等を含む)
- 19 その他
- 20 相談する相手はいない

※地域生活支援拠点とは

すみ慣れた地域で安心して暮らしていただけるような支援を提供できる仕組み。新宿区には基幹相談支援センター(障害者福祉課内)のほか、障害者福祉センター(身体障害)、シャロームみなみ風(知的障害)、障害者生活支援センター(精神障害)の3つの拠点があります。

問17 あなたは、区役所や基幹相談支援センターなどに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 電話やFAXでの相談
- 2 電子メールでの相談
- 3 自宅での訪問による相談
- 4 休日や夜間の相談
- 5 専門性の高い相談
- 6 身近な地域での相談
- 7 定期的な相談
- 8 障害者やその家族など同じ立場の人による相談
- 9 びん相談にも対応できる総合窓口
- 10 相談窓口に関する情報提供
- 11 プライバシーの遵守
- 12 その他
- 13 特にない

問18 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 区の広報紙
- 2 区のホームページ
- 3 障害者福祉課
- 4 保健センター
- 5 福祉施設
- 6 テレビ・ラジオ
- 7 インターネット
- 8 新聞・書籍
- 9 障害等の当事者会や家族の会
- 10 医療機関
- 11 その他
- 12 特にない

問19 あなたが、過去1年間に利用した、通信機器を使った機能・サービスは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 電子メールの送受信
- 2 ホームページやブログ、動画の閲覧
- 3 SNSの利用(Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど)
- 4 QRコード、バーコードなどの読み取り
- 5 オンライン講座、ウェブ会議等への参加、(Zoom、Skypeなど利用)
- 6 金融取引(インターネットによる銀行・証券取引など)
- 7 商品・サービスの購入
- 8 電子自治体の利用(公共の施設・講座の予約など)
- 9 その他
- 10 インターネットに接続可能な通信機器(スマホ・タブレット・PC)を持っていない

4 日中活動や仕事について

問20 あなたは、平日の日中、主にどのようなように過ごしていますか。(○はひとつ)

- 1 正社員・正職員として働いている(テレワークを含む)
- 2 パート・アルバイト・派遣社員などで働いている
- 3 自宅で働いている
(自営業・内職・家業の手伝いなど)
- 4 就労継続支援事業所(A型・B型)、福祉作業所などで働いている

- 5 通所施設に通っている
(生活介護・自立訓練・地域活動支援センター・デイケア等)
- 6 大学・学校などに通っている
- 7 職業訓練中(就労移行支援事業所を含む)
- 8 就職活動中
- 9 自宅で家事をしている
- 10 育児をしている
- 11 休職中
- 12 その他()
- 13 特になにもしていない

→1~4のいずれかに

○をつけた方は問21、22へ

→5~13のいずれかに

○をつけた方は問23へ

問22 問20で「1」~「4」のうちいずれかを回答された方にお聞きします。
仕事をする上で困っていることはありませんか(○はいくつでも)

- 1 収入が少ない
- 2 体力的につらい
- 3 精神的につらい
- 4 通勤が大変
- 5 職場の人間関係
- 6 職場での相談相手がいない
- 7 職場の障害理解が不足している
- 8 職場環境が障害に配慮していない
- 9 仕事を覚えるのがむずかしい
- 10 その他()
- 11 特にない

ここからは全ての方にお聞きします。

問23 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きします。(○は3つまで)

- 1 年金(障害基礎年金など)
- 2 給与・報酬(一般就労)
- 3 工賃など(福祉的就労)
- 4 事業収入(自営業等)
- 5 手当(障害者手当など)
- 6 生活保護費
- 7 親族の扶養または援助
- 8 その他()

問24 障害のある方が企業などで働くためにはどのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)

- 1 就労に向けての相談支援
- 2 就労してからの相談支援
- 3 転職・退職に際した相談支援
- 4 障害特性に合った職業訓練
- 5 職場での就労体験
- 6 自分に合った仕事を見つける支援
- 7 障害者向けの求人情報の提供
- 8 障害者特性に合った仕事を見つける支援
- 9 障害に合った柔軟な勤務体系
- 10 職場の障害理解の促進
- 11 ジョブコーチなどからの支援
- 12 職場のバリアフリー化
- 13 通勤経路のバリアフリー化
- 14 テレワーク(による在宅勤務)の定着
- 15 その他()
- 16 特にない

問21 問20で「1」~「4」のうちいずれかを回答された方にお聞きします。
仕事で得ている給与・工賃の金額について、税金を引く前の合計月額はいくらですか。(○はひとつ)

- 1 1万円未満
- 2 1万円以上3万円未満
- 3 3万円以上5万円未満
- 4 5万円以上10万円未満
- 5 10万円以上15万円未満
- 6 15万円以上20万円未満
- 7 20万円以上

5 外出やバリアフリーについて

問25 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。
(○は3つまで)

- 1 歩道の段差や傾斜があると移動が困難
- 2 建物の段差や階段があると移動が困難
- 3 バスやタクシーの利用が困難
- 4 駅構内の移動や乗り換えが困難
- 5 券売機の利用が困難
- 6 トイレの利用が困難
- 7 疲れたときの休憩場所がない
- 8 自動車・自転車で危険を感じる
- 9 立ち看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある
- 10 外出するのに支障が必要である
- 11 外出したくても介助者がいない
- 12 その他
- 13 特にない

問26 過去1年間にあなたは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。(○はいくつでも)

- 1 コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動
- 2 スポーツ・軽度な身体活動(ハイキング、ウォーキング、体操等を含む)
- 3 趣味のサークル活動などの学習活動
- 4 ボランティア活動やNPO活動
- 5 障害者団体などの活動
- 6 その他

問27 あなたは、住まいに関してもどのような支援を必要としていますか。
(○はいくつでも)

- 1 住宅設備改善費用の貸付・助成
- 2 家具転倒防止や耐震化など災害対策
- 3 公営住宅への優先入居の拡充
- 4 民間賃貸住宅の入居支援(部屋探しを含む)
- 5 グループホームなどの整備
- 6 その他
- 7 特にない

6 福祉サービスについて

問28 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いますか。各サービスにつき、現在利用している場合は1に○を、2～3年以内に利用したい場合は2に○をつけてください。どちらにも当てはまらない場合は何も書かず先へお進みください。

※ 問28でお伺いするサービスは、障害福祉サービス等です。
介護保険サービスなど高齢者向けサービスは含めないでください。

(1) 自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい
① 居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。	1	2
② 重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。	1	2
③ 重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。	1	2

(2) 外出を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		現在利用している	2～3年以内に利用したい
① 同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報提供を行います。	1	2
② 行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。	1	2
③ 移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。	1	2
④ タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストリートチャーター利用券を別に交付します。	1	2

(5) 自立や就労を支援するサービス (続き)

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		現在 1 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
③ 就労継続支援 (A型・雇用型)	障害者に雇用の就労や生産活動の機会を提供します。	1	2
④ 就労継続支援 (B型・非雇用型)	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。	1	2
⑤ 自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。	1	2
⑥ 就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。	1	2

(6) 住まいの場・住まいに関するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		現在 1 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
① 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。	1	2
② 療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。	1	2
③ 共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。	1	2
④ 福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。	1	2

(3) 日中の活動を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		現在 1 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
① 生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。	1	2
② 地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。	1	2
③ 日中一時支援事業 (出稼サポート)	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。	1	2

(4) 一時的な支援を行うサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		現在 1 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
① 短期入所 (ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。	1	2
② 日中一時支援事業 (日中ショート)	介護を行う方々の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。	1	2

(5) 自立や就労を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓	
		現在 1 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
① 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。	1	2
② 就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。	1	2

(9) 精神障害者を対象としたダイケア

サービス名	回答はこちらに ↓	
	現在 1 現在 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
サービスの内容	ダイケアの内容	
① 保健センター ダイケア	1	2
② 精神科医療 ショートケア、 ダイケア、 ナイトケア	1	2

(10) 難病患者に関する支援

サービス名	回答はこちらに ↓	
	現在 1 現在 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
サービスの内容	ダイケアの内容	
① 在宅難病患者 一時入院事業	1	2
② 難病患者・ 家族会 「しんじゆく 難病サロン」	1	2

(7) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

サービス名	回答はこちらに ↓	
	現在 1 現在 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
サービスの内容	ダイケアの内容	
① 補装具費の 支給等	1	2
② 日常生活用具 給付事業	1	2
③ 住宅設備 改善費の給付	1	2

(8) 日常生活のサービス

サービス名	回答はこちらに ↓	
	現在 1 現在 利用している	2 2~3年以内に 利用したい
サービスの内容	ダイケアの内容	
① 相談支援事業	1	2
② 意思疎通支援 事業	1	2
③ 重症心身 障害児等住宅 レスパイト等 サービス	1	2
④ 巡回入浴 サービス	1	2
⑤ 自立支援医療	1	2

問29 あなたは、サービス利用に関して困っていることがありますか。
(○はいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 区役所での手続きが大変
- 3 利用できる回数や日数が少ない
- 4 事業者との利用日等の調整が大変
- 5 サービスの質が良くない
- 6 利用したいサービスが利用できない
- 7 サービス等利用計画が立てられていない
- 8 利用者負担（自己負担）が大きい
- 9 その他
- 10 特になし

問30 を回答するにあたっての解説

障害者の方が必要ならサービスをより安心して利用することができるように、障害福祉サービスを利用する方は「サービス等利用計画」を作ることになっています。
自分でご自身のサービスを組み立てるセルフプランもあります。

● サービス等利用計画
障害者総合支援法が定めている障害福祉サービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画(トータルプラン)です。

ご本人・ご家族の希望する生活やサービスの利用意向に基づき、区の指定を受けた特定相談支援事業所の相談支援専門員が福祉、保健、医療、教育、就労、住宅等の総合的な視点から、地域での自立した生活を支えるための「サービス等利用計画」を作成します。

「サービス等利用計画」を作成すると、相談支援専門員が、サービス提供事業所の手配や連絡調整を行ったり、定期的に自宅への訪問を行い、計画の見直しを行ったりします。
新宿区が指定した18歳以上の方のための特定相談支援事業所は、新宿区基幹相談支援センターを始め、24か所の民間の事業所があります(令和4年10月1日現在)。

サービス等利用計画の作成を依頼したい場合は、福祉部障害者福祉課支援係地区担当者(電話:03-5273-4583、アクセス:03-3209-3441)へお問い合わせください。

● セルフプラン
相談支援専門員に依頼せず、ご本人・ご家族や身近な支援者が計画を作成することもできます。サービス提供事業所の手配はご本人・ご家族が行うこととなります。

問30 障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。利用していない方は問31へ進んでください。

サービス等利用計画について、現状を教えてください。(○はひとつ)

- 1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している
- 2 介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネジャーにケアプランを作成依頼している
- 3 自分及び家族や支援者とセルフプランを作成している

問31 65歳以上の方(45～64歳で特定疾病の方を含みます)にお聞きします。それ以外の方は問33へ進んでください。

あなたに当てはまるものはどれですか。(○はひとつ)

- 1 要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している
- 2 要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している
- 3 要介護・要支援認定を受けているが、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない
- 4 要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない
- 5 介護保険が利用できる年齢に到達しているが、障害固有のサービス(同行支援や就労支援など)を利用中なので、介護保険サービスを利用していない
- 6 要介護・要支援認定で非該当になったので、介護保険サービスを利用せず、障害福祉サービスを利用している
- 7 その他

→3～7に○をつけた方は問33へ進んでください

問32 問31で「1」「2」のいずれれかを回答し、障害福祉サービスを利用したことがある方にお聞きします。

介護保険サービスを利用するようになって、どんなことがありましたか
(○はいくつでも)

- 1 ケアマネジャーに何でも相談できるようになってよかったです
- 2 福祉用具がレンタルできるよくなった
- 3 障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかったです
- 4 サービスの支給量が減ってしまっただ
- 5 同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった
- 6 利用者自己負担が増額した
- 7 障害福祉サービスの工賃の相談手続きが煩雑だった
- 8 その他()
- 9 特になし

問33 あなたが、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なこととは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 災害の情報を知る方法がない
- 2 助けを求める方法がない
- 3 近くに助けてくれる人がいない
- 4 一人では避難できない
- 5 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 6 避難所で必要な支援が受けられないか不安
- 7 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 8 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 9 医療機器の電源確保が心配
- 10 避難物資や情報を得たい
- 11 その他
- 12 特になし

問34 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。
(○はいくつでも)

- 1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
- 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている
- 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
- 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている
- 5 新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している
- 6 避難所の位置を知っている
- 7 避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある
- 8 防災訓練に参加したことがある
- 9 「要配慮者災害用セルプラン」を作成している
- 10 その他()
- 11 特になし

8 新型コロナウイルス感染症の影響について

問35 新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。
(○はいくつでも)

- 1 人との交流や外出の機会が減った
- 2 運動不足により体力が落ちた
- 3 精神的なストレスが増した
- 4 ワクチン接種や医療面の支援など、必要な情報を得ることが難しかった
- 5 必要な医療・福祉サービスを利用しづらくなった
- 6 オンラインサービスの利用が増えた
- 7 収入が減少した・なくなった
- 8 利用していたサービス事業所に通えなくなった
- 9 その他()
- 10 特になし

問36 新型コロナウイルス感染症に自分や家族が感染した方に伺います。どのようなことに困りましたか。

【問36】 具体的な内容：

問37 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感ずる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号に○をし、内に具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 職場で
- 4 学校、教育の場面で
- 5 病院・診療所などで
- 6 民間サービス（飲食店、習い事など）で
- 7 福祉サービスで
- 8 住む場所や家を借りる場面で
- 9 情報、コミュニケーションで
- 10 近隣、地域で
- 11 その他（)
- 12 特にない

具体的な内容：

問38 あなたが、障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号に○をし、内に具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 職場で
- 4 学校、教育の場面で
- 5 病院・診療所などで
- 6 民間サービス（飲食店、習い事など）で
- 7 福祉サービスで
- 8 住む場所や家を借りる場面で
- 9 情報、コミュニケーションで
- 10 近隣、地域で
- 11 その他（)
- 12 特にない

具体的な内容：

9 権利擁護について

問37～39を回答するにあたっての解説

障害者差別解消法

障害者差別解消法では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。そのことにより、障害のある人も共に暮らせる社会を目指しています。

● 「不当な差別的取扱いの禁止」とは

この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

例：「障害を理由に窓口対応を拒否される」「車いすを理由に交通機関の乗車を拒否される」など

● 「合理的配慮の提供」とは

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき(※)に、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。これを「合理的配慮の提供」といいます。

※言語(手話を含む)、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

障害者差別を受けたと感じたときのご相談は、福祉部障害者福祉課福祉推進係(電話：03-5273-4516、ファクス：03-3209-3441)へお問い合わせください。

問39 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備
- 2 障害者差別解消に向けた取り組みに関する情報の提供・発信
- 3 障害者差別解消法の趣旨を普及啓蒙するリーフレットの発行
- 4 障害者差別解消法の趣旨を普及啓蒙するイベントの開催
- 5 地域や学校等で交流の機会を増やすこと
- 6 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
- 7 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報の充実
- 8 障害者についての講演会や疑似体験会の開催
- 9 障害者への一般就労の促進
- 10 その他
- 11 特になし

問40～41 を回答するにあたっての解説

成年後見制度
 成年後見人などには以下の役割を担います。
 ①生活・医療・介護・福祉に関する契約などのお手伝い
 本人がその人らしい生活を送るため、本人の生活等に係る契約などのお手伝いをします。
 ②財産の管理
 本人の資産や収支状況を把握し、本人のために必要かつ相当な支出を計画的に行いつつ、資産を安全に管理します。

制度について詳しく知りたい方は、新宿区成年後見センター(電話:03-5273-4522、

ファクス:03-5273-3082)へお問い合わせください。

問40 成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇はひとつ)

- 1 現在、利用している
 - 2 今後利用したい
 - 3 利用は考えていない
 - 4 わからない
- 1または2に〇をつけた方は問42へ
 →3または4に〇をつけた方は問41へ

問41 問40で「3. 利用は考えていない」または「4. わからない」と回答した方にお聞きします。その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- 1 制度の利用を必要とする状況ではない
- 2 制度内容、手続きがわかりにくい
- 3 相談先がわからない
- 4 費用の負担が心配
- 5 信頼できる後見人候補者が思い当たらない
- 6 特に考えたことがない
- 7 その他

10 将来について

問42 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)

- 1 必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する
- 2 グループホーム、福祉ホームで生活する
- 3 障害者の入所施設に入所する
- 4 高齢者の入所施設に入所する
- 5 その他
- 6 わからない

11 自由意見

問43 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 障害理解・障害者差別解消の推進
- 2 相談支援体制の充実
- 3 医療に関するサービスの充実
- 4 医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実
- 5 教育・療育の充実
- 6 雇用・就労支援の充実
- 7 訪問系サービスの充実
- 8 日中活動系サービスの充実
- 9 短期入所の充実
- 10 意思疎通支援の充実
- 11 福祉用具・補装具などの充実
- 12 グループホームの整備・充実
- 13 入所施設の整備・充実
- 14 障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実（住まい探しなど）
- 15 建物・道路などのバリアフリー化
- 16 当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
- 17 趣味やスポーツ活動の充実
- 18 経済的支援の充実
- 19 災害時支援の充実
- 20 障害者の家族を対象とした支援
- 21 障害者福祉の人材確保・人材育成の充実
- 22 親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり
- 23 その他（ ）
- 24 特にない

問44 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に書かせてください。

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできませんが、計画策定の際の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わります。誠にありがとうございました。

令和4年12月9日(金)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。封筒に切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒に、ご住所をお名前をお書きにならないよう、お願いします。

こちらから調査がはじまります

この調査票で、「あなた」とあるのは、『あなたご本人』のことです。

できるかぎりありて名ご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合は、ご家族や施設の職員の方が、あて名ご本人の立場や利益に沿った回答となるよう、現在の状況を踏まえてご回答ください。

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人
- 2 ご家族の方
- 3 施設の職員
- 4 その他

1 ご本人について

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 無回答

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和4年11月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問4

あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 (1級 2級 3級 4級 5級 6級)
- ① 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)
- ② 音声・言語・そしゃく機能障害
- ③ 視覚障害
- ④ 聴覚・平衡機能障害
- ⑤ 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)
- 2 愛の手帳 (1度 2度 3度 4度)
- 3 精神障害者保健福祉手帳 (1級 2級 3級)
- 4 これらの手帳は持っていない

2 施設入所について

問5 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 新宿区内
- 2 23区内
- 3 東京都 (23区内を除く)
- 4 関東甲信越 (東京都を除く)
- 5 東北
- 6 その他

問6 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 1年未満
- 2 1年以上～3年未満
- 3 3年以上～5年未満
- 4 5年以上～10年未満
- 5 10年以上～20年未満
- 6 20年以上
- 7 わからない

問10 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 身の回りのことが自分では ()
- 2 十分にできない
- 3 健康状態に不安がある
- 4 プライバシーが十分に保たれない
- 5 1日の生活のリズムが自由にならない
- 6 施設設備に不満がある
- 7 仕事や訓練に不満がある
- 8 外出の機会が少ない
- 9 施設の職員への対応に不満がある
- 10 特に関係がうまく築けない
- 11 困ったとき相談する相手がいらない
- 12 家族とあまり会えない
- 13 将来の生活に何となく不安を感じる
- 14 その他 ()

問11 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。(○はいくつでも)

- 1 介護・看護の質の向上
- 2 健康への配慮
- 3 プライバシーへの配慮
- 4 生活内容(食事・入浴等)の改善
- 5 施設の設備の改善
- 6 日中活動の充実
- 7 外出機会の増加
- 8 職員の対応の改善
- 9 余暇活動の充実
- 10 相談体制の充実
- 11 地域生活に向けた訓練の充実
- 12 その他 ()
- 13 特に困ることはない

問7 あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族から自立するため
- 2 リハビリや生活面の訓練を受けるため
- 3 生活が保障され安心感があるため
- 4 家族による介助が難しくなったため
- 5 常時介助が必要なため
- 6 医療的なケアが必要なため
- 7 住まいに支障があったため
- 8 在宅福祉サービスが不十分なため
- 9 家族などに勧められたため
- 10 その他 ()
- 11 わからない

3 施設での生活について

問8 あなたが一時、出身世帯(施設に入る前に住んでいた家)に帰るときなどに困ることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 帰る手段がない、または移動が難しい
- 2 帰るときに介助者がいない
- 3 交通費などにお金がかかる
- 4 出身世帯の建物が障害に对应していない
- 5 出身世帯では十分な介助が受けられない
- 6 帰ったときは一人でいることが多い
- 7 家族や親族がいない
- 8 緊急の場合が不安である
- 9 その他 ()
- 10 特に困ることはない

問9 あなたは、施設での生活に満足していますか。(○はひとつ)

- 1 非常に満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不満である
- 4 非常に不満である
- 5 わからない

問12 あなたは日常的に必要なとしている医療的ケアがありますか。(○はいくつでも)

- 1 人工呼吸器
- 2 気管切開の管理 (ガーゼ交換等)
- 3 鼻頭エアウェイの管理
- 4 酸素療法
- 5 吸引
- 6 ネブライザーの管理
- 7 経管栄養
- 8 中心静脈カテーテルの管理
- 9 皮下注射
- 10 血糖測定
- 11 継続的な透析
- 12 導尿
- 13 排便管理
- 14 痙攣時の対応 (座薬、吸引、酸素投与等)
- 15 特に必要としていない

問13 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に3~4回
- 3 週に1~2回
- 4 月に1~3回
- 5 あまり外出しない

問14 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(○は2つまで)

- 1 年金 (障害基礎年金など)
- 2 工賃など (福祉的就労)
- 3 生活保護費
- 4 親族の扶養または援助
- 5 その他

4 相談や福祉の情報について

問15 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 施設の職員
- 3 第三者委員会等
- 4 友人・知人
- 5 卒業した学校の教職員
- 6 障害等の当事者会や家族の会
- 7 サービス等利用計画を作成した相談支援専門員
- 8 医療関係者 (医師、看護師、リハビリカー)
- 9 官公庁の窓口 (区の障害者福祉課等)
- 10 保健センター
- 11 社会福祉協議会
- 12 インターネット等の情報
- 13 その他
- 14 相談する相手はいない

問16 あなたは、福祉に関する情報を、主にごどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 相談支援専門員
- 3 知人・友人
- 4 官公庁の広報紙
- 5 官公庁のホームページ
- 6 官公庁の窓口 (区の障害者福祉課等)
- 7 保健センター
- 8 テレビ・ラジオ
- 9 インターネット
- 10 新聞・書籍
- 11 障害等の当事者会や家族の会
- 12 医療機関
- 13 施設の職員
- 14 その他
- 15 特にない

5 権利擁護について

問17 あなたは、障害者虐待の防止にむけた取り組みを知っていますか。(○は
いくつでも)

- 1 施設に障害者虐待防止責任者・相談員がいる
- 2 施設の外に障害者虐待について相談できる人がいる
- 3 障害者虐待の相談や通報先が明らかになっている
- 4 その他 ()
- 5 わからない

※障害のある方や障害者虐待を探見した方からの届出や通報・相談は、新宿区障害者虐待防止センター(電話:03-5273-4368、ファクス:03-3209-3441)へご連絡ください。

問18~19を回答するにあたっての解説

成年後見制度
認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る制度です。成年後見人などがこうした人の意思を尊重し、法律面や生活面でその人らしい生活を守るため、お手伝いします。
成年後見人などは以下の役割を担います。

- ①生活・医療・介護・福祉に関する契約などのお手伝い
本人がその人らしい生活を送るため、本人の生活等に係る契約などのお手伝いをします。
- ②財産の管理
本人の資産や収支状況を把握し、本人のために必要かつ相当な支出を計画的に行いつつ、資産を安全に管理します。

制度について詳しく知りたい方は、新宿区成年後見センター(電話:03-5273-4522、

ファクス:03-5273-3082)へお問い合わせください。

問18 成年後見制度を利用したいと思いませんか。(○はひとつ)

- 1 現在、利用している
- 2 今後利用したい
→1または2に○をつけた方は問20へ
- 3 利用は考えていない
- 4 わからない
→3または4に○をつけた方は問19へ

問19 問18で「3. 利用は考えていない」または「4. わからない」と回答した方にお聞きします。その理由はなんですか。(○はいくつでも)

- 1 制度の利用を必要としない 6 その他
- 2 制度内容、手続きがわかりにくい ()
- 3 相談先がわからない 7 特に考えたことがない
- 4 費用の負担が心配
- 5 信頼できる後見人候補者が思い当たらない

6 新型コロナウイルス感染症の影響について

問20 新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。(○はいくつでも)

- 1 感染した際、施設内で療養を行った 11 その他
- 2 感染した際、入院し療養を行った
- 3 感染し、体調が元に戻らない
- 4 人との交流や外出の機会が減った
- 5 運動不足により体力が落ちた 12 特にない
- 6 精神的なストレスが増した
- 7 家族の面会が制限された
- 8 必要な情報を得ることが困難になった
- 9 必要な医療・福祉サービスを利用しづらくなった
- 10 オンラインサービスの利用が増えた

ここから調査がはじまります

問1 この調査票に回答していただく方は、あて名のお子さんから見て、どなたにあたりますか。(○はひとつ)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 両親以外の家族
- 4 その他 ()

1 お子さんについて

問2 おさんの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 無回答

問3 おさんの年齢をお聞きます。令和4年11月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問4 あて名のおさんと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父母
- 5 その他親族
- 6 その他 ()

2 障害や健康の状況について

問5 おさんが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 身体障害者手帳 (級) →1に○をつけた方は問6へ

2 愛の手帳 (度)

3 精神障害者保健福祉手帳 (級)

4 自立支援医療 (精神通院医療) の給付

5 発達障害 ※下記選択肢の中からあてはまる診断名に○を

① 自閉スペクトラム症 (ASD) ③ 学習障害 (LD)

② 注意欠如・多動症 (ADHD) ④ 発達性協調運動障害

6 高次脳機能障害

7 難病医療の給付 (病名:)

(診断を受けてからの期間: 年 ヶ月)

8 これらの手帳等を持っていないし、診断も受けていない

→8に○をつけた方は問7へ

→1と8に○をつけなかった方は問8へ

問6 問5で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きます。どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

1 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)

2 音声・言語・そしゃく機能障害

3 視覚障害

4 聴覚・平衡機能障害

5 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)

→問8へ進んでください。

問7 問5で「8 これらの手帳等は持っていないし、診断も受けていない」と回答された方にお聞きします。

お子さんの発達の特徴として心配なことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 言葉が遅れている
- 2 落ち着がない
- 3 こだわりの強い
- 4 コミュニケーションが苦手
- 5 感覚の問題 (感覚過敏、感覚鈍麻) ()
- 6 発達に偏りがある
- 7 不器用なところがある
- 8 かんしゃくが強い
- 9 なんとなく他の子と違うと感じる
- 10 その他
- 11 あてはまるものはない

ここからは全ての方にお聞きします。

問8 お子さんの障害や心身の不調・特性について、はじめてわかったのは、どのようなときでしたか。(○はひとつ)

- 1 生まれてまもなく知らされた
- 2 家族や周りの人が気づいた
- 3 乳幼児健診で知らされた
- 4 育児相談などで知らされた
- 5 医療機関で診察したときに知らされた
- 6 保育園、子ども園、幼稚園の先生が気づいた
- 7 学校の先生が気づいた
- 8 その他
- 9 わからない

問9 お子さんは日常的に必要なとしている医療的ケアがありますか。

(○はいくつでも)

- 1 人工呼吸器
- 2 気管切開の管理 (ガーゼ交換等)
- 3 鼻咽喉エアウェイの管理
- 4 酸素療法
- 5 吸引
- 6 ネブライザーの管理
- 7 経管栄養
- 8 中心静脈カテーテルの管理
- 9 皮下注射
- 10 血糖測定
- 11 継続的な透析
- 12 導尿
- 13 排便管理
- 14 痙攣時の対応(座薬、吸引、酸素投与等)
- 15 特に必要としない

問10 お子さんの障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(○はいくつでも)

- 1 専門病院 (療育・リハビリ科・精神科など)
- 2 専門の診療所・クリニック
- 3 一般病院
- 4 大学病院
- 5 訪問診療
- 6 訪問看護
- 7 その他 ()
- 8 医療機関には相談していない

問11 お子さんは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。

(○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は1に○)

- 1 全て
- 2 食事
- 3 排せつ
- 4 入浴
- 5 寝返り
- 6 着替え ()
- 7 室内の移動
- 8 洗顔・歯磨き
- 9 通院、通園・通学
- 10 通院、通園・通学以外の外出
- 11 日常生活に必要な意思の伝達
- 12 日常生活動作の見守り
- 13 学習の支援
- 14 その他
- 15 介助や支援は必要ない

→15に○をつけた方は問15へ

問12 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

お子さんを主に介助・支援している人はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父母
- 5 その他親族
- 6 ホームヘルパー ()
- 7 その他

3 相談や福祉の情報について

問 13 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。お子さんを介助・支援する立場から、どのような悩みや不安を抱えていますか。 (○はいくつでも)

- 1 介助してくれる人が足りない
- 11 睡眠が不足している
- 2 何かあった時に介助を頼める人がいない
- 12 精神的な負担が大きい
- 3 他の家族の協力が少ない
- 13 経済的な負担が大きい
- 4 仕事に出られない
- 14 周囲の人や職場などの理解がない
- 5 長期的な外出ができない
- 15 子どもの特性による育てにくさを感じる
- 6 介助や支援の方法がわからない
- 16 きょうだい児の世話が十分にできない
- 7 休養やくつろぐ時間が少ない
- 16に○をつけた方は問 14へ
- 8 身体的な負担が大きい
- 17 その他
- 9 健康について不安がある
- ()
- 10 体調不良でも病院に行く時間が少ない
- 18 特に悩みや不安はない

→16以外に○をつけた方は問 15へ

問 14 問 13 で「きょうだい児の世話が十分にできない」と回答した方にお聞きします。
 具体的にどのような悩みや不安を抱えていますか。 (○はいくつでも)

- 1 きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない
- 2 きょうだい児に障害のあるお子さんの世話をさせることがある
- 3 きょうだい児が親に代わって家事をすることがある
- 4 きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる
- 5 きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない
- 6 その他 ()

問 15 お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。 (○はいくつでも)
 (お子さんの思いをご回答ください)

- 1 健康状態に不安がある
- 2 障害のため、身の回りのことが十分できない
- 3 親の健康が心配である
- 4 外出が大変である
- 5 住まいに不便を感じている
- 6 災害時の避難に不安がある
- 7 緊急時の対応に不安がある
- 8 学校などの先生とうまくいかない
- 9 友だちとの関係がうまくいかない
- 10 障害や病気に対する周りの理解がない
- 11 困ったとき相談する相手がない
- 12 病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない
- 13 生活にお金がかかることに不安がある
- 14 将来に不安を感じる
- 15 その他 ()
- 16 特にない

問 16 お子さんやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。

(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 友人・知人・近所の人
- 3 学校の教員
- 4 保育園・子ども園・幼稚園の先生
- 5 民生委員・児童委員
- 6 障害等の当事者会や家族の会
- 7 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 8 障害児支援利用計画を作成した相談支援専門員
- 9 ヘルパー等福祉従事者
- 10 ペアレントメンター (相談の研修を受けた障害児等の保護者)
- 11 スクールカウンセラー
- 12 医療機関等の関係者 (医師・看護師・ソーシャルワーカー)
- 13 障害者福祉課の窓口
- 14 障害者福祉課以外の区の窓口
- 15 保健センター
- 16 子ども総合センター (発達支援コーナーあひあい)
- 17 子ども総合センター (総合相談係)
- 18 子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関
- 19 子ども家庭支援センター
- 20 教育委員会・教育センター
- 21 地域生活支援拠点 (※)
- 22 新宿区社会福祉協議会
- 23 東京都児童相談センター
- 24 インターネット等の情報 (メール相談、SNS 等を含む)
- 25 その他 ()
- 26 相談する相手はいない

※地域生活支援拠点とは

住み慣れた地域で安心して暮らして暮らしているような支援を提供できる仕組み。新宿区には基幹相談支援センター (障害者福祉課内) のほか、障害者福祉センター (身体障害)、シャロームみなみ風 (知的障害)、障害者生活支援センター (精神障害) の3つの拠点があります。

問 17 区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 電話やFAXでの相談
- 2 電子メールでの相談
- 3 スマートフォンによるアプリやSNSでの相談
- 4 自宅での訪問による相談
- 5 休日や夜間の相談
- 6 専門性の高い相談 ()
- 7 身近な地域での相談
- 8 定期的な相談
- 9 障害者 (児) や家族など同じ立場の人による相談
- 10 どんな相談にも対応できる総合窓口
- 11 相談窓口に関する情報提供
- 12 プライバシーの遵守
- 13 その他 ()
- 14 特にない

問 18 障害などに関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 区の広報紙
- 2 区のホームページ
- 3 区の窓口
- 4 保健センター
- 5 テレビ・ラジオ
- 6 インターネット (ホームページやブログの閲覧など) ()
- 7 SNS (Facebook、Twitter、Instagram、Youtube など)
- 8 新聞・書籍
- 9 障害等の当事者会や家族の会
- 10 医療機関
- 11 学校の先生
- 12 保育園・子ども園・幼稚園の先生
- 13 児童発達支援などの療育機関
- 14 相談支援専門員
- 15 その他 ()
- 16 知る方法がわからない

4 教育・保育について

問 19 お子さんが通園・通学などをしているところをお聞きます。

(あてはまるものに○)

A 小学校入学前

- 1 保育園
- 2 子ども園
- 3 幼稚園
- 4 子ども総合センター
(発達支援コーナーあり)
- 5 子ども総合センター以外の児童発達支援などの
療育機関
- 6 その他 ()
- 7 通園・通所はしていない

→Aにあてはまる方は問 20、21、23～25 をお答えください

B 小中学校等に在学中

- 8 小学校の通常の学級
- 9 小学校のまなびの教室 (特別支援教室)
- 10 小学校の特別支援学級
- 11 特別支援学校の小学部
- 12 中学校の通常の学級
- 13 中学校のまなびの教室 (特別支援教室)
- 14 中学校の特別支援学級
- 15 特別支援学校の中学部

→Bにあてはまる方は問 22～25 をお答えください

C 高等学校等に在学中

- 16 高等学校 (定時制・通信制を含む)
- 17 特別支援学校の高等部
- 18 その他の学校 ()

→Cにあてはまる方は問 22～24、26 をお答えください

D 義務教育終了後、通学はしていない

具体的には何をしていますか。

()

→Dにあてはまる方は問 27 へ

問 20 問 19 で「A 小学校入学前(1～7)」と回答した方にお聞きます。

通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありませんか。(○はいくつでも)

- 1 通園の送迎が大変
- 2 周囲の子どもとの関係が心配
- 3 いじめについて心配
- 4 園の先生の指導の仕方が心配
- 5 本人の成長が心配
- 6 今後の進路について迷っている
- 7 子どもの将来に不安がある
- 8 保育や教育・療育に関する情報が少ない
- 9 療育・リハビリテーションの機会が少ない
- 10 費用など経済的な負担が大きい
- 11 その他 ()
- 12 特に困っていることや心配はない

問 21 問 19 で「A 小学校入学前(1～7)」と回答した方にお聞きます。

小学校はどの教育機関を希望しますか。(○はひとつ)

- 1 小学校の通常の学級
- 2 小学校の通常の学級とまなびの教室 (特別支援教室)
- 3 小学校の特別支援学級
- 4 特別支援学校の小学部
- 5 わからない

→問 23 へ進んでください。

問 22 問 19 で「B 小中学校等に在学中(8～15)」または「C 高等学校等に在学中(16～18)」と回答した方にお聞きます。

通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。

(○はいくつでも)

- 1 通学の送迎が大変
- 2 周囲の子どもの関係が心配
- 3 いじめについて心配
- 4 先生の指導の仕方が心配
- 5 本人の成長が心配 ()
- 6 今後の進路について迷っている
- 7 子どもの将来に不安がある
- 8 教育や療育に関する情報が少ない
- 9 療育・リハビリテーションの機会が少ない
- 10 費用など経済的な負担が大さい
- 11 その他 ()
- 12 特に困っていることや心配はない

問 23 問 19 で「A 小学校入学前(1～7)」、「B 小中学校等に在学中(8～15)」または「C 高等学校等に在学中(16～18)」と回答した方にお聞きます。

放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんはどのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- 1 家族といる
- 2 友人、知人といる
- 3 一人にいる
- 4 ハルパーなどと外出する
- 5 学童クラブへ行く
- 6 放課後子どもひろばに行く ()
- 7 タイムケア事業を利用する
- 8 ショートステイを利用する
- 9 児童発達支援 放課後等サービスを利用する
- 10 習い事や塾へ行く
- 11 その他 ()
- 12 特に何もしていない

問 24 問 19 で「A 小学校入学前(1～7)」、「B 小中学校等に在学中(8～15)」または「C 高等学校等に在学中(16～18)」と回答した方にお聞きます。

放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんがどのように過ごすことを希望していますか。

(○はいくつでも)

- 1 地域の同世代の子どもと遊ばせたい
- 2 学童クラブを利用したい
- 3 放課後子どもひろばを利用したい
- 4 習い事や塾に行かせたい
- 5 タイムケア事業を利用したい ()
- 6 ショートステイを利用したい
- 7 児童発達支援 放課後等サービスを利用したい
- 8 その他 ()
- 9 特にない

問 25 問 19 で「A 小学校入学前(1～7)」または「B 小中学校等に在学中(8～15)」と回答した方にお聞きます。

中学校 (中学部) 卒業後はどのような進路を希望しますか。

(○はひとつ)

- 1 高等学校 (定時制・通信制を含む) に通う
- 2 特別支援学校の高等部に通う
- 3 専門学校・専修学校に通う ()
- 4 障害者向けの日中活動に通う
- 5 仕事をす
- 6 その他 ()
- 7 わからない

→問 27へ進んでください。

5 外出やバリアフリーについて

問 26 問 19 で「C 高等学校等に在学中(16～18)」と回答した方にお聞きします。

高等学校 (高等部) 卒業後の日中の過ごし方は、どのようになりたいと思いますか。(〇はいくつでも)

※ この設問では、「お子さんの希望」と「保護者の方の希望」をそれぞれ伺います。

お子さんの希望

- 1 大学や短期大学へ通う
- 2 専門学校や専修学校へ通う
- 3 職業訓練学校へ通う
- 4 企業等へ就職する (パート、アルバイト等を含む一般就労)
- 5 自分で仕事をする (自営業 (フリーランス) など)
- 6 就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う (福祉作業所、わーくすこ・からなど)
- 7 自立訓練 (生活訓練・機能訓練) 事業所へ通う (障害者生活支援センターなど)
- 8 生活介護事業所へ通う (あゆみの家、生活実習所ほれほれ福祉園など)
- 9 その他 ()
- 10 わからない

保護者の方の希望

- 1 大学や短期大学へ通う
- 2 専門学校や専修学校へ通う
- 3 職業訓練学校へ通う
- 4 企業等へ就職する (パート、アルバイト等を含む一般就労)
- 5 自分で仕事をする (自営業 (フリーランス) など)
- 6 就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う (福祉作業所、わーくすこ・からなど)
- 7 自立訓練 (生活訓練・機能訓練) 事業所へ通う (障害者生活支援センターなど)
- 8 生活介護事業所へ通う (あゆみの家、生活実習所ほれほれ福祉園など)
- 9 その他 ()
- 10 わからない

問 27 お子さんは、どのくらいの頻度で外出 (通園・通学含む) していますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週に1～2回 | 5 あまり外出しない |
| 2 週に3～4回 | 4 月に1～3回 | |

問 28 お子さんは、外出 (通園・通学以外) に関してどのようなことで困っていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 歩道の段差や傾斜があると移動が困難 | 8 自動車・自転車に危険を感じる |
| 2 建物の段差や階段があると移動が困難 | 9 立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある |
| 3 バスやタクシーの利用が困難 | 10 外出するのに支援が必要である |
| 4 駅構内の移動や乗り換えが困難 | 11 外出しなくても介助者がいない |
| 5 券売機の利用が困難 | 12 その他 () |
| 6 トイレの利用が困難 | 13 特にない |
| 7 疲れたときの休憩場所がない | |

問 29 過去 1 年間にお子さんは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。(〇はいくつでも)

- 1 コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動
- 2 スポーツ・軽度な身体活動 (ハイキング、ウォーキング、体操等を含む)
- 3 趣味のサークル活動などの学習活動
- 4 ボランティア活動や NPO 活動
- 5 障害者団体などの活動
- 6 その他 ()

6 福祉サービスについて

問30 お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、2～3年以内に利用したいと思いませんか。各サービスにつき、現在利用している場合は1に○を、2～3年以内に利用したい場合は2に○をつけてください。どちらにも当てはまらない場合は何も書かず先へお進みください。

※ 問30でお伺いするサービスは、障害福祉サービス等です。

A 主に18歳未満の方が利用するサービス

(1) 主に18歳未満の方が利用するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 児童発達支援	療育を必要とする障害児等が施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。	1	2
② 医療型児童発達支援	肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練や、医学的管理下での支援が必要な児童のための通所支援です。	1	2
③ 放課後等デイサービス	就学している障害児に、放課後や休校日に生活能力の訓練、社会交流機会を提供します。	1	2
④ 保育所等訪問支援	保育所等に通う障害児が集団生活に適切するために必要な専門的支援を提供します。	1	2
⑤ 障害児入所支援	福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の2種類。 入所手続きは児童相談センターが窓口です。	1	2
⑥ 日中一時支援事業(障害児等夕イムケア)	障害児の放課後及び夏休み等の長期学校休業中の活動場所を提供します。	1	2
⑦ 在宅児等訪問支援	障害児等の自宅を訪問し、遊びや生活の指導、情報提供を行います。	1	2
⑧ 障害幼児一時保育	一時的に保育が必要とき、障害幼児等の保育を行います。	1	2
⑨ 居宅訪問型児童発達支援	障害児等の自宅を訪問し、日常生活における動作の指導、知識技能の付与等の支援を行います。	1	2

B 児童期～成人期を通じて利用できるサービス

(2) 自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。	1	2
② 重度障害者等包括支援	障に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。	1	2

(3) 外出を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 行動支援	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の支援などを行います。	1	2
② 同行支援	視覚障害者の外出に同行し、移動の支援や移動に必要な情報の提供をします。	1	2
③ 移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。	1	2
④ 外出-利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。	1	2

(4) 一時的な支援を行うサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2～3年以内に利用したい
① 短期入所(ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。	1	2
② 日中一時支援事業(日中ショート)	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。	1	2

(5) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2~3年以内を利用したい
① 補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。	1	2
② 日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。	1	2
③ 住宅設備改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。	1	2

(6) 日常生活のサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2~3年以内を利用したい
① 相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。	1	2
② 意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。	1	2
③ 重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児（者）の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。	1	2
④ 巡回入浴サービス	在宅で懐たぎりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2

(7) 医療に関する支援

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2~3年以内を利用したい
自立支援医療	障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院）を給付します。	1	2

C 主に18歳以上の方が利用するサービス

(8) 自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2~3年以内を利用したい
重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。		2

(9) 日中の活動を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2~3年以内を利用したい
① 生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。		2
② 地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。		2
③ 日中一時支援事業（土曜ケアサポート）	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。		2

(10) 自立や就労を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓	
		1 現在利用している	2 2~3年以内を利用したい
① 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。		2
② 就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。		2
③ 就労継続支援（A型・雇用型）	障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。		2
④ 就労継続支援（B型・非雇用型）	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。		2
⑤ 自立生活援助	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言を行います。		2
⑥ 就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。		2

(11) 住まいの場・住まいに関するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はどちらに ↓	
		1 現在 利用している	2 2~3年以内 利用したい
① 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。		2
② 療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。		2
③ 共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。		2
④ 福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。		2

問31 お子さんのサービス利用に関して困っていることがありますか。
(○はいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 区役所での手続きが大変
- 3 利用できる回数や日数が少ない
- 4 事業者との利用日等の調整が大変
- 5 サービスの質が良くない
- 6 利用したいサービスが利用できない
- 7 障害児支援利用計画が立てられていない
- 8 利用者負担（自己負担）が大きい
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

問32 を回答するにあたっての解説

障害者(児)の方が必要なサービスをより安心して利用することができるように、障害福祉サービスを利用する方は「サービス等利用計画」や「障害児支援利用計画」を作ることとなっています。自分や家族がサービスを組み立てるセルフプランもあります。

● サービス等利用計画

障害者総合支援法が定めている障害福祉サービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画です。

● 障害児支援利用計画

児童福祉法が定めている障害児向けサービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画(トータルプラン)です。ご本人・ご家族の希望する生活やサービスの利用意向に基づき、区の指定を受けた障害児相談支援事業所の相談支援専門員が福祉、保健、医療、教育、就労、住宅等の総合的な視点から、地域での自立した生活を支えるための「障害児支援利用計画」を作成します。「障害児支援利用計画」を作成すると、相談支援専門員が、サービス提供事業所の手配や連絡調整を行ったり、定期的に自宅への訪問を行い、計画の見直しを行ったりします。

新宿区が指定した18歳未満の方のための相談支援事業所は、区役所の基幹相談支援センター、子ども総合センターのほか、6か所の民間の事業所があります(令和4年10月1日現在)。

計画作成を依頼したい場合は、福祉部障害者福祉課支援係地区担当者(電話:03-5273-4583、ファクス:03-3209-3441)へお問い合わせください。

● セルフプラン

相談支援専門員に依頼せずに、ご本人・ご家族や身近な支援者が計画を作成することもできます。サービス提供事業所の手配は家族が行うこととなります。

問 32 障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方にお聞きします。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、現状を教えてください。 (○はひとつ)

- 1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している
- 2 家族や支援者とセルフプランを作成している

問 33 あなたは、サービスの利用者負担（自己負担）をどのように感じていますか。(○はひとつ)

- 1 非常に負担に感じる
- 2 やや負担に感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 利用者負担は支払っていない
- 5 サービスを利用していない

7 災害対策について

問 34 お子さんやご家族の方が、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 災害の情報を知る方法がない
- 2 助けを求めする方法がない
- 3 近くに助けてくれる人がいない
- 4 一人では避難できない
- 5 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 6 避難所で必要な支援が受けられるか不安
- 7 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 8 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 9 医療機器の電源確保が心配
- 10 避難物資や情報を得たい
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問 35 お子さんやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

- 1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
- 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている
- 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
- 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている
- 5 新宿区の「災害時要援護者名簿」に登録している
- 6 避難所の位置を知っている
- 7 避難所などで配慮してほしいことを書きとめてある
- 8 防災訓練に参加したことがある
- 9 「要配慮者災害用セルフプラン」を作成している
- 10 その他 ()
- 11 特にない

8 新型コロナウイルス感染症の影響について

問 36 新型コロナウイルス感染症により、お子さんにとどのような影響がありましたか。(○はいくつでも)

- 1 人との交流や外出の機会が減った
- 2 運動不足により体力が落ちた
- 3 精神的なストレスが増した
- 4 ワクチン接種や医療面の支援など、必要な情報を得ることが難しかった
- 5 必要な医療・福祉サービスを利用しづらくなった
- 6 オンライン学習の利用が増えた
- 7 世帯の収入が減少した
- 8 利用していたサービス事業所に通えなくなった
- 9 在宅の時間が増え、家族による支援が必要になった
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問37 新型コロナウイルス感染症にお子さんや家族が感染した方に伺います。どのようなことに困りましたか。

具体的な内容：

9 権利擁護について

問38～40を回答するにあたっての解説

障害者差別解消法

障害者差別解消法では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。そのことによって、障害のある人も共に暮らせる社会を目指しています。

●「不当な差別的取扱いの禁止」とは

この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

例：「障害を理由に施設の利用を拒否される」「車いすを理由に交通機関の乗車を拒否される」など

●「合理的配慮の提供」とは

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき(※)に、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。これを「合理的配慮の提供」といいます。

※言語(手話を含む。)、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

障害者差別を受けたと感じたときのご相談は、福祉部障害者福祉課福祉推進係

(電話：03-5273-4516、ファクス：03-3209-3441)へお問い合わせください。

問38 あなたのお子さんは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号に○をし、
□内に具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 区役所などの行政機関で | 7 福祉サービスで |
| 2 公共交通、公共施設などで | 8 住む場所や家の中で |
| 3 保育園、子ども園、幼稚園などで | 9 情報、コミュニケーションで |
| 4 学校、教育の場面で | 10 近隣、地域で |
| 5 病院・診療所などで | 11 その他() |
| 6 民間サービス(飲食店、習い事など)で | 12 特にない |

具体的な内容：

問39 障害者差別解消法と関連して、障害などへの配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありませんか。あてはまる場面の番号に○をし、□内に具体的な内容をご記入ください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 区役所などの行政機関で | 7 福祉サービスで |
| 2 公共交通、公共施設などで | 8 住む場所や家の中で |
| 3 保育園、子ども園、幼稚園などで | 9 情報、コミュニケーションで |
| 4 学校、教育の場面で | 10 近隣、地域で |
| 5 病院・診療所などで | 11 その他() |
| 6 民間サービス(飲食店、習い事など)で | 12 特にない |

具体的な内容：

問 40 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備
- 2 障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信
- 3 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行
- 4 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催
- 5 地域や学校等で交流の機会を増やすこと
- 6 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
- 7 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報
- 8 障害者についての講演会や疑似体験会の開催
- 9 障害者の一般就労の促進
- 10 その他 ()
- 11 特になし

問 41 成年後見制度を知っていますか。(〇はひとつ)

- 1 詳しく知っている
- 2 概要については知っている
- 3 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 4 知らない

問 42 お子さんが成人した後、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(〇はひとつ)

- 1 利用したい
- 2 利用は考えていない
- 3 わからない

10 将来について

問 43 お子さんは成人後、どのような生活を希望していますか。(〇はひとつ)

- 1 必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する
- 2 グループホーム、福祉ホームで生活する
- 3 障害者の入所施設に入所する
- 4 その他 ()
- 5 わからない

問 41～42 を回答するにあたっての解説

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る制度です。成年後見人などがこうした人の意思を尊重し、法律面や生活面でその人らしい生活を守るため、お手伝いします。

成年後見人などは以下の役割を担います。

①生活・医療・介護・福祉に関わる契約などのお手伝い

本人がその人らしい生活を送るため、本人の生活等に係る契約などのお手伝いをします。

②財産の管理

本人の資産や収支状況を把握し、本人のために必要かつ相当な支出を計画的に行いつつ、資産を安全に管理します。

制度について詳しく知りたい方は、新宿区成年後見センター(電話:03-5273-4522、

ファクス:03-5273-3082)へお問い合わせください。

差し支えなければ、会社・事業所名とご担当者様のお名前、連絡先の電話番号をお書き下さい。

会社・事業所名
ご担当者様
電話番号

※ご記入いただいた会社・事業所名等は、アンケート回収状況の確認にのみ使用します。ご回答いただいた内容については統計的な処理を行い、回答者が特定されることはありませんので、ご協力をお願いします。

1 事業運営について

問1 貴事業所の経営主体をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 社会福祉法人
- 2 医療法人
- 3 社団法人・財団法人
- 4 株式会社・有限会社
- 5 特定非営利活動法人(NPO法人) ()
- 6 協同組合
- 7 その他法人
- 8 個人医療機関
- 9 その他

問2 貴事業所の開業年をお聞きます。

西暦 年

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きます。(○はいくつでも)

※ 介護保険サービスは含めないでください。

- 1 居宅介護
- 2 重度訪問介護
- 3 同行援護
- 4 行動援護
- 5 療養介護
- 6 生活介護
- 7 短期入所(ショートステイ)
- 8 重度障害者等包括支援
- 9 施設入所支援
- 10 自立訓練(機能訓練・生活訓練)
- 11 就労移行支援
- 12 就労継続支援(A型)
- 13 就労継続支援(B型)
- 14 就労定着支援
- 15 自立生活援助
- 16 共同生活援助(グループホーム)
- 17 地域相談支援
(地域移行支援・地域定着支援)
- 18 計画相談支援
(サービス等利用計画・モニタリング)
- 19 移動支援事業
- 20 地域活動支援センター事業
- 21 日中一時支援事業
- 22 児童発達支援
- 23 医療型児童発達支援
- 24 放課後等デイサービス
- 25 居宅訪問型児童発達支援
- 26 保育所等訪問支援
- 27 障害児相談支援
- 28 その他 ()

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア（サービス利用対象者がお住まいの範囲）をお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 新宿区内の一部（地域： ）
- 2 新宿区内全域
- 3 23区内（地域： ）
- 4 東京都内（地域： ）
- 5 首都圏（地域： ）
- 6 その他（ ）

問5 貴事業所でサービスを提供している利用者数をお聞きます。障害別にお答えください。

重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。

障害の種類	人数
(1) 身体障害	人
(2) 知的障害	人
(3) 精神障害（高次脳機能障害を含む）	人
(4) 発達障害	人
(5) 難病	人

問6 貴事業所の令和3年度の事業の収支をお聞きます。（〇はひとつ）

- 1 黒字だった
- 2 ほぼ収支が均衡した
- 3 やや赤字だった
- 4 大幅な赤字だった
- 5 わからない

問7 貴事業所を運営していく上で課題となっていることは何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 職員の確保が難しい
- 2 職員の待遇改善ができない
- 3 職員の資質向上が難しい
- 4 事務作業量が多い
- 5 施設・設備の改善が難しい
- 6 制度改正などへの対応が難しい
- 7 収益の確保が困難
- 8 運転資金の調達が難しい
- 9 他の事業者との連携が難しい
- 10 行政との連携が難しい
- 11 地域の理解を得るのが難しい
- 12 その他（ ）

2 職員について

問8 貴事業所の職員数をお聞きます。

職員	人数
(1) 常勤職員	人
(2) 非常勤職員	人

問9 貴事業所の業務量に対して、職員の充足状況（人手）はいかがですか。

（〇はいくつでも）

- 1 十分である
- 2 やや不足している
- 3 非常に不足している
- 4 わからない

問10 貴事業所では、人材確保のための取り組みをしていますか。

（〇はいくつでも）

- 1 求人誌などに人材広告を掲載した
- 2 インターネットの求人サイトを利用した
- 3 人材募集のチラシを配布した
- 4 ハローワークを通じて募集した
- 5 福祉専門学校等で求人を行った
- 6 知人経由・人づてで探した
- 7 実習生を受け入れた
- 8 ボランティアを受け入れた
- 9 その他（
- 10 特にしていない

問11 貴事業所では、人材育成のための取り組みをしていますか。

（〇はいくつでも）

- 1 法人内で研修等を実施
- 2 外部団体が実施する研修等へ参加
- 3 都や区が実施する研修等へ参加
- 4 職員の自主学習や資格取得への支援
- 5 日常業務が大変で研修等へ参加している余裕はない
- 6 その他（

問12 貴事業所の職員の方は、どのようなことで困っていますか。

（〇はいくつでも）

- 1 勤務時間が長い
- 2 体力的にきつい
- 3 精神的にきつい
- 4 収入が少ない
- 5 能力向上の機会が少ない
- 6 キャリアアップが難しい
- 7 利用者が重度化・高齢化して対応が難しい
- 8 利用者の家族への対応が難しい
- 9 他の関係者との連携が十分取れない
- 10 必要な事務作業が多い
- 11 その他（
- 12 特にない

3 サービス提供について

問 13 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。
(○はいくつでも)

- 1 量的に、利用者の希望通り提供できていない
- 2 質的に、利用者の希望通り提供できていない
- 3 契約やサービス内容についての説明が十分できていない
- 4 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
- 5 困難事例への対応が難しい
- 6 休日や夜間の対応が難しい
- 7 変更やキャンセルが多い
- 8 苦情やトラブルが多い
- 9 その他()

問 14 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。(○はいくつでも)

- 1 困難事例のケース検討会などの開催
- 2 事業者独自の評価
- 3 利用者による評価
- 4 第三者機関の評価
- 5 専門職の配置
- 6 サービス提供マニュアルの作成
- 7 緊急時マニュアルの作成
- 8 虐待防止マニュアルの作成
- 9 事故防止対策
- 10 感染症対策
- 11 利用者への説明の徹底
- 12 苦情や相談の受付体制の整備
- 13 その他
- 14 特になし

問 15 問 14 で「5 専門職の配置」を選択された事業所にお聞きします。

貴事業所で配置している専門職について、雇用形態別に人数をご記入ください。その他の場合は職種名もご記入ください。

職種名	常勤	非常勤	嘱託
(1) 医師	人	人	人
(2) 保健師	人	人	人
(3) 看護師	人	人	人
(4) 理学療法士	人	人	人
(5) 作業療法士	人	人	人
(6) 言語聴覚士	人	人	人
(7) 社会福祉士	人	人	人
(8) 介護福祉士	人	人	人
(9) 精神保健福祉士	人	人	人
(10) 公認心理師	人	人	人
(11) 保育士	人	人	人
(12) 相談支援専門員	人	人	人
(13) 主任相談支援専門員	人	人	人
(14) 医療的ケア児コーディネーター	人	人	人
(15) 管理栄養士	人	人	人
(16) 調理師	人	人	人
(17) その他 ()	人	人	人

問16 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。(○はいくつでも)

※ 介護保険サービスは含めないでください。

- 1 居宅介護
- 2 重度訪問介護
- 3 同行援護
- 4 行動援護
- 5 療養介護
- 6 生活介護
- 7 短期入所（ショートステイ）
- 8 重度障害者等包括支援
- 9 施設入所支援
- 10 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- 11 就労移行支援
- 12 就労継続支援（A型）
- 13 就労継続支援（B型）
- 14 就労定着支援
- 15 自立生活援助
- 16 共同生活援助（グループホーム）
- 17 地域相談支援
（地域移行支援・地域定着支援）

問17 問16で回答した事業所にお聞きします。参入にあたって課題となるものは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 福祉人材の確保
- 2 土地（賃貸借物件を含む）の確保
- 3 登録事務手続の煩雑さ
- 4 利益（採算）の見込み
- 5 その他（)

問18 貴事業所には、介護保険事業所を併設していますか。(○はひとつ)

- 1 介護保険事業所を併設している →1に○を付けた方は問20へ進んでください
- 2 法人（事業者）内に介護保険事業所があるが、現事業所には併設していない
- 3 障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である →2、3に○を付けた方は問19へ進んでください

問19 問18で2または3と回答した事業所の方にお聞きします。

貴事業所では、新たに介護保険事業所の指定を受ける予定はありますか。
(○はひとつ)

- 1 障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない
- 2 65歳に到達した障害者に引き続きサービス提供ができるよう、介護保険事業所の指定を検討中である
- 3 その他（)
- 4 わからない

問20 貴事業所で、障害者虐待防止に向けて取り組んでいることを教えてください。(○はいくつでも)

- 1 虐待防止マニュアルを整備している
- 2 虐待防止研修を全員に実施している
- 3 虐待防止チェックリストを全員に実施している
- 4 事業所内に虐待防止啓発や虐待通報先の掲示をしている
- 5 虐待防止担当者を選任している
- 6 虐待防止委員会を開催している
- 7 身体拘束の適正化に取り組んでいる
- 8 その他（)
- 9 特にない

問 26 貴事業所では、今後の障害者施策について、どのようなことを期待していますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|-----------------|----|--------------|
| 1 | 利用者負担の軽減 | 8 | 障害支援区分の見直し |
| 2 | 自立支援給付費の見直し | 9 | 障害者総合支援法の見直し |
| 3 | 地域生活基盤の充実のための方策 | 10 | その他 |
| 4 | 一般就労の促進のための方策 | [|] |
| 5 | 福祉的就労における工賃向上 | | |
| 6 | 福祉人材の確保のための方策 | 11 | 特になし |
| 7 | 事務手続きの簡素化 | | |

4 自由意見

問 27 障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。
調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和4年12月9日(金)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。
封筒に切手を貼る必要はありません。

この印刷物は、業務委託により 300 部印刷製本しています。その経費として1部あたり 2,400 円（税別）かかっています。ただし、編集時の職員人件費等は含んでいません。

新宿区障害者生活実態調査報告書

印刷物作成番号 2022-24-2910

発行年月 令和5年3月

編集・発行 新宿区 福祉部 障害者福祉課

〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

電話 03 (5273) 4516

ファクス 03 (3209) 3441